阪南論集

2016年3月

総目次・著者名索引

第1巻～第50巻
（1969年～2015年）

阪南大学学会

凡　　例

1. 対　象

本誌は,「阪南論集」第 1 巻 (1969 年 2 月発行) より同第 50 巻第 2 号 (2015 年 3 月発行) までの各巻各号に掲載された論文等を収録した。

2. 構　成

本誌は 2 部に分かれる。第 1 部は, 刊行年順の巻号別の総目次を, 第 2 部は, 著者名索引を収録した。

3. 配列・分類

1)　第 1 部　巻号別目次

刊行年月一覧表を掲載し, 各論文等を社会科学編, 人文・自然科学編の順にその刊行年順に巻号別に配列した。

さらに, 目次通りに配列した。

2)　第 2 部　著者名索引

著者名一覧表を掲載し, 専任教員 (2015 年 4 月 1 日現在) の氏名はゴシックで表記した。各論文等をその著者名の五十音順に配列した。

さらに論稿の種類別にまとめて配列した。

3)　論稿の種類および配列順は次のとおりとした。

「査読論文」「論文」「判例研究」「研究ノート」「調査報告」「資料」「翻訳」「書評」「コメント」「追加」「修正」「特別号関連記事」

ただし, 第 1 巻～第 37 巻の「論文」はすべて査読なし, 第 38 巻～第 43 巻の「論文」はすべて査読あり, 第 44 巻以降は「査読論文」と査読のない「論文」の 2 種類に分割並称しています。

4. 形　式

1)　第 1 部

①巻号別目次については, 論稿の種類別にまとめ, 下記の順に記載した。

巻　号 (刊行年月)

論稿の種類

標題, 副題, 執筆者, 該当ページ数

②翻訳の場合, 原著者を著者名と併記した。

〈例〉

第 48 巻　第 2 号 (2013 年 3 月)

翻　訳

ヘルムート・プレスナーの人間学とスポーツ哲学

…… フォルカー・シュールマン　123―135

藤井　政則 (訳)

2） 第2部

①著者名索引は，論稿の種類別にまとめ，下記の順に記載した。

執筆者名（読みがなは，漢字表記をひらがな，アルファベット表記をカタカナとした）

論稿の種類

標題，副題，編，巻，（号），該当ページ数

②共著の場合，標題の後に（共）と記載した。

③編とは，社会科学編および人文・自然科学編を示し，それぞれ社，人と表記した。

④翻訳の場合，標題の後に原著者名を記載した。

〈例〉

藤井政則

翻　訳

ヘルムート・プレスナーの人間学とスポーツ哲学（フォルカー・シュールマン）

…… 人48（2）123―135

刊 行 年 月 一 覧 表

巻	号	西暦　元号　年　月	備　考
1		1969（昭和44）年 2月	『阪南大学論集』
2	1･2	1970（昭和45）年 3月	『阪南論集』（誌名変更）
3	1･2	1971（昭和46）年 3月	
4	1･2	1971（昭和46）年 12月	
5	1･2	1972（昭和47）年 10月	
6		1972（昭和47）年 12月	
7		1973（昭和48）年 2月	
8		1973（昭和48）年 5月	
9	1	1973（昭和48）年 7月	
	2	1973（昭和48）年 10月	
	3	1973（昭和48）年 12月	
	4	1974（昭和49）年 2月	
	5	1974（昭和49）年 4月	
	6	1974（昭和49）年 6月	
10	1	1974（昭和49）年 8月	
	2	1974（昭和49）年 10月	
	3	1974（昭和49）年 12月	
	4	1975（昭和50）年 3月	
	5	1975（昭和50）年 4月	
	6	1975（昭和50）年 6月	
11	1	1975（昭和50）年 10月	
	2	1975（昭和50）年 11月	創立10周年記念法学・政治学特輯
	3	1976（昭和51）年 3月	
	4	1976（昭和51）年 3月	創立10周年記念一般教養特輯
	5	1976（昭和51）年 3月	
	6	1976（昭和51）年 3月	創立10周年記念経済学特輯
12	1	1976（昭和51）年 11月	
	2	1976（昭和51）年 12月	
	3	1977（昭和52）年 1月	
	4	1977（昭和52）年 2月	
	5	1977（昭和52）年 3月	
	6	1977（昭和52）年 5月	
13	1	1977（昭和52）年 8月	
	2	1977（昭和52）年 9月	
	3	1977（昭和52）年 11月	

巻	号	西暦　元号　年　月	備　考
13	4	1977（昭和52）年 12月	
	5	1978（昭和53）年 2月	
	6	1978（昭和53）年 3月	
14	1	1978（昭和53）年 8月	
	2	1978（昭和53）年 10月	
	3	1978（昭和53）年 12月	
	4	1979（昭和54）年 2月	
	5	1979（昭和54）年 3月	
	6	1979（昭和54）年 3月	

社会科学編

巻	号	西暦　元号　年　月
15	1	1979（昭和54）年 8月
	2･3	1980（昭和55）年 3月
		西川清治博士追悼号
	4	1980（昭和55）年 3月
		布井孝良教授退任記念号
16	1	1980（昭和55）年 11月
	2	1981（昭和56）年 3月
	3･4	1981（昭和56）年 5月
		田谷博吉教授退任記念号
		速水　敏教授退任記念号
17	1	1981（昭和56）年 9月
	2	1982（昭和57）年 3月
	3	1982（昭和57）年 3月
		虎田雋雄教授退任記念号
	4	1982（昭和57）年 6月
		社会科学編　人文・自然科学編合併号
		経済学部創設10周年記念号
18	1	1982（昭和57）年 8月
	2	1982（昭和57）年 11月
	3	1983（昭和58）年 2月
		硲正夫教授退任記念号
	4	1983（昭和58）年 3月
		津島陽子助教授追悼号
19	1	1983（昭和58）年 6月
	2	1983（昭和58）年 12月
		堂面秋芳教授追悼号
	3	1984（昭和59）年 1月
		梅森正行教授追悼号

人文・自然科学編

号	西暦　元号　年　月
1	1979（昭和54）年 8月
2	1979（昭和54）年 12月
3･4	1980（昭和55）年 3月
1	1980（昭和55）年 8月
2	1981（昭和56）年 3月
3･4	1981（昭和56）年 7月
	原光雄教授退任記念号
1	1981（昭和56）年 10月
2･3	1982（昭和57）年 2月
	大越勝秋教授退任記念号
4	1982（昭和57）年 6月
	社会科学編　人文・自然科学編合併号
	経済学部創設10周年記念号
1	1982（昭和57）年 7月
2	1982（昭和57）年 11月
3	1983（昭和58）年 2月
4	1983（昭和58）年 4月
1	1983（昭和58）年 6月
2	1983（昭和58）年 11月
3	1984（昭和59）年 1月

巻	号	西暦　元号　年　月	号	西暦　元号　年　月
19	4	1984（昭和59）年 3月 中村静治教授退任記念号	4	1984（昭和59）年 3月
20	1	1984（昭和59）年 6月	1	1984（昭和59）年 6月
	2	1984（昭和59）年 11月 鈴木稔教授退任記念号	2	1984（昭和59）年 11月
	3	1985（昭和60）年 1月	3	1985（昭和60）年 1月
	4	1985（昭和60）年 3月 創立20周年記念論文集	4	1985（昭和60）年 3月 創立20周年記念論文集
21	1	1985（昭和60）年 6月	1	1985（昭和60）年 6月
	2	1985（昭和60）年 9月	2	1985（昭和60）年 9月
	3	1986（昭和61）年 1月 安部栄造教授退任記念号	3	1986（昭和61）年 1月
	4	1986（昭和61）年 3月 紀俊輔教授追悼号	4	1986（昭和61）年 3月
22	1	1986（昭和61）年 6月	1	1986（昭和61）年 6月
	2	1986（昭和61）年 9月	2	1986（昭和61）年 9月
	3	1987（昭和62）年 1月	3	1987（昭和62）年 1月
	4	1987（昭和62）年 3月 山崎俊雄教授退任記念号	4	1987（昭和62）年 3月
23	1	1987（昭和62）年 6月	1	1987（昭和62）年 6月
	2	1987（昭和62）年 9月	2	1987（昭和62）年 9月
	3	1988（昭和63）年 1月	3	1988（昭和63）年 1月
	4	1988（昭和63）年 3月	4	1988（昭和63）年 3月
24	1	1988（昭和63）年 6月	1	1988（昭和63）年 6月 沢田允夫教授追悼号
	2	1988（昭和63）年 9月	2	1988（昭和63）年 9月
	3	1989（平成元）年 1月	3	1989（平成元）年 1月
	4	1989（平成元）年 3月	4	1989（平成元）年 3月
25	1･2･3	1989（平成元）年 12月 創立25周年記念論文集	1･2･3	1989（平成元）年 12月 創立25周年記念論文集
	4	1990（平成２）年 3月	4	1990（平成２）年 3月
26	1	1990（平成２）年 6月	1	1990（平成２）年 6月
	2	1990（平成２）年 9月	2	1990（平成２）年 9月
	3	1991（平成３）年 1月	3	1991（平成３）年 1月
	4	1991（平成３）年 3月	4	1991（平成３）年 3月
		（第27巻より編集・発行が阪南大学より阪南大学学会に変更）		
27	1	1991（平成３）年 6月 柏尾昌哉教授退任記念号	1	1991（平成３）年 6月 林野滋樹教授退任記念号
	2	1991（平成３）年 9月	2	1991（平成３）年 9月
	3	1992（平成４）年 1月	3	1992（平成４）年 1月

巻	号	西暦　元号　年　月	号	西暦　元号　年　月
27	4	1992（平成 4）年 3 月	4	1992（平成 4）年 3 月
28	1	1992（平成 4）年 6 月	1	1992（平成 4）年 6 月
	2	1992（平成 4）年 9 月	2	1992（平成 4）年 9 月
		故藤井勝也教授追悼号		
	3	1993（平成 5）年 1 月	3	1993（平成 5）年 1 月
		熊野實夫教授退任記念号		故稲田菊太郎教授追悼号
	4	1993（平成 5）年 3 月	4	1993（平成 5）年 3 月
		橘博教授退任記念号		野村雅庸教授退任記念号
29	1	1993（平成 5）年 6 月	1	1993（平成 5）年 6 月
	2	1993（平成 5）年 9 月	2	1993（平成 5）年 9 月
	3	1994（平成 6）年 1 月	3	1994（平成 6）年 1 月
	4	1994（平成 6）年 3 月	4	1994（平成 6）年 3 月
		二塚正也教授退任記念号		
30	1	1994（平成 6）年 6 月	1	1994（平成 6）年 6 月
		川島哲郎前学長退任記念号		
	2	1994（平成 6）年 9 月	2	1994（平成 6）年 9 月
	3	1995（平成 7）年 1 月	3	1995（平成 7）年 1 月
				故国領苑子教授追悼号
	4	1995（平成 7）年 3 月	4	1995（平成 7）年 3 月
		大橋岩雄教授退任記念号		
31	1	1995（平成 7）年 6 月	1	1995（平成 7）年 6 月
	2	1995（平成 7）年 9 月	2	1995（平成 7）年 9 月
	3	1996（平成 8）年 1 月	3	1996（平成 8）年 1 月
	4	1996（平成 8）年 3 月	4	1996（平成 8）年 3 月
		小野一一郎教授退任記念号		
32	1	1996（平成 8）年 6 月	1	1996（平成 8）年 6 月
	2	1996（平成 8）年 9 月	2	1996（平成 8）年 9 月
	3	1997（平成 9）年 1 月	3	1997（平成 9）年 1 月
	4	1997（平成 9）年 3 月	4	1997（平成 9）年 3 月
		山名伸作教授退任記念号		有尾善繁教授退任記念号
33	1	1997（平成 9）年 6 月	1	1997（平成 9）年 6 月
	2	1997（平成 9）年 9 月	2	1997（平成 9）年 9 月
	3	1998（平成10）年 1 月	3	1998（平成10）年 1 月
		植村幸生教授退任記念号		
	4	1998（平成10）年 3 月	4	1998（平成10）年 3 月
		吉良実前学長退任記念号		
34	1	1998（平成10）年 6 月	1	1998（平成10）年 6 月
		谷田庄三教授退任記念号		
	2	1998（平成10）年 9 月	2	1998（平成10）年 9 月

巻	号	西暦　元号　年　月	号	西暦　元号　年　月
34	3	1999（平成11）年 1月 経済学部開設25周年記念号	3	1999（平成11）年 1月 経済学部開設25周年記念号
	4	1999（平成11）年 3月	4	1999（平成11）年 3月 永谷秀雄教授退任記念号
35	1	1999（平成11）年 6月 鶴谷賢教授退任記念号	1	1999（平成11）年 6月
	2	1999（平成11）年 9月 故木下滋教授追悼号	2	1999（平成11）年 9月
	3	2000（平成12）年 1月	3	2000（平成12）年 1月
	4	2000（平成12）年 3月	4	2000（平成12）年 3月 森井淳吉教授退任記念号
36	1	2000（平成12）年 7月	1	2000（平成12）年 7月
	2･3	2001（平成13）年 1月	2	2000（平成12）年 9月
			3	2001（平成13）年 1月 故渡辺昇教授追悼号
	4	2001（平成13）年 3月	4	2001（平成13）年 3月
37	1	2001（平成13）年 7月	1･2	2001（平成13）年 9月
	2	2001（平成13）年 9月		
	3	2002（平成14）年 1月	3	2002（平成14）年 1月 故松尾力雄教授追悼号
	4	2002（平成14）年 3月 天井一夫教授退任記念号	4	2002（平成14）年 3月
38	1	2002（平成14）年 10月	1	2002（平成14）年 10月
	2	2003（平成15）年 3月	2	2003（平成15）年 3月
39	1	2003（平成15）年 11月	1	2003（平成15）年 11月
	2	2004（平成16）年 3月	2	2004（平成16）年 3月
40	1	2004（平成16）年 11月	1	2004（平成16）年 11月
	2	2005（平成17）年 3月	2	2005（平成17）年 3月
41	1	2005（平成17）年 11月	1	2005（平成17）年 11月
	2	2006（平成18）年 3月	2	2006（平成18）年 3月
42	1	2006（平成18）年 11月	1	2006（平成18）年 11月
	2	2007（平成19）年 3月	2	2007（平成19）年 3月
43	1	2007（平成19）年 10月	1	2007（平成19）年 10月
	2	2008（平成20）年 3月	2	2008（平成20）年 3月
44	1	2008（平成20）年 10月	1	2008（平成20）年 10月
	2	2009（平成21）年 3月	2	2009（平成21）年 3月
45	1	2009（平成21）年 10月	1	2009（平成21）年 10月
	2	2010（平成22）年 3月		

巻	号	西暦　元号　年　月	号	西暦　元号　年　月
45	3	2010（平成22）年 3月 大槻眞一学長退任記念号		
46	1	2010（平成22）年 10月	1	2010（平成22）年 10月
	2	2011（平成23）年 3月	2	2011（平成23）年 3月
47	1	2011（平成23）年 10月	1	2011（平成23）年 10月
	2	2012（平成24）年 3月	2	2012（平成24）年 3月 故市川隆男教授・故前田弘教授追悼号
48	1	2012（平成24）年 10月	1	2012（平成24）年 10月
	2	2013（平成25）年 3月	2	2013（平成25）年 3月
49	1	2013（平成25）年 10月	1	2013（平成25）年 10月
	2	2014（平成26）年 3月	2	2014（平成26）年 3月
50	1	2014（平成26）年 10月	1	2014（平成26）年 10月
	2	2015（平成27）年 3月 阪南論集創刊50巻記念論文集	2	2015（平成27）年 3月 阪南論集創刊50巻記念論文集

著 者 名 一 覧 表

（ゴシックは、2015年４月１日現在専任教員）

氏　　名	ページ
〔ア行〕 Irene IWASAKI	
（アイリーン　イワサキ）	153
青木　郁夫（あおき　いくお）	153
青木　博明（あおき　ひろあき）	154
赤井　尚子（あかい　なおこ）	154
明石　博行（あかし　ひろゆき）	154
秋山　安永（あきやま　やすえ）	154
揚　　武雄（あげ　たけお）	154
浅井　　晃（あさい　あきら）	154
浅野　幸治（あさの　こうじ）	154
朝原　早苗（あさはら　さなえ）	155
芦田利恵子（あしだ　りえこ）	155
足立　照也（あだち　てるや）	155
安部　栄造（あべ　えいぞう）	155
安倍　　惇（あべ　つとむ）	155
天井　一夫（あまい　かずお）	155
新井　美史（あらい　よしふみ）	155
有尾　善繁（ありお　よししげ）	156
池上　　惇（いけがみ　じゅん）	156
池田栄太郎（いけだ　えいたろう）	156
池村　　勉（いけむら　つとむ）	156
生駒　正文（いこま　まさふみ）	157
石井　光子（いしい　みつこ）	157
石井　雄二（いしい　ゆうじ）	157
石倉　三雄（いしくら　みつお）	158
石黒　　馨（いしぐろ　かおる）	158
石澤雄一郎	
（いしざわ　ゆういちろう）	158
石田　　護（いしだ　まもる）	158
石原　照敏（いしはら　てるとし）	159
井尻　良夫（いじり　よしお）	159
和泉　孔二（いずみ　こうじ）	160
和泉　大樹（いずみ　だいき）	160
泉　　弘志（いずみ　ひろし）	160
伊田　昌弘（いだ　まさひろ）	160

氏　　名	ページ
市川　隆男（いちかわ　たかお）	161
一宮和一郎	
（いちのみや　かずいちろう）	161
稲田菊太郎（いなだ　きくたろう）	161
井上　勝雄（いのうえ　かつお）	161
井上　准治（いのうえ　じゅんじ）	161
井上　徹二（いのうえ　てつじ）	161
井上　寛和（いのうえ　ひろかず）	162
井上　　博（いのうえ　ひろむ）	162
井上　善幸（いのうえ　よしゆき）	162
今野　　勉（いまの　つとむ）	162
今福　愛志（いまふく　あいし）	162
入子　文子（いりこ　ふみこ）	163
岩﨑　佳孝（いわさき　よしたか）	163
岩橋　昭廣（いわはし　あきひろ）	163
岩橋　法雄（いわはし　のりお）	163
武　　時穎（う　しぃぇん）	163
WILSON, Gordon Grady	
（ウィルソン　ゴードン　グレイディ）	163
Winston R. Welch	
（ウィンストン　R　ウェルチ）	164
植田　　肇（うえだ　はじめ）	164
植田　浩史（うえだ　ひろふみ）	164
植田　政孝（うえだ　まさたか）	164
上田　雅通（うえだ　まさゆき）	164
植村　幸生（うえむら　ゆきお）	165
植村　吉輝（うえむら　よしてる）	165
魚住　香子（うおずみ　きょうこ）	166
後　　恵子（うしろ　けいこ）	166
碓井　敏正（うすい　としまさ）	166
臼谷　健一（うすたに　けんいち）	166
梅垣　邦胤（うめがき　くにたけ）	166
梅川　　勉（うめかわ　つとむ）	166
梅村　　仁（うめむら　ひとし）	166
梅本　哲世（うめもと　てつよ）	167

氏　　名　　ページ

占部　裕典（うらべ　ひろのり）……167
Eddy Van Drom
（エディ　バン　ドローム）……167
江畑　　武（えばた　たけし）……167
及川　勝美（おいかわ　かつみ）……168
王　　际平（おう　さいへい）……168
大江麻里子（おおえ　まりこ）……168
大越　勝秋（おおごし　かつあき）……168
大島　　卓（おおしま　たく）……169
太田　一樹（おおた　かずき）……169
大田　一廣（おおた　かずひろ）……169
大谷　　勉（おおたに　つとむ）……170
大塚　恭子（おおつか　きょうこ）……170
大槻　眞一（おおつき　しんいち）……170
大西　　広（おおにし　ひろし）……170
大西見也子（おおにし　みやこ）……170
大橋　岩雄（おおはし　いわお）……170
大村　邦年（おおむら　くにとし）……171
岡田　知弘（おかだ　ともひろ）……171
岡田　弥生（おかだ　やよい）……171
岡東　　務（おかとう　つとむ）……171
岡根　好彦（おかね　よしひこ）……171
岡野　圭壹（おかの　けいいち）……171
岡本　武之（おかもと　たけゆき）……171
岡本登太郎（おかもと　とおたろう）…172
岡本　久之（おかもと　ひさゆき）……172
小川　和憲（おがわ　かずのり）……172
奥　　康平（おく　こうへい）……172
奥田　宏司（おくだ　こうじ）……172
奥田　幸助（おくだ　こうすけ）……172
奥田　真也（おくだ　しんや）……172
小倉　明浩（おぐら　あきひろ）……172
治部　浩三（おさべ　こうぞう）……172
乙政　正太（おとまさ　しょうた）……173

〔カ行〕　**賀川　真理（かがわ　まり）**……173
垣口　克彦（かきぐち　かつひこ）……173
角田　修一（かくた　しゅういち）……174
笠原　民子（かさはら　たみこ）……175

氏　　名　　ページ

笠原　靖子（かさはら　やすこ）……175
柏尾　昌哉（かしお　まさや）……175
梶山　国宏（かじやま　くにひろ）……175
片山　陽仁（かたやま　はるひと）……175
勝木　宏昭（かつき　ひろあき）……175
加藤　邦興（かとう　くにおき）……175
加藤　正治（かとう　まさはる）……175
加藤　康子（かとう　やすこ）……175
加藤　義忠（かとう　よしただ）……176
金尾　敏寛（かなお　としひろ）……176
金戸　　武（かねと　たけし）……176
神尾登喜子（かみお　ときこ）……176
上岡　義雄（かみおか　よしお）……176
川口　清史（かわぐち　きよふみ）……177
川島　哲郎（かわしま　てつろう）……177
川島　利雄（かわしま　としお）……177
川端　庸子（かわばた　やすこ）……177
川満　直樹（かわみつ　なおき）……177
姜　　寛保（かん　ぐわんぼ）……177
神崎道太郎（かんざき　みちたろう）…177
神沢　正典（かんざわ　まさのり）……177
岸本　　實（きしもと　みのる）……178
喜多　克己（きた　かつみ）……178
喜多　隆子（きた　たかこ）……178
北畠　利信（きたばたけ　としのぶ）…178
来村多加史（きたむら　たかし）……178
木下　　滋（きのした　しげる）……178
木原　正雄（きはら　まさお）……179
金　　昌植（きむ　ちゃんしっく）……179
木本　忠昭（きもと　ただあき）……179
吉良　　実（きら　みのる）……179
熊谷　圭知（くまがい　けいち）……180
熊野　實夫（くまの　じつお）……180
鞍岡　和人（くらおか　かずひと）……180
栗原　　弘（くりはら　ひろむ）……180
栗原　　優（くりはら　まさる）……180
黒滝　正昭（くろたき　まさあき）……180
鍬田　邦夫（くわた　くにお）……181
稽　　海榮（けい　かいえい）……181

	氏　　名	ページ
	胡　　金定（こ　きんてい）	181
	顧　　順蓮（こ　じゅんれん）	181
	呉　　震（ご　しん）	181
	小磯かをる（こいそ　かをる）	181
	高　　烈夫（こう　れつお）	181
	GOH Kim Chuan	
	（ゴウ　キム　チェン）	182
	神田　敏英（こうだ　としひで）	182
	河野　勝彦（こうの　かつひこ）	182
	国領　苑子（こくりょう　そのこ）	182
	児島　俊弘（こじま　としひろ）	182
	小寺　正洋（こでら　まさひろ）	182
	後藤　　洋（ごとう　ひろし）	183
	小間　富蔵（こま　とみぞう）	183
	小松　弘明（こまつ　ひろあき）	183
	小松　善雄（こまつ　よしお）	183
	米浪　信男（こめなみ　のぶお）	183
	小森田精子（こもりた　せいこ）	184
	小山　　薫（こやま　かおる）	184
	小山　大介（こやま　だいすけ）	184
〔サ行〕	蔡　　明哲（さい　めいてつ）	184
	齊藤　　正（さいとう　ただし）	184
	斎藤　徳男（さいとう　のりお）	184
	斉藤　　豊（さいとう　ゆたか）	184
	酒井　明子（さかい　あきこ）	184
	坂梨　正知（さかなし　まさとも）	184
	坂寄　俊雄（さかより　としお）	185
	崎濱　秀行（さきはま　ひでゆき）	185
	櫻井　公人（さくらい　きみひと）	185
	櫻井　智美（さくらい　さとみ）	186
	櫻井　哲男（さくらい　てつお）	186
	桜田　照雄（さくらだ　てるお）	186
	笹川儀三郎（ささかわ　ぎさぶろう）	186
	佐竹　隆幸（さたけ　たかゆき）	186
	佐藤　秀樹（さとう　ひでき）	187
	佐藤　康彦（さとう　やすひこ）	187
	真田　桂子（さなだ　けいこ）	187
	佐野　博美（さの　ひろみ）	187
	沢田　進一（さわだ　しんいち）	187
	沢田　允夫（さわだ　のぶお）	187
	Sherrill Grace（シェリル　グレース）	188
	塩路　有子（しおじ　ゆうこ）	188
	地代　憲弘（じだい　のりひろ）	188
	島　　浩二（しま　こうじ）	188
	島津　展子（しまず　のぶこ）	189
	島田　三郎（しまだ　さぶろう）	189
	清水苗穂子（しみず　なほこ）	189
	下地　真樹（しもじ　まさき）	189
	Jan D. Metheny	
	（ジャン　D　メッセーニ）	189
	Joe Jacobs（ジョウ　ヤコブ）	189
	新熊　邦男（しんくま　くにお）	189
	新宅　　彰（しんたく　あきら）	190
	新谷　　勝（しんたに　まさる）	190
	神野　　尚（じんの　ひさし）	190
	水津　雄三（すいつ　ゆうぞう）	190
	末政　芳信（すえまさ　よしのぶ）	191
	杉尾　敏明（すぎお　としあき）	191
	杉野　ゆり（すぎの　ゆり）	192
	杉村　和子（すぎむら　かずこ）	192
	杉本　昭七（すぎもと　しょうしち）	192
	須崎　　実（すざき　みのる）	192
	鈴木　　稔（すずき　みのる）	193
	鈴木　康夫（すずき　やすお）	193
	鈴木洋太郎（すずき　ようたろう）	193
	鈴木　良美（すずき　よしみ）	193
	Steven Silsbee	
	（スティーブン　シルスビー）	193
	隅田　悦子（すみだ　えつこ）	193
	角谷由美子（すみたに　ゆみこ）	193
	寿山　泰二（すやま　やすじ）	194
	駿河　輝和（するが　てるかず）	194
	関　　恒義（せき　つねよし）	194
	関　　智宏（せき　ともひろ）	194
	瀬戸崎康子（せとざき　やすこ）	195
	早田武四郎（そうだ　たけしろう）	195

	氏　　名	ページ
〔タ行〕	醍醐　　聰（だいご　さとし）	195
	平　　實（たいら　みのる）	195
	高崎　京子（たかさき　きょうこ）	195
	高田　正淳（たかだ　まさあつ）	196
	髙橋　一馬（たかはし　かずま）	196
	高橋　　慧（たかはし　さとし）	196
	高橋美代子（たかはし　みよこ）	196
	髙橋庸一郎（たかはし　よういちろう）	196
	高林　則明（たかばやし　のりあき）	198
	田上　博司（たがみ　ひろし）	198
	瀧川　　禅（たきがわ　ゆずる）	198
	田口　幸一（たぐち　こういち）	199
	田口　信夫（たぐち　のぶお）	199
	田窪　直規（たくぼ　なおき）	199
	竹内　啓一（たけうち　けいいち）	199
	武知　京三（たけち　きょうぞう）	200
	武中　照夫（たけなか　てるお）	200
	田坂　敏雄（たさか　としお）	200
	橘　　博（たちばな　ひろし）	200
	辰巳　浅嗣（たつみ　あさつぐ）	200
	辰本　頼弘（たつもと　よしひろ）	201
	立見　淳哉（たてみ　じゅんや）	201
	立山　善康（たてやま　よしやす）	201
	田中　紀子（たなか　のりこ）	201
	棚橋美代子（たなはし　みよこ）（高橋美代子）	201
	田邊　光政（たなべ　みつまさ）	201
	谷川多佳子（たにがわ　たかこ）	201
	谷口　廣之（たにぐち　ひろゆき）	201
	谷田　庄三（たにだ　しょうぞう）	202
	田端　信広（たばた　のぶひろ）	202
	玉田　晃一（たまだ　こういち）	202
	田村　公一（たむら　こういち）	202
	田谷　博吉（たや　ひろきち）	202
	千本　暁子（ちもと　あきこ）	203
	千森　幹子（ちもり　みきこ）	203
	翟　　宜疆（ちゃい　ぎきょう）	203
	中條　良美（ちゅうじょう　よしみ）	203
	趙　　莉萍（ちょう　りぴん）	203
	陳　　端端（ちん　たんたん）	203
	陳　　力（ちん　りき）	203
	辻　　悟一（つじ　ごいち）	204
	辻　　裕子（つじ　ひろこ）	204
	辻　　義教（つじ　よしみち）	204
	津島　陽子（つしま　ようこ）	205
	辻本　歌織（つじもと　かおり）	206
	辻本　庸子（つじもと　ようこ）	206
	津田　幸雄（つだ　ゆきお）	206
	筒井　茂義（つつい　しげよし）	206
	堤　　稔子（つつみ　としこ）	206
	堤　　正史（つつみ　まさふみ）	206
	堤　　實（つつみ　みのる）	206
	鶴坂　貴恵（つるさか　たかえ）	207
	鶴嶋　　鉄（つるしま　てつ）	207
	鄭　　久信（てい　ひさのぶ）	207
	鄭　　萍（てい　ぴん）	207
	手塚　義雄（てづか　よしお）	207
	寺尾　晃洋（てらお　こうよう）	207
	土居　英二（どい　えいじ）	208
	土居　康男（どい　やすお）	208
	東井　正美（とうい　まさみ）	208
	道家　達将（どうけ　たつまさ）	208
	堂面　秋芳（どうめん　あきよし）	208
	徳山　　廣（とくやま　ひろし）	208
	藤倉　恵子（とくら　けいこ）	209
	友田　絵理（ともだ　えり）	209
	豊田　　尚（とよだ　ひさし）	209
	虎田　雋雄（とらた　とらお）	209
	鳥畑　与一（とりはた　よいち）	209
〔ナ行〕	中井　永子（なかい　ひさこ）	209
	仲井　秀昭（なかい　ひであき）	210
	中雄　　勇（なかお　いさむ）	210
	中尾　　務（なかお　つとむ）	211
	仲上　　哲（なかがみ　てつ）	211
	中川　スミ（なかがわ　すみ）	211
	中川　涼司（なかがわ　りょうじ）	211

氏　　名　　ページ

中桐　大有（なかぎり　たいゆう）……212
中久保邦夫（なかくぼ　くにお）……212
中澤まゆみ（なかざわ　まゆみ）……212
長澤　憲正（ながさわ　のりまさ）……212
中島　克巳（なかしま　かつみ）……212
中島篤之助（なかじま　とくのすけ）…212
中曽　久雄（なかそ　ひさお）……212
永田　節子（ながた　せつこ）……212
永田　拓治（ながた　たくじ）……212
永田　　均（ながた　ひとし）……213
永谷　秀雄（ながたに　ひでお）……213
中道　信廣（なかみち　のぶひろ）……213
仲村　　修（なかむら　おさむ）……214
中村　公彌（なかむら　きんや）……214
中村　静治（なかむら　せいじ）……214
中村　　宏（なかむら　ひろし）……214
中村　雅秀（なかむら　まさひで）……215
中村　泰行（なかむら　やすゆき）……215
中村　吉紀（なかむら　よしき）……215
中山恵利子（なかやま　えりこ）……215
中山　信夫（なかやま　のぶお）……215
永山　利和（ながやま　としかず）……215
西　　淳（にし　あつし）……216
西　　洋（にし　ひろし）……216
尼寺　義弘（にじ　よしひろ）……216
西浦　義道（にしうら　よしみち）……218
西岡　俊哲（にしおか　としさと）……218
西川　清治（にしかわ　きよはる）……218
西島　吉典（にしじま　よしのり）……218
西田　　勝（にしだ　まさる）……219
西村多嘉子（にしむら　たかこ）……219
西村　頼男（にしむら　よりお）……219
西本　真弓（にしもと　まゆみ）……219
西脇　典彦（にしわき　のりひこ）……219
二塚　正也（にづか　まさや）……220
根岸　　紳（ねぎし　しん）……220
根本　則明（ねもと　のりあき）……220
野一色　勲（のいしき　いさお）……221
野崎　哲哉（のざき　てつや）……221

氏　　名　　ページ

野澤　正徳（のざわ　まさのり）……221
能登　征夫（のと　ゆきお）……221
野間　正二（のま　しょうじ）……221
野村　雅庸（のむら　まさのぶ）……221
野村　康秀（のむら　やすひで）……222

〔ハ行〕　Hershey Wier（ハーシー　ワイヤ）……222
PARSONS, Martin
（パーソンズ　マーティン）……222
伯井　泰彦（はくい　やすひこ）……222
硲　　正夫（はざま　まさお）……222
橋本　　勲（はしもと　いさお）……222
橋本　英司（はしもと　えいじ）……223
橋本　圭司（はしもと　けいじ）……223
橋本　卓爾（はしもと　たくじ）……223
橋本　寛之（はしもと　ひろゆき）……223
橋本　博之（はしもと　ひろゆき）……223
長谷川　清（はせがわ　きよし）……224
長谷川恵洋（はせがわ　しげひろ）……224
葉谷　明子（はたに　あきこ）……224
服部　史朗（はっとり　しろう）……224
服部　　正（はっとり　ただし）……225
服部　文男（はっとり　ふみお）……225
服部　泰彦（はっとり　やすひこ）……225
羽石　寛寿（はねいし　かんじゅ）……225
馬場　崇豪（ばば　たかひで）……225
馬場　雅昭（ばば　まさあき）……225
林　　克樹（はやし　かつき）……226
林野　滋樹（はやしの　しげき）……226
羽山　通子（はやま　みちこ）……227
速水　　敏（はやみ　さとし）……227
伴　　和夫（ばん　かずお）……227
樋口　　武（ひぐち　たけし）……227
肥田　友宏（ひだ　ともひろ）……228
日夏　　隆（ひなつ　たかし）……228
平尾　武久（ひらお　たけひさ）……228
平野喜一郎（ひらの　きいちろう）……228
平原　豊弘（ひらはら　とよひろ）……228
平山　　弘（ひらやま　ひろし）……228

	氏　　名	ページ
	廣野由美子（ひろの　ゆみこ）	229
	深井　耀子（ふかい　ようこ）	229
	深沢　和子（ふかさわ　かずこ）	229
	福井　信行（ふくい　のぶゆき）	230
	福尾　洋一（ふくお　よういち）	230
	福重　八恵（ふくしげ　やえ）	230
	福島　利夫（ふくしま　としお）	230
	福冨　正実（ふくとみ　まさみ）	230
	福山　　昭（ふくやま　あきら）	232
	藤井　勝也（ふじい　かつや）	232
	藤井幸之助（ふじい　こうのすけ）	232
	藤井　政則（ふじい　まさのり）	232
	藤野　寛之（ふじの　ひろゆき）	233
	船勢　　肇（ふなせ　はじめ）	233
	逸見　　啓（へんみ　あきら）	233
	細井　克彦（ほそい　かつひこ）	233
	細川　裕史（ほそかわ　ひろふみ）	234
	Bonar, Martin Burnet	
	（ボナー　マーティン　バーネット）	234
	堀池　保昭（ほりいけ　やすあき）	234
	堀江　珠喜（ほりえ　たまき）	234
	堀川　紀年（ほりかわ　きねん）	234
	洪　　詩鴻（ほん　しほん）	234
〔マ行〕	前田　　弘（まえだ　ひろし）	234
	前野冨士生（まえの　ふじお）	235
	前山　　隆（まえやま　たかし）	235
	牧野　広義（まきの　ひろよし）	235
	増田　　優（ますだ　まさる）	236
	町田　　茂（まちだ　しげる）	236
	松井　清充（まつい　きよみつ）	236
	松尾　力雄（まつお　りきを）	236
	松岡　俊三（まつおか　しゅんぞう）	237
	松岡　　弘（まつおか　ひろし）	238
	松掛　　暢（まつかけ　とおる）	238
	松口　春美（まつぐち　はるみ）	238
	松田　　清（まつだ　きよし）	238
	松宮　秀治（まつみや　しゅうじ）	239
	松本伊瑳子（まつもと　いさこ）	239
	松本　健二（まつもと　けんじ）	239
	松本　俊哉（まつもと　としや）	239
	松本　典昭（まつもと　のりあき）	239
	丸瀬　康裕（まるせ　やすひろ）	240
	水野　　学（みずの　まなぶ）	240
	溝井　高志（みぞい　たかし）	240
	御園　謙吉（みその　けんきち）	240
	湊　由妃子（みなと　ゆきこ）	240
	南　　清彦（みなみ　きよひこ）	240
	南　　良成（みなみ　よしなり）	241
	美馬　佑造（みま　ゆうぞう）	241
	三村　寛一（みむら　かんいち）	241
	三村　達也（みむら　たつや）	241
	宮田　道雄（みやた　みちお）	241
	宮本　　敞（みやもと　あきら）	241
	宮本　憲一（みやもと　けんいち）	241
	明神　信夫（みょうじん　のぶお）	241
	三好　清記（みよし　せいき）	241
	ミルトン・チェン	
	（みるとん　ちぇん）	241
	三輪　禎夫（みわ　さだお）	242
	向　　壽一（むかい　じゅいち）	242
	村杉　　健（むらすぎ　けん）	242
	村田　誠一（むらた　せいいち）	242
	村田　充八（むらた　みちや）	242
	毛利　良一（もうり　りょういち）	243
	森　　健一（もり　けんいち）	243
	森　健嗣朗（もり　けんじろう）	243
	森　　俊治（もり　しゅんじ）	243
	森　　博美（もり　ひろみ）	243
	森井　淳吉（もりい　じゅんきち）	243
	森重　昌之（もりしげ　まさゆき）	245
	森田　憲導（もりた　のりみち）	245
	森田　安洋（もりた　やすひろ）	245
	森本　芳生（もりもと　よしお）	246
	森本　好則（もりもと　よしのり）	246
〔ヤ行〕	八木橋慶一（やぎはし　けいいち）	246
	矢倉研二郎（やぐら　けんじろう）	246

氏　　名　　ページ

安井　恒則（やすい　つねのり）……246
安福恵美子（やすふく　えみこ）……247
矢田　俊文（やだ　としふみ）……247
山内　孝幸（やまうち　たかゆき）……247
山川　偉也（やまかわ　ひでや）……247
山崎　秋夫（やまざき　あきお）……248
山崎　俊雄（やまざき　としお）……248
山崎　祐子（やまざき　ゆうこ）……248
山田　勝裕（やまだ　かつひろ）……248
山田　隆夫（やまだ　たかお）……249
山名　伸作（やまな　しんさく）……249
山野加代枝（やまの　かよえ）……249
山本　栄一（やまもと　えいいち）……249
山本　謙治（やまもと　けんじ）……249
山本　純子（やまもと　じゅんこ）……250
山本　泰三（やまもと　たいぞう）……250
山本　　直（やまもと　なお）……250
山本　義徳（やまもと　よしのり）……250
由井　　浩（ゆい　ひろし）……251
Yoko Wilson（ヨーコ　ウィルソン）……251
吉井　清文（よしい　きよふみ）……251
吉井　参也（よしい　しんや）……251
吉岡志津世（よしおか　しづよ）……251
吉岡みのり（よしおか　みのり）……251
吉門　昌宏（よしかど　まさひろ）……251
吉兼　秀夫（よしかね　ひでお）……252
吉川　　茂（よしかわ　しげる）……252
吉城　唯史（よしき　ただし）……252
吉田　敬一（よしだ　けいいち）……252
吉田　謙二（よしだ　けんじ）……252
吉田　　忠（よしだ　ただし）……253
吉村　耕治（よしむら　こうじ）……253
吉村　　励（よしむら　つとむ）……253
米田　　貢（よねだ　みつぐ）……253

〔ラ行〕　Ramachandran NATARAJAN
（ラマチャンドラン　ナタラジャン）…253
Larry Walker（ラリー　ウォーカー）…253
李　　潔（り　じ）……253

氏　　名　　ページ

李　　仕健（り　しけん）……253
李　　長青（り　ちゃんぐぃん）……254
李　　柏令（り　はくれい）……254
劉　　貞得（りゅう　ていとく）……254
林　　宏作（りん　ほんつぉ）……254
Rebecca Kalmans
（レベッカ　カルマン）……254

〔ワ行〕　若菜　建志（わかな　けんじ）……254
脇　夕希子（わき　ゆきこ）……254
和久　宗利（わく　むねとし）……255
和佐　敦子（わさ　あつこ）……255
和田　一雄（わだ　かずお）……255
和田　幸子（わだ　さちこ）……255
和田　隆子（わだ　たかこ）……255
（喜多隆子）
和田　　渡（わだ　わたる）……255
渡辺　　馨（わたなべ　かおる）……256
渡辺　和子（わたなべ　かずこ）……256
渡辺　邦博（わたなべ　くにひろ）……256
渡辺　　昇（わたなべ　のぼる）……256
渡辺　漠子（わたなべ　ひろこ）……256
渡　　哲郎（わたり　てつろう）……257
王　　科唯（わん　けーうぇい）……257

巻　号　別　目　次

第１巻　（1969年２月）「阪南大学論集」

論　　説

証券業者の性質 …… 今野　勉　1―14
田園詩考 …… 稲田菊太郎　15―39

研究ノート

租税法律主義と租税平等主義の相互関係 …… 吉良　実　62―77
Studies on Criminal Investigation …… 三好　清記　1―9

資　　料

W. C. B. セイヤーズ著「図書分類法入門」…… 羽山　通子　40―61

第２巻　第１・２合併号（1970年３月）「阪南論集」（本号より誌名変更）

論　　文

市場類似施設 …… 今野　勉　1―28
人間関係的経営参加論の史的展開 …… 奥田　幸助　29―83
争議行為の目的の正当性――政治ストの問題を中心として―― …… 池田栄太郎　97―110
フォスケットの分類論 …… 羽山　通子　111―122

研究ノート

アリスタイオス神話に関するノート …… 稲田菊太郎　85―95

第３巻　第１・２合併号（1971年３月）

論　　文

経営経済学の実践的価値について …… 三輪　禎夫　1―26
商品取引所をめぐる保険取引
――とくにベーシス取引について（一）―― …… 今野　勉　27―40
会計の管理的側面
――リトルトン教授・ジンマーマン教授の所説について―― …… 上田　雅通　41―66
リーダーシップに関する一考察
――バーナード理論を中心として―― …… 高橋　慧　67―84
無能力者の裏書と手形の善意取得 …… 田邊　光政　85―116

公企業（国家資本）における生産過程と流通過程（一）
——寺尾晃洋教授の所説の検討を中心にして—— …… 小間　富蔵　117—147
アエネイス再考——その第六巻の解明より—— …… 稲田菊太郎　149—178
物理学と実体概念 …… 沢田　允夫　179—205
『虹』における Aspiration について …… 永谷　秀雄　207—224
メツラー算式に関する考察 …… 坂梨　正知　235—261
書　評
仙田正雄教授古稀記念図書館資料論集
——横井時重、加藤宗厚両教授の論文について—— …… 羽山　通子　225—234

第 4 巻　第 1・2 合併号（1971 年 12 月）

論　文
商品取引所をめぐる保険取引
——とくにベーシス取引について（二）—— …… 今野　勉　1—28
手形交付契約欠缺の抗弁に関する一考察 …… 田邊　光政　29—65
株式会社法と民法四三条（一） …… 新谷　勝　67—98
我が国に於ける統治行為論について …… 須崎　実　99—119
国家的規制と国家独占資本主義
——本源的蓄積期における財政投融資との関連で—— …… 小間　富蔵　121—146
価値表現の分極性 …… 尼寺　義弘　147—174
分割地所有と農業の資本主義化 …… 田口　幸一　175—194
イデアと数——Aristoteles, De anima, 404 b 16-27—— …… 山川　偉也　195—210
W. S. Maugham の二つの要素 …… 松尾　力雄　1—23
後期 T. S. Eliot におけるバロック詩人（1） …… 中井　永子　25—65
資　料
泉大津市宮座史料集（一） …… 大越　勝秋　211—254

第 5 巻　第 1・2 合併号（1972 年 10 月）

論　文
統一手形法と英米手形法における善意保護 …… 田邊　光政　1—20
シュナイダーの統治行為論について …… 今野　勉　21—42
生成の場——Platon,《Timaeus》篇の一解釈—— …… 山川　偉也　1—33
D. H. Lawrence の *The Fox* について …… 永谷　秀雄　35—57
詩人 D. H. Lawrence の研究（Ⅰ） …… 松尾　力雄　59—100
後期 T. S. Eliot におけるバロック詩人（2） …… 中井　永子　101—135

Kerygma Jesu und die Religiöse Situation in Japan（1）
——Ein Versuch nach Möglichkeit der Begegnung des
Grundkerygmas Jesu mit dem Zen-Buddhismus—— …… 松口　春美　137—150
資　　料
泉大津市宮座史料集（二）…… 大越　勝秋　43—67

第６巻　（1972年12月）

論　　文
価値表現の両極の「逆の連関」について（上）
——宇野理論の一検討—— …… 尼寺　義弘　1—19
公企業の「現代的」研究方法とその理論について …… 小間　富蔵　1—21
人間関係論をめぐる一考察 …… 高橋　　慧　23—38
寡占企業と過剰能力 …… 前野冨士生　39—63
詩人D. H. Lawrenceの研究（Ⅱ）…… 松尾　力雄　65—105
Kerygma Jesu und die Religiöse Situation in Japan（2）
——Ein Versuch nach Möglichkeit der Begegnung des
Grundkerygmas Jesu mit dem Zen-Buddhismus—— …… 松口　春美　127—146
研究ノート
会計の連続と変化（1）
——リトルトン・ジンマーマンの所説について—— …… 上田　雅通　107—125
資　　料
泉大津市宮座史料集（三）…… 大越　勝秋　21—46
原始共同体的体制から封建制度への東スラヴ人たちの
直接的移行の諸原因の問題によせて（Ⅰ）…… И. B. ソージン　47—65
福冨　正実（訳）

第７巻　（1973年２月）

論　　文
The Three More Elements to the Picaresque Novel …… 松尾　力雄　1—32
現代における人間の問題 …… 山川　偉也　33—77
感性的世界、物理学の世界と実在の世界の相互関係（一）…… 沢田　允夫　1—17
イギリス法に於けるActs of Stateについて（一）…… 須崎　　実　19—37
研究ノート
会計の連続と変化（2・完）
——リトルトン・ジンマーマンの所説について—— …… 上田　雅通　79—101

資　　料
泉大津市宮座史料集（四）……大越　勝秋　39―60
原始共同体的体制から封建制度への東スラヴ人たちの
直接的移行の諸原因の問題によせて（Ⅱ）……И. B. ソージン　61―74
福冨　正実（訳）
書　　評
デヴィッド・クーミーズ著　欧州共同体における政治と官僚制
――EEC委員会のポートレート――……辰巳　浅嗣　75―89

第8巻　（1973年5月）

論　　文
会計理論の歴史的展望
――リトルトン・ジンマーマンの所説について――……上田　雅通　1―27
価値表現の両極の「逆の連関」について（下）
――宇野理論の一検討――……尼寺　義弘　1―32
感性的世界、物理学の世界と実在の世界の相互関係（二）……沢田　允夫　33―49
資　　料
会計諸行為間の相互関係（1）
――リトルトン・ジンマーマンの所説――……上田　雅通　29―53
前階級的社会の階級社会への転化の問題にかんする
シンポジウム……A. И. パヴロフスカヤ　55―76
福冨　正実（訳）
泉大津市宮座史料集（五）……大越　勝秋　51―75

第9巻　第1号（1973年7月）

論　　文
国際通貨制度と国際収支調整……橋本　博之　1―15
農民的分割地所有論における福冨説とその検討（上）
――「封建的土地所有の解体」過程から生ずる「農民的分割
地所有範疇」に焦点をおいて――……田口　幸一　1―21
研究ノート
企業行動と過剰能力……前野冨士生　17―39
資　　料
古代東洋における初期階級社会の成立……B. M. マッソン　41―69
福冨　正実（訳）

会計諸行為間の相互関係（2・完）
——リトルトン・ジンマーマンの所説—— …… 上田　雅通　71—94
泉大津市宮座史料集（六） …… 大越　勝秋　23—47

第 9 巻　第 2 号（1973 年 10 月）

論　　文
ロゴスとテクネー（Ⅰ）
——古代ギリシア哲学におけるロゴス概念解明のための
予備的考察—— …… 山川　偉也　1—32
レイマン（R. A. Rayman）資金理論の一研究 …… 中村　　宏　33—55
農民的分割地所有論における福冨説とその検討（中）
——「封建的土地所有の解体」過程から生ずる「農民的分割
地所有範疇」に焦点をおいて—— …… 田口　幸一　23—43
資　　料
「奴隷制」概念と「封建制」概念について …… Ю. В. カチァノフスキー　57—83
福冨　正実（訳）
泉大津市宮座史料集（七） …… 大越　勝秋　1—22

第 9 巻　第 3 号（1973 年 12 月）

論　　文
最高裁判所の憲法裁判権について …… 須崎　　実　1—10
Sons and Lovers における human relations …… 永谷　秀雄　11—29
判 例 研 究
所得の帰属者の判定と法人格否認の法理 …… 吉良　　実　1—14
資　　料
ソビエト民族学によって解明された家族と婚姻の初期の諸形態
…… А. И. ペルシッツ　31—47
福冨　正実（訳）
済州島潜女集落（Ⅰ） …… 稲田菊太郎　49—83
泉大津市宮座史料集（八） …… 大越　勝秋　15—37
書　　評
ヤーコプ・フォン・ユクスキュル，ゲオルク・クリサート著／
日高敏隆，野田保之訳『生物から見た世界』
（思索社，pp. XXⅡ + 307，昭和 48 年 6 月 30 日発行） …… 山川　偉也　85—93

第９巻　第４号（1974年２月）

論　　文

自己自身であるということ――デカルト的省察をめぐって―― …… 山川　偉也　1―43
企業報告の進化（1）
――リトルトン・ジンマーマンの所説について―― …… 上田　雅通　45―67

資　　料

氏族種族制的体制から初期封建体制への過渡的発展段階としての前封建時代
（初期中世西ヨーロッパ史の資料にもとづいて） …… A. И. ネウスィヒン　69―99
福冨　正実（訳）
Jack J. ケンプナー氏，資金運用表の実証的研究（1）
――年次報告書にふくめられた資金運用表の実態調査―― …… 中村　宏　101―124
和泉市宮座史料集（1） …… 大越　勝秋　1―41

第９巻　第５号（1974年４月）

論　　文

統治行為論について …… 須崎　実　1―11
貨幣の仮定と平価切下げの有効性――小宮モデルに沿って―― …… 坂梨　正知　13―54
広告について――グーテンベルグ理論を中心として―― …… 高橋　慧　55―73
比較近代化論における官僚制研究の視角 …… 辰巳　浅嗣　75―107
企業報告の進化（2・完）
――リトルトン・ジンマーマンの所説について―― …… 上田　雅通　109―134
労働争議行為の刑法的意義（一）――その序論的一考察―― …… 垣口　克彦　1―31
農民的分割地所有論における福冨説とその検討（下）
――「封建的土地所有の解体」過程から生ずる「農民的分割
地所有範疇」に焦点をおいて―― …… 田口　幸一　33―56

資　　料

永遠について［Ⅲ 7（45），1―6］ …… プロチノス　135―164
山川　偉也（訳）
M. Dorothy George, *London Life in the Eighteenth Century*
（First published 1925）. pp. 457, Peregrine Books, 1966. …… 松尾　力雄　165―173
和泉市宮座史料集（2） …… 大越　勝秋　57―81

第９巻　第６号（1974年６月）

論　　文

貨幣の必然性（Ⅰ）――宇野理論の一検討―― …… 尼寺　義弘　1―26

不完全競争におけるエントリーの脅威

――R. F. Harrod and G. Pyattを中心に―― …… 前野冨士生　27―50

ロゴスとテクネー（Ⅱ）

――古代ギリシァ哲学におけるロゴス概念解明のための

予備的考察―― …… 山川　偉也　51―83

実質所得者課税の原則（1） …… 吉良　実　1―46

物理学と実在（一） …… 沢田　允夫　47―67

資　　料

「原価配分」の検討――リトルトン・ジンマーマンの所説―― …… 上田　雅通　85―119

リトルトン・ジンマーマンの外部伝達論（1） …… 上田　雅通　121―147

Jack J. ケンプナー氏，資金運用表の実証的研究（2）

――公認会計士事務所における資金運用表の実態調査―― …… 中村　宏　149―168

和泉市宮座史料集（3） …… 大越　勝秋　69―97

翻　　訳

「大地のすすり泣き」 …… ジュール・ラフォルグ　169―205

中井　永子（訳）

第10巻　第１号（1974年８月）

論　　文

貨幣の必然性（Ⅱ）――宇野理論の一検討―― …… 尼寺　義弘　1―24

労働争議行為の刑法的意義（二・完）――その序論的一考察―― …… 垣口　克彦　1―30

実質所得者課税の原則（2） …… 吉良　実　31―60

資　　料

リトルトン・ジンマーマンの外部伝達論（2・完） …… 上田　雅通　25―43

H. ファイグルの《心―身同一説》についての対話形式による

若干の論評 …… 山川　偉也　45―74

和泉市宮座史料集（4） …… 大越　勝秋　61―90

第10巻　第２号（1974年10月）

論　　文

国家資本に関する若干の問題――その資本概念を中心にして―― …… 小間　富蔵　1―44

貨幣の必然性（Ⅲ）――宇野理論の一検討―― …… 尼寺　義弘　45―80
A Study on William Blake――Insane or not ?―― …… 松尾　力雄　81―94
資　料
Jack J. ケンプナー氏，資金運用表の実証的研究（3）
――銀行家による資金運用表の利用実態―― …… 中村　宏　95―114
和泉市宮座史料集（5） …… 大越　勝秋　1―30

第10巻　第3号（1974年12月）

論　文
国家資本の資本的性格について …… 小間　富蔵　1―20
いわゆる「個人的所有」について（Ⅰ） …… 田口　幸一　21―43
実質所得者課税の原則（3） …… 吉良　実　1―40
憲法解釈の方法について …… 須崎　実　41―51
資　料
和泉市宮座史料集（6） …… 大越　勝秋　53―81

第10巻　第4号（1975年3月）

論　文
マッハルプ「外国為替理論」の研究（Ⅰ）
――図表による分析―― …… 坂梨　正知　1―31
資　料
ソクラテスの死 …… C. ギル　33―40
山川　偉也（訳）
Jack J. ケンプナー氏，資金運用表の実証的研究（4・完）
――証券アナリストによる資金運用表の利用実態―― …… 中村　宏　41―61
和泉市宮座史料集（7） …… 大越　勝秋　1―30

第10巻　第5号（1975年4月）

論　文
「ポリシー・ミックス」について …… 坂梨　正知　1―31
貨幣の必然性（Ⅳ）――宇野理論の一検討―― …… 尼寺　義弘　33―61
A Study on William Blake
――The Essence of the Songs of Innocence―― …… 松尾　力雄　63―89

研究ノート
ヨーロッパ統合過程におけるEDC構想挫折の意味
——超国家性の再検討による—— …… 辰巳　浅嗣　91—114
資　料
和泉市宮座史料集（8） …… 大越　勝秋　1—27

第10巻　第6号（1975年6月）

論　文
国家資本の理論と国家的所有（上） …… 小間　富蔵　1—25
いわゆる「個人的所有」について（Ⅱ） …… 田口　幸一　27—52
研究ノート
経済循環と均衡成長——Smithiesモデルによせて—— …… 前野冨士生　53—67
資　料
リトルトン・ジンマーマンの会計士責任論 …… 上田　雅通　69—102
マルクス主義とマウラーのマルク論 …… А. И. ダニーロフ　103—121
福冨　正実（訳）
和泉市における宮座　① …… 大越　勝秋　1—27

第11巻　第1号（1975年10月）

論　文
マッハルプ「外国為替理論」の研究（Ⅱ）
——図表による分析—— …… 坂梨　正知　1—19
マッハルプ「外国為替理論」の研究（Ⅲ）
——図表による分析—— …… 坂梨　正知　21—34
アメリカの1940年代後半における減価償却実践をめぐって
——特に自由私企業体制の危機感との関連—— …… 明神　信夫　35—62
研究ノート
Dubliners における unity——Paralysis を中心にして—— …… 永谷　秀雄　63—71
資　料
会計の合理的正当化——リトルトン・ジンマーマンの所説—— …… 上田　雅通　73—98
「社会会計」とは何か——リトルトン・ジンマーマンの所説—— …… 上田　雅通　99—129
和泉市における宮座　② …… 大越　勝秋　1—26

第11巻　第2号（創立10周年記念法学・政治学特輯）（1975年11月）

論　　文

呑行為の私法上の効力 …… 今野　勉　1―13
ドイツにおける振替取引
――現金を用いない合理的支払取引―― …… 田邊　光政　15―61
税法学の方法論序説 …… 吉良　実　63―132
基本的人権の保障 …… 須崎　実　133―177
可罰的違法性論の展開過程
――伝統的な可罰的違法性論の確立―― …… 垣口　克彦　179―256
ヨーロッパ統合過程におけるEDC構想挫折の意味（1）
――ECSCとの比較論的一考察―― …… 辰巳　浅嗣　257―302
フィネー・ミラーの低価主義論
――リトルトン・ジンマーマンの所説に寄せて―― …… 上田　雅通　303―326
マッハルプ「外国為替理論」の研究（Ⅳ）
――図表による分析―― …… 坂梨　正知　327―349

研究ノート

購買力平価と交易条件
――「マッハルプ『外国為替理論』の研究」の補論として―― …… 坂梨　正知　351―360

第11巻　第3号（1976年3月）

論　　文

貨幣価値変動会計に関する一考察
――リトルトン・ジンマーマンの所説を中心として―― …… 上田　雅通　1―54
マッハルプ「外国為替理論」の研究（Ⅴ）
――図表による分析―― …… 坂梨　正知　55―68
国家資本の理論と国家的所有（下） …… 小間　富蔵　69―87
貨幣の必然性（Ⅴ）――宇野理論の一検討―― …… 尼寺　義弘　89―112
A Study on William Blake
――The Essence of the Songs of Experience―― …… 松尾　力雄　113―151
「移行」の文学――アラゴンの作品を中心にして（Ⅰ）―― …… 中村　泰行　153―180

資　　料

済州島潜女集落（Ⅱ） …… 稲田菊太郎　181―216
和泉市における宮座　③ …… 大越　勝秋　1―38

第11巻　第4号（創立10周年記念一般教養特輯）（1976年3月）

論　　文

A Study on William Blake
——The Essence of the Marriage of Heaven and Hell—— …… 松尾　力雄　1—55
Death in *Paradise Lost*
——In the Light of *De Doctrina Christiana*—— …… 渡辺　昇　57—100
On the Notion of "Participation" in Plato's Theory of Ideas …… 山川　偉也　101—116
アラゴンの方法について——『レ・コミュニスト』の場合—— …… 中村　泰行　117—154
Henry Millerとmysticism
——*Tropic of Cancer*から*The Colossus of Maroussi*まで—— … 秋山　安永　155—170
運動学習における一考察——視覚的機能の影響について—— …… 中雄　勇　171—181
河内地方における入会山の分布と山郷 …… 大越　勝秋　1—22

第11巻　第5号（1976年3月）

論　　文

『社会会計』への接近について
——リトルトンとジンマーマンの所説の吟味—— …… 上田　雅通　1—20
経営経済学と国民経済学 …… 高橋　慧　21—36
大学における体育の意義 …… 堤　實　37—44
APB意見書第19号の資金計算書の考察 …… 中村　宏　45—61
A Fatal Aporia between "Productive Labour"
and "National Income"? …… 西川　清治　63—80
〈哲学研究〉とバルザックのリアリズム
——"L'Auberge rouge"を中心として—— …… 中村　泰行　93—122
*Paradise Lost*に現われたMiltonの予定論 …… 渡辺　昇　123—147
Milton's Idea of Freedom and His Bible-Centered
Point of View（1） …… 渡辺　昇　149—191

研究ノート

総合研究としての「社会福祉論」のための基礎概念 …… 西川　清治　81—92

資　　料

イデオロギーと科学的知識 …… ジュリアン・S. ハックスリー　1—47
沢田　允夫（訳）

第11巻　第6号（創立10周年記念経済学特輯）（1976年3月）

論　　文

マクロモデルにおける経済成長と総合収支
——小宮（1969）モデルのAppendixを中心に—— …… 坂梨　正知　1—53
個人的所有の諸問題 …… 田口　幸一　55—72
国際経済の不安定性 …… 橋本　博之　73—96
エントリーと最適価格政策 …… 前野冨士生　97—114

研究ノート

Return to Adam Smith, particularly in Consideration of Public Finance …… 西川　清治　125—134
マーシャルの第一編 …… 速水　敏　135—140

資　　料

A few Impressions on the International Congress of Scientists of the Human Environment, Held at the Kyoto International Conference Hall from 17th to 25th November 1975 …… 西川　清治　115—123

第12巻　第1号（1976年11月）

論　　文

「アブソープション・アプローチ」再考（Ⅰ）
——マッハルプのアレグザンダー批判に沿って—— …… 坂梨　正知　1—15
参入阻止価格についての一考察 …… 前野冨士生　17—30
「移行」の文学——アラゴンの作品を中心にして（Ⅱ）—— …… 中村　泰行　31—64
Milton's Idea of Freedom and His Bible-Centered Point of View（2） …… 渡辺　昇　65—102
日本国憲法第九条と統治行為 …… 須崎　実　1—17

資　　料

ウォーレン氏のAPB意見書第19号に関する実態調査 …… 中村　宏　103—116
岸和田市宮座史料目録 …… 大越　勝秋　19—57

第12巻　第2号（1976年12月）

論　　文

Adam Smith's Opinion on Expences of Commonwealth, particularly in Consideration of the Office of "Watchman" and "Cheap Government". …… 西川　清治　1—37

研究ノート
貿易差額弾力性に関するノート
——「アブソープション・アプローチ」再考への数学的補足—— …… 坂梨　正知　39—54
資　料
岸和田市における宮座　① …… 大越　勝秋　1—28

第12巻　第3号（1977年1月）

論　文
価値形態論の根本問題（1）——価値の実体規定との関係—— …… 尼寺　義弘　1—14
英文法における五文型について …… 林野　滋樹　15—34
リカードの修正価値論とスラッファ理論 …… 揚　武雄　35—74
プルードン賃金論の展開 …… 津島　陽子　85—131
資　料
シュナイダー　国際的受払の特殊性 …… 坂梨　正知　75—84

第12巻　第4号（1977年2月）

論　文
『荒地』と教会 …… 佐野　博美　1—16
E. A. Poe:“William Wilson”について …… 津田　幸雄　17—29
判例研究
使用窃盗と不法領得の意思 …… 垣口　克彦　1—16
資　料
シュナイダー　国際収支 …… 坂梨　正知　31—45
シュナイダー　国際収支と外国為替市場 …… 坂梨　正知　47—61

第12巻　第5号（1977年3月）

論　文
コンビナートにおける技術・管理・労働（1）
——戦後鉄鋼独占体の一貫製鉄所を例として—— …… 安井　恒則　1—26
資　料
シュナイダー　国際収支調整過程 …… 坂梨　正知　27—38
シュナイダー　交替的な国際通貨制度 …… 坂梨　正知　39—60
岸和田市における宮座　② …… 大越　勝秋　1—26

第12巻　第6号（1977年5月）

論　　文

A Study on William Blake
——The Essence of the Mental Traveller—— …… 松尾　力雄　1—20

Paradise Lost における美の変貌 …… 渡辺　昇　21—47

判例研究

国家的・社会的法益に向けられた詐欺的行為と詐欺罪の成否 …… 垣口　克彦　1—12

研究ノート

国家独占資本主義と国家独占（国家資本）にかんする一考察（1）…… 小間　富蔵　85—112

“Sanskrit and the Establishment of Comparative Grammar” …… 長谷川恵洋　113—126

資　　料

クラウス・ティーデマン
「ドイツ連邦共和国における経済刑法と経済犯罪の状況」…… 垣口　克彦　49—69

シュナイダー　現代の国際通貨制度 …… 坂梨　正知　71—83

第13巻　第1号（1977年8月）

論　　文

“Fiscal theory of Adam Smith”
——In Commemoration of the Bycentenary of “the Wealth of Nations”（邦語によるその要旨と若干の補足）—— …… 西川　清治　1—12

ヨーロッパ統合過程におけるEDC構想挫折の意味（2・完）
——ECSCとの比較論的一考察—— …… 辰巳　浅嗣　13—56

E. Pauline Johnson論
——あるカナダ・インディアン詩人の場合—— …… 渡辺　昇　57—81

Endocentric and Exocentric Structures …… 長谷川恵洋　83—104

議院の議事手続と統治行為 …… 須崎　実　1—18

資　　料

シュナイダー　合衆国の国際収支問題 …… 坂梨　正知　105—117

岸和田市における宮座　③ …… 大越　勝秋　19—45

第13巻　第2号（1977年9月）

論　　文

コール（W. M. Cole）の資金計算書の理論 …… 中村　宏　1—21

Supplementary Remarks on Wealth in A. Smith
and National Income In K. Marx …… 西川　清治　23―38
Das Irrationale in der Kunst …… 村田　誠一　39―46
着地分析――体操競技に於ける跳馬運動を中心として―― …… 藤井　政則　47―56
資　料
シュナイダー　現行制度の欠陥とその改革案 …… 坂梨　正知　57―77
共産主義者同盟――1847―1852年―― …… 且.リヤザノフ　79―108
福冨　正実（訳）
岸和田市における宮座　④ …… 大越　勝秋　1―30

第13巻　第3号（1977年11月）

論　文
Basic Method to reseach Contemporary Public Finance
in Our Country …… 西川　清治　1―15
不安定―低所得階層論（一）――貧困再生産のメカニズム―― …… 小川　和憲　17―32
George Orwellの*Burmese Days*について
――彼の倫理観を中心に―― …… 秋山　安永　33―46
S.クレインの「題材」の意味――『マギー』をとおして―― …… 津田　幸雄　47―59
運動技術に関する一考察
――体育における運動技術のとらえ方―― …… 西田　勝　61―68
研究ノート
19世紀末の資産評価概念 …… 金戸　武　69―84
翻　訳
現代米詩論Ⅰ「高貴なる騎手と言葉の響き」…… ウォーレス・スティーブンズ　85―112
中井　永子（訳）

第13巻　第4号（1977年12月）

論　文
AICPAによる資金計算書の変革と啓蒙 …… 中村　宏　1―19
不安定―低所得階層論（二）――貧困再生産のメカニズム―― …… 小川　和憲　21―38
日本のことわざに多く見られる数詞3を用いる日本人の
意識構造と数詞3の神秘性について
――日本語の表現方法の一考察―― …… 吉村　耕治　39―53
マクベスの本音と時代の本音 …… 井上　准治　55―83

資　　料

岸和田市における宮座　⑤……大越　勝秋　1―10

翻　　訳

現代米詩論Ⅱ「特異表現と技巧」……マリアン・ムーア　85―104
中井　永子（訳）

第13巻　第5号（1978年2月）

論　　文

Direct Democracy or Democratic Centralization ?……西川　清治　1―10

エリスンとコスモスの思想――“*Invisible Man*”をめぐって――…神野　尚　11―36

マーク・トゥエインとアメリカのほら話
――習作期トゥエイン研究――……福井　信行　37―57

ゼーレン・キェルケゴールにおける精神の概念と絶望の諸相……溝井　髙志　59―87

資　　料

障害児……森田　憲導　109―157

翻　　訳

現代米詩論Ⅲ「新しいリズム」　ウィリアム・カルロス・ウィリアムズ
「わが詩への序」　ｅｅカミングズ
「総体的目的と理論」　ハート・クレイン
「クレイン氏から編集者
（ハリエット・モンロー）殿へ」　ハート・クレイン
中井　永子（訳）　89―108

第13巻　第6号（1978年3月）

論　　文

価値形態論の根本問題（2）――価値の実体規定との関係――……尼寺　義弘　1―17

Some Iconic Scenes in *Antony and Cleopatra*……朝原　早苗　19―37

Formulation of the Linear Susceptibility for a Weakly
Inhomogeneous Magnetoplasma with Small Collisions……池村　勉　39―57

経済犯罪の問題性
――スイス刑法雑誌における論争を素材としての
「経済犯罪研究」の前提作業――……垣口　克彦　59―96

研究ノート

国家独占資本主義と国家独占（国家資本）にかんする一考察（2）…小間　富蔵　97―116

資　　料
「小荘園領主」概念の提起におけるネウスィヒンとダニーロフ …… 福冨　正実　141―183
翻　　訳
現代米詩論Ⅳ「詩人と都市」…… W. H. オーデン　117―139
中井　永子（訳）

第14巻　第1号（1978年8月）

論　　文
A short History of Methodology of Economics（1）…… 西川　清治　1―27
コンビナートにおける技術・管理・労働（2）
――戦後鉄鋼独占体の一貫製鉄所を例として―― …… 安井　恒則　29―79
相対的過剰人口の形成・累積について …… 小川　和憲　81―110
詐欺師・仮面・懐疑
――H. Melville, *The Confidence-Man* 研究―― …… 野間　正二　111―125
資　　料
ドイツトゥルネン活動におけるヤーン像の変遷（1）…… W. シュレーダー　127―151
藤井　政則（訳）
岸和田市における宮座　⑥ …… 大越　勝秋　1―25

第14巻　第2号（1978年10月）

論　　文
フィニー（H. A. Finney）の資金計算書の理論 …… 中村　宏　1―19
最適価格，生産物，在庫と不確実性 …… 前野冨士生　21―44
Parametric Decay of a Self-Trapped Strong Electromagnetic
Wave into Two Langmuir Waves. I. Pump Properties and
Coupled Equations …… 池村　勉　45―74
アイドル・コストの一考察 …… 松岡　俊三　75―102
The King's Grief in *Richard Ⅱ*:
An Essay on Shakespeare's History Plays …… 井上　准治　103―164

第14巻　第3号（1978年12月）

論　　文
Development of Human Society and Cities …… 西川　清治　1―40

資　　料

K. Bucknerによる「会計に対するリトルトンの貢献」(1) …… 上田　雅通 (訳)　41―51
ドイツトゥルネン活動におけるヤーン像の変遷 (2) …… W. シュレーダー　53―77
藤井　政則 (訳)
カール・マルクス　『資本論』フランス語版第6篇「労賃」
第19章「労働力の価値または価格の労賃への転化」…… 中川　スミ (訳)　79―95

第14巻　第4号 (1979年2月)

論　　文

Nonlinear Penetration of Externally Excited Electrostatic
Ion Cyclotron Waves into an Inhomogeneous Plasma …… 池村　勉　1―38
エリスンと創造的否定 (1)
――“*Invisible Man*”に於ける主人公「僕」の生き方をめぐって――
…… 神野　尚　39―144
同和教育論の今日的争点――東上・西両氏の所論批判―― …… 杉尾　敏明　1―38
阮籍の詠懐詩に現われた神仙思想 …… 林　宏作　39―78

第14巻　第5号 (1979年3月)

論　　文

A Short History of Methodology of Economics (2) …… 西川　清治　1―28
価値表現の「回り道」の論理について (1)
――単純な価値形態の分析―― …… 尼寺　義弘　29―47
戦後日本の出生力低下とその社会経済的要因について …… 小川　和憲　49―78
社会的価値と個別的価値 …… 梅垣　邦胤　79―109
18世紀におけるロンドンの市民生活 (1) …… 永谷　秀雄　111―127
ゼーレン・キェルケゴールにおける愛の概念 …… 溝井　高志　129―163
エリスンと創造的否定 (2)
――“*Invisible Man*”に於ける主人公「僕」の生き方をめぐって――
…… 神野　尚　165―205
BAUDELAIREにおける散文詩の問題
――散文詩*L'Invitation au Voyage*を通して―― …… 丸瀬　康裕　207―239

資　　料

クラウス・ティーデマン「経済犯罪学的研究の目標と課題」…… 垣口　克彦　241―252

第14巻　第6号（1979年3月）

論　　文

Modern and Contemporary Problems of Urbanization …… 西川　清治　1―38
エスケレ（Paul-Joseph Esquerré）の資金計算書の理論 …… 中村　宏　39―57
Exodus from Self: M. Moore's Animal Poems …… 中井　永子　59―89
3つあるものの内の重点の置かれ方と各性質について
――言語文化的視点から日本の民俗を中心にして―― …… 吉村　耕治　91―118
幼児の身体発達と運動（1） …… 森田　憲導　177―203

資　　料

K. Bucknerによる「会計に対するリトルトンの貢献」（2） …… 上田　雅通（訳）　119―147
20世紀初頭のロシヤ正教会改革運動 …… H. C. ゴルジエンコ　149―176
П. K. クロチキン
井尻　良夫（訳）

第15巻より社会科学編と人文・自然科学編に分かれ，社会科学編，人文・自然科学編の順に記載。

〈社会科学編〉

第15巻　第1号（1979年8月）

論　　文

不完全競争と不確実性 …… 前野冨士生　1―5
コンビナートにおける技術・管理・労働（3）
――戦後鉄鋼独占体の一貫製鉄所を例として―― …… 安井　恒則　7―24
ライヒスバンクの信用構造について
――金融資本成立期を中心に―― …… 松田　清　25―41
現代日本資本主義と相対的過剰人口 …… 小川　和憲　43―53

第15巻　第2・3号（1980年3月）西川清治博士追悼号

論　　文

The Case of Methyl Mercury Poisoning Among Indians in
Northwestern Ontario, Canada …… 宮本　憲一　3―15
最近の都市経営論の特徴と問題点 …… 植田　政孝　17―29

地方行政の効率化と協力方式
——とくに「阪神広域市」構想を中心として—— …… 藤井　勝也　31—52
林直道氏＝不破哲三氏の理論とわたしの立場
——アジア的生産様式は原始共同体の別名であると
認められるか？—— …… 福冨　正実　53—100
“商業”とは何か？——“商業学”の対象領域について—— …… 虎田　傅雄　101—108
初版『資本論』「価値形態」の研究（1） …… 尼寺　義弘　109—118
通貨圏理論の発展とEMU（欧州通貨同盟） …… 樋口　　武　119—131
現代自主管理思想批判
——『自主管理と社会主義』誌10周年記念特集号にみられる
最近の論調について—— …… 津島　陽子　133—157
日本における米系多国籍企業の位置
——商務省統計と通産省統計の検討を通して—— …… 中村　雅秀　159—183

特別号関連記事

西川清治博士　追悼の辞 …… 田谷　博吉
西川清治教授の思い出 …… 硲　　正夫　1—2
西川清治博士略歴・著作目録 …… 185—190
西川清治博士追悼号　編集後記 …… 191

第15巻　第4号（1980年3月）布井孝良教授退任記念号

論　　文

会計の歴史的遺産
——A. C. リトルトンの見解に対する吟味—— …… 上田　雅通　1—10
資金計算書と減価償却——とくに純利益修正法について—— …… 中村　　宏　11—22
SEC取替原価情報算定へのアプローチ …… 明神　信夫　23—39
会計に対する株式会社の影響 …… 金戸　　武　41—51
日本幣制の近代化過程 …… 田谷　博吉　53—61
マルクスのプルードン批判について …… 津島　陽子　63—73
アイドル・コストの期間原価性 …… 松岡　俊三　75—89
日本造船業の発達と問題——第二次世界大戦まで—— …… 新熊　邦男　91—104

特別号関連記事

布井孝良教授退任記念号によせて …… 吉良　　実
布井孝良教授略歴・著作目録 …… 105—106

第16巻　第1号（1980年11月）

論　　文

イギリスにおける法の支配とActs of State …… 須崎　　実　　1―14
コンビナートにおける技術・管理・労働（4）
――戦後鉄鋼独占体の一貫製鉄所を例として―― …… 安井　恒則　　15―33
企業成長と効用関数 …… 前野冨士生　　35―42
個人的所有とエンゲルスの解釈について …… 田口　幸一　　43―59
初版『資本論』「価値形態」の研究（2） …… 尼寺　義弘　　61―73

研究ノート

マルクス地代論の形成および展開とリービヒ評価
――マルクスの「近代的農業」論と「社会の生産力」概念（1）――
…… 福冨　正実　　75―88

第16巻　第2号（1981年3月）

論　　文

実質把握課税主義（上） …… 吉良　　実　　1―23
十九世紀末イギリスにおける住宅政策の展開
――「土地問題」とのかかわりにおいて―― …… 島　　浩二　　25―38
Acts of Stateと統治行為 …… 須崎　　実　　39―49

研究ノート

東方からのキリスト教――正教会考―― …… 井尻　良夫　　63―72

翻　　訳

装飾的意匠と応用美術の著作物 …… ルードヴイッヒ・ハイト　　51―62
生駒　正文（訳）

第16巻　第3・4号（1981年5月）田谷博吉教授退任記念号
速水　敏教授退任記念号

論　　文

元禄期淀川低地の水利事情 …… 福山　　昭　　1―10
近世後期農村の米穀需給構造
――河州三好氏采地横小路村の場合―― …… 美馬　佑造　　11―27
都市交通史の研究――和歌山の市内電車について―― …… 武知　京三　　29―42
価値尺度について …… 硲　　正夫　　43―48

十九世紀後半イギリス都市におけるリースホウルド制について
——1889年委員会報告の検討を中心として——……島　浩二　49—64
「資本不足」と資本輸出（上）
——1908年Bankenqueteの一論点——……松田　清　65—76
特別号関連記事
田谷博吉教授退任記念号によせて……堂面　秋芳
速水敏教授退任記念号によせて……堂面　秋芳
田谷博吉教授略歴・著作目録……77—80
速水敏教授略歴・著作目録……81—82

第17巻　第1号（1981年9月）

論　　文
実質把握課税主義（下）……吉良　実　1—16
企業の規模と成長について……前野冨士生　17—26
Как К. Маркс и Ф. Энгельс Относятсяк
Русскому Языку……井尻　良夫　27—34
翻　　訳
『ピエール・ジョセフ・プルードンその学説及び生涯』（1890年）
……カール・ディール　35—70
津島　陽子（訳）

第17巻　第2号（1982年3月）

論　　文
初版『資本論』「価値形態」の研究（3）……尼寺　義弘　1—12
コンビナートにおける技術・管理・労働（5）
——戦後鉄鋼独占体の一貫製鉄所を例として——……安井　恒則　13—48
Acts of Stateの法的性質……須崎　実　49—60
翻　　訳
Herbert Spencerの四つの社会進化理論……R. G. ペラン　61—77
山田　隆夫（訳）

第17巻　第3号（1982年3月）虎田雋雄教授退任記念号

論　　文

効用と需要 …… 安部　栄造　1―23
80年代の技術開発の模索とコンドラチェフ波動理論 …… 中村　静治　25―53
イギリス学校制度におけるパートナーシップの考察について
――国民教育における国家の地位究明のために―― …… 岩橋　法雄　55―64
N. ベルジャーエフと「新しい宗教意識」
――ベルジャーエフのクレド―― …… 松口　春美　65―74

翻　　訳

マックス・ウェーバー　マルクスの亡霊との闘争 …… I. M. ツァイトリン　75―84
山田　隆夫（訳）

特別号関連記事

虎田雋雄教授退任記念号によせて …… 渡辺　　馨
虎田雋雄教授年譜・著作目録 …… 85―87

第17巻　第4号（1982年6月）社会科学編　人文・自然科学編合併号
経済学部創設10周年記念号

論　　文

価格指数 …… 安部　栄造　1―18
藩札――江戸時代の紙幣―― …… 田谷　博吉　19―21
サプライ・サイド・エコノミックスについて …… 橋本　博之　23―26
貨幣と商業 …… 虎田　雋雄　27―37
イギリスにおける1908年老齢年金法の成立と労働運動（その一） …… 深沢　和子　39―50
The Future of Futures Trading in Japan …… 今野　　勉　51―70
公害犯罪処罰法の問題性 …… 垣口　克彦　71―90
レーニンの鉄道論と自動車工業論
――現代自動車工業論序説の一齣―― …… 中村　静治　91―101
憲法の変遷 …… 須崎　　実　103―112
Todayness in John Ashbery's Ingenious Indirectness …… 中井　永子　113―126

資　　料

大学受験生の実態と意識――受験浪人の意識調査を中心に―― …… 中山　信夫　143―157
大学生の体力からみた健康問題 …… 平原　豊弘　159―181
和泉地方における中世宮座史料 …… 大越　勝秋　1―13

翻　　訳

ウェーバー・テーゼ　プロテスタンチズムと資本主義 …… I. M. ツァイトリン　127―142
山田　隆夫（訳）

特別号関連記事

経済学部創設10年に当って …… 鈴木　稔　Ⅰ
経済学部10周年記念号に寄せて …… 渡辺　馨　Ⅱ
阪南大学と私の「経済学」…… 速水　敏　Ⅲ―Ⅳ

第18巻　第1号（1982年8月）

論　　文

「食糧安全保障論」の一考察 …… 田口　幸一　1―13
租税平等の原則――利子所得課税に関連して―― …… 吉良　実　15―32

研究ノート

農民層分解の現実と「農用地利用増進事業」
――羽曳野市駒ケ谷ブドウ産地と高知県大方町ハウス野菜産地の
農家実態調査にもとづいて―― …… 森井　淳吉　89―97

資　　料

K. Bucknerによる「会計に対するリトルトンの貢献」（3）…… 上田　雅通（訳）　33―59
無神論と社会主義社会の精神的文化 …… B. A. ゾーツ　61―71
井尻　良夫（訳）

翻　　訳

マックス・ウェーバー　世界の宗教 …… I. M. ツァイトリン　73―88
山田　隆夫（訳）

書　　評

村岡健次著『ヴィクトリア時代の政治と社会』…… 島　浩二　99―102

第18巻　第2号（1982年11月）

論　　文

資金計算書上の“資金”概念の歴史的考察
――1925年の論争を中心に―― …… 中村　宏　1―12
対応概念の再考 …… 松岡　俊三　13―31
若きフォイエルバッハにおける『反ヘーゲルの批判』…… 喜多　隆子　33―42

資　　料

K. Bucknerによる「会計に対するリトルトンの貢献」（4）…… 上田　雅通（訳）　43―69

翻　　訳

マックス・ウェーバー　政治社会学と政治的価値 …… I. M. ツァイトリン　71―74
山田　隆夫（訳）

第18巻　第3号（1983年2月）硲正夫教授退任記念号

論　　文

総合研究開発機構『農業自立戦略の研究』の批判的検討 …… 梅川　勉　1―14
競争による市場価値の成立
――「不明瞭な箇所」との関連において―― …… 東井　正美　15―29
都市問題と農業――都市と農村の融合に関する一試論―― …… 橋本　卓爾　31―47
マルクスの労働組合論 …… 吉村　励　49―63
成熟経済下の地域政策 …… 川島　哲郎　65―80
「農業＝先進国型産業論」批判
――マルクス主義農業理論の内部批判と関連して―― …… 福冨　正実　81―103
田口　幸一
マルクスの「貨幣取扱資本」論について
――信用論と「貨幣取扱資本」範疇―― …… 松田　清　105―127

研究ノート

1960年代、70年代における山村の変貌と80年代の当面する課題 …… 森井　淳吉　129―142

特別号関連記事

硲　正夫教授の定年退職に当って …… 渡辺　馨
硲　正夫教授年譜　略歴・著作目録 …… 143―148

第18巻　第4号（1983年3月）津島陽子助教授追悼号

論　　文

Hilferding: 1921年――通貨・財政政策と「社会化」―― …… 黒滝　正昭　1―16
1860年代初期のドイツ労働運動と協同組合の思想 …… 後藤　洋　17―36
公害犯罪立法問題に関する一考察
――改正刑法草案における公害犯罪の新設について―― …… 垣口　克彦　37―51
住宅問題と鉄道
――ヴィクトリア期ロンドンの「郊外鉄道」に関する一試論――
…… 島　浩二　53―63
社会主義と共同占有――「個人的所有の再建」論争によせて―― …… 田口　幸一　65―83
イギリスにおける公共住宅供給政策の生成
――1890年労働者階級住宅法の成立まで―― …… 深沢　和子　85―100
《むらの再生》と社会主義――甦るエンゲルス―― …… 福冨　正実　101―134
宇野派の「貨幣取扱資本」否認説について …… 松田　清　135―158

特別号関連記事

津島陽子助教授追悼号に序して …… 渡辺　馨
『経済学・哲学手稿』事始――津島陽子さんの思い出―― …… 服部　文男　1―4

不撓不屈の探究者・津島陽子さんを偲びて …… 平　　實　　5―7
津島陽子先生を偲んで …… 国領　苑子　　8
津島さんと私 …… 深井　耀子　　9
津島陽子助教授年譜　略歴・学会活動・著作目録 …… 159―162

第19巻　第1号（1983年6月）

論　　文

公益事業規制とその基準
――行政におけるデュ・プロセス・オブ・ロウを求めて―― …… 熊野　實夫　　1―15
財産権と生存権 …… 須崎　　実　　17―23
Zum Widerspruch in der Objektiven Realität
――Unter Besonderer Berücksichtigung des
Austauschprozesses der Ware―― …… 尼寺　義弘　　25―36
若きフォイエルバッハにおける『ライプニツの哲学』
～ „Leibniz'sche Philosophie“ beim Jungen Feuerbach ～ …… 喜多　隆子　　37―46
1860年代イギリス・ドイツ初期協同組合運動の一断面
――《*Le Travail*》をとおして―― …… 中久保邦夫　　47―62

第19巻　第2号（1983年12月）故堂面秋芳教授追悼号

論　　文

大阪におけるローカル・ユニオン
――日労大阪地方労働組合会議の歩み―― …… 大谷　　勉　　1―15
一般均衡理論の一断面 …… 安部　栄造　　17―31
公労法違反の争議行為と刑事罰――その予備的考察―― …… 垣口　克彦　　33―46
手形の偽造について
――手形偽造者の責任についての一考察―― …… 髙橋　一馬　　47―54
Hegels Theorie vom Uriteil und Marx' Theorie von der Wertform … 尼寺　義弘　　55―79
19世紀末イギリスにおける住宅問題をめぐる労働者の見解について … 深沢　和子　　81―91
公共財の提供と宅地開発指導要綱
――受益者負担の理論の検討を通して―― …… 藤井　勝也　　93―104
現代大工業における競争と企業内分業
――巨大鉄鋼企業における販売部門の拡大と生産部門との
関係を例として―― …… 安井　恒則　　105―129

特別号関連記事

堂面秋芳教授　哀辞 …… 木原　正雄

堂面秋芳と私――その36年―― …… 服部　正　Ⅰ―Ⅷ
故堂面秋芳教授略歴・研究業績 …… 131―134

第19巻　第3号（1984年1月）故梅森正行教授追悼号

論　　文

食生活の変化と食肉の流通構造 …… 川島　利雄　1―18
青果物卸売市場における野菜集荷の動向と地域・地場流通の課題 … 沢田　進一　19―35
都市農業と都市農政の歴史的推移と背景 …… 南　清彦　37―53
宛米帳よりみた地主生活の崩壊とその周辺 …… 和田　一雄　55―67
わが国の原子力政策の特徴 …… 木原　正雄　69―77
The English Landed Aristocracy in the Late 19th Century …… 島　浩二　79―85
日本農業の再生とマルクス・エンゲルスの農民論
――マルクス主義農民論序説―― …… 田口　幸一　87―111
宇野弘蔵氏の取得様式論抜きの経済学原理論と《社会主義》学説
――現代社会主義論争の展開と宇野経済学の
自己破綻について（1）―― …… 福冨　正実　113―137

研究ノート

日本の海外直接投資と東南アジア経済
――1970年代における日本の資本輸出急増―― …… 森井　淳吉　139―155

特別号関連記事

梅森正行教授　哀辞 …… 木原　正雄
梅森教授の思い出 …… 鈴木　稔　Ⅰ―Ⅳ
故梅森正行教授年譜　略歴・著作目録 …… 157―160

第19巻　第4号（1984年3月）中村静治教授退任記念号

論　　文

「情報化」過程における技術，労働，生活様式の変化について
―― 一つの試論―― …… 池上　惇　1―12
高齢化と婦人 …… 坂寄　俊雄　13―28
「新しい産業」の発展と独占資本の動向
――ベンチャー・ビジネス論批判―― …… 水津　雄三　29―65
取得様式論抜きの宇野学派的《マルクス批判》と《エンゲルス批判》の妄想
――現代社会主義論争の展開と宇野経済学の
自己破綻について（2）―― …… 福冨　正実　67―104
山村の経済変貌と1980年代の課題――高知県の事例を中心に―― … 森井　淳吉　105―133

特別号関連記事

中村静治教授退任記念号によせて …… 山崎　俊雄
中村静治教授略歴・研究業績 …… 135―144

第20巻　第1号（1984年6月）

論　　文

会社更生手続の法制および実務の企業財務論・会計理論的考察 …… 熊野　實夫　1―16
議院内閣制 …… 須崎　実　17―26
社会主義社会と住民の宗教性 …… 井尻　良夫　27―40
伝統的監査と分析的監査との交渉 …… 武中　照夫　41―49

研究ノート

サービス産業と小零細自営業 …… 水津　雄三　77―112

資　　料

K. Bucknerによる「会計に対するリトルトンの貢献」（5・完） … 上田　雅通（訳）　51―76

第20巻　第2号（1984年11月）鈴木稔教授退任記念号

論　　文

アメリカ農業労働者の現状とデータ問題 …… 喜多　克己　1―15
統計利用と情報表現の問題
――農業統計調査が当面している調査方法上の困難について――
…… 児島　俊弘　17―29
農業センサスにおける農家の経営組織分類の展開 …… 豊田　尚　31―46
農業統計における農業および農家の定義について …… 長澤　憲正　47―58
プロダクト・ライフサイクルをめぐる諸問題 …… 山本　義徳　59―71
課税要件事実の認定 …… 吉良　実　73―85
新植民地主義下のフィリピン経済発展と外資導入促進
――政治過程との関連を中心に―― …… 森井　淳吉　87―106
寡占価格論――反応係数について―― …… 前野冨士生　107―121

研究ノート

中小零細企業の企業経営をめぐる新しい問題（上）
――「営業費」問題の発生について―― …… 水津　雄三　123―148

特別号関連記事

鈴木稔教授退任記念号によせて …… 樋口　武
餞士蝟集 …… 長澤　憲正
鈴木稔教授略歴・研究業績 …… 149―150

第20巻　第3号（1985年1月）

論　　文

中長期輸出金融の展開とアメリカ輸出入銀行 …… 神沢　正典　1―16
消費者物価指数の一考察 …… 新熊　邦男　17―27
製品ライフ・サイクルと価格政策 …… 松岡　俊三　29―47
マルクスの「価値尺度」論について
――宇野弘蔵氏のマルクス批判を手掛りに―― …… 松田　清　49―60

研究ノート

中小零細企業の企業経営をめぐる新しい問題（下）
――営業費問題と収益性の新動向―― …… 水津　雄三　61―79

書　　評

森教授の所説をめぐる問題点について
――森俊治著『研究開発管理論第5版』1981年有信堂高文社――
…… 山本　義徳　81―90
笹川儀三郎・石田和夫編『現代企業のホワイトカラー労働』
（上・下）1984年大月書店 …… 逸見　啓　91―98

第20巻　第4号（1985年3月）創立20周年記念論文集

論　　文

イギリスにおける1908年老齢年金法の成立と労働運動（その二）…. 深沢　和子　1―13
1970年代以降大阪市域の産業構造の変化 …… 木下　滋　15―33
実額課税と推計課税上の問題 …… 吉良　実　35―47
「ヨーロッパ政治協力」（EPC）におけるEC委員会の役割と限界（1）
…… 辰巳　浅嗣　49―63
通説的価値尺度論の問題点について
――久留間鮫造・三宅義夫両氏の所説の検討―― …… 松田　清　75―91
日本国憲法の定める財政作用について …… 須崎　実　93―102

研究ノート

「ベンチャービジネス」と地域経済
――地方自治体のベンチャービジネス育成策と
「テクノポリス」計画批判―― …… 水津　雄三　121―143
フィリピンの経済発展と外資導入促進
――1970年代から80年代はじめの時期―― …… 森井　淳吉　145―165

資　　料

「ヨーロッパ政治協力」（EPC）に関するEC委員会職員との
インタヴュー（資料）…… 辰巳　浅嗣　65―73

中世文化と時間概念
——A. Я. グレヴィチの著書『中世文化の諸カテゴリー』に
おける「中世人の時間意識」論の紹介〔Ⅰ〕—— …… 福冨　正実　103—120
特別号関連記事
20周年記念誌発刊を迎えて …… 柏尾　昌哉

第21巻　第1号（1985年6月）

論　　文
19世紀中頃のイギリス鉄道会計に関する一考察 …… 金戸　武　1—31
中長期輸出金融の新展開
——フォーフェイティングを中心に—— …… 神沢　正典　33—57
財政公開の基礎 …… 熊野　實夫　59—72
研究ノート
T. U. C. の住宅政策——1909年住宅・都市計画法まで—— …… 深沢　和子　127—140
資　　料
東南アジア地域の農業・食糧生産と日本経済との関連 …… 森井　淳吉　73—93
中世文化と時間概念（Ⅱ）
——A. Я. グレヴィチの著書『中世文化の諸カテゴリー』に
おける「中世人の時間意識」論の紹介〔Ⅱ〕—— …… 福冨　正実　95—107
現代の神学と哲学 …… オクタヴィアン・ケツァン　109—125
井尻　良夫（訳）

第21巻　第2号（1985年9月）

論　　文
南北貿易下の交易条件と債務累積
——諸勢力の要求実現行動との関係を中心に—— …… 石黒　馨　1—24
地方自治について …… 須崎　実　25—33
「ヨーロッパ政治協力」（EPC）におけるEC委員会の
役割と限界（2） …… 辰巳　浅嗣　35—56
ハイデガーのヒューマニズム …… 喜多　隆子　57—75
高度情報化社会と法
——商業帳簿等とコンピューター（一）—— …… 永田　均　77—94
研究ノート
山村地域における経済発展と農林業の動向
——高知県十和村の場合—— …… 森井　淳吉　113—133

資　　料

中世文化と時間概念
——A. Я. グレヴィチの著書『中世文化の諸カテゴリー』における「中世人の時間意識」論の紹介〔Ⅲ〕—— …… 福冨　正実　95—112

第21巻　第3号（1986年1月）安部栄造教授退任記念号

論　　文

要素需要曲線は何故必ず右下がりとなるのか？ …… 森本　好則　1—24
凸拡張関数の連続性 …… 福尾　洋一　25—38
主成分による回帰係数の推定 …… 井上　勝雄　39—50
製造業2部門計量モデル——素材型と加工型—— …… 根岸　紳　51—75
サイクル・アプローチの実践に関する考察 …… 山田　勝裕　77—99
研究者の研究テーマ決定への参加とモチベーション・業績について
——インダストリアル・リサーチの実態調査から—— …… 大橋　岩雄　101—127
経費決定要因の研究——概念的・理論的側面を中心にして—— …… 藤井　勝也　129—143
「国際為替手形および国際約束手形に関する条約草案」における保証人 …… 髙橋　一馬　145—154
「ヨーロッパ政治協力」（EPC）におけるEC委員会の役割と限界（3・完） …… 辰巳　浅嗣　155—166
比較静学に関する一研究——均衡値の変動—— …… 前野冨士生　167—180
J. ロー以降の〈貨幣論争〉と経済認識
——フランスにおける経済学の生成の一局面—— …… 大田　一廣　181—196
わが国の現在の失業者の計測についての一考察 …… 新熊　邦男　197—210

特別号関連記事

安部栄造教授退任記念号によせて …… 樋口　武
安部栄造教授年譜・著作目録 …… 211—213

第21巻　第4号（1986年3月）故紀俊輔教授追悼号

論　　文

国債政策と日銀国債買オペレーション …… 岩橋　昭廣　1—16
日米金融摩擦に関する一考察 …… 神沢　正典　17—32
Post-War Trade Development of Japan …… 中村　雅秀　33—44
経営原価の発生と責任会計 …… 松岡　俊三　45—61
「貨幣は必ず金でなければならない」か？
——マルクス「価値尺度」論の一解釈によせて—— …… 松田　清　63—75

研究ノート

マーケティングと消費者――価格問題を中心として―― …… 西村多嘉子　77―87
両大戦間期イギリスの持家居住と公営住宅 …… 島　浩二　89―99
資本主義的経済発展のもとでのタイ農業の構造変化
――1960年頃からの20年間について―― …… 森井　淳吉　101―117

翻　訳

マルクスの“筆跡”の研究
――君の悪筆に再びお目にかかれて非常に嬉しかった――
…… ハインリッヒ・ゲムコー　119―126
尼寺　義弘（訳）

特別号関連記事

紀俊輔教授　哀辞 …… 大橋　岩雄
故紀俊輔教授略歴・業績目録 …… 127

第22巻　第1号（1986年6月）

論　文

中小企業問題の新局面と労働組合運動をめぐる諸問題
――中小企業労働組合運動の発展方向の研究―― …… 水津　雄三　1―19
物上請求権一考（1） …… 辻　義教　21―25
投資，為替変動及び対外不均衡
――インフレーション・経済成長を考慮して―― …… 石黒　馨　27―41
知る権利 …… 須崎　実　43―51

判例研究

比率法に基づく推計課税 …… 吉良　実　53―62

資　料

アメリカにおける世界平和・核兵器廃絶への祈念と行進
――日本山妙法寺木津博充師からの聞き書きを中心に
（その1）―― …… 杉尾　敏明　63―90

翻　訳

マルクスと私――犯人の筆跡―― …… クルト・ミュラー　91―94
尼寺　義弘（訳）

第22巻　第2号（1986年9月）

論　文

物上請求権一考（2） …… 辻　義教　1―7

タイの米政策と世界のコメ市場 …… 森井　淳吉　9―31
資　料
イギリス大西部鉄道の共済制度――規約とその特質―― …… 深沢　和子　33―49
日本における世界平和・核兵器廃絶への祈念と行進
――日本山妙法寺木津博充師からの聞き書きを中心に
（その２）―― …… 杉尾　敏明　51―71
翻　訳
マルクスの“筆跡”と犯罪学 …… クルト・ミュラー　73―78
尼寺　義弘（訳）

第22巻　第３号（1987年１月）

論　文
法人処罰の問題性――法人処罰論の現状と課題―― …… 垣口　克彦　1―23
原油価格と南北経済
――先進資本主義諸国，非産油途上諸国，原油輸出諸国からなる
南北経済モデルの構成と分析―― …… 石黒　馨　25―45
物上請求権一考（３） …… 辻　義教　47―53
生鮮食料品小売業について …… 馬場　雅昭　55―68
研究ノート
1985～86年におけるシンガポール経済の急後退をいかにみるか … 森井　淳吉　69―79
調査報告
大阪市企業調査の報告 …… 木下　滋　81―93
書　評
現代大工業と管理問題
――安井恒則著『現代大工業の労働と管理』を読んで―― …… 笹川儀三郎　95―115

第22巻　第４号（1987年３月）山崎俊雄教授退任記念号

論　文
グラスゴー大学工学講座　1840―1873 …… 加藤　邦興　1―12
Die Technologie von Karl Karmarsch …… 木本　忠昭　13―27
プラスチックの材料試験技術の形成過程
――JIS規格整備過程を指標にして―― …… 植村　幸生　29―47
ニッチ・マーケティングにおける市場調査・市場細分化調査について
…… 二塚　正也　49―69
「紙幣減価」論の問題点について …… 松田　清　71―85

経済開発，インフレーション及び債務累積
——ブラジル・モデルの構成と分析—— …… 石黒　馨　87—108
小集団活動にみる労働と管理 …… 安井　恒則　109—121
世界市場における穀物価格の動向
——1960年代，70年代および80年代の諸特徴—— …… 森井　淳吉　123—151
ベンチャービジネス・ブームの実体
——花形ベンチャー企業倒産ブームの原因をさぐる—— …… 水津　雄三　153—166
研究ノート
両大戦間期における T. U. C. の住宅政策 …… 深沢　和子　167—176
翻　訳
マルクス・エンゲルス研究と犯罪学
——クルト・ミュラーの対話より—— …… クルト・ミュラー　177—186
尼寺　義弘（訳）
特別号関連記事
山崎俊雄教授退任記念号によせて …… 辰巳　浅嗣　i—ii
山崎俊雄先生の経歴とご業績 …… 道家　達将　iii—vi
山崎俊雄教授略歴・研究業績 …… 187—196

第23巻　第1号（1987年6月）

論　文
組織の発生原価と管理可能性 …… 松岡　俊三　1—14
資本財取引とトレード・ファイナンスの変貌（上） …… 神沢　正典　15—32
物上請求権一考（4・完） …… 辻　義教　33—43
憲法と国際法 …… 須崎　実　45—53
研究ノート
用語概念としての marketing の起源とその背景
——諸家の諸説概要紹介による—— …… 二塚　正也　55—69
世界市場における穀物価格の動向と穀物貿易
——D. Gale Johnson 氏の見解について—— …… 森井　淳吉　71—79
資　料
イギリス大中部鉄道会社の老齢退職手当の創設をめぐって …… 深沢　和子　81—92

第23巻　第2号（1987年9月）

論　文
資本財取引とトレード・ファイナンスの変貌（下） …… 神沢　正典　1—15

動産物権の公示方法，変動，対抗要件，公信性と占有の関係
——民法第192条の研究—— …… 辻　義教　17—40
昭和恐慌と日本電力（株） …… 渡　哲郎　41—56
企業内国際分業と国際貿易 …… 石黒　馨　57—73
ふたたび通説的価値尺度論の問題点について
——三宅義夫教授への反論—— …… 松田　清　75—100
研究ノート
本邦投資家と対米国債投資の特徴 …… 岩橋　昭廣　101—113
韓国の米価政策——「高度経済成長」の1970年代の実態—— …… 森井　淳吉　115—126

第23巻　第3号（1988年1月）

論　文
1930年代における日本電力（株）の経営拡大
——小売業務拡大方針の成功—— …… 渡　哲郎　1—19
国際金融とエクイタイゼーション
——「債務の株式化」が提起する問題の広がり—— …… 神沢　正典　21—45
資本・熟練の補完性仮説について
——わが国製造業における産業部門別データによる検証
（1970—1985）—— …… 橋本　圭司　47—54
間違いを間違うと結果は正しい!?
——ドイツ民法典BGBの物上請求権，占有訴権構成上の一つの
視点および日本民法学の理解—— …… 辻　義教　55—62
調査報告
西ヨーロッパの農家・農村調査の概要報告（Ⅱ） …… 森井　淳吉　63—81
資　料
クラウス・ティーデマン「立法者による経済犯罪の防止対策」…… 垣口　克彦　83—89

第23巻　第4号（1988年3月）

論　文
占有意思animusについての小論
——付　形而上的基礎づけ—— …… 辻　義教　1—14
土地所有とメキシコ革命
——メキシコにおける資本主義発展の「二つの道」の対立—— …… 石黒　馨　15—30
19世紀末イギリスにおける大土地所有制と所領経営の特徴 …… 島　浩二　31—52

研究ノート

日米経済の構図
——佐藤定幸編『日米経済摩擦の構図』の検討を中心に—— …… 櫻井　公人　53—60

マレーシアにおけるゴム・プランテーション労働者
——とくに婦人労働者の状態—— …… 森井　淳吉　61—72

大学審議会法の成立過程における法的問題 …… 細井　克彦　73—86

資　　料

世界平和・核兵器廃絶への祈念と行進
——日本山妙法寺木津博充師からの聞き書きを中心に
（その 3）—— …… 杉尾　敏明　87—103

翻　　訳

西ヨーロッパとの関係における 1980 年
ドイツ環境刑法 …… クラウス・ティーデマン　105—119
垣口　克彦（訳）

第 24 巻　第 1 号（1988 年 6 月）

論　　文

多国籍企業とアメリカの対途上国税制 …… 中村　雅秀　1—12

動かしうる物を動かざる物（不動産）とする理由について
——民法第 86 条第 1 項の沿革と井上毅—— …… 辻　　義教　13—20

単一欧州議定書と欧州政治協力 …… 辰巳　浅嗣　21—44

実質課税主義について …… 吉良　　実　45—58

研究ノート

東南アジア農業経済についての研究課題
——覚え書きとしての問題提起—— …… 森井　淳吉　59—70

資　　料

世界平和・核兵器廃絶への祈念と行進
——日本山妙法寺木津博充師からの聞き書きを中心に
（その 4）—— …… 杉尾　敏明　71—89

翻　　訳

フィリピンにおけるカトリシズムの土着化 …… I. V. ポドベリョスキー　91—103
井尻　良夫（訳）

第24巻　第２号（1988年９月）

論　　文

初期医療利用組合の諸相（上）……青木　郁夫　1―18
直接原価計算における原価配賦問題……松岡　俊三　19―38
食糧問題と農業――農業貿易自由化批判――……田口　幸一　39―53

判例研究

仮名株主の権利行使
――仮名を用いて名義書換えを受けた株式の取得者は会社に
たいして株主であることを対抗できないとした事例――……永田　均　79―85

研究ノート

世界経済の新しい分極化について
――東西欧州関係の新展開を中心に――……櫻井　公人　55―62
「緑の革命」によるマレーシア稲作農村の経済変化……森井　淳吉　63―78

第24巻　第３号（1989年１月）

論　　文

Natures and Problems of QC Circle Movement……由井　浩
森　健一　1―10
文字と数字とによる手形金額の重複記載について……髙橋　一馬　11―18

研究ノート

販売管理論再構築に関する一提言（そのⅠ）
――マーケティング管理論との関連性において――……二塚　正也　19―42
有価証券の譲渡益課税についての税制改革……藤井　勝也
中村　公彌　43―50

書　　評

徳永正二郎・井上徳男・神沢正典・井上伊知郎著
『現代の貿易取引と金融
――貿易金融イノベーションの時代――』……向　壽一　51―54
松村文武著『債務国アメリカの構造』……櫻井　公人　55―59

第24巻　第４号（1989年３月）

論　　文

友愛組合と1908年無拠出老齢年金法……深沢　和子　1―9
タイのコメ輸出と流通過程の諸問題……森井　淳吉　11―25

占有意思論客観説への若干の疑問 …… 辻　義教　27―40
初期医療利用組合の諸相（中） …… 青木　郁夫　41―55
情報化時代における内部会計統制の再検討
――経営者サイドから―― …… 武中　照夫　57―64

資　料

『フォイエルバッハ』に関する資料 …… 尼寺　義弘　65―67

第25巻　第1・2・3号（1989年12月）創立25周年記念論文集

論　文

日本におけるマーケティングの展開と挫折 …… 柏尾　昌哉　1―11
「戦略援助」と「黒字還流」――日本の援助をめぐる諸問題―― …… 神沢　正典　13―34
「事故型公害」と公害犯罪処罰法
――二つの最高裁判決を契機として―― …… 垣口　克彦　35―45
販売管理論再構築に関する一提言（完）
――マーケティング管理論批判より営業管理論構築へ―― …… 二塚　正也　47―78
国際システムと国際レジーム …… 石黒　馨　79―89
I. ウォラスティンの世界システム論視角
――社会科学の方法としての検討―― …… 櫻井　公人　91―106
消費税と租税平等の原則 …… 吉良　実　107―119
近世日本の紙幣 …… 田谷　博吉　121―134
On the Estimation of Engel Elasticities by the Lorenz Curve …… 橋本　圭司　135―147
藪の中の2億円 …… 辻　義教　149―159
アイルランドと単一欧州議定書 …… 辰巳　浅嗣　161―175
インダストリアル・リサーチにおける情報伝達について
――その行動科学的考察―― …… 大橋　岩雄　177―194
十九世紀イギリスにおける住宅組合の発展
――スター＝バウケット型住宅組合に焦点をあてて―― …… 島　浩二　195―208
TQCにおける方針管理の発展と課題 …… 由井　浩　209―220
基本的人権の国際法的保障 …… 須崎　実　221―230
貨幣の論理と啓蒙の精神
――『百科全書』における貨幣の概念によせて―― …… 大田　一廣　231―242
「紙幣減価」論の問題点・再論
――久留間健氏の「紙幣減価」論によせて―― …… 松田　清　243―254
アスベスト規制をめぐるEPAとOMBの相克 …… 青木　郁夫　255―267
コメ輸入の自由化問題について …… 田口　幸一　269―277
The Background of British Working-class Acceptance of
State Old Age Pensions …… 深沢　和子　279―296

特別号関連記事
創立25周年記念論文集発刊のことば …… 川島　哲郎

第25巻　第4号（1990年3月）

論　　文
個人預金残高構造方程式について
——1980年代のデータにもとづく—— …… 樋口　　武　　1—6
橋本　　勲
Some Distributive Causes of Price Differential between
U.S. and JAPAN …… 山本　義徳　　7—18
ミルトン・チェン
代理占有論——「代理所有」との対照において—— …… 辻　　義教　　19—28
日本国憲法における元首について …… 須崎　　実　　29—38
大正期における河内の中小工業——動力問題を中心に—— …… 渡　　哲郎　　39—55
現代高等教育論の検討——大学改革の課題把握に関連して—— …… 細井　克彦　　1—24
研究ノート
日本資本のアジア地域への進出過程
——海外直接投資の動向を中心に—— …… 森井　淳吉　　57—68
資　　料
現代の用水資源，水辺環境の諸問題（その1） …… 橘　　博　　69—82

第26巻　第1号（1990年6月）

論　　文
フィラデルフィアの産業構造と都市構造 …… 木下　　滋　　1—25
Forth and Clyde Navigationの財務と会計 …… 金戸　　武　　27—41
ソ連流通における個人営業と“コーペラチフ” …… 西岡　俊哲　　43—55
累積債務問題の焦点——金融危機から生存の危機へ—— …… 神沢　正典　　57—72
研究ノート
システム監査——会計的側面からの一考察—— …… 松岡　俊三　　73—85
タイにおける輸出農業と国民食糧の確保 …… 森井　淳吉　　87—100
小売商店数の減少と小売業の構造変化 …… 馬場　雅昭　　101—130
資　　料
年表1989年——備忘記録—— …… 辻　　義教　　131—156

第26巻　第2号（1990年9月）

論　　文

Earnings, Education and Experience: Japanese Manufacturing Case
……橋本　圭司　1―12
付加価値税と不完全競争下の市場均衡及び産業組織政策……鈴木　康夫　13―20
代理占有の消滅（民法第204条）――代理占有論再論――……辻　義教　21―28

研究ノート

R&D＝営業連綴活動に関する試論（その1）
――所謂，Linkage between R&D and Marketingの日本的理解――
……二塚　正也　29―57
A Model for Analyzing and Developing Manufacturing Strategy
……由井　浩　59―67
森　健一
タイ米の流通と米価決定をめぐる問題
――国内市場を中心に――……森井　淳吉　69―80

第26巻　第3号（1991年1月）

論　　文

ヒト科ヒト，脳死と殯のアウトライン
――民法第1条ノ3の内と外――……辻　義教　1―13
日本の伝来的商店街の衰退と変質……柏尾　昌哉　15―28
商店街の分断と競争にかんする試論……水津　雄三　29―44
イギリス企業の小集団活動と労使関係（1）……安井　恒則　45―59

研究ノート

'90代初頭における科学技術政策の特徴……植村　幸生　61―69
ソ連邦「協同組合法」改正について……西岡　俊哲　71―85

調 査 報 告

西ヨーロッパの農業経営と農村（Ⅲ）……森井　淳吉　87―100

第26巻　第4号（1991年3月）

論　　文

覇権システムと国際均衡
――パックス・アメリカーナの展開と責任分担――……石黒　馨　1―15

大学審議会と大学改革
——大学改革の現段階認識と関わって—— …… 細井　克彦　17—28
株価データのパソコン解析における数理統計的考察 …… 橋本　勲　29—40
積極的財政政策と財政赤字の蓄積 …… 鈴木　康夫　41—46
占有の現実性契機と占有改定
——民法第192条の研究再論—— …… 辻　義教　47—56
ヘーゲル推理論とマルクス価値形態論 …… 尼寺　義弘　1—12
研究ノート
マレーシアの稲作問題
——広大な稲作地帯Kedah州Muda地区のかかえる問題を中心に——
…… 森井　淳吉　57—68
資　料
市町村レベルでみた伝統産業・地場産業 …… 水津　雄三　69—107

第27巻より編集・発行が阪南大学より阪南大学学会に変更

第27巻　第1号（1991年6月）柏尾昌哉教授退任記念号

特別号関連記事
柏尾昌哉教授退任記念号によせて …… 松田　清
柏尾昌哉教授略歴・研究業績 …… 特別編集委員
論　文
運送の生産的性格 …… 加藤　義忠　1—15
日本経済の再生産構造と農業の位置 …… 東井　正美　17—29
大学生協経営論——その現状と問題—— …… 吉田　忠　31—48
R&D＝営業連綴活動に関する試論（その2）
——所謂，Linkage between R&D and Marketingの日本的理解——
…… 二塚　正也　49—65
連鎖販売取引に対する刑事規制について …… 垣口　克彦　67—78
13・14世紀のGreat Chartマナーにおける直営地耕作について …… 能登　征夫　79—96
BIS規制と日米金融摩擦 …… 岩橋　昭廣　97—112
小売価格改革と消費財流通
——ソ連における消費財市場の現状について—— …… 西岡　俊哲　113—127
「人，自然，社会にやさしい技術」の登場 …… 植村　幸生　129—138
研究ノート
地域振興と第三セクター …… 寺尾　晃洋　139—152

第27巻　第2号（1991年9月）

論　　文

R&D＝営業連綴活動に関する試論（その3）
——所謂，Linkage between R&D and Marketingの日本的理解——
…… 二塚　正也　1—28

間接占有BGB§868と占有補助者占有BGB§855の間
——民法第181条の研究—— …… 辻　義教　29—52

成熟寡占市場における製品差別化
——最近の日本自動車メーカーによる品質強化競争について——
…… 伊田　昌弘　53—66

A Welfare-economic Characterization of the Golden Rule with Heterogenous Consumers …… 鈴木　康夫　67—71

研究ノート

小売業を取りまく環境変化
——食料品小売業を中心として—— …… 馬場　雅昭　73—91

書　　評

水津雄三著『地域をささえる中小企業
——「新・日本列島改造計画」批判——』（阪南大学叢書36，A5版，292ページ，森山書店，1991年3月刊） …… 石倉　三雄　93—96

向壽一著『国家破産——累積債務とマネー循環』を読む
（講談社現代新書，234ページ，1990年7月刊） …… 櫻井　公人　97—103

第27巻　第3号（1992年1月）

論　　文

租税法における債権・債務の評価 …… 吉良　実　1—9

国際資本移動と国際金融市場（上） …… 神沢　正典　11—42

政府債務の長期的効果に関する理論的考察 …… 栗原　優　43—58

研究ノート

「緑の革命」の実施過程と農村経済の変化
——マレーシア・ケダー州Muda地区の場合—— …… 森井　淳吉　59—70

調 査 報 告

ダイク，ダムそして風車の旅（上）
——西部オランダ地方を歩く—— …… 植村　幸生　71—85
二塚　正也

シンポジウム

「研究・開発（R&D）の創造性にかかわる座談会」記録（上）…… 橘　博　87―99
二塚　正也
植村　幸生

第27巻　第4号（1992年3月）

論　文

国際資本移動と国際金融市場（下）…… 神沢　正典　1―19
政治権力と市民社会…… 須崎　実　21―25
R&D＝営業連綴活動に関する試論（その4）
――所謂，Linkage between R&D and Marketingの日本的理解――
…… 二塚　正也　27―53
債権の準占有――民法478条と205条，467条――…… 辻　義教　55―72
情報システムの企画・開発とシステム監査…… 服部　史朗　73―89
法人格の同一性と手形責任
――商号及び目的変更・代表取締役選任等の株主総会決議前及び
変更未登記の場合の手形振出と会社責任について――…… 永田　均　91―98

調査報告

ダイク，ダムそして風車の旅（下）
――西部オランダ地方を歩く――…… 植村　幸生　99―116
二塚　正也
タイ経済実態調査の中間報告
――1991年の社会経済問題と住民生活の概観――…… 森井　淳吉　117―126

資　料

女性とホームレス：顕在化しにくい問題…… 深沢　和子　127―134

シンポジウム

「研究・開発（R&D）の創造性にかかわる座談会」記録（下）
…… 橘　博　135―152
二塚　正也
植村　幸生

第28巻　第1号（1992年6月）

論　文

ポートフォリオ選択モデルのパソコンによる検証…… 橋本　勲　1―19
所得階層別教育関係費の所得弾力性…… 橋本　圭司　21―35

Analytical Marxism の空間経済論 …… 山名　伸作　37―52
「表現の自由」論考――「ちびくろサンボ」論を中心に―― …… 杉尾　敏明　53―65
中小零細小売経営体の変化 …… 馬場　雅昭　67―95
研究ノート
東南アジアの経済動向と日本資本主義 …… 森井　淳吉　97―104

第28巻　第2号（1992年9月）故藤井勝也教授追悼号

特別号関連記事
悼辞 …… 前野冨士生
故藤井勝也教授略歴・研究業績 …… 特別編集委員
論　　文
地方公社の動向と役割 …… 岡本登太郎　1―14
高齢化社会における福祉行政と地域行財政 …… 山本　栄一　15―29
わが国の税制の課題
――世界の税制改革の動きをめぐって―― …… 中島　克巳　31―56
覇権理論と貿易自由化ゲーム――権力と相互主義―― …… 石黒　馨　57―69
現物まがい商法に対する刑事規制について …… 垣口　克彦　71―83
埋没費用と参入障壁 …… 小松　弘明　85―99
人口，労働，産業による東京都と大阪府及び特別区部と
大阪市の比較分析 …… 新熊　邦男　101―118
囚人のジレンマ解と慣習 …… 前野冨士生　119―130
初期医療利用組合の諸相（下） …… 青木　郁夫　131―149
消費税の転嫁と消費者保護 …… 吉良　実　151―161
1960―1990年におけるタイの経済変化 …… 森井　淳吉　163―174
債権の準占有の二つの契機 …… 辻　義教　175―193
対米進出日本自動車工場の一事例 …… 木下　滋　195―203
日本における中小零細小売業の存在様式 …… 馬場　雅昭　205―223
情報システム開発におけるシステム分析の事例 …… 服部　史朗　225―254
現代社会の構造変化と大学 …… 細井　克彦　255―270
18世紀スコットランドの雑誌とアダム・スミス …… 渡辺　邦博　271―280

第28巻　第3号（1993年1月）熊野實夫教授退任記念号

特別号関連記事
熊野實夫教授退任記念号の発刊によせて …… 松田　清
熊野實夫教授略歴・研究業績 …… 特別編集委員

特集　日本の会計

論　　文

日本の企業会計と確定決算原則 …… 醍醐　聰　1―19
日本の会計基準――会計基準設定構造の日米比較の視点―― …… 今福　愛志　21―30
日本の監査制度の発展 …… 高田　正淳　31―42
監査人の独立性 …… 植田　肇　43―61
企業利益と課税所得との関係 …… 吉良　実　63―73
明治初期官営鉄道における複会計制度 …… 金戸　武　75―87
日本の公会計――財務報告制度に関する研究―― …… 中道　信廣　89―101
「バブル」と“bubble” …… 二塚　正也　103―123
覇権システムの効率性――国際経済の政治分析―― …… 石黒　馨　125―143
現代公信用と私的信用
――公信用の私的信用救済・支持機能を中心に―― …… 岩橋　昭廣　145―152
世界経済の構造変化と日本型資本主義 …… 櫻井　公人　153―161
Why did Nissan Have to Close Australian Auto-manufacturing Plant?
…… 伊田　昌弘　163―166
カリキュラム改革にみる大学一般教育観について …… 細井　克彦　167―175

第28巻　第4号（1993年3月）橘博教授退任記念号

特別号関連記事

橘博教授退任記念号の発刊によせて …… 松田　清
橘博教授略歴・研究業績 …… 特別編集委員

論　　文

内陸型工業県の歩みと課題 …… 大槻　眞一　1―9
見る指をもって触る
――「性の政治学」「性の経済学」批判―― …… 松宮　秀治　11―33
研究開発管理におけるリーダーシップ研究 …… 大橋　岩雄　35―50
税法上の研究開発費 …… 吉良　実　51―59
メンガー・ルネッサンス？
――または，貨幣本質論復活の兆について―― …… 松田　清　61―79
転機に立つ乱開発型「地域活性化」政策
――リゾート開発を例として―― …… 水津　雄三　81―95
企業戦略と研究開発管理の若干の考察 …… 松岡　俊三　97―115
西欧におけるR&D活動と文化との関連年表（Ⅰ） …… 二塚　正也　117―148
わが国の工業経営における研究開発の主要傾向とその特徴 …… 橘　博　149―165
メタ規範論叙説
――占有，不当利得，そして準占有をめぐって―― …… 辻　義教　167―184

競争力政策からクリントノミクスへ
——日米関係へのインプリケーション—— …… 櫻井　公人　185—197
自由参入の再考 …… 小松　弘明　199—210
シンポジウム
『芸術・技術・科学における創造性』研究討論会記録（上） …… 植村　幸生　211—232

第29巻　第1号（1993年6月）

論　　文
転機に立つ乱開発型「地域活性化」政策（2）
——「町（街）づくりビジネス」と大型複合ショッピングセンター——
…… 水津　雄三　1—23
商品先物取引をめぐる犯罪について
——先物取引被害再発防止における刑法の役割—— …… 垣口　克彦　25—41
R&D＝営業連綴活動に関する試論（その5）
——研究開発用語概念とその歴史及び連綴活動概念と
その事例研究—— …… 二塚　正也　43—62
わが国の証券取引法における資金情報開示の序説 …… 中村　宏　63—79
イギリス企業の小集団活動と労使関係（2） …… 安井　恒則　81—92
多変量時系列変動要因モデルによる収益予測について …… 橋本　勲　93—108
日本型資本主義の反省
——世界経済の構造変化との関連で—— …… 櫻井　公人　109—122
留学生の漢字教育と専門読解 …… 永田　均　123—128
研究ノート
人権差別撤廃と表現・教育の自由
——『さよならサンボ』批判—— …… 杉尾　敏明　129—149
調 査 報 告
フィリピン・セブ島における人々の生活実態 …… 森井　淳吉　151—163
書　　評
長谷川治清・渡辺峻・安井恒則編『ニューテクノロジーと企業労働』
（大月書店，1991年，294ページ） …… 平尾　武久　165—179
シンポジウム
『芸術・技術・科学における創造性』研究討論会記録（下） …… 植村　幸生　181—200

第29巻　第2号（1993年9月）

論　　文

「産業科学技術政策」の登場
——90年代初期の科学技術政策の一側面—— …… 植村　幸生　1—13
R&D＝営業連綴活動に関する試論（その6）
——R&D管理用語概念ならびに研究所用語概念とその史的考察——
…… 二塚　正也　15—31
直接投資と発展途上国 …… 神沢　正典　33—53
類型論批判
——ケメラー紹介説（磯村，川村説）へ，メタ規範論より—— …… 辻　義教　55—73
金融機関経営の不安定化と金融危機回避策 …… 岩橋　昭廣　75—91
現代アメリカの貿易政策
——冷戦後における日米関係と国際政治経済学—— …… 櫻井　公人　93—107
労働力の女性化とソーシャル・ポリシーの変容に関する研究（その1）
…… 深沢　和子　109—121
情報システム部門の役割の変化と要員の育成について …… 服部　史朗　123—134

第29巻　第3号（1994年1月）

論　　文

ロシアにおける対外経済関係の現状 …… 西岡　俊哲　1—14
ホワイトカラーの人材育成と学校教育への依存 …… 千本　暁子　15—31
M. E. ポーターの競争戦略論の展開とその意味 …… 中川　涼司　33—51
NAFTA以前とNAFTA以後
——アメリカ貿易政策転換への一考察—— …… 櫻井　公人　53—67
独立監査人の責任と懐疑主義 …… 武中　照夫　69—74

研究ノート

タイにおける精米輸出の動向と輸出業者 …… 森井　淳吉　75—86
イギリス住宅組合の歴史構造
——1895年版『住宅組合に関する統計』の分析を中心として—— … 島　浩二　87—100
社会学の分類——トップダウン指向とボトムアップ指向—— …… 田窪　直規　101—126

資　　料

'80年代の金融構造の動向について
——実物生産経済と金融構造の関連性の視点から—— …… 鍬田　邦夫　127—137

書　　評

山川充夫・柳井雅也編著『企業空間とネットワーク』
（大明堂，1993年4月，300ページ） …… 石井　雄二　139—145

第29巻　第4号（1994年3月）二塚正也教授退任記念号

特別号関連記事

二塚正也教授退任記念号の発刊によせて …… 谷田　庄三
二塚正也教授略歴・研究業績 …… 特別編集委員

論　　文

特許権の保護範囲を定める基準としての均等論の1993年の
　現状と国際的動向 …… 吉井　参也　1―9
技術革新と21世紀への挑戦――明治以来の歴史を超えて―― …… 増田　優　11―36
滋賀県における科学技術の振興方策 …… 大槻　眞一　37―48
シオニズムの二つの小説
　――「ダニエル・デロンダ」と「古く新しい国」―― …… 佐藤　康彦　49―62
『米欧回覧実記』研究史におけるひとつの問題点
　――なぜ「プロイセン問題」がひとつのテーマとなったか―― …… 松宮　秀治　63―79
90年代の科学技術政策の形成過程
　――科学技術会議18号答申の審議過程を中心に―― …… 植村　幸生　81―93
研究開発活動の会計的管理 …… 松岡　俊三　95―107
「日本観光繊維産業」私論
　――スコットランド型（Scottish type）「観光繊維産業」
　よりの示唆―― …… 二塚　正也　109―128
経営者の会計手続選択に関する実証研究 …… 乙政　正太　129―142
システム監査の基本的考え方と進め方 …… 服部　史朗　143―155
商法改正と商業帳簿 …… 永田　均　157―162

第30巻　第1号（1994年6月）川島哲郎前学長退任記念号

特別号関連記事

川島哲郎前学長退任記念号の発刊によせて …… 吉良　実
川島哲郎前学長略歴・研究業績 …… 特別編集委員

論　　文

イタリアにおける外国人労働者問題 …… 竹内　啓一　1―13
1970年代中葉以降の英国の地域政策
　――ディマンドサイドからサプライサイドへの転換を中心に――
　…… 辻　悟一　15―31
国土構造と広域経済圏――機会均等論の視点から―― …… 矢田　俊文　33―60
イベントと地域経済の活性化 …… 米浪　信男　61―79
地域的分業と地域問題 …… 山名　伸作　81―93
単純な景気循環モデルのカオス性の考察について …… 橋本　勲　95―108

商品先物取引における客殺し商法と詐欺罪
——同和商品事件を素材としてのケーススタディ—— …… 垣口　克彦　109—125
Quesnay et la théorie monétaire au XVIII[e] siècle …… 大田　一廣　127—141
表見代理のメタ規範論構造
——鏡の中，像はあるが像はない—— …… 辻　義教　143—170
都市—農村共生型医療利用組合の展開
——広区単営組合時代の幕開け—— …… 青木　郁夫　171—193
オーストラリアにおける日系自動車産業について
——とりわけ日産撤退問題に寄せて—— …… 伊田　昌弘　195—205
川島哲郎氏の「自然的生産諸力」概念の回顧と再考
——「関係」論的視座からのテクストの試み—— …… 石井　雄二　207—223
クリントン政権下の経済外交
——経済安全保障と 1/3 国際主義の論理—— …… 櫻井　公人　225—237

第30巻　第２号（1994年９月）

論　　文
アジアにおける円とドル …… 神沢　正典　1—15
第２のケインズ問題とその行方 …… 岡本　武之　17—25
経営者の交代と会計ベースのパフォーマンス評価 …… 乙政　正太　27—40
不完全競争、産業内貿易および非線形費用関数
——貿易政策の一般均衡分析—— …… 梶山　国宏　41—48
大学改革政策の特質 …… 細井　克彦　49—56
研究ノート
ブラジル経済の現状と課題
——地域からの国際交流　その１—— …… 大槻　眞一　57—64
翻　　訳
大阪の東京問題 …… リチャード・C・ヒル　65—77
クニコ・フジタ
木下　滋（訳）
書　　評
馬場雅昭著『日本中小小売業の構造変化』（同文舘，1993年４月刊）
…… 加藤　義忠　79—83

第30巻　第3号（1995年1月）

論　　文

表見代理の実相
——メタ規範論から民法典110条事例を素材に—— …… 辻　　義教　　1—25
P. クルグマンの戦略的貿易政策批判 …… 櫻井　公人　27—42
公的信用と銀行再編成
——80年代における米国の金融機関経営の破綻を中心に—— …… 岩橋　昭廣　43—56
M. E. ポーターの「国の競争優位」論を巡る論争の意味 …… 中川　涼司　57—70
リスク・マネジメントのディスクロージャー
——シティコープ1992年版アニュアル・レポートにみるその実例——
…… 桜田　照雄　71—86

翻　　訳

東ドイツ社会主義の挫折と今日の状況 …… ロルフ・ヘッカー　87—94
尼寺　義弘（訳）

書　　評

山本義徳著『マーケティングの基礎的諸問題』
（同文舘，1991年12月刊） …… 加藤　義忠　95—101

第30巻　第4号（1995年3月）大橋岩雄教授退任記念号

特別号関連記事

大橋岩雄教授退任記念号の発刊によせて …… 谷田　庄三　1
大橋岩雄教授略歴・研究業績 …… 特別編集委員　2—9

論　　文

日本型経営の問題点と再生 …… 森　　俊治　11—19
TQC導入・推進の論理 …… 由井　　浩　21—31
組織測定指標と組織類型の基礎的研究
——組織革新診断システムの研究開発—— …… 地代　憲弘　33—42
組織風土・個人属性・組織過程の診断研究
——組織における人的側面の診断方法について—— …… 羽石　寛寿　43—55
意味探求の経営——実証的研究—— …… 村杉　　健　57—65
90年代半ばにおける科学技術政策の混迷
——科学技術会議科学技術系人材部会・中間報告の
意味するもの—— …… 植村　幸生　67—81
産業空洞化とアメリカ経済の変貌 …… 水津　雄三　83—100
マルクスと未来社会 …… 田口　幸一　101—110
東京電灯の電力独占体への成長 …… 渡　　哲郎　111—123

関西鉄道会社の財務と会計 …… 金戸　武　125―138
ファジィ部分群およびファジィイデアルの諸性質 …… 和泉　孔二　139―147
2段階最小自乗推定量のブートストラップ法 …… 橋本　勲　149―162
赤字財政と繁栄への道 …… 岡本　武之　163―175
情報システム部門に求められる質的変化とその未来像 …… 服部　史朗　177―189
雇用動向の変化と企業秘密 …… 永田　均　191―196

第31巻　第1号（1995年6月）

論　文
投資顧問業をめぐる犯罪について
――悪質投資顧問商法に対する刑事規制―― …… 垣口　克彦　1―12
都市―農村共生型医療利用組合運動とその時代 …… 青木　郁夫　13―39
表見代理論の周辺にある若干の問題
――権利外観論，表見代理不法行為論，代理権濫用論等と
メタ規範論―― …… 辻　義教　41―59
交通労働の労働対象とその生産物（Ⅰ） …… 馬場　雅昭　61―70
アメリカのレップ制度とその効果的活用法 …… 土居　康男　71―80
書　評
神沢正典著『世界経済と開発金融』 …… 毛利　良一　81―89

第31巻　第2号（1995年9月）

論　文
Der Formgehalt oder Forminhalt des Wertausdrucks in der Politischen
Ökonomie von Karl Marx
――die Hegelschen Logik als Quelle des Marxschen Wertbegriffs
…… 尼寺　義弘　1―4
交通労働の労働対象とその生産物（Ⅱ） …… 馬場　雅昭　5―15
新疆ウイグル自治区経済素描 …… 髙橋庸一郎　17―23
情報システムの信頼性・安全性と職業倫理 …… 服部　史朗　25―35
研究ノート
ベトナムにおけるドイモイ政策とオープンドア政策 …… 水津　雄三　37―48
マーケティング・コミュニケーションと店舗差別化
――流通企業のコミュニケーション戦略―― …… 田村　公一　49―60

第31巻　第3号（1996年1月）

論　　文

占有は権利か事実か？
——メタ規範理解による「占有（権）の体系的構造」再論—— …… 辻　義教　1—11
アメリカ法人税の構造と特徴 …… 井上　徹二　13—26
ゴールドフェルト・クオント検定による予備検定推定量の
ブートストラップ分布 …… 橋本　勲　27—37
日本の不況長期化の原因とケインズ法則 …… 岡本　武之　39—51
日系電子・電気機械メーカーのマレーシア・インドネシア・中国進出と
「関連・支援産業」
——M. E. ポーターの「国の競争優位」論を超えて—— …… 中川　涼司　53—70
交通労働の労働対象とその生産物（Ⅲ） …… 馬場　雅昭　71—86
英国企業の包括的改革と日本的経営 …… 安井　恒則　87—104
情報ネットワーク社会と消費者行動
——co-marketingの胎動—— …… 宮田　道雄　105—117

研究ノート

ロジスティクス・システムと供給連鎖（Supply Chain）概念
——流通企業のロジスティクス戦略—— …… 田村　公一　119—131

第31巻　第4号（1996年3月）小野一一郎教授退任記念号

特別号関連記事

小野一一郎教授退任記念号の発刊によせて …… 松田　清　1
小野一一郎教授略歴・研究業績 …… 2—12

論　　文

幕末開港後の洋銀問題と横浜正金銀行の設立
——パクス・ブリタニカの東アジアと
わが国外国為替政策の形成—— …… 安倍　惇　13—28
貿易不均衡の原因をめぐる最近の論争によせて …… 田口　信夫　29—41
円高についての基本認識 …… 奥田　宏司　43—53
東アジアにおける貨幣権力・ノミナリズム・通貨管理
——銭と鈔をめぐって—— …… 伯井　泰彦　55—67
世界経済への再統合化と経済安定
——NAFTAとメキシコ金融危機—— …… 小倉　明浩　69—80
「金融オプション」について …… 樋口　武　81—100
日系電子機器・部品メーカーの蘇州進出と「関連・支援産業」 …… 中川　涼司　101—111
地域経済統合と冷戦後の世界経済 …… 櫻井　公人　113—121

「占有は権利か事実か？」についての学説状況 …… 辻　義教　123―135
税効果会計の形成と展開 …… 井上　徹二　137―146
繰り返しゲームにおけるサブゲーム完全トリガー戦略均衡と
　割引パラメーターの決定 …… 前野冨士生　147―155
わが国における経営者の相対業績評価 …… 乙政　正太　157―165
エンドユーザコンピューティングの進展と職業倫理 …… 服部　史朗　167―178

第32巻　第1号（1996年6月）

論　　文
都市間競争の論理 …… 木下　滋　1―16
税務会計と企業会計の関係についての考察 …… 井上　徹二　17―30
占有改定と動産の即時取得の間のメタ規範論上の意味 …… 辻　義教　31―42
交通労働の労働対象とその生産物（Ⅳ） …… 馬場　雅昭　43―56
地域の科学技術振興における公設試験研究機関の役割 …… 蔡　明哲　57―68
中小企業の経営戦略と情報戦略 …… 服部　史朗　69―80
書　　評
桜田照雄著『銀行ディスクロージャー
　――規制緩和と「自己責任」経営――』 …… 今福　愛志　81―87

第32巻　第2号（1996年9月）

論　　文
20世紀初頭における女性の有業率とM字型就労 …… 千本　暁子　1―15
為替管理自由化の過程 …… 石田　護　17―26
米国インダストリアル・マーケティングチャネルにおける
　ディストリビューターの重要性 …… 土居　康男　27―36
交通労働の労働対象とその生産物（Ⅴ・完） …… 馬場　雅昭　37―50
書　　評
小川雄平編著『タイの工業化と社会の変容
　――日系企業はタイをどう変えたか――』 …… 石井　雄二　51―56

第32巻　第3号（1997年1月）

論　　文
日本税務会計の歴史的考察 …… 井上　徹二　1―13

為替レート決定理論と国際通貨体制――産業界の一視点―― …… 石田　護　15―28
企業の海外進出に伴うフィージビリティー・スタディ
（F/S）の重要性 …… 土居　康男　29―38
占有客観説のメタ規範論解釈――ベッカー説を素材にして―― …… 辻　義教　39―52
日系電子機器・部品メーカーの北京進出と「関連・支援産業」
――松下電工，松下電器産業のケース―― …… 中川　涼司　53―64
翻　訳
电子电器日本企业投资马来西亚、印度尼西亚和中国形态以及
“相关后援产业”理论
――对M・E・波特的“国家的竞争优势”理论之超越―― …… 中川　涼司　65―74
書　評
渡　哲郎著『戦前期のわが国電力独占体』 …… 梅本　哲世　75―77

第32巻　第4号（1997年3月）山名伸作教授退任記念号

特別号関連記事

山名伸作教授退任記念号の発刊によせて …… 樋口　武　3
山名伸作教授略歴・研究業績 …… 4―9

論　文

国際競争下の「地域軸」と産業構造
――関西経済圏西部（東中国四国南北軸関連6県）の場合―― …… 石原　照敏　11―27
脱工業都市への挑戦
――英国・バーミンガム市の事例―― …… 辻　悟一　29―44
日本電機産業のアジア立地についての一考察 …… 鈴木洋太郎　45―55
オプション・プライシング理論について …… 樋口　武　57―70
ケインズ『一般理論』とホーリズム …… 岡本　武之　71―81
2人協力ゲームの解について …… 前野冨士生　83―92
L'Ordre Monétaire et l'Economie Politique d'Institution …… 大田　一廣　93―99
新規大卒労働市場のモデル分析
――初任給と大卒労働需給―― …… 橋本　圭司　101―115
金融の自由化・国際化と東京一極集中の地域構造
――1980年代の都市銀行の活動を中心に―― …… 石井　雄二　117―134
FDICIAとセーフティ・ネット
――米国の金融規制体系再編の一側面―― …… 岩橋　昭廣　135―148
企業の海外進出に伴うフィージビリティ・スタディ
（F/S）の実施例 …… 土居　康男　149―159
台湾「アジア太平洋地域運営センター（APROC）」計画と産業空洞化
――投資・貿易統計の検証を中心に―― …… 洪　詩鴻　161―171

経済地理学と経済理論 …… 山名　伸作　173―187
情報システムの再構築と企業の経営戦略 …… 服部　史朗　189―200
食糧法直前の稲作地域について
――付，流通・消費構造の変化―― …… 井上　寛和　201―212

第33巻　第1号（1997年6月）

論　　文

核関数による平滑化を用いた不均一分散の回帰モデルの推定 …… 橋本　勲　1―16
所有権の法規範論的特性
――占有論のlabyrinthusの意味論―― …… 辻　義教　17―27
交通生産の根拠――交通生産説論争によせて―― …… 馬場　雅昭　29―41
米国インダストリアル・マーケティング・チャネルの歴史（その一）
――電機業界におけるマニュファクチャラーズ・レップと
ディストリビューターを中心に―― …… 土居　康男　43―54
エンドユーザコンピューティングの進展と組織の経営戦略 …… 服部　史朗　55―65

研究ノート

マーチャンダイジングとロジスティクス
――QR，ECR，カテゴリー・マネジメントの台頭―― …… 田村　公一　67―78

第33巻　第2号（1997年9月）

論　　文

中国のWTO加盟と電気通信事業の市場開放問題 …… 中川　涼司　1―10
米国インダストリアル・マーケティング・チャネルの歴史（その二）
――電機業界におけるマニュファクチャラーズ・レップと
ディストリビューターを中心に―― …… 土居　康男　11―22
交通生産説論争における二つの潮流 …… 馬場　雅昭　23―40
香港返還後の中国両岸三地の連動性について …… 洪　詩鴻　41―49
ヨーロッパにおける流通寡占の形成と
トレード・マーケティングの台頭 …… 田村　公一　51―64

研究ノート

ベトナムの投資環境と税制 …… 井上　徹二　65―73

第33巻　第3号（1998年1月）植村幸生教授退任記念号

特別号関連記事

植村幸生教授退任記念号の発刊によせて …… 木下　滋　3
植村幸生教授　略歴・研究業績 …… 4―23

論　文

国際公共制と科学技術 …… 関　恒義　25―37
先端技術・高度技術と核エネルギー技術 …… 中島篤之助　39―48
理系学生のための一般教育――その実践報告―― …… 小森田精子　49―60
「世界標準」ブームが問いかけるもの
――日本の標準行政の教訓の検討―― …… 野村　康秀　61―75
科学技術関連法の形成と発展
――科学技術基本法体制の法的機構にかんする一分析―― …… 明石　博行　77―96
「新規産業の創出」と中小企業政策 …… 大槻　眞一　97―112
住宅組合と所得税
――いわゆる「1895年協定」の評価のための一試論―― …… 島　浩二　113―124
急増する女性事業家とその概要 …… 水津　雄三　125―140
物権変動論――鏡に映ったリンゴの売買―― …… 辻　義教　141―157
中国コンピュータ産業の業界構造と企業戦略
――「微笑曲線」と聯想集団のマーケティング戦略―― …… 中川　涼司　159―164
米国インダストリアル・マーケティング・チャネルの現状と新たな課題
――エレクトロニクス業界を中心に―― …… 土居　康男　165―181
G. W. F. ヘーゲル『イェーナ精神哲学』における「知力」の展開 …… 尼寺　義弘　183―194
科学技術政策も地球規模の時代
――技術政策研究会の10年が示すもの―― …… 植村　幸生　195―206

第33巻　第4号（1998年3月）吉良実前学長退任記念号

特別号関連記事

吉良　実前学長退任記念号の発刊によせて …… 山名　伸作　3
吉良　実前学長略歴・研究業績 …… 4―8

論　文

トライアンギュラー・ケースにおける国際的利子課税 …… 占部　裕典　9―32
自治体のガヴァナンスと会計制度 …… 熊野　實夫　33―44
外為法改正に見る改革の構図 …… 石田　護　45―56
税制改革論の原理的考察 …… 井上　徹二　57―67
尼崎紡績会社の財務と会計 …… 金戸　武　69―78
不動産登記の意味論――メタ規範構造による位置付け―― …… 辻　義教　79―90

米国インダストリアル・マーケティング・チャネルの現状と新たな課題
——エレクトリカル業界を中心に—— …… 土居　康男　91—106
中国ITA加盟と中国電気通信体制の変動 …… 中川　涼司　107—115
わが国の証券取引法における資金繰表の回顧 …… 中村　宏　117—130
貨幣費用論争——純粋流通費用の研究—— …… 馬場　雅昭　131—148
変革を求められる企業の研究開発管理 …… 松岡　俊三　149—161
役員報酬の上限改定と企業パフォーマンス …… 乙政　正太　163—173
女性事業家の役割と政策 …… 水津　雄三　175—190
河南鉄道から大鉄Ⅱへ …… 渡　哲郎　191—204
リカードの等価定理と貯蓄 …… 岡本　武之　205—215
利益供与罪に関する一考察
——商法497条の罪質解明とその適用範囲の明確化のために——
…… 垣口　克彦　217—228
宗教の自由 …… 須崎　実　229—234
取締役の監視義務 …… 髙橋　一馬　235—242
国際課税における知的財産権の使用地主義
——知的財産権の“使用”とは—— …… 野一色　勲　243—257
外生性を考慮した連立方程式モデルの推定について …… 橋本　勲　259—269
教育の経済学の現状と課題について …… 橋本　圭司　271—279
時間にわたる交渉について …… 前野冨士生　281—292

第34巻　第1号（1998年6月）谷田庄三教授退任記念号

特別号関連記事

谷田庄三教授退任記念号の発刊によせて …… 辻　義教　3
谷田庄三教授　略歴・研究業績 …… 4—9

論　　文

日本版ビッグバン構想と中小企業金融の将来 …… 齊藤　正　11—24
木津信用組合の経営破綻とその処理について …… 米田　貢　25—40
日本型コーポレート・ガバナンスと株式持合い …… 服部　泰彦　41—58
BIS自己資本比率規制と銀行資本の運動 …… 鳥畑　与一　59—72
今日の日本経済と金融再編
——「日本版ビッグバン」の一考察—— …… 野崎　哲哉　73—88
資本主義の発展段階と「統合資本主義」 …… 杉本　昭七　89—94
ビッグバンは資本市場をどう変えるか——市場利用者の視点—— …… 石田　護　95—109
規制緩和による「新規産業の創出」について
——日米の産学連携の比較と中小企業政策—— …… 大槻　眞一　111—129
アメリカにおける税制改革論 …… 井上　徹二　131—141

女性事業家問題をめぐる特質と背景 …… 水津　雄三　143―160
戦間期イギリスにおける住宅組合と「建築業者預託金制度」…… 島　浩二　161―174
金融機関の経営破綻と日銀の金融支援 …… 岩橋　昭廣　175―184
中国における技術導入と産業技術の進歩 …… 蔡　明哲　185―196
研究ノート
中国のWTO加盟とサービス貿易分野 …… 中川　涼司　197―209

第34巻　第2号（1998年9月）

論　文
戦後アメリカマーケティングの若干問題 …… 山本　義徳　1―11
明治期紡績業における通勤女工から寄宿女工への転換 …… 千本　暁子　13―26
応用的メタ規範関係
――物権変動の背信的悪意者と虚偽表示―― …… 辻　義教　27―41
グローバリゼーション時代の中小企業政策 …… 大槻　眞一　43―54
現代資本主義分析における統合資本主義視角と帝国主義論的視角
――渡辺治教授の拙論への批判に対して―― …… 杉本　昭七　55―59
研究ノート
資本の流通時間と売買費用 …… 馬場　雅昭　61―74

第34巻　第3号（1999年1月）経済学部開設25周年記念号

特別号関連記事
経済学部開設25周年に寄せて …… 山名　伸作　3
経済学部開設25周年記念号の発行に寄せて …… 溝井　髙志　5
論　文
平成5年大阪府産業連関表による大阪経済の概観と
経済波及分析 …… 青木　博明　7―21
ケインズ無視による日本の大不況 …… 岡本　武之　23―34
マルクスの基本定理――体制を超えた搾取―― …… 小松　弘明　35―48
人身の自由 …… 須崎　実　49―56
20世紀初頭における紡績業の寄宿女工と社宅制度の導入 …… 千本　暁子　57―67
外生性検定におけるハウスマン検定量のブートストラップ分布 …… 橋本　勲　69―82
Kaldor法則と日本経済
――近年の経済成長をめぐる予備的考察―― …… 橋本　圭司　83―92
インドネシア通貨危機の政治経済学 …… 神沢　正典　93―107
日中情報産業政策比較から見た中国情報産業の課題 …… 中川　涼司　109―115

Has the Japanese Distribution Changed Its Service Oriented System?:
The Second Version of “Some Distributive Causes of Price Differential between U.S. and Japan” …… 山本　義徳　ミルトン・チェン　117—128
中国における技術導入に関する研究について …… 蔡　明哲　129—137

研究ノート

ヘーゲル『法の哲学』の「欲求の体系」の経済分析 …… 尼寺　義弘　139—150

資　料

1939年住宅組合法 …… 島　浩二　151—160

第34巻　第4号（1999年3月）

論　文

地方公会計と基金会計の史的考察 …… 井上　徹二　1—11
アメリカ大恐慌とその教訓——日本経済の現状再点検—— …… 新宅　彰　13—25
不特定概念とメタ規範要件
——「正当ノ事由」と「正当ノ理由」の間—— …… 辻　義教　27—41
保護貿易の経済効果
——フラム＝ヘルプマン・モデルによる分析—— …… 梶山　国宏　岡本　久之　43—51
Migration and Local Economic Development in Rural Northeastern Thailand (1): Case Studies of Three Villages in Khon Kaen and Chaiyaphum Province …… 石井　雄二　53—64

第35巻　第1号（1999年6月）鶴谷賢教授退任記念号

特別号関連記事

鶴谷　賢教授退任記念号の発行によせて …… 逸見　啓　3
鶴谷　賢教授　略歴・研究業績 …… 4—8

論　文

近視眼的経営批判 …… 森　俊治　9—20
現代世界の自動車産業における大型再編成の要因分析 …… 大島　卓　21—30
生活価値の実現行動の進化とそれに対応する企業の価値創造活動のための生活工学の検討
——ガーデニングをめぐる主婦の行動調査を題材として—— …… 根本　則明　31—43
地域商業再生に対する行政の役割 …… 鶴坂　貴恵　45—54

不況からの脱出と中小企業の活性化 …… 大槻　眞一　55―65
21世紀の先進国経済と中小零細企業
――ILOの中小零細企業促進に関する諸決議と特徴―― …… 水津　雄三　67―79
シンガポール税制の構造と特徴
――比較税制論の視点による考察―― …… 井上　徹二　81―93
伝統的系列システムの現状と課題
――「流通系列化」政策を中心に―― …… 太田　一樹　95―110

第35巻　第2号（1999年9月）故木下滋教授追悼号

特別号関連記事

故 木下　滋教授追悼号の発行によせて …… 逸見　啓　3
故 木下　滋教授　略歴・研究業績 …… 4―14

論　　文

An International Comparison of TFP Using I-O Tables in China,
Japan and the United States …… 泉　弘志　15―28
李　潔
Rebecca Kalmans
アジア危機の計量分析――原因・展望および教訓について―― …… 大西　広　29―42
Reconstructing Communities through NPO Activities:
A New Welfare Policy in Japan …… 川口　清史　43―49
都道府県レベルの民間企業資本ストックデータの推計
――静岡県を例に―― …… 土居　英二　51―62
日本型パートタイム労働の特質 …… 福島　利夫　63―75
社会経済分析における縦断的データの意義について …… 森　博美　77―87
ファジイ左R―加群のなす圏におけるファジイ分裂および
射の可逆性 …… 和泉　孔二　89―98
日本企業の対中直接投資――主要3産業の統計分析―― …… 伊田　昌弘　99―108
オブジェクト指向のビジネス・アプリケーションへの適応研究
――CORBAとJavaによる分散システム―― …… 市川　隆男　109―121
会計ベースの経営者報酬と利益調整行動
――会計的裁量行動と実体的裁量行動の観点から―― …… 乙政　正太　123―136
21世紀デジタルエコノミーの夜明け
――電子決済，電子商取引とサプライチェーン・マネジメント：
1999年7月―― …… 野澤　正徳　137―148
為替安定への道筋を探る――為替変動の理論と現実―― …… 石田　護　149―159
グローバル・ファイナンスと資本の構造的権力 …… 神沢　正典　161―172
背信的悪意者の基準――そのメタ規範論理解―― …… 辻　義教　173―188

「割増融資」に対する保証政策の展開
——戦間期イギリス住宅政策への一視角—— …… 島　浩二　189—204
金融先物について——フォワードとフューチャー—— …… 樋口　武　205—221
宮本輝『泥の河』論——隠された記号—— …… 橋本　寛之　1—17
研究ノート
BIS規制の国際政治経済学
——澤邊紀生著『国際金融規制と会計制度』の検討を中心に—— … 櫻井　公人　223—231

第35巻　第3号（2000年1月）

論　文

為替安定への道筋を探る（2）——為替相場制度改革の選択肢—— … 石田　護　1—10
調整インフレ論・量的緩和論とその問題点
——クルーグマン提案と金融政策運営—— …… 新宅　彰　11—24
日本メディアが伝えた空爆下のコソボ紛争
——朝日新聞紙面の点検と考察—— …… 新井　美史　25—35
真珠湾攻撃とヒロシマ
——原爆投下をめぐる日米間の感情的しこり—— …… 賀川　真理　37—50

第35巻　第4号（2000年3月）

論　文

国際機関と資本移動自由化（上） …… 神沢　正典　1—14
貨幣的秩序の存立構造序説（上） …… 大田　一廣　15—28
日本における小売商店数の減少について（Ⅰ） …… 馬場　雅昭　29—44
中小企業基本法の「改正」と地域経済 …… 大槻　眞一　45—54
オーストラリア人の「日本観」
——ホストファミリーへのアンケート調査に基づいて—— …… 足立　照也　55—65
前田　弘
安福恵美子
シンガポールにおける日系企業の会計
——TEC SINGAPORE社—— …… 金戸　武　67—77
Lake Water Management: A Comparative Study of the Biwa
and Kasumigaura Lakes in Japan with Laguna de Bay
in the Philippines and its Implications on other Lakes
in Southeast Asia …… GOH Kim Chuan　79—94
企業情報システム再構築の陥穽 …… 服部　史朗　95—105

書　　評
石田和夫・安井恒則・加藤正治編『企業労働の日英比較』……吉井　清文　107―118
大阪市立大学経済研究所監修，田坂敏雄編
『アジアの大都市〔1〕バンコク』……石井　雄二　119―126

第36巻　第1号（2000年7月）

論　　文
貨幣的秩序の存立構造序説（下）……大田　一廣　1―11
The Japanese Pharmaceutical Industry and Industrial Policy
in the Era of 'Mega-Competition'……青木　郁夫　13―33
シリコンバレー現象の波紋（Ⅰ）
――オーストラリアに見る新産業の育成――……大槻　眞一　35―42
日本における小売商店数の減少について（Ⅱ）……馬場　雅昭　43―62
調査報告
伝統的温泉観光地の実態――兵庫県城崎温泉来訪客調査から――…吉兼　秀夫　63―78

第36巻　第2・3号（2001年1月）

論　　文
シリコンバレー現象の波紋（Ⅱ）
――台湾における新産業の育成――……大槻　眞一　1―10
企業の海外進出に伴うフィージビリティー・スタディ
（F/S）の実施例（Ⅱ）……土居　康男　11―23
オーストラリア税制の構造と特徴……井上　徹二　25―35
豪州における日本企業の会計実状……松岡　俊三　37―49
会計基準の国際的調和化活動の展開……及川　勝美　51―60
E-Commerce: Recent Developments and Comparative Study
of Implementation in US and Japan……ミルトン・チェン
山本　義徳　61―77
研究ノート
Health and Medical Co-operatives in Japan:
As a Force for the Development of the Capability of the Family
and the Community to Maintain Health……青木　郁夫　79―94
La Vulgarisation Scientifique Baudoin Jurdant:
Une Persprective Française……Eddy Van Drom　95―113

第36巻　第4号（2001年3月）

論　　文

シリコンバレー現象の波紋（Ⅲ）
——インドにおけるソフトウエア開発—— …… 大槻　眞一　1—8

地域開発契約による観光業と農業の共生システム
——フランス・アルプス・ヴァルモレルの事例研究—— …… 石原　照敏　9—25

東北タイの農村人口移動の最近の動向
——コンケーン・チャイヤプーム県の農村事例を中心に—— …… 石井　雄二　27—43

物権変動論，占有論とパターン認識（補遺） …… 辻　義教　45—47

利益供与罪再論
——商法罰則の強化・整備と警察の総会屋対策を中心として——
…… 垣口　克彦　49—60

観光資産保護としての環境保護制度の作用・反作用 …… 吉兼　秀夫　61—69

ヘーゲルの政治経済学の研究 …… 尼寺　義弘　71—78

研究ノート

ストック・オプション制度と会計上の利益 …… 乙政　正太　79—86

第37巻　第1号（2001年7月）

論　　文

国際会計基準の導入と管理会計の一齣
——オーストラリアの場合—— …… 天井　一夫　1—12

アメリカ資金計算書史における“統一会計”の意義 …… 中村　宏　13—26

金融規制と大手米銀の蓄積戦略
——BIS規制成立過程を中心に—— …… 岩橋　昭廣　27—36

カリフォルニア州における住民提案（1）
——イニシアティヴの導入と法制度—— …… 賀川　真理　37—47

調 査 報 告

歴史的環境保存観光地の実態
——奈良県明日香村来訪客調査から—— …… 吉兼　秀夫　49—63

第37巻　第2号（2001年9月）

論　　文

インターネット・バンキングと資金決済
——電子マネーの将来像と問題点—— …… 新宅　彰　1—17

法律要件＝要件事実認識と２値認識 …… 辻　義教　19―31
金融規制と大手米銀の蓄積戦略（２）
――BIS規制と米銀の優位性―― …… 岩橋　昭廣　33―42
カリフォルニア州における住民提案（２）
――イニシアティヴの特色と最近の傾向―― …… 賀川　真理　43―53
研究ノート
森嶋通夫の『動学的経済理論』と社会経済学 …… 西　淳　55―70

第37巻　第３号（2002年１月）

論　文
教育と経済成長：都道府県別データによる検証 …… 橋本　圭司　1―12
経営者報酬パッケージの構成要素とデザイン …… 乙政　正太　13―31
Effect of Zero Anaphora in Intercultural Communication
…… WILSON, Gordon Grady　33―44
瀧川　禅
Monks Eleigh（Suff.）における14世紀の賦役労働と雇用労働 …… 能登　征夫　45―60
調査報告
APB意見書第19号の企業外部情報への影響に関する実態調査 …… 中村　宏　61―75

第37巻　第４号（2002年３月）天井一夫教授退任記念号

特別号関連記事
天井一夫教授退任記念号の発刊によせて …… 神沢　正典　3
天井一夫教授　略歴・研究業績 …… 4―7
論　文
ソニーの連結財務諸表の作成・開示における40年間の概要と
特徴について …… 末政　芳信　9―32
グリーン（Thomas L. Greene）の資金計算書論の再考 …… 中村　宏　33―42
税務会計論の当面の課題 …… 井上　徹二　43―52
研究開発の戦略的マネジメント …… 松岡　俊三　53―65
イギリスにおける日系企業の会計
――Ricoh UK Products社―― …… 金戸　武　67―76
ストック・オプション制度と経営者インセンティブ
――理論的予測と経験的証拠―― …… 乙政　正太　77―92
国際貿易理論の歴史的規定性について …… 杉本　昭七　93―103
法と言語――言語認識とメタ構造 …… 辻　義教　105―119

大規模稲作農業開発と農民層の動向
——マレーシア・ケダー州Muda地区の1960～1985年—— …… 森井　淳吉　121—130

第38巻　第1号（2002年10月）

論　　文
占有の謎＝所有権の謎——占有の今一つの意味論 …… 辻　義教　1—16
パキスタン財閥の形成と発展
——ガンダーラ財閥とアトラス財閥を中心として—— …… 川満　直樹　17—34
研究ノート
日本における小売商店数の減少・補論 …… 馬場　雅昭　35—54
書　　評
西川　潤・野田真里編
『仏教・開発・NGO——タイ開発僧に学ぶ共生の智慧』 …… 石井　雄二　55—63

第38巻　第2号（2003年3月）

論　　文
1898年のニューヨーク州のCPA試験と資金計算書
——グリーンリガーとエスケレ—— …… 中村　宏　1—13
登記の記号論的意味論 …… 辻　義教　15—26
資　　料
商品購入先別1世帯当たり1か月間の支出額 …… 馬場　雅昭　27—30
書　　評
東京電力株式会社編
『関東の電気事業と東京電力電気事業の創始から
東京電力50年への軌跡』 …… 渡　哲郎　31—36
G. W. F. ヘーゲル，尼寺義弘訳『自然法および国家学に関する講義
——1817/18　冬学期講義，ハイデルベルク
1818/19　冬学期序説（付録），ベルリン——』 …… 小松　善雄　37—47
特別寄稿
現代の企業制度の国際比較 …… 李　長青　49—54
王　科唯

第39巻　第1号（2003年11月）

論　　文

不当利得の「法と言語論」……辻　義教　1―17
小売業の盛衰と国家の流通政策（Ⅰ）……馬場　雅昭　19―28
日本企業の海外進出と撤退についての一考察……小山　大介　29―44

研究ノート

柴田敬と高田保馬の転化論論争……西　淳　45―60

書　　評

関西電力株式会社『関西電力五十年史』……渡　哲郎　61―66

第39巻　第2号（2004年3月）

論　　文

小売業の盛衰と国家の流通政策（Ⅱ）……馬場　雅昭　1―24
「二つの占有論」の「法と言語論」……辻　義教　25―45
ユビキタス・ネットワーク社会
――個人の自立と協働への道――……野澤　正徳　47―62

研究ノート

EUの対加盟国制裁権限
――欧州議会および欧州政党の対応を中心にして――……山本　直　63―78

第40巻　第1号（2004年11月）

論　　文

アメリカの高等教育におけるアファーマティヴ・アクション論争
――カリフォルニア州とミシガン州の比較考察――……賀川　真理　1―16
ザ・リッツ・カールトンにおける経験価値マーケティング……平山　弘　17―34
「占有は事実である」とは？……辻　義教　35―46

研究ノート

日本における中小小売業の変化（Ⅱ）……馬場　雅昭　47―57

第40巻　第2号（2005年3月）

論　　文

経営者報酬と会計利益の連動性に関するトレンド分析……乙政　正太　1―16

Keynes, Kalecki and the Japanese Economy …… 金尾　敏寛　17―29
無線ICタグとユビキタス・ネットワーク社会の展望 …… 野澤　正徳　31―47
名前考――所有権の「法と言語論」…… 辻　義教　49―66
米国オープンスカイ政策と国際提携間競争 …… 松本　俊哉　67―81
研究ノート
横山保の経済学と人間観 …… 西　淳　83―97
国際観光統計統一化のための比較分析 …… 姜　寛保　99―112
翻　訳
人権と「グローバルな法」…… Georg Lohmann　113―118
牧野　広義（訳）

第41巻　第1号（2005年11月）

論　文
歴史的所有権論――近代的所有権の創成と神田孝平―― …… 辻　義教　1―16
研究ノート
The Present Situation and Problems of the Program to
Train Entrepreneurs; Mainly in the Hannan University,
Kigyou-jyuku …… 平山　弘　17―24
梶山　国宏
書類送達規定の整備と独禁法6条 …… 植村　吉輝　25―31
問題としての現代栄養学
――その政治，そして反牛乳運動からパラダイムチェンジへ――
…… 森本　芳生　33―47

第41巻　第2号（2006年3月）

論　文
欧州ラグジュアリー・ブランドのマーケティング戦略
――ルイ・ヴィトンを中心に―― …… 平山　弘　1―13
占有の権原論
――nemo sibi ipse causam possessionis mutare potest―― …… 辻　義教　15―27
小売業における国際知識移転プロセス …… 川端　庸子　29―39
バブル崩壊後の日本の不況の分析と対策をめぐって …… 金尾　敏寛　41―56
判例研究
差別対価の判断において原価割れの有無が検討された事例
――日本瓦斯差別対価差止請求事件―― …… 植村　吉輝　57―65

研究ノート

医療利用組合による国民健康保険組合代行事業に関する覚書
——または，高嶋裕子「国民健康保険制度形成過程における
医療利用組合運動の歴史的位置—岐阜県小鷹利村を事例として」
の批判的検討—— …… 青木　郁夫　67—79

第42巻　第1号（2006年11月）

論　　文

民法185＝187条の占有の新権原＝承継と相続 …… 辻　義教　1—18

研究ノート

レイカー航空訴訟に関するメモ …… 植村　吉輝　19—32
中小零細小売商業の性格規定（Ⅱ） …… 馬場　雅昭　33—44
G. W. F. ヘーゲルの「普遍的な資産」の概念について …… 尼寺　義弘　45—53

翻　　訳

戦後の日本（下） …… クレイグ・フリードマン　55—71
金尾　敏寛（訳）

第42巻　第2号（2007年3月）

論　　文

経験価値アプローチとブランド価値の本質 …… 平山　弘　1—19
占有は相続できない＝「占有」は相続できる …… 辻　義教　21—38
グローバル小売業におけるIT活用の現状と課題
——リテール・リンクとAgentricsを中心に—— …… 川端　庸子　39—54
カリフォルニア州におけるラティーノの伸張と二言語教育政策 …… 賀川　真理　55—81
取締役の監視義務——ダスキン肉まん事件を契機として—— …… 山野加代枝　83—98

研究ノート

個人自由旅行対パッケージツアー
——観光のマーケティング・ツェルマットスキー旅行のケース——
…… 山本　義徳　99—108
アジアの近代化とその精神
——青山秀夫における東亜近代化論とエートスの問題—— …… 西　淳　109—128

翻　　訳

国際レベルでの競争当局間の協力（第1章前半） …… ブルーノ・ザネッティン　129—152
植村　吉輝（訳）

第43巻　第1号（2007年10月）

論　　文

中小企業連携と母体組織
——アドック神戸と兵庫県中小企業家同友会を事例として——
……関　智宏　1—19

研究ノート

イギリスにおける地域再生政策
——ブレア労働党政権下での取り組みからの一考察——……八木橋慶一　21—31

翻　　訳

国際レベルでの競争当局間の協力（第1章後半）……ブルーノ・ザネッティン　33—48
植村　吉輝（訳）

第43巻　第2号（2008年3月）

論　　文

日本における工場法成立史——熟練形成の視点から——……千本　暁子　1—17
近代ドイツにおける「労働社会」の進展と教育学
——ワイマル共和国期の新たな人間観・労働観について——……吉門　昌宏　19—35
系列化チャネルにおける支配関係からパートナー関係への変容……山内　孝幸　37—57
中国による自国衛星の破壊と宇宙条約……松掛　暢　59—82
オーストラリア羊毛業の会計
——Younghusband社とDennys, Lascelles社の経営分析——…金戸　武　83—93
Rising Intercorporate Shareholding……中條　良美　95—105

研究ノート

高田保馬の転化論
——拙稿（2003）「柴田敬と高田保馬の転化論論争」への補論——
……西　淳　107—113
ブランド価値の創造
——リーガロイヤルホテルの事例を中心に——……平山　弘　115—132
日本の中小小売業における経営戦略……川端　庸子　133—152

翻　　訳

国際レベルでの競争当局間の協力（第2章前半）……ブルーノ・ザネッティン　153—171
植村　吉輝（訳）

第44巻　第1号（2008年10月）

査読論文

長期的需要不足下における企業行動と日本の雇用問題 …… 金尾　敏寛　1―18

住工混在問題と産業集積
――大都市自治体における先駆的取組の事例分析を中心に――
…… 関　智宏　19―35
立見　淳哉

イギリスにおける「ネイバーフッド・ガバナンス」構築に向けた動き
――住民参画の意義と課題―― …… 八木橋慶一　37―49

論　文

コーパスを利用したビジネス用語へのアプローチ …… 平山　弘　51―61
堀池　保昭

産学協同大学発ベンチャーにより開発された教育支援システムの
医療分野への適用の試み …… 福重　八恵　63―73

Hadleighマナー（Suff.）における14世紀の穀物生産
～収益性の分析～ …… 能登　征夫　75―94

メーカー系列販売会社の有効性の検討 …… 山内　孝幸　95―106

研究ノート

零細小売業の衰退 …… 馬場　雅昭　107―122

財務制限条項の研究 …… 岡東　務　123―149

「法人企業景気予測調査」と短観 …… 御園　謙吉　151―164

いわずもがなのこと―研究における資料批判と倫理性 …… 青木　郁夫　165―172

What are the SME Policies and Measures in Japan?:
The Outline of SME Promotion Policies in Japan …… SEKI, Tomohiro　173―190

Technical Assistance in Japan:
With a Focus on Concrete Case Examples …… SEKI, Tomohiro　191―205

第44巻　第2号（2009年3月）

査読論文

ファッションの持つ意味についての一考察
――マーケティング研究対象として取り上げるために―― …… 平山　弘　1―23

連携を通じた中小企業の自律化
――アドック神戸10年間の歩みから―― …… 関　智宏　25―43

THE 2008 CALIFORNIA PRESIDENTIAL PRIMARY ELECTION:
Focus on the Democratic Party and the Latino Vote …… 賀川　真理　45―72

標準偏差の変化が期待効用に与える影響 …… 青木　博明　73―83

論　　文

東南アジアにおけるグローバル・マーケティングの進展プロセス
——デンカ社の有機系素材事業と電子材料事業を事例として——
……川端　庸子　85—101

取締役の対第三者責任と内部統制システム……山野加代枝　103—115

研究ノート

不正融資と特別背任罪……垣口　克彦　117—131

大連におけるオフショアリングの現状と特徴……井上　博　133—142

「組織倫理」と「市場倫理」——青山秀夫と近代的人間観——……西　淳　143—157

中小製造業の新製品開発、人材育成、国際化
——株式会社ヤマシタワークス（尼崎）のケース・スタディ——……関　智宏　159—170
梅村　仁

第45巻　第1号（2009年10月）

査読論文

セブン＆アイとイオン
～小売業界二強の形成とビジネスモデル～……仲上　哲　1—14

地方自治体における産業振興施策の展開と企業の活性化
——尼崎市における総合計画と企業立地促進施策を中心に——……関　智宏　15—40
梅村　仁

中小企業連携の成果と課題
——新連携支援施策にかんするアンケート調査を中心として——
……関　智宏　41—68

論　　文

グローバルニッチ戦略の適用可能性
～白鳳堂の事例から考える～……平山　弘　69—89

研究ノート

米国におけるダイバーシティ・マネジメントの取り組みによる効果
——雇用者のリテンションを中心に——……脇　夕希子　91—101

The Shaping of Japan between 1868 and 1945:
——Effects of the Japanese drive to ‘catch up’ with the West——
……Eddy Van Drom　103—114

宇宙基本法と日本の宇宙開発利用
——宇宙条約の視点とともに——……松掛　暢　115—129

地域中小企業支援機関としての商工会，その現状と展望
——日高町商工会をケースとして——……関　智宏　131—145
石澤雄一郎

調 査 報 告

事業承継とインターンシップ
——生活衛生関係営業事業者と養成施設修学生に対する
アンケート調査—— …… 関　智宏　147—175

翻　訳

2008年カリフォルニア州における大統領予備選挙をめぐる一考察
——民主党とラティーノの動向を中心として—— …… 賀川　真理　177—200

そ の 他

資本論の方法と中国の改革開放 …… 張　小金　201—210
尼寺　義弘（訳）
洪　詩鴻（共訳）
陳　端端（共訳）

第45巻　第2号（2010年3月）

査 読 論 文

戦略的なグループ経営における持株会社本社制の有効性 …… 奥　康平　1—22
消費スタイルの変化とコンビニエンスストアの「＋α戦略」…… 仲上　哲　23—41

論　文

A Preliminary Study on Count-to-Mass Shift of
English Nouns and Bounding …… 小寺　正洋　43—54
累積的因果連関における総需要，労働生産性および所得分配 …… 西　洋　55—71
Multicultural Education in the U.S. and Japan:
Needs, Challenges, and Recommendations …… Hershey Wier　73—79
新聞売り子問題の解の性質と2つの発注期間に対する解法 …… 青木　博明　81—95

判 例 研 究

不正融資における借り手側の刑事責任
——最決平20・5・19刑集62・6・1623 …… 垣口　克彦　97—106

研究ノート

新規事業創造による中小企業の発展
——株式会社大橋製作所のケース・スタディ—— …… 関　智宏　107—118
Wartime treatment of the ‘comfort women’ and today’s
prostitution-or-slavery debate …… Eddy Van Drom　119—128
一般均衡理論と動学理論
——高田保馬から青山秀夫へ—— …… 西　淳　129—148
メーカーと系列販売会社の関係性の変容
～キヤノンとキヤノンマーケティングジャパンの事例から～ …… 山内　孝幸　149—165

第45巻　第3号（2010年3月）大槻眞一学長退任記念号

特別号関連記事

大槻眞一学長退任記念号の刊行を祝して …… 辰巳　浅嗣　5
大槻眞一学長　略歴・研究業績 …… 6―15

論　　文

中小企業政策の基礎と日本の中小企業政策 …… 永山　利和　17―30
グローバル時代の地域振興と中小企業 …… 吉田　敬一　31―44
大都市における地域経済政策の方向性
――都市形成論と地域内再投資力の視点から―― …… 岡田　知弘　45―60
イノベーションと中小企業の存立
――基盤強化に向けた信用力創造―― …… 佐竹　隆幸　61―76
機械金属関連加工分野における基盤的技術産業集積
――大阪市の事例から―― …… 植田　浩史　77―90
科学技術に「未来アセスメント」を
――未来の人々に責任を負う社会に向けて―― …… 上岡　義雄　91―98
有田焼とナノテクノロジー …… 勝木　宏昭　99―104
滋賀県の産業振興と産学官連携の歩み …… 中村　吉紀　105―118
中小企業の未来と大学 …… 松井　清充　119―132
NGOによる途上国の人づくり支援について
――（財）太平洋人材交流センター（PREX）の取組み―― …… 酒井　明子　133―145
並列処理による進化計算の高速化について …… 筒井　茂義　147―164
日本のICT事情に関する一考察
――情報通信関連白書を通して―― …… 市川　隆男　165―181
GMサターン社の労使パートナーシップ経営 …… 安井　恒則　183―201
情報技術と景気循環――出荷・在庫統計の視点から―― …… 伊田　昌弘　203―219
メーカー系列販売会社によるSCM構築に向けて …… 山内　孝幸　221―233
ユーザーイノベーションの可能性 …… 水野　学　235―245
A Comparative Study on Japanese Management and
Tradition Indian Principles …… 川端　庸子　247―257
Ramachandran NATARAJAN
中小企業の「自律化」のプロセス
――株式会社ツインテックのケース・スタディ―― …… 関　智宏　259―271
An Analytical Framework of Japanese Corporate Finance
for the High Growth Period and the Bubble Period:
A Macro-and Micro Approach with Eichnerian-Kaleckian Modelling
…… 金尾　敏寛　273―297
東アジアの地域経済統合化の構造的要因とメカニズム
――経済地理学からの方法論的アプローチ―― …… 石井　雄二　299―313

わが国商業構造の長期的変化分析のための予備的考察 …… 西岡　俊哲　315―329
アメリカ銀行会計における償却・引当理論
――日米比較の見地から―― …… 桜田　照雄　331―345
ヘーゲルの「理性の狡知」論――労働手段の究明によせて―― …… 尼寺　義弘　347―356
ヘーゲル論理学講義1831年における「主体」と「自由」 …… 牧野　広義　357―368
ガブリエル・マルセルと存在の神秘 …… 和田　渡　1―11
「日本人論」と「中国人論」 …… 髙橋庸一郎　13―32

第46巻　第1号（2010年10月）

査読論文

カリフォルニア州の高等教育における光と影
――非合法移民子弟の進学を支援するAB 540を中心として …… 賀川　真理　1―20

論　　文

SCMにおけるゲートキーパーとしての販売会社 …… 山内　孝幸　21―43
実体的デュー・プロセスの新たな展開と権限アプローチ …… 中曽　久雄　45―60
生産的労働についての一考察 …… 馬場　雅昭　61―76
商圏縮小時代における小売商業の戦略 …… 仲上　哲　77―94

研究ノート

現代日本における小売商業研究の対象と課題 …… 仲上　哲　95―101
蓮池公咲の医療利用組合論の検討 …… 青木　郁夫　103―118

第46巻　第2号（2011年3月）

査読論文

現代日本の小売商業における業態の同質化 …… 仲上　哲　1―17
地域データによる晩婚化・少子化の分析 …… 西本　真弓　19―39
駿河　輝和
Hegels „List der Vernunft“ …… NIJI, Yoshihiro　41―54
事業の分社化と持株会社本社化の意義
――インフルエンスコスト削減に関する議論を手がかりにして―― 奥　康平　55―74

論　　文

制度階層性と調整の時間的相違を伴ったマクロ経済モデル …… 西　洋　75―88
大阪市と東京特別区部の比較分析
――主として1985年～2005年の人口，就業者，従業者に
もとづいて―― …… 新熊　邦男　89―112
生産的労働論争批判（Ⅰ） …… 馬場　雅昭　113―137

産業集積における中小製造企業の存立と展望
——大阪をケースとして—— …… 関　智宏　139—153
研究ノート
Assessment of the 2000 Tokyo *Women's International War Crimes Tribunal on Japan's Military Sexual Slavery* …… Eddy Van Drom　155—163
競争と勢力——高田保馬から青山秀夫へ—— …… 西　淳　165—184
進化ゲームと社会制度に関するノート …… 前野冨士生　185—192
Associations of Small Business Entrepreneurs as "Voluntary" Organizations for SME Managers and Their Campaign for the Documentation of Management Principles …… SEKI, Tomohiro　193—225

第47巻　第1号（2011年10月）

査読論文
残余利益モデルによる過剰分散制約の検証 …… 中條　良美　奥田　真也　1—10
専門量販店の成長——その背景と経営にかんする考察—— …… 仲上　哲　11—28
論　文
営業研究に関する一考察 …… 山内　孝幸　29—52
世界金融危機と金融規制 …… 岩橋　昭廣　53—72
生産的労働論争批判（Ⅱ） …… 馬場　雅昭　73—94
製品開発に果たすユーザーイノベーションの役割
——顧客の声とリード・ユーザー—— …… 水野　学　95—106
研究ノート
現代小売商業資本の存在様式と役割 …… 仲上　哲　107—112

第47巻　第2号（2012年3月）

論　文
医療利用組合運動の連合会組織による統制と保健国策 …… 青木　郁夫　1—21
The End of the *Leegin* Saga and the Beginning of Development For the *Rule of Reason* in RPM Cases …… Yoshiteru UEMURA　23—59
香水の持つブランド価値についての一考察
——本体のブランドを超える価値とは何か—— …… 平山　弘　61—75
第二次世界大戦中に強制収容された日系人に対するもう一つの戦後補償
——日系ペルー人ヘクター・ワタナベさんの闘い—— …… 賀川　真理　77—96

ファストファッションにおける競争優位のメカニズム
——INDITEX社ZARAの事例を中心に—— …… 大村　邦年　97—113
Middleton（Essex）における14世紀初頭の慣習保有農民（Custumarii）
——Extenta Manerii de Middeltoneの分析—— …… 能登　征夫　115—142
研究ノート
タイ進出日系中小企業の実態——現状・魅力・課題—— …… 関　智宏　143—153
一般均衡理論とマルクス——柴田敬の経済学—— …… 西　淳　155—176
翻　訳
理性の狡知 …… Walter Jaeschke　177—190
尼寺　義弘（訳）

第48巻　第1号（2012年10月）

論　文
Several Characteristics of Service Multinational Corporations
…… Hiromu Inoue　1—21
新興アパレル企業にみるデジタルプロモーション
——マッシュスタイルラボの事例から—— …… 大村　邦年　23—36
研究ノート
ドイツ語圏における「統治性研究」について
——戦後ドイツ教育史への一視角として—— …… 吉門　昌宏　37—54
翻　訳
マルクスとヘーゲルの弁証法
——絶対的にあらゆる哲学の最後の言葉—— …… アンドレアス・アルント　55—65
尼寺　義弘（訳）
講義録の中に見るヘーゲル論理学 …… アンネッテ・ゼル　67—76
牧野　広義（訳）

第48巻　第2号（2013年3月）

査読論文
Community-based Charity-type Safety Nets against Health Shock:
The Case of *Sangkeaha* in Rural Cambodia …… Kenjiro Yagura　1—30
論　文
日中関係と歴史認識問題 …… 永田　拓治　31—45
非財務業績評価指標とその経済的帰結
——先行研究が示す経験的証拠から—— …… 吉城　唯史　47—63

日本企業における経営現地化の諸課題 …… 笠原　民子　65―83
Bocking (Essex) における14世紀初頭の慣習保有農民 (Custumarii)
――Extenta Manerii de Bokkyng' の分析―― …… 能登　征夫　85―121
研究ノート
連合会組織による医療利用組合運動の系統的統制と
組織改組の現実相 …… 青木　郁夫　123―146
高田保馬の勢力説と経済学 …… 西　淳　147―165

第49巻　第1号 (2013年10月)

論　文
サービス産業の文化的環境の克服――USJの事例から―― …… 山内　孝幸　1―21
インドのソフトウェア産業における人事戦略と国際的頭脳循環 …… 伊田　昌弘　23―35
斉藤　豊
Community-based Fundraising for User-fee Exemption for Poor People:
The Pagoda-based Health Equity Fund in Cambodia …… Kenjiro Yagura　37―54
非常事態に関わる用語の研究 …… 平山　弘　55―66
ユーザー／オープン・イノベーション論
――外部資源としてのリード・ユーザー―― …… 水野　学　67―80
研究ノート
国際統合報告のフレームワークとその開示内容 …… 吉城　唯史　81―89

第49巻　第2号 (2014年3月)

査読論文
デフレ不況期におけるプライベートブランド商品の特徴 …… 仲上　哲　1―18
論　文
イギリスのグローサリー小売企業によるPB展開と
サプライヤーとの関係 …… 井上　博　19―34
ルーズヴェルト政権下における日系ラテンアメリカ人の
強制収容をめぐる一考察
――なぜ日系ペルー人が「人質交換プログラム」に利用されたのか――
…… 賀川　真理　35―48
研究ノート
戦時保健国策と医療利用組合運動
――農林・厚生両省「共管」; 国民医療法 ; 日本医療団との関連で――
…… 青木　郁夫　49―69

高田＝久留間論争再考
——拡大再生産表式における蓄積率と部門比率—— …… 西　淳　71—87
書　評
滕軍等編著『中日文化交流史—考察与研究—』（北京大学出版社，
2011年，386ページ）を読んで
——今後の日中交流の手がかりを探る—— …… 永田　拓治　89—95

第50巻　第1号（2014年10月）

論　文
中国における再生可能エネルギー事情と課題 …… 石井　雄二　1—15
蔡　明哲
アパレル企業の多角化戦略とその本質 …… 大村　邦年　17—29
研究ノート
医療利用組合運動の連合会組織による系統的統制に至る政策形成過程
——農林省「産業組合主任官協議会」における指示
及び協議を中心に—— …… 青木　郁夫　31—50
生存基本Subsistence-Fundと資本Capitalについてのノート
——西（2013），（2014）への補論—— …… 西　淳　51—60
調査報告
蘇州経済発展と中小企業
——蘇州における日系企業，ローカル企業，外資系企業の
インタビュー調査の記録—— …… 関　智宏　61—71

第50巻　第2号（2015年3月）阪南論集創刊50巻記念論文集

特別号関連記事
阪南論集創刊50巻記念論文集発刊に寄せて …… 辰巳　浅嗣
査読論文
名誉毀損表現の差止めに関する再検討
——日米の判決を手がかりとして—— …… 岡根　好彦　1—19
消費縮小状況において小売商業が主導する流通機能の変化 …… 仲上　哲　21—38
論　文
顧客志向マーケティングがもたらすもの
——アダストリアホールディングスとユナイテッドアローズの
有価証券報告書分析を通して—— …… 平山　弘　39—65
臼谷　健一

複数財の在庫モデルのシミュレーション分析 …… 青木　博明　67―79
日中関係と日台関係
――世論調査と歴史教科書とをてがかりに―― …… 永田　拓治　81―99
スキー場経営の新たなトレンドにそなえて …… 桜田　照雄　101―121
非常事態によるブランド価値基盤の転換に関わる研究 …… 平山　弘　123―138
研究ノート
医療利用組合群像［Ⅰ］――利用購買組合厚生病院 …… 青木　郁夫　139―160
宇宙空間の境界画定問題における最近の動向 …… 松掛　暢　161―176
生存基本分析と垂直的統合
――柴田敬の経済学とL. パシネッティの経済学―― …… 西　淳　177―192

〈人文・自然科学編〉

第15巻　第1号（1979年8月）

論　文

Parametric Decay of a Self-Trapped Strong Electromagnetic Wave
into Two Langmuir Waves. Ⅱ.
Decay Instability Trapping by the x-z Polarized Pump Filament
…… 池村　勉　1―5

資　料

現代学生の読書
――Library Surveyとしての読書調査―― …… 深井　耀子　7―20
ドイツトゥルネン活動におけるヤーン像の変遷（3） …… W. シュレーダー　21―36
藤井　政則（訳）
A. B. ルナチャルスキーにおける芸術と宗教 …… O. A. パブロフスキー　37―50
井尻　良夫（訳）

第15巻　第2号（1979年12月）

論　文

About Adam Smith's Dissertation on Language …… 長谷川恵洋　1―8
18世紀におけるロンドンの市民生活（序） …… 松尾　力雄　9―21
The "Tightly Wattled" Sounds:
A Prosodical Survey on Marianne Moore's "An Octopus" …… 中井　永子　23―40
Images Photographed by Observations:
A Study on M. Moore's Imagery …… 中井　永子　41―53

初期Hemingwayとイマジズム …… 佐藤　秀樹　55―68
研究ノート
四庫全書総目提要箋注（Ⅰ）…… 林　宏作　1―22

第15巻　第3・4号（1980年3月）

論　文
Un essai d'analyse sur Michel Butor（1）
――A propos de *6810000 litres d'eau par seconde*―― …… 国領　苑子　1―12
ローレンス・スターン研究 …… 松尾　力雄　13―24
「ヘンリーⅣ世」に於けるダブルプロットのパロディ的構造 …… 井上　准治　25―45
Timon of Athens:
a Stepping-Stone from Shakespearean Tragedies to Romances …. 山本　純子　47―59
資　料
大阪府泉北郡忠岡町における宮座 …… 大越　勝秋　1―15

第16巻　第1号（1980年8月）

論　文
幼児の身体発達と運動（2）…… 森田　憲導　1―20
Stratification and Convergence of Meaning in
T. S. Eliot's *The Family Reunion* …… 島津　展子　21―35
資　料
烏来山地原住民集落 …… 稲田菊太郎　37―62
現代学生の読書――『新潮文庫の100冊』への反応をめぐって―― …. 深井　耀子　63―75
国領　苑子
ソ連における社会主義的改革と女性の信仰心 …… И. П. チニャコバ　77―87
井尻　良夫（訳）
大阪府高石市における宮座 …… 大越　勝秋　1―6

第16巻　第2号（1981年3月）

論　文
English Rhythm …… 長谷川恵洋　1―11
児童文学「ピノキオ」と障害者差別 …… 杉尾　敏明　13―63
高橋美代子

The Blithedale Romance: Integration of The Veil …… 入子　文子　65―88
研究ノート
嵇康及其「幽憤詩」…… 林　宏作　31―53
資　料
大阪府泉南郡阪南町における宮座・寺座 …… 大越　勝秋　1―30

第16巻　第3・4号（1981年7月）原光雄教授退任記念号

論　文
産業記念物の科学技術史的課題――近畿地区を例として―― …… 山崎　俊雄　1―8
Parametric Excitation of Electrostatic Ion Cyclotron and Purely
Growing Waves Coupled with Electron Bernstein Waves …… 池村　勉　9―22
18世紀イギリスの出版界の状況 …… 永谷　秀雄　23―29
言語活動と文法形式の相互作用
――その一例としての，英文における‘Non-volitional Subject’について―― …… 林野　滋樹　31―36
現代フランス語における助動詞の統語構造：
変形生成文法理論によるアプローチ
――基底部におけるAux（助動詞句）導出方法を中心に―― …… 鞍岡　和人　37―53
ミゲル・アンヘル・アストゥリアスと『トウモロコシの人々』の
小説世界（Ⅰ）…… 高林　則明　55―71
オスカー・ワイルドの『スフィンクス』
――翻訳と詩の構成―― …… 堀江　珠喜　73―87
子規と虚子――道灌山事件をめぐって―― …… 橋本　寛之　67―85
資　料
大阪府貝塚市水間寺の寺座と史料 …… 大越　勝秋　1―66
特別号関連記事
原光雄教授退任記念号によせて …… 大橋　岩雄　i
原先生の停年に想う …… 斎藤　徳男　iii―xi
原光雄教授略歴・著作目録 …… 89―92

第17巻　第1号（1981年10月）

論　文
身体文化について（1）――Walter Siegerを中心として―― …… 藤井　政則　1―13
ミゲル・アンヘル・アストゥリアスと『トウモロコシの人々』の
小説世界（Ⅱ）…… 高林　則明　15―50

資　　料

貝塚市宮座・寺座史料目録 …… 大越　勝秋　1―40

翻　　訳

『ウォールデンでの発見』 …… ローランド・ウエルズ・ロビンズ　51―93
松尾　力雄（訳）

『セルの書』 …… ウィリアム・ブレイク　95―103
松尾　力雄（訳）

第17巻　第２・３号（1982年２月）大越勝秋教授退任記念号

論　　文

現代音楽論 …… 国領　苑子　1―11

18世紀イギリスにおける読者層の成立について …… 永谷　秀雄　13―22

済州島潜嫂集落の変貌――韓国セマウル運動の10年―― …… 稲田菊太郎　23―55

婦人関連資料センターの資料構成 …… 深井　耀子　57―74

カーソン・マッカラーズ――愛の幻想―― …… 吉岡志津世　75―88

ヘーゲルのイェーナ『論理学』（1804/05）における「無限性」概念 …… 田端　信広　89―99

On the Narrative Technique:
Why Does Miles Coverdale Narrate ? …… 入子　文子　101―112

The Story of Posthumus and Imogen in *Cymbeline* …… 山本　純子　113―124

資　　料

試稿『漢書』地理志　訳註（八）――周地篇・楚地篇―― …… 江畑　武　1―10

特別号関連記事

大越勝秋教授退任記念号によせて …… 渡辺　馨　i

大越さんとわたし …… 岸本　實　iii―v

大越勝秋教授略歴・著作目録 …… 125―129

第17巻　第４号（1982年６月）社会科学編　人文・自然科学編合併号
経済学部創設10周年記念号

論　　文

価格指数 …… 安部　栄造　1―18

藩札――江戸時代の紙幣―― …… 田谷　博吉　19―21

サプライ・サイド・エコノミックスについて …… 橋本　博之　23―26

貨幣と商業 …… 虎田　雋雄　27―37

イギリスにおける1908年老齢年金法の成立と労働運動（その一） …… 深沢　和子　39―50

The Future of Futures Trading in Japan …… 今野　勉　51―70

公害犯罪処罰法の問題性 …… 垣口　克彦　71―90
レーニンの鉄道論と自動車工業論
――現代自動車工業論序説の一齣―― …… 中村　静治　91―101
憲法の変遷 …… 須崎　実　103―112
Todayness in John Ashbery's Ingenious Indirectness …… 中井　永子　113―126

資　料

大学受験生の実態と意識――受験浪人の意識調査を中心に―― …… 中山　信夫　143―157
大学生の体力からみた健康問題 …… 平原　豊弘　159―181
和泉地方における中世宮座史料 …… 大越　勝秋　1―13

翻　訳

ウェーバー・テーゼ　プロテスタンチズムと資本主義 …… I. M. ツァイトリン　127―142
山田　隆夫（訳）

特別号関連記事

経済学部創設10年に当って …… 鈴木　稔　I
経済学部10周年記念号に寄せて …… 渡辺　馨　II
阪南大学と私の「経済学」 …… 速水　敏　III―IV

第18巻　第1号（1982年7月）

論　文

現実の矛盾と論理的矛盾との異同について …… 有尾　善繁　1―20
W. B. Yeats の Imagination
――"At the Hawk's Well" にみる 'sleep' と 'asleep' の対立――
…… 永田　節子　21―28
オスカー・ワイルドとロンドン …… 堀江　珠喜　29―43

翻　訳

『ティアリエル』 …… ウィリアム・ブレイク　45―63
松尾　力雄（訳）
ヴィルフレド・パレード（I） …… I. M. ツァイトリン　65―73
山田　隆夫（訳）

第18巻　第2号（1982年11月）

論　文

著作家における patronage の諸相
――18世紀英国の出版界―― …… 永谷　秀雄　1―8
現代美術論 …… 国領　苑子　9―19

ミゲル・アンヘル・アストゥリアスと『トウモロコシの人々』の
小説世界（Ⅲ）……高林　則明　21―44
K Вопросу об Обучении Русскому Яэыку,
в Особенности Синтаксису……井尻　良夫　45―52
翻　訳
ヴィルフレド・パレード（Ⅱ）……I. M. ツァイトリン　53―65
山田　隆夫（訳）

第18巻　第3号（1983年2月）

論　文
物質概念をめぐる若干の問題点……有尾　善繁　1―13
Romantic Irony in T. S. Eliot's *Murder in the Cathedral*……島津　展子　15―24
資　料
ドイツトゥルネン活動におけるヤーン像の変遷（4）……W. シュレーダー　25―39
藤井　政則（訳）
大学受験生の現実認識――浪人中の予備校生を中心に――……中山　信夫　41―56
翻　訳
ヴィルフレド・パレード（Ⅲ）……I. M. ツァイトリン　57―69
山田　隆夫（訳）

第18巻　第4号（1983年4月）

論　文
部落問題の現状と展望――統合施策の基本視点――……杉尾　敏明　1―51
Das Problem des Anderen
――Der Weg vom „Ich-Du-Verhältnis"
zum „Ich-selbst Du-selbst Verhältnis"――……堤　正史　53―64
宮座と婿養子……大越　勝秋　1―4
研究ノート
箕子朝鮮開国伝承の成立……江畑　武　5―13
随　想
日本語版『共産党宣言』とわたしの学問
――マルクス没後100年を記念して――……福冨　正実　65―75

第19巻　第1号（1983年6月）

論　　文

運動学習における一考察（続）
——視覚的機能の影響について—— …… 中雄　勇　1—8

オスカー・ワイルドとロンドン（Ⅱ） …… 堀江　珠喜　9—17

研究ノート

正教会と結婚——婚配機密を中心に—— …… 井尻　良夫　45—54

翻　　訳

『天国と地獄の結婚』 …… ウィリアム・ブレイク　19—44
松尾　力雄（訳）

第19巻　第2号（1983年11月）

論　　文

On the Relations between Authors, Booksellers and
Readers in 18th Century Britain …… 永谷　秀雄　1—4

脱成人病食品、スベリヒユ …… 野村　雅庸　5—12

ヴェルターにみる若きゲーテの悲劇のモティーフ …… 溝井　髙志　13—44

フィロンのピスティス（Πιστις）概念について（1） …… 山崎　秋夫　45—55

Атеистическая Традиция среди Советских Рабочих,
в Особенности в Каэахстане …… 井尻　良夫　57—64

徳田秋声・明治四〇年前後——自然派への移行—— …… 中尾　務　1—11

研究ノート

身体発達の基本的事項〈Ⅰ〉
——身体発達に関する用語の概説—— …… 森田　憲導　77—91

Ralph Ellison: *Invisible Man*
'A Study on the Hero's Way' of Life …… 神野　尚　93—94

翻　　訳

ガエターノ・モスカ（Ⅰ） …… I. M. ツァイトリン　65—75
山田　隆夫（訳）

第19巻　第3号（1984年1月）

論　　文

クロード・シモンの『盲いたるオリオン』をめぐって …… 国領　苑子　1—13

ローレンス・スターン研究〔序〕——自由について—— …… 松尾　力雄　15—21

ロシヤ語前置詞論 …… 井尻　良夫　23―34
フィロンのピスティス（Πιστις）概念について（2） …… 山崎　秋夫　35―46
研究ノート
身体発達の基本的事項〈Ⅱ〉――発達段階―― …… 森田　憲導　47―63

第19巻　第4号（1984年3月）

論　　文
カナダにおけるインディアンへの公立図書館サービス …… 深井　耀子　1―15
Körperübungenにみるスターリン言語観の影響（上） …… 藤井　政則　17―29
ローレンス・スターン研究――スターンの『死観』―― …… 松尾　力雄　31―40
高浜虚子『俳諧師』論 …… 橋本　寛之　1―15
秋声『黴』論――笹村の固執するもの―― …… 中尾　務　17―29
研究ノート
身体発達の基本的事項〈Ⅲ〉――身体発達の一般的原理―― …… 森田　憲導　69―86
資　　料
1905―1916年におけるロシヤ正教会の社会的政治的立場
…… H. П. クラスニコフ　41―55
井尻　良夫（訳）
翻　　訳
『社会学原理』 …… ハーバート・スペンサー　57―68
山田　隆夫（訳）

第20巻　第1号（1984年6月）

論　　文
肥満児とやせ児の心身医学的研究（第1報）
――小学生について―― …… 森田　憲導　1―10
松岡　弘
「打つ」動作に関する基礎的研究
――硬式テニスのサービスについて―― …… 堤　實　11―24
徳山　廣
西島　吉典
運動技術の習熟過程における一考察
――視覚的機能の影響について―― …… 中雄　勇　25―33
ローレンス・スターン研究――18世紀の文学的環境（Ⅰ）―― …… 松尾　力雄　35―45
Baroja y su “tierra” vasca …… 和佐　敦子　47―57

研究ノート
「和英辞典」のひとつのあり方について …… 林野　滋樹　77―90
資　　料
A. Я. グレヴィチの「中世文化の諸カテゴリー」論〔Ⅰ〕…… 福冨　正実　59―75

第20巻　第2号（1984年11月）

論　　文
ナタリー・サロートの『見知らぬ男の肖像』をめぐって …… 国領　苑子　1―13
教育改革の基本視点――現代公教育の課題と展望―― …… 杉尾　敏明　15―51
「実践的唯物論」と物質概念 …… 有尾　善繁　53―72
バイオテクノロジーの進展と危惧 …… 野村　雅庸　73―87
Gulliver's Travels における Yahoo 描写について …… 千森　幹子　89―104
秋声「好奇心」について――〈お冬もの〉小見―― …… 中尾　務　1―7
研究ノート
身体発達の基本的事項〈Ⅳ〉
――身体発達を規定する要因，1：遺伝的要因―― …… 森田　憲導　131―156
資　　料
A. Я. グレヴィチの「中世文化の諸カテゴリー論」〔Ⅱ〕…… 福冨　正実　105―115
精神的文化の開花と没落の諸問題 …… H. B. ゴンチャレンコ　117―129
井尻　良夫（訳）

第20巻　第3号（1985年1月）

論　　文
Nonlinear Transformation of Statistical Data by Means
of a Computer　I. The Case of "BASIC"
（コンピューターを用いた平均値の任意変換の試み　I. BASIC 編）
…… 池村　勉　1―14
King Lear に於ける Humour について
――その喜劇的要素―― …… 神野　尚　15―20
After Endless Defeatism
――Hemingway's Transfiguration―― …… 森　健嗣朗　21―42
研究ノート
身体発達の基本的事項〈Ⅳ〉
――身体発達を規定する要因，2：出生前環境要因―― …… 森田　憲導　71―94
英語科における平和教育 …… 林野　滋樹　95―108

資　　料

A. Я. グレヴィチの「中世文化の諸カテゴリー論」〔Ⅲ〕……福冨　正実　43―62

翻　　訳

『心の旅人』……ウィリアム・ブレイク　63―69
松尾　力雄（訳）

第20巻　第4号（1985年3月）創立20周年記念論文集

論　　文

包括的人間学・序説……沢田　允夫　1―14

「打つ」動作に関する基礎的研究
――バレーボールにおけるフローターサーブの
キネシオロージ的研究――……堤　實　15―20
中雄　勇
大塚　恭子
治部　浩三
島田　三郎
徳山　廣
西島　吉典

青木功プロのゴルフスイングの筋電図からみた動作特徴
――いわゆる「ベタ足打法」について（その1）――……中雄　勇　21―26
堤　實
島田　三郎
徳山　廣
西島　吉典

人間の真の生き方とは？
――モラリスト：クルーソーの体験から――……神野　尚　27―32

研究ノート

身体発達の基本的事項〈Ⅳ〉
――身体発達を規定する要因，3：出生後環境要因――……森田　憲導　81―109

英語科における平和教育（その二）……林野　滋樹　111―140

エスニック・コミュニティへの公共図書館サービス
――カナダのガイドラインの解説と紹介――……深井　耀子　141―154

資　　料

A. Я. グレヴィチの「中世文化の諸カテゴリー」論〔Ⅳ〕……福冨　正実　33―53

宗教と現代……M. П. ムチェドロフ　63―79
井尻　良夫（訳）

翻　　訳

カール・マルクスと労働者階級の身体文化（1）…… G. エルシュレーゲル　55―61
藤井　政則（訳）

特別号関連記事

20周年記念誌発刊を迎えて …… 柏尾　昌哉

第21巻　第1号（1985年6月）

論　　文

ローレンス・スターン研究
――ウォールター・シャンディーの世界―― …… 松尾　力雄　1―17

Adjointness of Fuzzy Systems …… 和泉　孔二　19―28

Miltonと古典神話――没入から覚醒へ―― …… 小山　　薫　29―41

研究ノート

英語科における平和教育（その三） …… 林野　滋樹　51―72

中世社会史研究と歴史方法論
――A. Я. グレヴィチの中世民衆文化史研究と関連して―― …… 福冨　正実　73―86

資　　料

カナダ図書館協会の公立図書館基準 …… 深井　耀子　43―50

第21巻　第2号（1985年9月）

論　　文

英国における予約出版――1617年から1765年まで―― …… 永谷　秀雄　1―18

大学受験生の不安の構造――CASよりみた不安を中心に―― …… 中山　信夫　19―29

Parametric Decay of a Self-Trapped Strong Electromagnetic Wave
into Two Langmuir Waves. Ⅲ.
Decay Instability Stabilization by the *y*-Polarized Pump Filament
…… 池村　　勉　31―44

An “Escape from Repetition”:
A Study on Wallace Stevens’s “The Bouquet” …… 中井　永子　45―56

資　　料

精神的文化の進歩と哲学 …… B. A. マリニン　65―76
井尻　良夫（訳）

翻　　訳

カール・マルクスと労働者階級の身体文化（2） …… G. エルシュレーゲル　57―63
藤井　政則（訳）

第21巻　第3号（1986年1月）

論　　文

ファジィシステムにおける双対性 …… 和泉　孔二　1―10
「ベニト・セレノ」のコン・マン …… 石井　光子　11―30
長距離走におけるペース配分についての一考察
――ラップ・タイムよりみた場合―― …… 中雄　勇　31―38
三村　寛一
Essays of Elia と *Last Essays of Elia* に於ける Humour について …. 神野　尚　39―49
H. E. Bates and Nature
――His Technique of Producing Atmosphere―― …… 森　健嗣朗　51―64

研究ノート

英語科における平和教育（その四） …… 林野　滋樹　95―108
カナダ・オンタリオ州・1966年公立図書館法について …… 深井　耀子　109―127

資　　料

フランスにおける女性学の発達と女性資料センターの
設立状況をめぐって …… 国領　苑子　65―75
中世ラテン語文学と民衆文化〔Ⅰ〕
――A. Я. グレヴィチの著書『中世民衆文化の諸問題』より――
…… 福冨　正実　77―94

第21巻　第4号（1986年3月）

論　　文

ローレンス・スターン研究
――トウビー・シャンディーの世界―― …… 松尾　力雄　1―17
物質概念と弁証法（その1） …… 有尾　善繁　19―33
身体発達の時代変化 …… 森田　憲導　35―57
Duality of Fuzzy Systems Based on the Intuitionistic Logic
Calculus LJ …… 和泉　孔二　59―72

研究ノート

英語科における平和教育（その五） …… 林野　滋樹　111―140

資　　料

中世ラテン語文学と民衆文化〔Ⅱ〕
――A. Я. グレヴィチの著書『中世民衆文化の諸問題』より――
…… 福冨　正実　73―90
北欧における外国人移住労働者への公立図書館サービス
――オスロ市立ダイキマン図書館を訪問して―― …… 深井　耀子　91―109

第22巻　第1号（1986年6月）

論　　文

英語中舌母音の諸相（その1）……長谷川恵洋　1―7
“BURAKU” Discrimination in JAPAN
――Present Conditions and Outlook――（Part Ⅰ）……杉尾　敏明　9―35
Baroja y “LA VIDA FANTASTICA” ……和佐　敦子　37―43

研究ノート

英語科における平和教育（その六）……林野　滋樹　45―62
ソ連のジャーナリズムについての一考察
――プラウダ，イズベスチヤ，経済新聞，夕刊モスクワを中心に――
……西浦　義道　63―75

資　　料

中世ラテン語文学と民衆文化〔Ⅲ〕
――A. Я. グレヴィチの著書『中世民衆文化の諸問題』より――
……福冨　正実　77―97
東洋諸国における宗教と言語……Л. Б. ニコルスキー　99―110
井尻　良夫（訳）

第22巻　第2号（1986年9月）

論　　文

学術振興協会の破綻
――英国18世紀におけるAuthorshipの一側面――……永谷　秀雄　1―14
物質概念と弁証法（その2）……有尾　善繁　15―26
英語中舌母音の諸相（その2）……長谷川恵洋　27―37
“BURAKU” Discrimination in JAPAN
――Present Conditions and Outlook――（Part Ⅱ）……杉尾　敏明　39―74
Beauty and Truth
――Based on *A Streetcar Named Desire*――……神野　尚　75―78
Erziehung und Dialog……堤　正史　79―88

資　　料

カナダにおける公立図書館統計
――カナダ連邦政府統計・1979～1981の紹介を中心に――……深井　耀子　89―104
原初キリスト教とソビエトの歴史学……К. П. コルジェバ　105―122
井尻　良夫（訳）

第22巻　第3号（1987年1月）

論　　文

英語中舌母音の諸相（その3）……長谷川恵洋　1―13
Fuzzy Logical Construction of Linguistic Modal Hedges……和泉　孔二　15―28
フィロンのパイデイア概念について
――「杖」解釈を中心として――……山崎　秋夫　29―40

研究ノート

英語科における平和教育（その七）……林野　滋樹　41―54
学校英語か実用英語か（その1）……長谷川恵洋　55―63

翻　　訳

《解放の神学》――ラテン・アメリカのラジカルな潮流――……B. M. パシカ　65―77
井尻　良夫（訳）

第22巻　第4号（1987年3月）

論　　文

ローレンス・スターン研究
――トリストラム・シャンディーとローレンス・スターンの
同一性――……松尾　力雄　1―14
ロブ＝グリエの『嫉妬』をめぐって……国領　苑子　15―22
物質概念と弁証法（その3）……有尾　善繁　23―32
Körperübungenにみるスターリン言語観の影響（下）……藤井　政則　33―48

研究ノート

学校英語か実用英語か（その2）……長谷川恵洋　49―61
英語科における平和教育（その八）……林野　滋樹　63―80
身体発育――形態発育の経過（1）――……森田　憲導　81―113

第23巻　第1号（1987年6月）

論　　文

若きゲーテにおけるフリーデリケ体験の意義について……溝井　髙志　1―20
ローレンス・スターン研究――18世紀の文学的環境（Ⅱ）――……松尾　力雄　21―46
Baroja y “LA LUCHA POR LA VIDA”……和佐　敦子　47―54
ヘミングウエイの『The Short Happy Life of Francis
Macomber』に関する一解釈……森　健嗣朗　55―67

研究ノート

学校英語か実用英語か（その 3）……長谷川恵洋　69―80
身体発育――形態発育の経過（2）――……森田　憲導　81―120
公立図書館における多言語資料サービス
――トロント市立図書館・1957 年～ 1987 年――……深井　耀子　121―134

第 23 巻　第 2 号（1987 年 9 月）

論　　文

エンバク冠さび菌夏胞子の自己発芽抑制物質とその誘導体による
植物菌類病防除への試行……鶴嶋　　鉄　1―8
物質概念と弁証法（その 4）……有尾　善繁　9―18
カトリック教会と社会教説……井尻　良夫　19―32

研究ノート

英語科における平和教育（その九）……林野　滋樹　33―47

翻　　訳

ケルムスコット出版局小史……シドニー・C. コッカレル　49―61
永谷　秀雄（訳）

第 23 巻　第 3 号（1988 年 1 月）

論　　文

近代技術論と領域主催――E. スフールマンの技術論再考――……村田　充八　1―18
ロラン・バルトの軌跡……国領　苑子　19―28
The Aspect of Initiation
――Hemingway's Nick Adams Stories――……森　健嗣朗　29―44
中国文献に見える麝香について――その香と薬の効用――……髙橋庸一郎　1―16
大師伝承の基層と構造――昔話・伝説・霊験――……谷口　廣之　17―27

第 23 巻　第 4 号（1988 年 3 月）

論　　文

タイム・バルス・イ・カム
――パプアニューギニア，ミアンミン族における西欧世界との
接触と社会変容――……熊谷　圭知　1―20
Ahab 試論―呪術者としての顔……辻本　庸子　21―30

睡虎地秦墓竹簡釈文註解（一）……髙橋庸一郎　1―14
研究ノート
英語科における平和教育（その十）……林野　滋樹　31―46
「新人類」の状況証拠……西岡　俊哲　47―60
翻　訳
言語分析的護教論――現代宗教哲学の一潮流――……ヤン・ベイシ　61―73
井尻　良夫（訳）

第24巻　第1号（1988年6月）沢田允夫教授追悼号

論　文
Japanese Society: The Realization of Emptiness……吉田　謙二　1―13
ヤスパースにおける「実存」と「悪」……堤　正史　15―25
ジョン・デューイにおける哲学観の再構築と，
再構築としての哲学観……立山　善康　27―35
ハイデガーのケーレ・再考……和田　隆子　37―48
他者経験と自我の構造
――フッサール『デカルト的省察』第五省察への一視座――……森田　安洋　49―57
Das problem des reflexiven Blicks in Husserls Phänomenologie
des inneren Zeitbewußtseins……和田　渡　59―74
宗教加入の諸段階
――宗教加入の時間的経過に関する論点をめぐって――……村田　充八　75―83
英文法教育の方法……林野　滋樹　85―101
実践的唯物論と史的唯物論――広松渉氏の所説によせて――……有尾　善繁　103―115
再び『魏略』と『魏志』の相違について
――倭人太伯後裔説に関連して――……江畑　武　1―10
説き話しの様式と構造――救済と証言――……谷口　廣之　11―25
中国古文献に見える沈香について――その香と薬効――……髙橋庸一郎　27―38
特別号関連記事
沢田允夫教授　哀辞……垣口　克彦
沢田允夫君の思い出……中桐　大有　1―7
沢田允夫教授略歴・業績目録……117―118

第24巻　第2号（1988年9月）

論　文
ローレンス・スターン研究――18世紀の文学的環境（Ⅲ）――……松尾　力雄　1―29

メルヴィルの「鐘楼」――共和都市国家の法―― …… 石井　光子　31―38
(続) 中国古文献に見える沈香について (上)
――その木と名称―― …… 髙橋庸一郎　1―8
翻　訳
カトリック教会とファシズム (1930―1933) …… M. E. エリン　39―53
井尻　良夫 (訳)

第24巻　第3号 (1989年1月)

論　文
ローレンス・スターン研究――『脱線』の意味について―― …… 松尾　力雄　1―34
ミルトンの文学観再考 …… 玉田　晃一　35―46
(続) 中国古文献に見える沈香について (下)
――その木と名称―― …… 髙橋庸一郎　1―18
研究ノート
カナダ国立図書館・多言語資料サービス部の発足と展開 …… 深井　耀子　47―63
翻　訳
アレクサンドリアのフィロン『巨人について』 …… フィロン　19―32
山崎　秋夫 (訳)

第24巻　第4号 (1989年3月)

論　文
集団における対人関係と Ambiguity Tolerance …… 吉川　茂　1―12
Nonlinear Transformation of Statistical Data by Means
of a Computer Ⅱ. Arbitrary Transformation
of the Arithmetic Mean …… 池村　勉　13―23
A Study of the Significance of the Ghosts in Henry James's
The Turn of the Screw …… 岡田　弥生　25―30
悲劇の世を越えて
――『カスターブリッジの町長』におけるエリザベス・ジェーンの
重要性―― …… 田中　紀子　31―45
睡虎地秦墓竹簡釈文註解 (二) …… 髙橋庸一郎　1―12
経験のフィギュール …… 和田　渡　13―21

第25巻　第1・2・3号（1989年12月）創立25周年記念論文集

論　　文

Über die Möglichkeit der Erlösung des
　Enthusiasten in „Faust“ …… 溝井　髙志　1―36
ロバート・フロスト研究 …… 松尾　力雄　37―52
打撃動作に関する基礎的研究――実打と素振り―― …… 中雄　勇
　堤　實　53―60
Comparison of Experiments by Statistical Information Theory …… 橋本　勲　61―67
フーコーの思想と「わたしたち」…… 国領　苑子　69―77
英語教育における〈正しい労働観〉の重要性 …… 林野　滋樹　79―97
A Fugue of Hyperbole and Litotes:
　A Study on John Ashbery's "Fragment" …… 中井　永子　99―114
双対直観主義命題論理計算DLJのGentzen流形式化 …… 和泉　孔二　115―126
メルヴィルと，彼の煙突は，投降しはしない …… 石井　光子　127―144
祖先の失った富
　――パプアニューギニア，ミアンミン族の神話と戦争・移動を
　めぐる一考察―― …… 熊谷　圭知　145―164
補陀落渡海伝承の位相――海彼への憧憬―― …… 谷口　廣之　1―14
『聖徳太子伝暦』説話の変遷 …… 髙橋庸一郎　15―29
箕子朝鮮開国伝承の展開
　――『漢書』・『魏略』・『魏志』を中心に―― …… 江畑　武　31―41
新海非風論 …… 橋本　寛之　43―58

特別号関連記事

創立25周年記念論文集発刊のことば …… 川島　哲郎

第25巻　第4号（1990年3月）

論　　文

心拍数と歩数からみた正課体育実技（養護コース）に
　関する一考察 …… 中雄　勇
　堤　實　1―10
科学と人間――科学の前提と中立性―― …… 村田　充八　11―30
「ちびくろサンボ」問題と人種差別
　――作品評価とかかわって―― …… 杉尾　敏明
　棚橋美代子　31―47
カトリシズムと「救済」…… 井尻　良夫　49―61

A Study of the Predicament of Being in
William Faulkner's *Absalom Absalom !* …… 岡田　弥生　63―73
Persuasion
――Many Happily Fortuitous Circumstancesをめぐって―― … 瀬戸崎康子　75―82
睡虎地秦墓竹簡釈文註解（三） …… 髙橋庸一郎　1―15

翻　　訳

西洋の思想史におけるゲーテの位置づけ（その一） …. ルドルフ・シュタイナー　83―94
溝井　高志（訳）
アレクサンドリアのフィロン『神の不変性について』（一） …… フィロン　17―29
山崎　秋夫（訳）

資　　料

表情と言語的メッセージとの不一致に対する反応について …… 吉川　茂　95―103

第26巻　第1号（1990年6月）

論　　文

AET問題への一考察 …… 林野　滋樹　1―15
「ちびくろサンボ」問題と人種差別
――教育・表現の自由とかかわって―― …… 杉尾　敏明　17―29
棚橋美代子
井上ひさしとヌーヴォ・ロマン
――『吉里吉里人』をめぐって―― …… 国領　苑子　1―20
『史記』と古代帝王 …… 髙橋庸一郎　21―31

研究ノート

ユダヤ人公共図書館（モントリオール）の蔵書構成 …… 深井　耀子　31―47
再び『魏略』の成立年代について
――何遠景氏の二五五年説について―― …… 江畑　武　33―43

翻　　訳

ラテン・アメリカの《解放の哲学》…… E. V. デメンチョノク　49―63
井尻　良夫（訳）
アレクサンドリアのフィロン『神の不変性について』（二） …… フィロン　45―58
山崎　秋夫（訳）

第26巻　第2号（1990年9月）

論　　文

古代ギリシャ悲劇について――プラトンとアリストテレス―― …… 松尾　力雄　1―7

辞書による分析の比較――文型表示について―― …… 若菜　建志　9―17
夏后氏禹の系譜とその変遷 …… 髙橋庸一郎　1―13

資　料

カナダ図書館協会（英語系）の多文化サービス・ガイドラインについて
…… 深井　耀子　19―26

翻　訳

西洋の思想史におけるゲーテの位置づけ（その二）…… ルドルフ・シュタイナー　27―42
溝井　高志（訳）

第26巻　第3号（1991年1月）

論　文

コミューンと宗教
――コミューンのマイノリティ性をめぐって―― …… 村田　充八　1―15
社会主義社会と宗教 …… 井尻　良夫　17―28
The Importance of Being Earnest
――「アーネスト」であること―― …… 西脇　典彦　29―35
「夏本紀」と九州（上）…… 髙橋庸一郎　1―13
ヘーゲルの推理論（一）…… 尼寺　義弘　15―20

翻　訳

ファウスト救済の秘儀について …… カール・ヴォルフ　37―48
溝井　高志（訳）
アレクサンドリアのフィロン『神の不変性について』（三）…… フィロン　21―30
山崎　秋夫（訳）

第26巻　第4号（1991年3月）

論　文

アリストテレスと観阿弥の『演劇論』について
――『詩論』と『風姿花傳』―― …… 松尾　力雄　1―6
Le problème du sujet en devenir dans la phénoménologie husserlienne
…… 和田　渡　7―16
心拍数からみた正課体育実技（養護コース）に関する一考察
――車いす使用の学生について―― …… 中雄　勇　17―25
堤　實
AET体制への批判的考察 …… 林野　滋樹　27―40
ヘーゲルの推理論（二）…… 尼寺　義弘　1―8

「夏本紀」と九州（下）……髙橋庸一郎　9―26

調 査 報 告

スウェーデンにおける移民・難民への公立図書館サービス
――「平等・選択の自由・協同」の外国人・少数民族政策のもとに――
……深井　耀子　41―51

第27巻より編集・発行が阪南大学より阪南大学学会に変更

第27巻　第1号（1991年6月）林野滋樹教授退任記念号

特別号関連記事

林野滋樹教授退任記念号によせて……松田　清
林野滋樹教授略歴・研究業績……特別編集委員

論　　文

外国語習得過程におけるEIM（Ego-Involved Method）の研究……一宮和一郎　1―13
英語教育変革の視点……長谷川　清　15―27
'I Have a Dream'の「5大語法」の探求譜
――大学英語教育のドラマ化をめざして――……伴　和夫　29―46
林野滋樹氏に学ぶ『労働』の意義について……宮本　敞　47―57
アリストテレスとワーズワース――『詩觀』について――……松尾　力雄　59―66
フランス語で書くアルジェリアの作家
――ラシッド・ブージェドラ――……国領　苑子　67―75
ヘーゲル『論理学』における「概念」と物質概念……有尾　善繁　77―92
The Doves Pressにおける Partnershipの破綻……永谷　秀雄　93―109
コミューンの理想と現実――集団及び成員の視点から――……村田　充八　111―130
ジョイ・コガワ『オバサン』――日系カナダ人の「声」――……渡辺　昇　131―141
Die Kategorien Anschauung und Begriff im „*System der Sittlichkeit*“
bei Hegel in bezug auf die politische Ökonomie……尼寺　義弘　143―146
「殷本紀」の特質……髙橋庸一郎　1―16

第27巻　第2号（1991年9月）

論　　文

Hegels Theorie vom Schluß
――eine wichtige wissenschaftliche Quelle für
Marx' Theorie von der Werform――……尼寺　義弘　1―10

Valency and Case Ⅰ
——Syntactic Valency and Semantic Case—— …… 若菜　建志　11—35
マルクシズムと宗教 …… 井尻　良夫　37—45
Blocking Mechanisms in Passive Voice (1) …… 栗原　優　47—67
AET 制度と思想支配 …… 林野　滋樹　69—84
睡虎地秦簡《語書》釈文注解 (上) …… 髙橋庸一郎　1—7
翻　訳
アレクサンドリアのフィロン律法の大要『十戒について』(一) …… フィロン　9—24
山崎　秋夫 (訳)

第27巻　第3号 (1992年1月)

論　文
『ギー』——メルヴィルの民族誌学 …… 石井　光子　1—12
Valency and Case Ⅱ
——On Semantic Valency in English—— …… 若菜　建志　13—24
Jane Eyre における主観性と法則性 …… 廣野由美子　25—33
中国家族呼称の語構成とその背景
——宗族の社会構造を中心に—— …… 趙　莉萍　35—45
Blocking Mechanisms in Passive Voice (2) …… 栗原　優　47—66
ヘーゲルの推理論 (三) …… 尼寺　義弘　1—14
古代日本の「匂い」…… 髙橋庸一郎　15—24
研究ノート
学校英語か実用英語か (その4) …… 長谷川恵洋　67—82
翻　訳
アレクサンドリアのフィロン律法の大要『十戒について』(二) …… フィロン　25—42
山崎　秋夫 (訳)

第27巻　第4号 (1992年3月)

論　文
アリストテレスの『詩論』研究
——シェイクスピアの四大悲劇に見られる
‘hamartia’ について—— …… 松尾　力雄　1—18
『勝負の終わり』の生成 (Ⅰ)
—— “Mime du rêveur, A” について—— …… 井上　善幸　19—29
日本人英語教師と AET との Team Teaching について …… 林野　滋樹　31—50

無神論的教育と青年労働者
——ペレストロイカ以前のソ連—— …… 井尻　良夫　51—60
Macbeth
——Macbeth's Evil and the Paradox of Fulfillmentについて——
…… 瀬戸崎康子　61—78
睡虎地秦簡《語書》釈文注解（中） …… 髙橋庸一郎　1—7
藤原冬嗣家族について …… 栗原　弘　9—30

第28巻　第1号（1992年6月）

論　　文

利き手・利き目と体力・運動能力との関係 …… 中雄　勇
堤　實
吉川　茂　1—9
スポーツと経済（上）
——「スポーツの経済学」の対象と方法—— …… 藤井　政則　11—22
大学バスケットボールゲーム中における
運動強度に関する一考察 …… 堤　實　23—27
実用的視点からの辞書評価　その1 …… 若菜　建志　29—38
宗教とB. И. レーニン …… 井尻　良夫　39—48
短編小説の時間 …… 森　健嗣朗　49—66
The Theatre of Mind-Lessness:
A Reading of Samuel Beckett's *Endgame* …… 井上　善幸　67—77
日本人英語教師とAETとのTeam Teachingについて
——その二—— …… 林野　滋樹　79—92
織田作之助『夫婦善哉』論 …… 橋本　寛之　1—20
睡虎地秦簡《語書》釈文注解（下Ⅰ） …… 髙橋庸一郎　21—28

研究ノート

*Wuthering Heights*年代記 …… 廣野由美子　93—104

翻　　訳

アレクサンドリアのフィロン『観想的生活について』 …… フィロン
山崎　秋夫（訳）　29—50

追　　加

『魏志』巻三〇烏丸鮮卑・東夷伝の序文について …… 江畑　武　51—53

第28巻　第2号（1992年9月）

論　　文

第一次電力国家管理期における旧卸売電力企業の不振 …… 渡　　哲郎　1―12
小錦問題・ロス暴動と人種差別撤廃 …… 杉尾　敏明　13―32
実用的視点からの辞書評価　その2 …… 若菜　建志　33―41
Conditions to Establish the Concept of Reference Service …… 田窪　直規　43―56
『書くことによって…』
――ヘミングウェイの「誰がために鐘は鳴る」―― …… 森　健嗣朗　57―65
COMPARISON of the ART cultures of Japan and U.S.A. …… 小磯かをる　67―80
John Ford: *The Broken Heart* 再考 …… 笠原　靖子　81―90
日本人英語教師とAETとのTeam Teachingについて
――その三―― …… 林野　滋樹　91―115
睡虎地秦簡《語書》釈文注解（下Ⅱ） …… 髙橋庸一郎　1―7

翻　　訳

西洋の思想史におけるゲーテの位置づけ（その三） …… ルドルフ・シュタイナー　117―128
溝井　高志（訳）

書　　評

価値形態論の論理
――尼寺義弘著『ヘーゲル推理論とマルクス価値形態論』の検討――
…… 神田　敏英　129―137

第28巻　第3号（1993年1月）故稲田菊太郎教授追悼号

特別号関連記事

故稲田菊太郎教授追悼号の発刊によせて …… 松田　　清
故稲田菊太郎教授略歴・研究業績 …… 特別編集委員

論　　文

東邦人族의源流考察 …… 劉　　貞得　1―4
観光地開発に於ける観光宿泊産業の発展方向に関する研究
――韓国済州島を中心に―― …… 金　　昌植　5―28
イギリス住宅組合運動における対立の諸相
――19世紀後半における『住宅組合・土地会社雑誌』の
論調の分析を中心として―― …… 島　　浩二　29―39
アリストテレス研究――音楽に於ける『模倣行為』について―― …… 松尾　力雄　41―50
イギリスにおける私家版運動の興隆とその歴史的意義 …… 永谷　秀雄　51―60
心拍数からみた中高年者の運動強度に関する基礎的研究 …… 中雄　　勇　61―69
堤　　實

ゲーテと自由 …… 林野　滋樹　71―97
解放の神学――70年代のラテンアメリカとフィリピン―― …… 井尻　良夫　99―111
喪失の超克としての存在性
――ヘミングウェイの『日はまた昇る』考―― …… 森　健嗣朗　113―131
幽文化の周への継承について …… 髙橋庸一郎　1―14
漢語「大変」について …… 鄭　萍　15―24
フィロンの良心概念について …… 山崎　秋夫　25―41

第28巻　第4号（1993年3月）野村雅庸教授退任記念号

特別号関連記事

野村雅庸教授退任記念号によせて …… 前野冨士生
野村雅庸教授略歴・研究業績 …… 特別編集委員

論　　文

ドイツの英語教科書に見られるコミューニカティブ・アプローチの
実践（その1） …… 長谷川恵洋　1―17
アリストテレスの『詩論』研究――笑いについて―― …… 松尾　力雄　19―39
デリダの文学言語観 …… 国領　苑子　41―47
乱数生成における心理学的要因（1） …… 吉川　茂　49―56
大学等の入学試験における選択科目の平均点間格差の是正について …… 池村　勉　57―79
TVAの研究 …… 林野　滋樹　81―100
H・シュミッツにおける「様相時間（Modalzeit）」の概念 …… 林　克樹　101―107
指標詞について――新フレーゲ派のアプローチ―― …… 芦田利恵子　109―116
Wuthering Heights の構造 …… 廣野由美子　117―127
『翰苑』所引の『魏略』粛慎記事と魚豢の卒年 …… 江畑　武　1―8
「秦本紀」文公以前について …… 髙橋庸一郎　9―16

第29巻　第1号（1993年6月）

論　　文

大学における学業の評価に関する事例的考察
――教育心理学の単位認定をめぐって―― …… 中山　信夫　1―14
Self-Realization: A Study of H. D's *Trilogy*
――With a focus on "Tribute to the Angels" …… 赤井　尚子　15―35
外国語教育の中の「比較研究」 …… 高　烈夫　37―48
キリストにおける暴力・非暴力 …… 井尻　良夫　49―60
19世紀イギリスの小説技法理論 …… 廣野由美子　61―79

James Baldwinの文学修業時代：1943―1953 …… 吉岡志津世　81―86
睡虎地秦簡《語書》釈文注解（下Ⅲ） …… 髙橋庸一郎　1―7
研究ノート
子どもの生活と教育――親と子の願い・要求―― …… 杉尾　敏明　87―100
学問（科学）分野の分類 …… 田窪　直規　101―120
翻　　訳
シェリングと自然科学と医学 …… ゲオルク・ビーダーマン　121―129
尼寺　義弘（訳）
目　　録
日本語母語話者のための朝鮮語学習用教材・関連図書目録 …. 藤井幸之助（編）　131―150

第29巻　第2号（1993年9月）

論　　文
郁達夫の小説 …… 胡　　金定　1―8
Wildeのcomedyに現れる「転落した女達」
――Mrs. ErlynneとMrs. Arbuthnot―― …… 西脇　典彦　9―15
睡虎地秦簡《語書》釈文注解（下Ⅳ） …… 髙橋庸一郎　1―8
研究ノート
人間と暴力――問題の所在―― …… 村田　充八　17―28
TVA――戦争と平和にかかわって―― …… 林野　滋樹　29―44
調 査 報 告
タイの米作と農家経済の現状 …… 森井　淳吉　45―59

第29巻　第3号（1994年1月）

論　　文
労働本質論とその論理（上） …… 有尾　善繁　1―13
利き手に関する基礎的研究――利き手と握力について―― …… 中雄　　勇　15―23
堤　　實
吉川　　茂
John Webster研究小史（1）――同時代から18世紀まで―― …… 葉谷　明子　25―31
クローニンと『帽子屋の城』 …… 渡辺　漠子　33―40
信念の帰属に関する一考察 …… 芦田利恵子　41―48
キリストと《不安》――ペトロにみる―― …… 井尻　良夫　49―59
Waugh and Catholicism …… 手塚　義雄　61―68
和漢文化に於ける静と動（一） …… 髙橋庸一郎　1―7

研究ノート
ドイツの英語教科書に見られるコミューニカティブ・アプローチの
実践（その２）……長谷川恵洋　69―89
キリスト教における戦争と平和（Ⅰ）……村田　充八　91―106
TVA（その二）――戦争と平和にかかわって――……林野　滋樹　107―124
翻　訳
中国朝鮮族当代文学概観……趙　成日　125―140
藤井幸之助（訳）

第29巻　第４号（1994年３月）

論　文
労働本質論とその論理（下）……有尾　善繁　１―10
John Webster研究小史（２）――19世紀から現代まで――……葉谷　明子　11―20
郁達夫詩試論……胡　金定　21―29
睡虎地秦簡《語書》釈文注解（下Ⅴ）……髙橋庸一郎　１―７
流動的生のダイナミクスと現象学的反省……和田　渡　９―17
調査報告
大規模稲作農業地帯の経済実態
――マレー半島北部ケダー州ムダ地区――……森井　淳吉　31―42
A Research on Reading and Hearing Skills……小磯かをる　43―49
翻　訳
アメリカの大学における一般教育の挑戦……Richard I. Miller　59―70
細井　克彦（訳）
書　評
竹内淳彦・北村嘉行編『東アジアの工業と経済開発』
（大明堂，1993年，173ページ）……石井　雄二　51―58

第30巻　第１号（1994年６月）

論　文
監禁のエクリチュール――夢野久作『ドグラ・マグラ』論……井上　善幸　１―13
Ebonyマナーの穀物生産について（1286～1324年）……能登　征夫　15―29
睡虎地秦簡《語書》釈文注解（下Ⅵ）……髙橋庸一郎　１―７

調 査 報 告

イギリス、北ヨークシャーの農場経営の変化
——ディッシュ・フォース Dishforth 村とその周辺の農場の場合——
…… 森井　淳吉　31—49

目　　録

日本における Ezra Pound の翻訳及び文献目録 …… 赤井　尚子　51—80

第30巻　第2号（1994年9月）

論　　文

Degrees of Reality in Plato: Part Ⅱ …… 浅野　幸治　17—34
睡虎地秦簡《語書》釈文注解（下Ⅶ）（完）…… 髙橋庸一郎　1—7
耿天臺論 …… 呉　　震　9—39

研究ノート

大規模稲作地帯の農村集落と農民諸階層
——マレーシア・ケダー州 Muda 地区—— …… 森井　淳吉　1—16
博物学の分類 …… 田窪　直規　35—45

翻　　訳

親近性の高い教材を使って動機づけする英語教授法 …… バーニス・メルビン　47—58
デービッド・スタウト
早田武四郎（訳）

第30巻　第3号（1995年1月）故国領苑子教授追悼号

特別号関連記事

遺筆（1994年2月23日付，加藤康子氏宛書簡）…… 1
国際シンポジウム「女性とフランス革命」をめぐって
——国領苑子氏に聞く—— …… 2—8
国領苑子教授追悼号の発刊によせて …… 谷田　庄三　9
国領苑子教授略歴・研究業績 …… 特別編集委員　10—16

国領苑子さんを偲んで

国領苑子さんの業績と遺志 …… 加藤　康子　17—18
国領苑子さん、本当に残念です …… 杉村　和子　19—20
フェミニズム，マグレブ，チュニジア… ——国領さんを偲んで …… 谷川多佳子　21—22
あの笑顔をもう一度 …… 森井　淳吉　23—24
弔辞 …… 木下　　滋　25
未刊の阪南叢書『革命の文学・文学の革命』に寄せて …… 深井　耀子　26—27

国領先生を偲んで …… 渡　哲郎　28

論　文

翻訳するということ
——あるいは、Amour Autre, 愛の体験—— …… 松本伊瑳子　29—41
《ルーゴン＝マッカール》における《饗宴》
——『居酒屋』と『ナナ』を中心として—— …… 仲井　秀昭　43—52
ペローの「赤ずきんちゃん」の反／非・「教訓」的読解 …… 藤倉　恵子　53—71
女が女を愛し書く
——ロマンティック・フレンドシップとローカルカラー小説 …… 渡辺　和子　73—86
水力発電の本格化と東京における電力競争 …… 渡　哲郎　87—98
ベケットとパスカル
——ベケットの『勝負の終わり』における狂人施設・牢獄・
船の内部—— …… 井上　善幸　99—115
エミリー・カーにおけるカナダ先住民への視点 …… 渡辺　昇　117—131
19世紀末におけるC. O. S. と国家扶助（State-aided）老齢年金問題：
C. O. S. の国家扶助＝「国民総救民化」批判の論拠 …… 深沢　和子　133—145
消費者運動と1970年代以降の生協運動の再検討 …… 西岡　俊哲　147—161
日本における女性保護規定の成立
——1911年工場法成立前史—— …… 千本　暁子　163—177
アリストテレスの『詩論』研究——『ハムレット』について—— …… 松尾　力雄　179—195
歩数からみたゴルフの動作特性
——利き手と日常動作との関連より—— …… 中雄　勇　197—202
堤　實
西島　吉典
片山　陽仁
英文法教育の方法
——日本文との対比における英文の特徴—— …… 林野　滋樹　203—231
クラウディウスとグレイヴズの詩における絵画性 …… 後　恵子　233—241
クローニンと『天国の鍵』 …… 渡辺　漠子　243—253
大学英語教育における‘NHKラジオ英会話聴取プロジェクト’の試み
…… 早田武四郎　255—261
Evelyn Waugh's Attitude in Politics …… TEZUKA, Yoshio　263—270
開高健『日本三文オペラ』——もう一つの物語—— …… 橋本　寛之　1—20
『詩経』詩と邑・都・王 …… 髙橋庸一郎　21—28

第30巻　第4号（1995年3月）

注　　釈

楊炯『王子安集原序』註釈 …… 髙橋庸一郎　1―8

論　　文

キリスト教における戦争と平和（Ⅱ）
――抵抗権と戦争―― …… 村田　充八　1―25

資　　料

日韓児童文学交流史年表 …… 仲村　修　27―43

翻　　訳

プロダクト・サイクルと国際分業
――アメリカ合衆国と日本の対比―― …… リチャード・C・ヒル　45―54
クニコ・フジタ
木下　滋（訳）

第31巻　第1号（1995年6月）

論　　文

阪神大震災と戦後民主主義（その1） …… 長谷川恵洋　1―5

大学英語教育におけるグループ・ワークの提案 …… 早田武四郎　7―13

研究ノート

プラトンのイデア論の不完全述語解釈その後
――中畑とホワイト―― …… 浅野　幸治　1―11

翻　　訳

構造転換に直面するポーランドの社会経済地理学 …… ズビズコ・チョニツキー　15―25
石井　雄二（訳）

ウイグル族のトーテム――狼に対する崇拝 …… 熱拉依・達吾提　27―34
髙橋庸一郎（訳）

第31巻　第2号（1995年9月）

論　　文

アリストテレスの『詩論』研究――『狂言』について―― …… 松尾　力雄　1―14

有限値をとるファジィイデアルの諸性質 …… 和泉　孔二　15―23

略论汉语词语的双音化缩简 …… 李　柏令　25―29

セサル・バリェホに関する批評の考証 …… 松本　健二　31―38

大学英語教育におけるリーディング・アラウド・プロジェクトの試み
……早田武四郎　39―43
紋切型と共同体――『ブヴァールとペキュシェ』論（1）……鄭　久信　45―54
小林一茶にみる「我が子」意識と民俗的感性
――子どもの誕生・成長・病い・死にそそぐ〈まなざし〉――
……森本　芳生　1―14

研究ノート

Hannan University Students' Beliefs about English and
Language Learning……Winston R. Welch　55―60

翻　訳

周代の均斉思想と救済制度（上）……趙　世超　61―70
髙橋庸一郎（訳）

第31巻　第3号（1996年1月）

論　文

ドイツの英語教科書に見られるコミューニカティブ・アプローチの
実践（その3）……長谷川恵洋　1―12
紋切型と共同体――『ブヴァールとペキュシェ』論（2）……鄭　久信　13―24
愛とエゴイズム――クローニンの『三つの愛』をめぐって――……渡辺　漠子　25―34
ホセ・マリーア・エグレンの詩に見られる
ヨーロッパ象徴主義との異質性……松本　健二　35―45
略论对外汉语教材的外文释义者的汉语修养
――以《中级汉语教程》为例――……李　柏令　47―51
Waugh and Orwell……手塚　義雄　53―59
プーシキン『モーツァルトとサリエーリ』
――「毒」の入った「贈り物」について――……杉野　ゆり　61―68
HANNAN UNIVERSITY INSTRUCTOR'S BELIEFS ABOUT
ENGLISH AND LANGUAGE LEARNING……Winston R. Welch　69―73
程度副詞の分類の試み――その程度・量・基準により――……中山恵利子　75―86
漢長安城の建設プランの変遷とその思想的背景……陳　力　1―8

研究ノート

高齢化社会と老人性痴呆症防止問題
――ボケないで健やかに生きる――……杉尾　敏明　87―97

翻　訳

周代の均斉思想と救済制度（下）……趙　世超　99―107
髙橋庸一郎（訳）

第二の法廷弁論四部作――過失致死の場合―― …… アンティポン　浅野　幸治（訳）　9―24

第31巻　第4号（1996年3月）

論　　文

ソフトテニスのバックハンドボレーにおける下肢筋群の筋電図的研究
…… 三村　達也　西島　吉典　辰本　頼弘　高崎　京子　中雄　勇　1―12
Sherwood Andersonにおける Retoldされた作品のもつ可能性について
――“Death in the Woods”をめぐって―― …… 湊　由妃子　13―23
日本語の「連体修飾語」について
――日本語と中国語・英語などの比較研究―― …… 高　烈夫　25―34
说理性比喻与法律语体 …… 李　柏令　35―37
程度副詞はことがら成分か …… 中山惠利子　39―53

翻　　訳

孔子の「天命観」について …… 舒　大剛　高橋庸一郎（訳）　55―62

資　　料

留学生・異文化に対する日本人大学生のイメージ …… 吉川　茂　63―77

第32巻　第1号（1996年6月）

論　　文

The Eradication of Racial Discrimination and
Freedom of Expression & Education:
A Criticism of “Goodbye Sombo” …… 杉尾　敏明　1―32
『イーリアス』:『イーリオンの歌』――その叙事詩空間を探る―― … 中井　永子　33―48
アリストテレスの『詩論』研究
――狂言に於ける「審美的空間」について―― …… 松尾　力雄　49―58
大学英語教育における英語散文暗唱の学力増進性に関する一考察 … 早田武四郎　59―65
日本における磁器の成立過程――技術伝播の史的考察―― …… 大槻　眞一　67―78
Two Arguments for Forms in Plato:
Conflicting Appearances and One over Many …… 浅野　幸治　79―96

面白の花の郡や――観光文学論への視座 …… 谷口　廣之　1―16
七世紀前半の東アジア
――皇極紀三年条の祥瑞記事に関連して―― …… 江畑　武　17―30
研究ノート
日本語教育における文章指導について …… 谷口　廣之　31―39
翻　訳
考古学的資料からみた吐蕃と中央アジア及び西アジアとの古代の交通（上）
――あわせてチベット西部において仏教が吐蕃に伝来した過程での
地位を論ず―― …… 霍　巍　97―103
高橋庸一郎（訳）
ブラック・ホーク自伝（一） …… ブラック・ホーク　41―52
西村　頼男（訳）

第32巻　第2号（1996年9月）

論　文
『魏志』倭人伝の第一段について …… 江畑　武　1―10
Common Barriers to Speeking English Effectively …… Jan D. Metheny　11―20
動態動詞「了」について
――中国語と日本語・英語の比較研究―― …… 高　烈夫　21―30
教職科目「英語科教育法」講義活性化に向けた
学会探訪・運営参加プロジェクトの効果に関する一考察 …… 早田武四郎　31―36
中日美传统文化的价值系统之比较 …… 嵇　海荣　37―43
経験の生成と変様
――発生的現象学的観点からの記述の試み（2）―― …… 和田　渡　1―13
翻　訳
考古学的資料からみた吐蕃と中央アジア及び西アジアとの古代の交通（下）
――あわせてチベット西部において仏教が吐蕃に伝来した過程での
地位を論ず―― …… 霍　巍　45―56
高橋庸一郎（訳）

第32巻　第3号（1997年1月）

論　文
利き手に関する基礎的研究――利き手と利き目の関連性―― …… 中雄　勇　1―14
堤　實
吉川　茂

中国北方少数民族伝承文学概説（一）
——ウイグル木卡姆（上）—— …… 髙橋庸一郎　15—21
近代市民社会と人権思想 …… 有尾　善繁　23—37
旧DDRスポーツの崩壊の意味を探る …… 藤井　政則　39—48
Greene & Waugh: The Study of Catholicism …… 手塚　義雄　49—58
調査報告
『祖堂集』連詞鳥瞰 …… 北畠　利信　59—71
資　料
超常現象を信じることについての基礎的研究 …… 吉川　茂　73—80
関東大震災についての棚橋源太郎論文 …… 植村　幸生　1—12
翻　訳
ブラック・ホーク自伝（二） …… ブラック・ホーク　13—22
西村　頼男（訳）
目　録
ソクラテス・プラトン研究日本語文献目録
——1975年～1995年（その1）—— …… 浅野　幸治　81—96

第32巻　第4号（1997年3月）有尾善繁教授退任記念号

特別号関連記事
有尾善繁教授退任記念号の発刊によせて …… 木下　滋　3
有尾善繁教授略歴・研究業績 …… 4—6
論　文
物質と量子力学 …… 町田　茂　7—11
映画の弁証法 …… 平野喜一郎　13—28
正義論の問題状況 …… 碓井　敏正　29—38
安楽死と自殺 …… 河野　勝彦　39—47
『経済学批判要綱』における資本制生産の総体把握の方法 …… 角田　修一　49—78
環境倫理学と民主主義——加藤尚武氏の環境倫理学の検討—— …… 牧野　広義　79—88
工芸家W. モリスと建築 …… 永谷　秀雄　89—94
アリストテレスの『詩論』研究
——狂言に於ける「発見，認知」と「事態の急変」—— …… 松尾　力雄　95—102
相対主義と民主主義 …… 須崎　実　103—111
The Discrimination and Freedom of Education:
Concerning with “Little Black Sambo” Problem …… 杉尾　敏明　113—125
アメリカンドリームの変遷
——ホワイトカラーの没落と中小企業—— …… 水津　雄三　127—138
労働の解放と社会主義 …… 田口　幸一　139—149

歴史の中の主婦労働
——イギリスにおける母親手当要求のジェンダー分析（1）—— …… 深沢　和子　151—160
ドイツにおける「スポーツ経済学」講座の諸問題 …… 藤井　政則　161—171
ヘーゲル本質論とマルクス価値形態論 …… 尼寺　義弘　173—178
シンガポール複合民族社会と文化
——規範とエスニシティの視点から—— …… 村田　充八　179—196
ウイグル族古代史詩『烏古斯可汗伝説』について …… 髙橋庸一郎　197—204
ロワにおける異邦人のフィギュール …… 真田　桂子　205—215
“有点儿”与形容词——兼与“一点儿”比较—— …… 嵇　海荣　217—221
日本語教育における読解指導について
——初級から中級への移行期を中心として—— …… 神崎道太郎　223—236
Consciousness-Raising Activities:
“For and Since” and “Too and Either” …… Jan D. Metheny　237—247
短歌と北米——文化交流の一視点—— …… 渡辺　昇　1—15

第33巻　第1号（1997年6月）

論　　文
中国北方少数民族伝承文学概説（二）
——ウイグル木卡姆（中）—— …… 髙橋庸一郎　1—6
「同和啓発」批判——人権啓発再構築の前提—— …… 杉尾　敏明　7—17
大学英語教育における‘NHKラジオ英会話’聴取課題の効果 …… 早田武四郎　19—23
研究ノート
楊梅（ヤマモモ） …… 野村　雅庸　25—40
調 査 報 告
Changes in Farm Management in England:
A Case Study of Farmers in Dishforth Village in North Yorkshire
…… 森井　淳吉　41—51
目　　録
ソクラテス・プラトン研究日本語文献目録
——1975年～1995年（その2）—— …… 浅野　幸治　53—67
書　　評
上野和彦著『現代中国の経済地理』 …… 石井　雄二　69—75

第33巻　第2号（1997年9月）

論　　文

The Meaning of Culture ……Bonar, Martin Burnet　1―14
漢代の璽書と制書 ……陳　　力　15―22
中国北方少数民族伝承文学概説（三）
――ウイグル木卡姆（下）―― ……高橋庸一郎　23―32
連携型観光の創出とその機能
――転換期におけるリゾートづくりの動向を中心に―― ……前田　　弘　33―42
Intonation and Reductions in English:
Why Learners Have Difficulty with Spoken English ……Jan D. Metheny　43―57
从清人七言绝句看委婉诗的艺术表现力
――清诗管窥之一 …… 王　　际平　59―71

調 査 報 告

Changes in Farm Management in England（Ⅱ）:
A Case Study of Farmers in Dishforth Village
in North Yorkshire ……森井　淳吉　73―77

目　　録

ソクラテス・プラトン研究日本語文献目録
――1975年～1995年（その3）―― ……浅野　幸治　79―95

第33巻　第3号（1998年1月）

論　　文

人間的価値と人権思想 ……牧野　広義　1―12
Lorca: *Poet in New York* ……日夏　　隆　13―31
日本語の「語順」について
――日本語と中国語・英語の比較研究―― ……高　　烈夫　33―42

研究ノート

ドイツの英語教科書に見られるコミューニカティブ・アプローチの
実践（その4）……長谷川恵洋　43―57
Classroom Personality ……Joe Jacobs　59―62

翻　　訳

ウイグル古典文学と東西文化の関係について
――ウイグル族古典文学簡史（上）―― ……买买提明・玉素甫　63―69
高橋庸一郎（訳）

第33巻　第4号（1998年3月）

論　　文

ファジィ正規部分群およびファジィイデアルのなす束について …… 和泉　孔二　1―9
貨幣費用について――純粋流通費用の研究―― …… 馬場　雅昭　11―20
ツーリズムからみた文化の呈示
――世界文化遺産「フエ遺跡」の「普遍的価値」をめぐって―― … 安福恵美子　21―29
エミリー・カーにおける自己形成の過程
――カナダ人としてのスタンスから―― …… 渡辺　昇　31―42
旧東ドイツのスポーツとシュタージ …… 藤井　政則　43―54
“比”構文における“更”と“还” …… 胡　金定　55―61

翻　　訳

ウイグル古典文学と東西文化の関係について
――ウイグル族古典文学簡史（中）―― …… 买买提明・玉素甫　63―68
高橋庸一郎（訳）

第34巻　第1号（1998年6月）

論　　文

漢唐時代の都市計画における「中軸線」について …… 陳　力　1―8
Motivation and Language Learning Achievement:
A Questionnaire …… Bonar, Martin Burnet　9―18
ある女性患者の憑依妄想にみられる精神力動についての
事例的考察 …… 吉川　茂　19―28
ヘリテッジ・ツーリズムとオーセンティシティ
――文化遺産の解釈をめぐって―― …… 安福恵美子　29―39
大学英語教育における英語のイメージを高めることによる
学力増進法の研究 …… 早田武四郎　41―51
言語と応答責任 …… 中澤まゆみ　53―61

調 査 報 告

エコミュージアムの実践と意味
――フランスの事例に基づいて―― …… 前田　弘　63―69

翻　　訳

ウイグル古典文学と東西文化の関係について
――ウイグル族古典文学簡史（下）―― …… 买买提明・玉素甫　71―84
高橋庸一郎（訳）

第34巻　第2号（1998年9月）

論　　文

キリスト教の社会倫理（Ⅰ）
——キリスト教と社会倫理学—— …… 村田　充八　1—11
フランス・アルプスにおける観光の発達と観光計画 …… 石原　照敏　13—24
「族塩」について …… 髙橋庸一郎　25—31
试论“情境练习” …… 翟　宜疆　33—36
郁達夫の日記研究（一） …… 胡　金定　37—42
言語とフロイト主義 …… 中澤まゆみ　43—49
К вопросу о среде и воспитании героинь в произведениях Пушкина …… 杉野　ゆり　51—70
観光論——その行為と対象—— …… 谷口　廣之　1—17

研究ノート

大衆教育社会における人間の問題
——空虚化された主体，社会化，再形成—— …… 森本　芳生　71—82

第34巻　第3号（1999年1月）経済学部開設25周年記念号

特別号関連記事

経済学部開設25周年に寄せて …… 山名　伸作　3
経済学部開設25周年記念号の発行に寄せて …… 溝井　髙志　5

論　　文

「エンカンタダス」の偶像破壊と文化混淆（1） …… 石井　光子　7—22
A Preliminary Study on Local Economic Development and Migration in Rural Northeastern Thailand: Progress Report to Lead to Rural Survey …… 石井　雄二　23—37
安静時心拍数からみた身体活動に関する一考察
——徐脈と頻脈—— …… 中雄　勇　堤　實　39—53
アリストテレスの「詩論」研究
——プラトンとアリストテレスの「演劇論」について—— …… 松尾　力雄　55—66
ゲーテの自然観
——ゲーテの自然科学研究の意義について——（その1） …… 溝井　髙志　67—77
中国北方少数民族伝承文学概説（四）
——チベット族英雄叙事詩カサール王伝（一）—— …… 髙橋庸一郎　79—86
キリスト教の社会倫理（Ⅱ）
——多元的倫理とキリスト教の道徳—— …… 村田　充八　87—98

女子大学生の摂食態度に関する心理学的研究（1）……吉川　茂　99―114
试议短期汉语教学中的文化要素……翟　宜疆　115―120
日本語の「連用修飾語」について
――日本語と中国語・英語などの比較研究――……高　烈夫　121―132
名所論――観光論の視座から――……谷口　廣之　1―15

第34巻　第4号（1999年3月）永谷秀雄教授退任記念号

特別号関連記事

永谷秀雄教授退任記念号の発行によせて……逸見　啓　3
永谷秀雄教授　略歴・研究業績……4―7

論　　文

ハーディとロレンスの描く女性人物
――アラベラ・ドンとバーサ・クーツについて――……岡野　圭壹　9―21
『ルーツ』の風景――第2部――……神野　尚　23―33
K. マルクスと近代人権思想……有尾　善繁　35―48
アリストテレスの『詩論』研究――悲劇のプロット論――……松尾　力雄　49―60
〔ə〕and Contracted Forms:
A Description of〔ə〕in the Entire English Vowel System and
about the Role of〔ə〕for Making Contracted Forms Stable……長谷川恵洋　61―67
サント・ステファノ騎士団の創立……松本　典昭　69―79
漢民族と神話……髙橋庸一郎　81―88
消極的自由と積極的自由について……牧野　広義　89―97
エミリー・カーにおける自己形成の過程
――西部人としてのスタンスから――……渡辺　昇　99―108
「イズムとしてのフェアプレイ」序論……藤井　政則　109―118
郁達夫の日記研究……胡　金定　119―125
表示动作主体的「に」在汉语中的对应……顧　順蓮　127―133
ウィリアム・モリスと古建築保護協会……永谷　秀雄　135―147

研究ノート

トマス・ウルフの「虎の申し子」――作者の黒人観の変遷――……西村　頼男　149―155
グランドラピッズと教会――米国キリスト教社会の一面――……村田　充八　157―173
ヘーゲルの「理性の狡智」と目的活動……尼寺　義弘　175―188

第35巻　第1号（1999年6月）

論　　文

ゲーテの自然観
——ゲーテの自然科学研究の意義について——（その2）……溝井　高志　1—9
東周秦漢時代の都市理論について……陳　　力　11—18
サント・ステファノ騎士団の船舶……松本　典昭　19—29
中国北方少数民族伝承文学概説（五）
——チベット族英雄叙事詩カサール王伝（二）——……髙橋庸一郎　31—37
キリスト教の社会倫理（Ⅲ）
——キリスト教と道徳律法——……村田　充八　39—49
自己の探究（1）……和田　　渡　1—10

第35巻　第2号（1999年9月）

論　　文

漢民族と志怪……髙橋庸一郎　1—8
キリスト教の社会倫理（Ⅳ）
——キリスト教の倫理と神の意志——……村田　充八　9—20
サント・ステファノ騎士団とレパント海戦……松本　典昭　21—32
軍記物語と史跡……谷口　廣之　1—14

第35巻　第3号（2000年1月）

論　　文

アジアの在日留学生における日本観光の動向
——観光学科所属留学生の余暇に関する調査を中心に——……中山惠利子　1—16
神話整理の未完成によって生じる漢民族の価値観……髙橋庸一郎　17—25
略论对外汉语教学中的汉字教学……武　　時穎　27—29
対話における沈黙と笑い……中澤まゆみ　31—37
自己の探究（2）……和田　　渡　1—11

研究ノート

ポルトフェッライオの建都……松本　典昭　39—54

第35巻　第4号（2000年3月）森井淳吉教授退任記念号

特別号関連記事

森井淳吉教授退任記念号の発行によせて …… 堀川　紀年　3
森井淳吉教授　略歴・研究業績 …… 4―11

論　　文

日本人の宗教観とその歴史的推移――唯物史観にたって―― …… 南　清彦　13―24
WTO体制下の日本の食料・農業・農民問題と新基本法 …… 梅川　勉　25―37
地代論での生産価格 …… 東井　正美　39―50
日本の農地動態の特異性とその基本要因
――農地の大量かつ絶え間無い減少の解明―― …… 橋本　卓爾　51―65
チャクリー改革と内務局 …… 田坂　敏雄　67―88
グローバリゼーションと東南アジア諸国の「中間階層」 …… 和田　幸子　89―97
“Pretos Velhos（Old Blacks）are Our Salvation”:
Afro-Brazilian Religions and The Japanese in Brazil …… 前山　隆　99―115
金文の銘文から「詩経」へ，縦横家の弁説から「楚辞」へ …… 髙橋庸一郎　117―129
法隆寺金堂釈迦三尊像両脇侍光背の比較検討（再考） …… 山本　謙治　131―143
近代人権思想の歴史的相対性と持続的発展 …… 有尾　善繁　145―158
奇妙な道，天美の下高野街道――その由来―― …… 植村　幸生　159―167
大規模野菜産地の地理的研究
――鳥取県東伯郡大栄町西瓜作の事例研究―― …… 井上　寛和　169―181
试论汉字与中国传统思维方式 …… 武　時穎　183―186
唐文物の移入――回賜を中心に―― …… 江畑　武　1―12
青葉の笛――史跡と遺品―― …… 谷口　廣之　13―25
「国際山岳観光都市」と観光産業
――長野県白馬・八方尾根周辺地域の事例―― …… 石原　照敏　27―43

研究ノート

西洋人が聞いた日本の音
――音楽における異文化理解の視点から―― …… 櫻井　哲男　187―198
日本社会の宗教性
――「生命主義的救済観」とカルヴィニズムの視点から―― …… 村田　充八　199―211
国際語としての英語と我が国の英語教育のあり方
――その現状と問題点―― …… 長谷川恵洋　213―223
Réflexions sur l'émergence de la notion de causalité dans la
langue française …… Eddy Van Drom　225―235

第36巻　第1号（2000年7月）

論　　文

How Deep Is My Grammar ……Bonar, Martin Burnet　1—14
利き手の動作特性に関する基礎的研究 ……中雄　勇　15—24
堤　實
吉川　茂
『楚辞』から「賦」へ（上）……髙橋庸一郎　25—32
毛泽东诗词英译中的典故处理 ……李　仕健　33—39
自己の探究（3）……和田　渡　1—11

研究ノート

略谈秦汉时期皇帝驾崩前后发行的“遗诏”和“玺书” ……陳　力　41—47

第36巻　第2号（2000年9月）

論　　文

玉虫厨子透彫り金具虺龍文系文様の造形分析
——コンピュータ利用による文様分析の一例として—— ……山本　謙治　1—14
日本語の「句読法」について
——日本語と中国語・英語の比較研究—— ……高　烈夫　15—29
Women in Power:
A Study of *Antony and Cleopatra* and *Dido Queen of Carthage* …魚住　香子　31—49
聖徳太子の所謂「未来記」について ……髙橋庸一郎　1—11
自己の探究（4）……和田　渡　13—21

研究ノート

Research Notes for the InterZone University Project
……WILSON, Gordon Grady　51—55
『三国志』の成立年次 ……江畑　武　23—33

第36巻　第3号（2001年1月）故渡辺昇教授追悼号

特別号関連記事

故 渡辺　昇教授追悼号の発行によせて ……堀川　紀年　3
故 渡辺　昇教授　略歴・研究業績 ……　4—9

論　　文

Incorporating ‘Butterfly’ in Plays by David Henry Hwang
and Robert Lepage ……Sherrill Grace　11—25

カナダ先住民文学のカノン …… 浅井　晃　27―38
「救いの恵み」を求めて
――マーガレット・ローレンスの宗教観―― …… 堤　稔子　39―49
現代カナダ演劇の諸問題 …… 南　良成　51―60
ミルトンの『四絃琴』と『失楽園』 …… 辻　裕子　61―73
À travers des nuits dépaysées:
De quoi t'ennuies-tu, Éveline? et *Ely! Ely! Ely!* de Gabrielle Roy
…… 真田　桂子　75―86
物権変動論，占有論とパターン認識
――法規範世界と 2 値認識，パターン認識―― …… 辻　義教　87―102
1930年代の大阪鉄道Ⅱ
――大阪電気軌道との関係を中心に―― …… 渡　哲郎　103―113
英語第二公用語論をめぐって …… 長谷川恵洋　115―125
初期魯迅思想の拠って立つ所 …… 髙橋庸一郎　127―133
最晩年の環境保護運動家ウィリアム・モリス …… 永谷　秀雄　135―143
同伴移民，妻移民，子供移民
――ブラジル日系女性移住体験を中心に―― …… 前山　隆　1―14
『三国志』の材料について――三国の国史について―― …… 江畑　武　15―25
自己の探究――自己の死に関する試論―― …… 和田　渡　27―39
研究ノート
アメリカ先住民とオリヴァ・ラファージ …… 西村　頼男　41―49

第36巻　第 4 号（2001年 3 月）

論　　文
中国北方少数民族伝承文学概説（六）
――キルギス族英雄叙事詩「マナス」（上）―― …… 髙橋庸一郎　1―8
ツーリズムからみた世界遺産「屋久島」の自然 …… 安福恵美子　9―20
Commodore Perry's Effective Tactics Found in
Japanese and American Sources …… 吉岡みのり　21―29
ウォー論――人間の本質は悪―― …… 手塚　義雄　31―39
中国古诗语音修辞手段英译的再现艺术初探 …… 李　仕健　41―45
自己の探究（5） …… 和田　渡　1―10
天保山――都市景観と花見―― …… 谷口　廣之　11―23
研究ノート
サント・ステファノ騎士団のルッカ人騎士 …… 松本　典昭　47―53
法隆寺献納宝物頭光背装飾空間の文様分析（1）
――中心部と圏帯部―― …… 山本　謙治　55―67

Liste Des Principaux Connecteurs Exprimant Les Moyens
（Instrument et Manière）…… Eddy Van Drom 69—85

第37巻　第1・2号（2001年9月）

論　　文

宝冠装飾空間の文様分析（1）
——法隆寺金堂釈迦三尊像脇侍・四天王像・
夢殿救世観音像宝冠の造形比較——…… 山本　謙治 1—13
地域政策による観光業と農業の共生
——フランス・アルプス・セイヤックの事例研究——…… 石原　照敏 15—27
中国北方少数民族伝承文学概説（七）
——キルギス族英雄叙事詩「マナス」（下）——…… 髙橋庸一郎 29—38
自己の探究（6）…… 和田　　渡 1—13

翻　　訳

十六国官僚制度研究…… 周　　偉洲 39—55
陳　　力（訳）

第37巻　第3号（2002年1月）故松尾力雄教授追悼号

特別号関連記事

故 松尾力雄教授追悼号の発行によせて…… 髙橋　一馬 3
故 松尾力雄教授　略歴・研究業績…… 4—7

論　　文

怒りの悲劇…… 肥田　友宏 9—12
The Double Truth in Parmenides and Nagarjuna…… 山川　偉也 13—26
所謂抽象的違憲審査権と民主主義…… 須崎　　実 27—31
「賦」に内包されている衰退への要因…… 髙橋庸一郎 33—42
人間と労働…… 田口　幸一 43—53
近代人権思想と価値法則…… 有尾　善繁 55—64
人間，この選択操作するもの
——社会人類学におけるネットワーク・アプローチ（1950，60年代）
…… 前山　　隆 1—17

研究ノート

環境・景観とツーリズム——地域地理学の視点——…… 石原　照敏 65—73

第37巻　第4号（2002年3月）

論　　文

自己同形群に関して同値なファジィ部分群の諸性質 …… 和泉　孔二　1―9

Recommendations for the Hannan University English Entrance Exam
――阪南大学英語入学試験改善への提案―― …… WILSON, Gordon Grady
Yoko Wilson　11―23

玉虫厨子須弥座腰部隅柱の透彫り金具文様について
――上原和説における文様分析と様式史的位置づけへの批判――
…… 山本　謙治　25―39

儒学提挙司の起源と変遷――兼論宋金の学校管理―― …… 櫻井　智美　41―52

Moral Disagreement and an Unsuccessful Relationship
in Henry James's *The American* …… 山崎　祐子　53―61

自己の探究（7） …… 和田　　渡　1―9

孔子の思想について（上） …… 髙橋庸一郎　11―17

研究ノート

パラッツォ・ヴェッキオの歴史 …… 松本　典昭　63―73

ツーリズムにおけるインタープリテーションの役割 …… 安福恵美子　75―81

記憶がひらく回路――エミール・オリヴィエとハイチ―― …… 真田　桂子　83―87

La Vulgarisation Scientifique（2）
――Perspectives systémique et psychanalytique chez
Hiroyuki Mitsuishi―― …… Eddy Van Drom　89―105

第38巻　第1号（2002年10月）

論　　文

意識流の現象学
――意識流の反省と根源的な時間構成的意識流の反省の
不可能性の問題―― …… 和田　　渡　1―12

花見の都市――江戸・大坂の風土 …… 谷口　廣之　13―30

研究ノート

ヘーゲル法哲学講義録1819/20年について …… 牧野　広義　1―8

漢の長安城周辺の集落 …… 陳　　力　9―21

第38巻　第2号（2003年3月）

論　　文

石清水八幡宮と神仏分離
——近代京都における風景の一断面—— …… 神尾登喜子　1—18

Design of the Vocabulary Element of an ESP Computer/Internet Class
…… WILSON, Gordon Grady　19—31
Steven Silsbee

研究ノート

多元社会ケベックと国民文学論の陥穽
——ラリュ論争から見えてくるもの—— …… 真田　桂子　33—39

リンダ・ホーガンの『卑しい魂』
——インディアン女性と共生—— …… 西村　頼男　1—10

資　　料

旅行者新奇性に関する心理学的考察 …… 吉川　茂　41—49

第39巻　第1号（2003年11月）

論　　文

短距離疾走における下肢動作の回復期について …… 馬場　崇豪　1—9

自己の探求
——自己の時間に関する試論　長田弘を手がかりとして—— …… 和田　渡　1—13

研究ノート

ナンシー・ヒューストンの『草原讃歌』
——自動翻訳文学の波紋と母語神話の崩壊—— …… 真田　桂子　11—17

ダーシィ・マクニクルの『包囲されて』
——混血インディアンの自己探求—— …… 西村　頼男　15—25

第39巻　第2号（2004年3月）

論　　文

山道歩行中の心拍数変動からみた運動強度について …… 中雄　勇　1—8

『ベルナウ時間草稿（1917/18）』の解読
——意識流と自我作用の出来事としての現在への反省と
その問題点—— …… 和田　渡　1—9

研究ノート

農産物直販から見る地域農業
——鳥取県中部域での事例研究—— …… 井上　寛和　9—22

オヒエサ（チャールズ・A・イーストマン），あるインディアン医師
——その略伝と著作活動—— …… 西村　頼男　11—20

翻　　訳

ギムナジウムの生徒としての哲学者
——ベルリン国立図書館に所蔵されるヘーゲルの
青年時代の『日記帳』—— …… Eef Overgaauw　23—28
尼寺　義弘（訳）

第40巻　第1号（2004年11月）

論　　文

TOEICと大学英語教育——現状と今後の課題—— …… 橋本　英司　1—11

アーチェリー競技のリリース前後における身体動揺と
得点との関係について …… 馬場　崇豪　13—20
和久　宗利
西島　吉典
中雄　　勇

研究ノート

J. J. マシューズの『夕映え』
——インディアン男性の成長物語—— …… 西村　頼男　1—12

そ　の　他

気の研究——阪南大学共通演習からの報告—— …… 野一色　勲　21—42

第40巻　第2号（2005年3月）

論　　文

『檀君神話』成立時期の周辺 …… 髙橋庸一郎　1—13

研究ノート

装飾文様研究史（1）
——明治期以来の文様集成および伊東忠太の文様史研究—— …… 山本　謙治　15—22

イエロー・バード（ジョン・ロリン・リッジ）
——チェロキー・インディアン作家誕生の背景と作品—— …… 西村　頼男　1—12

翻　　訳

「G.W.F.ヘーゲルの遺稿」序説 …… Eva Ziesche　23—29
尼寺　義弘（訳）

第41巻　第1号（2005年11月）

論　　文

Second Language Acquisition and General Intelligence
…… Bonar, Martin Burnet　1—17

モントリオールのユダヤ系とケベッコワ
——歴史的経緯と仏語表現ユダヤ系作家N. カタンらの作品に
そいながら—— …… 真田　桂子　19—30

クレオパトラの教育
——バーナード・ショーの『シーザーとクレオパトラ』—— …… 大江麻里子　31—38

研究ノート

Binary Structure of English Preterit Subjunctive …… 長谷川恵洋　39—47

第41巻　第2号（2006年3月）

論　　文

中国人一个人是条龙，三个人变成虫　日本人三个人变成龙，一个人是虫
…… 髙橋庸一郎　1—6

The Maru/Batsu System:
An Approach to Increasing Instances of Verbal Language
Output in Japanese University Language Classes
…… WILSON, Gordon Grady　7—15
Steven Silsbee

Vowel Phonemes in Japanese and American English:
Similarities and Differences …… PARSONS, Martin　17—27
Larry Walker

研究ノート

ウィネマッカ『パイユート族の中で生きる—虐待と主張』
——ある先住民女性の生涯 …… 西村　頼男　1—9

翻　　訳

ヘーゲルの自由概念 …… ヴァルター・イェシュケ　29—40
牧野　広義（訳）

第42巻　第1号（2006年11月）

論　　文

自由・平等とケイパビリティ
——アマルティア・センの倫理思想——……牧野　広義　1—15

樂府詩の特徴と樂府の廃止……髙橋庸一郎　17—33

研究ノート

正義論のための世界モデル：試論……下地　真樹　35—45

南京・丹陽南朝陵墓有角石獣調査報告（1）……山本　謙治　47—70

翻　　訳

戦後の日本（上）……クレイグ・フリードマン　71—81
金尾　敏寛（訳）

第42巻　第2号（2007年3月）

論　　文

漢賦の古代中国絵画との相互影響作用について……髙橋庸一郎　1—23

研究ノート

西安碑林博物館と館蔵碑誌装飾文様について……山本　謙治　25—36

ファジィ位相群についての一考察……和泉　孔二　37—47

翻　　訳

ケベック詩　抄訳ジャック・ブロー『はかない瞬間』……真田　桂子　49—60

第43巻　第1号（2007年10月）

論　　文

漢賦の中国書法の発展に対する影響について……髙橋庸一郎　1—19

研究ノート

南京・丹陽南朝陵墓有角石獣調査報告（2）……山本　謙治　1—27

資　　料

「三重貞亮著『舊事紀訓解』」に見える聖徳太子伝記……髙橋庸一郎　21—59

翻　　訳

ヘーゲルにおける「人倫」と「憲法体制」
……エリザベート・ヴァイサー＝ローマン　29—37
牧野　広義（訳）

第43巻　第２号（2008年３月）

論　　文

漢賦と吟詠との相互発展関係について …… 髙橋庸一郎　1―22

The Coverage of the Nuclear Energy Issue
in Japanese Mainstream Newspapers …… Eddy Van Drom　23―32

研究ノート

二つの「幸福」なる文学にみる多元社会ケベックの変貌
――「二つの孤独」からトランスミグランスへ―― …… 真田　桂子　33―42

西安碑林博物館碑石彫飾文様の空間分割とモティーフ系統
――西安碑林博物館館蔵碑誌装飾文様調査報告１―― …… 山本　謙治　43―53

第44巻　第１号（2008年10月）

論　　文

カルヴィニストの幸福と不幸（Ⅰ）
――改革派信仰と「拡散宗教」性に関連して―― …… 村田　充八　1―14

From Cyberspace to the Classroom:
Using E-mail to Enhance the EFL Environment …… Irene IWASAKI　15―20

Toward a Student's Curriculum:
Learner Perceptions of Studying EFL at University …… PARSONS, Martin
Irene IWASAKI　21―33

漢賦と漢字 …… 髙橋庸一郎　1―31

研究ノート

Reforms in the Japanese University System & Changes
in the Contributions of Universities toward the Japanese Society
…… Eddy Van Drom　35―44

法隆寺の透彫り金具文様
――モティーフ融合およびモティーフ喪失文様考察のための
作例資料（1）―― …… 山本　謙治　45―59

第44巻　第２号（2009年３月）

査 読 論 文

ヘーゲル論理学における主体の概念 …… 牧野　広義　1―13

北米先住民族における「混血者」の位置づけについての試論
――インディアン強制移住期のチカソーの事例より―― …… 岩﨑　佳孝　15―32

論　　文

カルヴィニストの幸福と不幸（Ⅱ）
——改革派信仰と「拡散宗教」性に関連して——……村田　充八　33—48

A Streetcar Named Desire: Two Southern Belles, Blanche and Stella
……SUZUKI, Yoshimi　49—60

ケベックにおける新世代文学とトランスミグランス
——「文化的寛容性」の議論と仏語憲章施行30年後の状況を背景に——
……真田　桂子　61—71

漢賦に記された物名と其の漢字及び字典……髙橋庸一郎　1—17

翻　　訳

メディチ家の彫玉コレクション……マリアリータ・カザローザ・グァダーニ　73—91
松本　典昭（訳）

そ　の　他

汉赋与汉字的产生……髙橋庸一郎　93—95

第45巻　第1号（2009年10月）

論　　文

Edutainment for the EFL Classroom:
Exploring Effective Use of Audiovisuals……Irene IWASAKI　1—18

研究ノート

英語の音素と音節とリズムについて
——英語のヒアリングは何処に注意すれば良いのか……長谷川恵洋　19—29

聖徳太子信仰成立の歴史的基盤と環境……髙橋庸一郎　1—13

翻　　訳

コジモ1世とフランチェスコ1世時代のメディチ・コレクション
……アンナ・マリア・マッシネッリ　31—40
松本　典昭（訳）

第46巻　第1号（2010年10月）

論　　文

2009年度　学生生活アンケートにおける阪南大学新入生の
心理的特徴について……梶山　国宏　1—13
崎濱　秀行
大西見也子
辻本　歌織

研究ノート

教職課程履修学生の児童観・生徒観に関する検討
——教員養成を主たる目的としない大学の場合—— …… 崎濱　秀行　15—21

調 査 報 告

キリスト教徒X女史のライフヒストリー …… 陳　　力　23—31

第46巻　第2号（2011年3月）

査 読 論 文

イギリス議会における「美術と製造業に関する特別委員会」（1835—1836年）
——証言と勧告，および「大博覧会」への効果—— …… 藤野　寛之　1—12

論　　文

エンプロイアビリティ基礎養成プログラムの開発 …… 寿山　泰二　13—27

日本語教材は「イメージ」を教えられるのか
——カタカナ語教育を考える　その1—— …… 中山惠利子　29—41

A Cross-linguistic Study of Mass-Count Distinctions …… Masahiro Kodera　43—52

資　　料

教育実習事前指導における課題の探索的検討 …… 崎濱　秀行　53—58

第47巻　第1号（2011年10月）

論　　文

シルクロード学概論（Ⅰ）
——草原の民の文化とシルクロード—— …… 髙橋庸一郎　1—8

アメリカにおける児童図書の情報提供：
その変遷と社会的背景 …… 藤野　寛之　9—17

双方向遠隔授業におけるポスター効果軽減の研究
——2チャンネル映像システムの遠隔授業への導入について——
…… 田上　博司　19—27

第47巻　第2号（2012年3月）故市川隆男教授・故前田弘教授追悼号

市川隆男教授追悼論文

特別号関連記事

哀辞 …… 加藤　正治　1

市川隆男教授の略歴と主要業績 …… 2—4

論　　文

ヘーゲルにおける論理学・形而上学・方法論 …… 牧野　広義　5―16
フランスのアラブ系二世文学に見るアイデンティティの「隔たり」と克服
――アズズ・ベガッグの自伝的小説にそいながら―― …… 真田　桂子　17―25
ケアの哲学――看護者とセルフケアの問題―― …… 和田　渡　27―36

研究ノート

1930年代における健康・医療問題と医療利用組合運動 …… 青木　郁夫　37―48

前田弘教授追悼論文

特別号関連記事

哀辞 …… 吉兼　秀夫　49
前田弘教授の略歴と主要業績 …… 50―54

論　　文

コミュニティと観光
――英国カントリーサイドにおける観光案内所をめぐる動き――
…… 塩路　有子　55―68
貧困と観光
――国連機関のアプローチとプロプアーツーリズムに
関する考察―― …… 清水苗穂子　69―78
前漢王朝建立時における劉邦集団の戦闘経過について（上）
――劉邦集団内部の政治的派閥の形成を中心に―― …… 陳　力　79―93
日本語教師は「イメージ」を教えられるのか
――カタカナ語教育を考える　その２―― …… 中山惠利子　95―111
観光資源の分類の意義と資源化プロセスのマネジメントの重要性
…… 森重　昌之　113―124
大学生の観光動機と観光懸念に関する心理学的考察 …… 吉川　茂　125―133

研究ノート

開運松原六社参りの役割と展開 …… 来村多加史　135―143
儀礼の音 …… 櫻井　哲男　145―150
野崎参りの風景――近世大坂の近郊社寺参詣の一事例―― …… 谷口　廣之　151―163

論　　文

文章産出スキルの違いが字数制限文を繰り返し書くことによる
効果に及ぼす影響 …… 崎濱　秀行　165―172
Teaching Connected Speech and High School English Education
in Japan …… KODERA, Masahiro　173―192
本学（阪南大学）アメリカンフットボール選手の疾走動作 …… 馬場　崇豪　193―199

第48巻　第1号（2012年10月）

論　　文

ブリティッシュ・ライブラリー創設の背景
——20世紀におけるイギリス国立図書館の変遷と機能の再検討——
……藤野　寛之　1—10

Native Speaker Criteria in CPH Research:
Why Does It Matter ?……Eiji Hashimoto　11—25

翻　　訳

生きた論理学
——ヘーゲル論理学における生命概念の意義——……アンネッテ・ゼル　27—36
牧野　広義（訳）

『ソネットのダーク・レディ（*The Dark Lady of the Sonnets*）』
……バーナード・ショー　37—47
大江麻里子（訳）

第48巻　第2号（2013年3月）

査読論文

日本の小学校にCLIL学習法を導入するにあたって
……PARSONS, Martin　1—10

The Contagious Disease:
From *Jude the Obscure* to *Sons and Lovers*……Yumiko Sumitani　11—18

論　　文

Extreme Vocabulary Teaching: The Plan That Failed
……Bonar, Martin Burnet　19—37

シルクロード学概論（Ⅱ）……髙橋庸一郎　39—49

What Causes Difficulties in Listening Comprehension
for Japanese Learners of English……Kodera, Masahiro　51—69

地域プラットフォームの活動の持続に向けた条件
——淡路おみなの会の活動を事例に——……森重　昌之　71—82

論作文産出におけるメタ認知的知識の側面に関する検討……崎濱　秀行　83—91

研究ノート

医療利用組合運動顛末
——医療利用組合運動から産業組合による総合的保健運動へ——
……青木　郁夫　93—110

前漢首都圏空間の形成
——咸陽原地区における漢代集落の分布と水資源の関係に
主眼をおいて—— …… 陳　　力　111—121

翻　　訳

ヘルムート・プレスナーの人間学とスポーツ哲学
…… フォルカー・シュールマン　123—135
藤井　政則（訳）

第49巻　第1号（2013年10月）

査読論文

蠟山政道における自発的秩序と大学自治論
——大学行政・大学教育の原理を求めて—— …… 船勢　　肇　1—18

論　　文

中学生は，日本人教師による英語科ティームティーチングを
どう捉えているか？ …… 崎濱　秀行　19—23
「かかわり合う地域社会」に対する市民意識とその課題
——北海道登別市を事例に—— …… 森重　昌之　25—37
Subjekt, Widerspruch und Freiheit in Hegels Logik …… Hiroyoshi Makino　39—46
The Effectiveness of the “Reproduction” Interpreting Training Method
in University English Teaching …… Eri Tomoda　47—63
阪南大学学習支援室の活動と今後の展望 …… 和田　　渡　65—71
山本　泰三
隅田　悦子

研究ノート

内務省衛生局による医療利用組合政策の形成過程
——1933年医師法改正・診療所取締規則を中心に—— …… 青木　郁夫　73—92
Eine Unterströmung in der japanischen Sporttheorie …… Masanori Fujii　93—103

第49巻　第2号（2014年3月）

論　　文

イギリス児童ファンタジー文学の黄金時代
——その作家・作品と時代背景—— …… 藤野　寛之　1—12

The Role of Manga in the Diffusion of Technoscientific Information
into the Modern Japanese Society
——Part 1: Science and Technology in Japanese Manga——
…… Eddy Van Drom 13—44
英語学習辞典における名詞の語義と可算・不可算表記の
関係について …… 小寺　正洋 45—64
Towards Understanding the Issues Concerning the Adoption
of CLIL Approaches to English Language Teaching
and Learning in Japanese Universities …… PARSONS, Martin
Larry Walker 65—80
ケベックの「移動文学」の浸透と波及
——『フランス移動文学作家事典1981—2011』の刊行をめぐって——
…… 真田　桂子 81—93

研究ノート

東京医療利用組合の設立認可をめぐる諸対立・対抗関係 …… 青木　郁夫 95—114

第50巻　第1号（2014年10月）

論　　文

ヘーゲル論理学における必然性と自由 …… 牧野　広義 1—18
幼児教育者・倉橋惣三と児童虐待防止法
——その相対的位置について—— …… 船勢　肇 19—26

研究ノート

漢長安城西南考
——漢長安都城圏研究における可視化を試みて—— …… 陳　力 27—40

第50巻　第2号（2015年3月）阪南論集創刊50巻記念論文集

特別号関連記事

阪南論集創刊50巻記念論文集発刊に寄せて …… 辰巳　浅嗣

論　　文

オックスフォード大学図書館の再建者：
トーマス・ボドリーとトーマス・ジェームズ
——イギリス図書館思想の研究—— …… 藤野　寛之 1—10
ドイツ語圏における政治的カトリック系新聞の誕生と発展 …… 細川　裕史 11—20
定義から見た観光まちづくり研究の現状と課題 …… 森重　昌之 21—37

Specific Indefinite Noun Phrases and Objective Reality:
'Noise' in Physical, Type and Temporal Spaces …… Masahiro KODERA 39―63
ヘーゲルにおける意志の自由と社会的自由 …… 牧野　広義 65―79
大学生の就職活動における自己PR文産出に必要な事項に関する検討
…… 崎濱　秀行 81―88
小規模ミュージアムにおける地域づくり・観光振興への取り組みに
関する一考察
――大阪府貝塚寺内町「明治・大正・昭和くらしの資料館」を
事例として―― …… 和泉　大樹 89―98
An Introduction to Language Education in the Basque Autonomous
Community in Spain, including Content and Language Integrated
Learning Approaches to English …… PARSONS, Martin 99―120
Kann die Philosophie helfen, die Krisen der
Gegenwart zu überwinden? …… Yoshihiro Niji 121―127

研究ノート

大学生の依存と相談の心理 …… 吉川　茂 129―135

翻　訳

人権の尺度としての尊厳――位相論の提起―― …… フォルカー・シュールマン 137―156
藤井　政則（共訳）
牧野　広義（共訳）

著 者 名 索 引

〔ア〕

Irene IWASAKI （アイリーン　イワサキ）

論　　文

From Cyberspace to the Classroom:
Using E-mail to Enhance the EFL Environment …… 人44（1）15―20
Toward a Student's Curriculum:
Learner Perceptions of Studying EFL at University（共）…… 人44（1）21―33
Edutainment for the EFL Classroom:
Exploring Effective Use of Audiovisuals …… 人45（1）1―18

青　木　郁　夫 （あおき　いくお）

論　　文

初期医療利用組合の諸相（上）…… 社24（2）1―18
初期医療利用組合の諸相（中）…… 社24（4）41―55
アスベスト規制をめぐるEPAとOMBの相克 …… 社25（1・2・3）255―267
初期医療利用組合の諸相（下）…… 社28（2）131―149
都市―農村共生型医療利用組合の展開
――広区単営組合時代の幕開け―― …… 社30（1）171―193
都市―農村共生型医療利用組合運動とその時代 …… 社31（1）13―39
The Japanese Pharmaceutical Industry and Industrial Policy
in the Era of 'Mega-Competition' …… 社36（1）13―33
医療利用組合運動の連合会組織による統制と保健国策 …… 社47（2）1―21

研究ノート

Health and Medical Co-operatives in Japan:
As a Force for the Development of the Capability of the Family
and the Community to Maintain Health …… 社36（2・3）79―94
医療利用組合による国民健康保険組合代行事業に関する覚書
――または，高嶋裕子「国民健康保険制度形成過程における医療利用組合運動の
歴史的位置―岐阜県小鷹利村を事例として」の批判的検討―― …… 社41（2）67―79
いわずもがなのこと―研究における資料批判と倫理性 …… 社44（1）165―172
蓮池公咲の医療利用組合論の検討 …… 社46（1）103―118
1930年代における健康・医療問題と医療利用組合運動 …… 人47（2）37―48
連合会組織による医療利用組合運動の系統的統制と組織改組の現実相 …… 社48（2）123―146
戦時保健国策と医療利用組合運動
――農林・厚生両省「共管」；国民医療法；日本医療団との関連で―― …… 社49（2）49―69
医療利用組合運動の連合会組織による系統的統制に至る政策形成過程
――農林省「産業組合主任官協議会」における指示及び協議を中心に―― …… 社50（1）31―50
医療利用組合群像［Ⅰ］――利用購買組合厚生病院 …… 社50（2）139―160

医療利用組合運動顛末
——医療利用組合運動から産業組合による総合的保健運動へ—— …… 人48（2）93—110
内務省衛生局による医療利用組合政策の形成過程
——1933年医師法改正・診療所取締規則を中心に—— …… 人49（1）73—92
東京医療利用組合の設立認可をめぐる諸対立・対抗関係 …… 人49（2）95—114

青　木　博　明　（あおき　ひろあき）
査読論文
標準偏差の変化が期待効用に与える影響 …… 社44（2）73—83
論　　文
平成5年大阪府産業連関表による大阪経済の概観と経済波及分析 …… 社34（3）7—21
新聞売り子問題の解の性質と2つの発注期間に対する解法 …… 社45（2）81—95
複数財の在庫モデルのシミュレーション分析 …… 社50（2）67—79

赤　井　尚　子　（あかい　なおこ）
論　　文
Self-Realization: A Study of H. D's *Trilogy*
——With a focus on "Tribute to the Angels" …… 人29（1）15—35
目　　録
日本におけるEzra Poundの翻訳及び文献目録 …… 人30（1）51—80

明　石　博　行　（あかし　ひろゆき）
論　　文
科学技術関連法の形成と発展
——科学技術基本法体制の法的機構にかんする一分析—— …… 社33（3）77—96

秋　山　安　永　（あきやま　やすえ）
論　　文
Henry Millerとmysticism
—— *Tropic of Cancer*から *The Colossus of Maroussi*まで—— …… 11（4）155—170
George Orwellの *Burmese Days*について
——彼の倫理観を中心に—— …… 13（3）33—46

揚　　武　雄　（あげ　たけお）
論　　文
リカードの修正価値論とスラッファ理論 …… 12（3）35—74

浅　井　　晃　（あさい　あきら）
論　　文
カナダ先住民文学のカノン …… 人36（3）27—38

浅　野　幸　治　（あさの　こうじ）
論　　文
Degrees of Reality in Plato: Part Ⅱ …… 人30（2）17—34

Two Arguments for Forms in Plato:
Conflicting Appearances and One over Many …… 人32（1）79―96
研究ノート
プラトンのイデア論の不完全述語解釈その後――中畑とホワイト―― …… 人31（1）1―11
翻　訳
第二の法廷弁論四部作――過失致死の場合――（アンティポン）…… 人31（3）9―24
目　録
ソクラテス・プラトン研究日本語文献目録――1975年～1995年（その1）―― …… 人32（3）81―96
ソクラテス・プラトン研究日本語文献目録――1975年～1995年（その2）―― …… 人33（1）53―67
ソクラテス・プラトン研究日本語文献目録――1975年～1995年（その3）―― …… 人33（2）79―95

朝　原　早　苗　（あさはら　さなえ）
論　文
Some Iconic Scenes in *Antony and Cleopatra* …… 13（6）19―37

芦　田　利恵子　（あしだ　りえこ）
論　文
指標詞について――新フレーゲ派のアプローチ―― …… 人28（4）109―116
信念の帰属に関する一考察 …… 人29（3）41―48

足　立　照　也　（あだち　てるや）
論　文
オーストラリア人の「日本観」
――ホストファミリーへのアンケート調査に基づいて――（共）…… 社35（4）55―65

安　部　栄　造　（あべ　えいぞう）
論　文
効用と需要 …… 社17（3）1―23
価格指数 …… 社・人17（4）1―18
一般均衡理論の一断面 …… 社19（2）17―31

安　倍　　惇　（あべ　つとむ）
論　文
幕末開港後の洋銀問題と横浜正金銀行の設立
――パクス・ブリタニカの東アジアとわが国外国為替政策の形成―― …… 社31（4）13―28

天　井　一　夫　（あまい　かずお）
論　文
国際会計基準の導入と管理会計の一齣――オーストラリアの場合―― …… 社37（1）1―12

新　井　美　史　（あらい　よしふみ）
論　文
日本メディアが伝えた空爆下のコソボ紛争
――朝日新聞紙面の点検と考察―― …… 社35（3）25―35

有　尾　善　繁　（ありお　よししげ）

論　　文

現実の矛盾と論理的矛盾との異同について …… 人18（1）1―20
物質概念をめぐる若干の問題点 …… 人18（3）1―13
「実践的唯物論」と物質概念 …… 人20（2）53―72
物質概念と弁証法（その1） …… 人21（4）19―33
物質概念と弁証法（その2） …… 人22（2）15―26
物質概念と弁証法（その3） …… 人22（4）23―32
物質概念と弁証法（その4） …… 人23（2）9―18
実践的唯物論と史的唯物論――広松渉氏の所説によせて―― …… 人24（1）103―115
ヘーゲル『論理学』における「概念」と物質概念 …… 人27（1）77―92
労働本質論とその論理（上） …… 人29（3）1―13
労働本質論とその論理（下） …… 人29（4）1―10
近代市民社会と人権思想 …… 人32（3）23―37
K. マルクスと近代人権思想 …… 人34（4）35―48
近代人権思想の歴史的相対性と持続的発展 …… 人35（4）145―158
近代人権思想と価値法則 …… 人37（3）55―64

〔イ〕

池　上　　惇　（いけがみ　じゅん）

論　　文

「情報化」過程における技術，労働，生活様式の変化について
―― 一つの試論―― …… 社19（4）1―12

池　田　栄太郎　（いけだ　えいたろう）

論　　文

争議行為の目的の正当性――政治ストの問題を中心として―― …… 2（1・2）97―110

池　村　　勉　（いけむら　つとむ）

論　　文

Formulation of the Linear Susceptibility for a Weakly Inhomogeneous
Magnetoplasma with Small Collisions …… 13（6）39―57
Parametric Decay of a Self-Trapped Strong Electromagnetic
Wave into Two Langmuir Waves. Ⅰ.
Pump Properties and Coupled Equations …… 14（2）45―74
Nonlinear Penetration of Externally Excited Electrostatic Ion
Cyclotron Waves into an Inhomogeneous Plasma …… 14（4）1―38
Parametric Decay of a Self-Trapped Strong Electromagnetic
Wave into Two Langmuir Waves. Ⅱ.
Decay Instability Trapping by the x–z Polarized Pump Filament …… 人15（1）1―5
Parametric Excitation of Electrostatic Ion Cyclotron and Purely Growing
Waves Coupled with Electron Bernstein Waves …… 人16（3・4）9―22

Nonlinear Transformation of Statistical Data by
Means of a Computer I. The Case of "BASIC"
(コンピューターを用いた平均値の任意変換の試み I. BASIC編) ……・人20(3) 1—14
Parametric Decay of a Self-Trapped Strong Electromagnetic Wave into
Two Langmuir Waves. Ⅲ.
Decay Instability Stabilization by the *y*-Polarized Pump Filament ……… 人21(2) 31—44
Nonlinear Transformation of Statistical Data by Means of a Computer Ⅱ.
Arbitrary Transformation of the Arithmetic Mean ……・人24(4) 13—23
大学等の入学試験における選択科目の平均点間格差の是正について ……・人28(4) 57—79

生 駒 正 文 (いこま まさふみ)

翻 訳

装飾的意匠と応用美術の著作物(ルードヴイッヒ・ハイト) ……・社16(2) 51—62

石 井 光 子 (いしい みつこ)

論 文

「ベニト・セレノ」のコン・マン ……・人21(3) 11—30
メルヴィルの「鐘楼」——共和都市国家の法—— ……… 人24(2) 31—38
メルヴィルと,彼の煙突は,投降しはしない ……… 人25(1・2・3) 127—144
『ギー』——メルヴィルの民族誌学 ……・人27(3) 1—12
「エンカンタダス」の偶像破壊と文化混淆(1) ……・人34(3) 7—22

石 井 雄 二 (いしい ゆうじ)

論 文

川島哲郎氏の「自然的生産諸力」概念の回顧と再考
——「関係」論的視座からのテクストの試み—— ……… 社30(1) 207—223
金融の自由化・国際化と東京一極集中の地域構造
——1980年代の都市銀行の活動を中心に—— ……・社32(4) 117—134
A Preliminary Study on Local Economic Development and
Migration in Rural Northeastern Thailand:
Progress Report to Lead to Rural Survey ……・人34(3) 23—37
Migration and Local Economic Development in
Rural Northeastern Thailand(1):
Case Studies of Three Villages in Khon Kaen and Chaiyaphum Province …… 社34(4) 53—64
東北タイの農村人口移動の最近の動向
——コンケーン・チャイヤプーム県の農村事例を中心に—— ……・社36(4) 27—43
東アジアの地域経済統合化の構造的要因とメカニズム
——経済地理学からの方法論的アプローチ—— ……・社45(3) 299—313
中国における再生可能エネルギー事情と課題(共) ……・社50(1) 1—15

翻 訳

構造転換に直面するポーランドの社会経済地理学(ズビズコ・チョニツキー) …… 人31(1) 15—25

書 評

山川充夫・柳井雅也編著『企業空間とネットワーク』
(大明堂,1993年4月,300ページ) ……・社29(3) 139—145

竹内淳彦・北村嘉行編『東アジアの工業と経済開発』
（大明堂，1993年，173ページ）…… 人29（4）51―58
小川雄平編著
『タイの工業化と社会の変容――日系企業はタイをどう変えたか――』…… 社32（2）51―56
上野和彦著『現代中国の経済地理』…… 人33（1）69―75
大阪市立大学経済研究所監修，田坂敏雄編『アジアの大都市〔1〕バンコク』…… 社35（4）119―126
西川　潤・野田真里編『仏教・開発・NGO――タイ開発僧に学ぶ共生の智慧』…… 社38（1）55―63

石　倉　三　雄　（いしくら　みつお）

書　　評

水津雄三著『地域をささえる中小企業――「新・日本列島改造計画」批判――』
（阪南大学叢書36，A5版，292ページ，森山書店，1991年3月刊）…… 社27（2）93―96

石　黒　　馨　（いしぐろ　かおる）

論　　文

南北貿易下の交易条件と債務累積
――諸勢力の要求実現行動との関係を中心に――…… 社21（2）1―24
投資，為替変動及び対外不均衡
――インフレーション・経済成長を考慮して――…… 社22（1）27―41
原油価格と南北経済
――先進資本主義諸国，非産油途上諸国，原油輸出諸国からなる
南北経済モデルの構成と分析――…… 社22（3）25―45
経済開発，インフレーション及び債務累積
――ブラジル・モデルの構成と分析――…… 社22（4）87―108
企業内国際分業と国際貿易…… 社23（2）57―73
土地所有とメキシコ革命
――メキシコにおける資本主義発展の「二つの道」の対立――…… 社23（4）15―30
国際システムと国際レジーム…… 社25（1・2・3）79―89
覇権システムと国際均衡――パックス・アメリカーナの展開と責任分担――…… 社26（4）1―15
覇権理論と貿易自由化ゲーム――権力と相互主義――…… 社28（2）57―69
覇権システムの効率性――国際経済の政治分析――…… 社28（3）125―143

石　澤　雄一郎　（いしざわ　ゆういちろう）

研究ノート

地域中小企業支援機関としての商工会，その現状と展望
――日高町商工会をケースとして――（共）…… 社45（1）131―145

石　田　　護　（いしだ　まもる）

論　　文

為替管理自由化の過程…… 社32（2）17―26
為替レート決定理論と国際通貨体制――産業界の一視点――…… 社32（3）15―28
外為法改正に見る改革の構図…… 社33（4）45―56
ビッグバンは資本市場をどう変えるか――市場利用者の視点――…… 社34（1）95―109
為替安定への道筋を探る――為替変動の理論と現実――…… 社35（2）149―159
為替安定への道筋を探る（2）――為替相場制度改革の選択肢――…… 社35（3）1―10

石　原　照　敏　（いしはら　てるとし）

論　　文

国際競争下の「地域軸」と産業構造
——関西経済圏西部（東中国四国南北軸関連６県）の場合—— ……社32（4）11—27
フランス・アルプスにおける観光の発達と観光計画 ……人34（2）13—24
「国際山岳観光都市」と観光産業
——長野県白馬・八方尾根周辺地域の事例—— ……人35（4）27—43
地域開発契約による観光業と農業の共生システム
——フランス・アルプス・ヴァルモレルの事例研究—— ……社36（4）9—25
地域政策による観光業と農業の共生
——フランス・アルプス・セイヤックの事例研究—— ……人37（1・2）15—27

研究ノート

環境・景観とツーリズム——地域地理学の視点—— ……人37（3）65—73

井　尻　良　夫　（いじり　よしお）

論　　文

Как К.Маркс и Ф.Энгельс Относятсяк Русскому Языку ……社17（1）27—34
К Вопросу об Обучении Русскому Яэыку,
в Особенности Синтаксису ……人18（2）45—52
Атеистическая Традиция среди Советских Рабочих,
в Особенности в Каэахстане ……人19（2）57—64
ロシヤ語前置詞論 ……人19（3）23—34
社会主義社会と住民の宗教性 ……社20（1）27—40
カトリック教会と社会教説 ……人23（2）19—32
カトリシズムと「救済」……人25（4）49—61
社会主義社会と宗教 ……人26（3）17—28
マルクシズムと宗教 ……人27（2）37—45
無神論的教育と青年労働者——ペレストロイカ以前のソ連—— ……人27（4）51—60
宗教とB. И. レーニン ……人28（1）39—48
解放の神学——70年代のラテンアメリカとフィリピン—— ……人28（3）99—111
キリストにおける暴力・非暴力 ……人29（1）49—60
キリストと《不安》——ペトロにみる—— ……人29（3）49—59

研究ノート

東方からのキリスト教——正教会考—— ……社16（2）63—72
正教会と結婚——婚配機密を中心に—— ……人19（1）45—54

資　　料

20世紀初頭のロシヤ正教会改革運動（H. C. ゴルジエンコ，П. K. クロチキン）……14（6）149—176
A. B. ルナチャルスキーにおける芸術と宗教（O. A. パブロフスキー）……人15（1）37—50
ソ連における社会主義的改革と女性の信仰心（И. П. チニャコバ）……人16（1）77—87
無神論と社会主義社会の精神的文化（B. A. ゾーツ）……社18（1）61—71
1905—1916年におけるロシヤ正教会の社会的政治的立場（H. П. クラスニコフ）……人19（4）41—55
精神的文化の開花と没落の諸問題（H. B. ゴンチャレンコ）……人20（2）117—129
宗教と現代（M. П. ムチェドロフ）……人20（4）63—79
現代の神学と哲学（オクタヴィアン・ケツァン）……社21（1）109—125
精神的文化の進歩と哲学（B. A. マリニン）……人21（2）65—76

東洋諸国における宗教と言語（Л. Б. ニコルスキー）…… 人22（1）99―110
原初キリスト教とソビエトの歴史学（K. П. コルジェバ）…… 人22（2）105―122

翻　訳

《解放の神学》――ラテン・アメリカのラジカルな潮流――（B. M. パシカ）…… 人22（3）65―77
言語分析的護教論――現代宗教哲学の一潮流――（ヤン・ベイシ）…… 人23（4）61―73
フィリピンにおけるカトリシズムの土着化（I. V. ポドベリョスキー）…… 社24（1）91―103
カトリック教会とファシズム（1930―1933）（M. E. エリン）…… 人24（2）39―53
ラテン・アメリカの《解放の哲学》（E. V. デメンチョノク）…… 人26（1）49―63

和　泉　孔　二　（いずみ　こうじ）

論　文

Adjointness of Fuzzy Systems …… 人21（1）19―28
ファジィシステムにおける双対性 …… 人21（3）1―10
Duality of Fuzzy Systems Based on the Intuitionistic Logic Calculus LJ …… 人21（4）59―72
Fuzzy Logical Construction of Linguistic Modal Hedges …… 人22（3）15―28
双対直観主義命題論理計算DLJのGentzen流形式化 …… 人25（1・2・3）115―126
ファジィ部分群およびファジィイデアルの諸性質 …… 社30（4）139―147
有限値をとるファジィイデアルの諸性質 …… 人31（2）15―23
ファジィ正規部分群およびファジィイデアルのなす束について …… 人33（4）1―9
ファジイ左R―加群のなす圏におけるファジイ分裂および射の可逆性 …… 社35（2）89―98
自己同形群に関して同値なファジィ部分群の諸性質 …… 人37（4）1―9

研究ノート

ファジィ位相群についての一考察 …… 人42（2）37―47

和　泉　大　樹　（いずみ　だいき）

論　文

小規模ミュージアムにおける地域づくり・観光振興への取り組みに関する一考察
――大阪府貝塚寺内町「明治・大正・昭和くらしの資料館」を事例として―― …… 人50（2）89―98

泉　　弘　志　（いずみ　ひろし）

論　文

An International Comparison of TFP Using I-O Tables in China,
Japan and the United States（共）…… 社35（2）15―28

伊　田　昌　弘　（いだ　まさひろ）

論　文

成熟寡占市場における製品差別化
――最近の日本自動車メーカーによる品質強化競争について―― …… 社27（2）53―66
Why did Nissan Have to Close Australian Auto-manufacturing Plant? …… 社28（3）163―166
オーストラリアにおける日系自動車産業について
――とりわけ日産撤退問題に寄せて―― …… 社30（1）195―205
日本企業の対中直接投資――主要3産業の統計分析―― …… 社35（2）99―108
情報技術と景気循環――出荷・在庫統計の視点から―― …… 社45（3）203―219
インドのソフトウェア産業における人事戦略と国際的頭脳循環（共）…… 社49（1）23―35

市　川　隆　男　（いちかわ　たかお）

論　　文

オブジェクト指向のビジネス・アプリケーションへの適応研究
——CORBA と Java による分散システム——……社35（2）109—121

日本の ICT 事情に関する一考察——情報通信関連白書を通して——……社45（3）165—181

一　宮　和一郎　（いちのみや　かずいちろう）

論　　文

外国語習得過程における EIM（Ego-Involved Method）の研究……人27（1）1—13

稲　田　菊太郎　（いなだ　きくたろう）

論　　説

田園詩考……1　15—39

論　　文

アエネイス再考——その第六巻の解明より——……3（1・2）149—178

済州島潜嫂集落の変貌——韓国セマウル運動の10年——……人17（2・3）23—55

研究ノート

アリスタイオス神話に関するノート……2（1・2）85—95

資　　料

済州島潜女集落（Ⅰ）……9（3）49—83

済州島潜女集落（Ⅱ）……11（3）181—216

烏来山地原住民集落……人16（1）37—62

井　上　勝　雄　（いのうえ　かつお）

論　　文

主成分による回帰係数の推定……社21（3）39—50

井　上　准　治　（いのうえ　じゅんじ）

論　　文

マクベスの本音と時代の本音……13（4）55—83

The King's Grief in *Richard Ⅱ*: An Essay on Shakespeare's History Plays……14（2）103—164

「ヘンリーⅣ世」に於けるダブルプロットのパロディ的構造……人15（3・4）25—45

井　上　徹　二　（いのうえ　てつじ）

論　　文

アメリカ法人税の構造と特徴……社31（3）13—26

税効果会計の形成と展開……社31（4）137—146

税務会計と企業会計の関係についての考察……社32（1）17—30

日本税務会計の歴史的考察……社32（3）1—13

税制改革論の原理的考察……社33（4）57—67

アメリカにおける税制改革論……社34（1）131—141

地方公会計と基金会計の史的考察……社34（4）1—11

シンガポール税制の構造と特徴——比較税制論の視点による考察——……社35（1）81—93

オーストラリア税制の構造と特徴……社36（2・3）25—35

税務会計論の当面の課題……社37（4）43—52

研究ノート
ベトナムの投資環境と税制 …… 社33（2）65―73

井　上　寛　和　（いのうえ　ひろかず）
論　　文
食糧法直前の稲作地域について――付，流通・消費構造の変化―― …… 社32（4）201―212
大規模野菜産地の地理的研究
――鳥取県東伯郡大栄町西瓜作の事例研究―― …… 人35（4）169―181
研究ノート
農産物直販から見る地域農業――鳥取県中部域での事例研究―― …… 人39（2）9―22

井　上　　博　（いのうえ　ひろむ）
論　　文
Several Characteristics of Service Multinational Corporations …… 社48（1）1―21
イギリスのグローサリー小売企業によるPB展開とサプライヤーとの関係 …… 社49（2）19―34
研究ノート
大連におけるオフショアリングの現状と特徴 …… 社44（2）133―142

井　上　善　幸　（いのうえ　よしゆき）
論　　文
『勝負の終わり』の生成（Ⅰ）――“Mime du rêveur, A”について―― …… 人27（4）19―29
The Theatre of Mind-Lessness: A Reading of Samuel Beckett's *Endgame* …… 人28（1）67―77
監禁のエクリチュール――夢野久作『ドグラ・マグラ』論 …… 人30（1）1―13
ベケットとパスカル
――ベケットの『勝負の終わり』における狂人施設・牢獄・船の内部―― …… 人30（3）99―115

今　野　　勉　（いまの　つとむ）
論　　説
証券業者の性質 …… 1　1―14
論　　文
市場類似施設 …… 2（1・2）1―28
商品取引所をめぐる保険取引――とくにベーシス取引について（一）―― …… 3（1・2）27―40
商品取引所をめぐる保険取引――とくにベーシス取引について（二）―― …… 4（1・2）1―28
シュナイダーの統治行為論について …… 5（1・2）21―42
呑行為の私法上の効力 …… 11（2）1―13
The Future of Futures Trading in Japan …… 社・人17（4）51―70

今　福　愛　志　（いまふく　あいし）
論　　文
日本の会計基準――会計基準設定構造の日米比較の視点―― …… 社28（3）21―30
書　　評
櫻田照雄著『銀行ディスクロージャー――規制緩和と「自己責任」経営――』 …… 社32（1）81―87

入　子　文　子　（いりこ　ふみこ）

論　　文

The Blithedale Romance: Integration of The Veil …… 人16（2）65―88

On the Narrative Technique: Why Does Miles Coverdale Narrate ? …… 人17（2・3）101―112

岩　﨑　佳　孝　（いわさき　よしたか）

査読論文

北米先住民族における「混血者」の位置づけについての試論

――インディアン強制移住期のチカソーの事例より―― …… 人44（2）15―32

岩　橋　昭　廣　（いわはし　あきひろ）

論　　文

国債政策と日銀国債買オペレーション …… 社21（4）1―16

BIS規制と日米金融摩擦 …… 社27（1）97―112

現代公信用と私的信用――公信用の私的信用救済・支持機能を中心に―― …… 社28（3）145―152

金融機関経営の不安定化と金融危機回避策 …… 社29（2）75―91

公的信用と銀行再編成

――80年代における米国の金融機関経営の破綻を中心に―― …… 社30（3）43―56

FDICIAとセーフティ・ネット

――米国の金融規制体系再編の一側面―― …… 社32（4）135―148

金融機関の経営破綻と日銀の金融支援 …… 社34（1）175―184

金融規制と大手米銀の蓄積戦略――BIS規制成立過程を中心に―― …… 社37（1）27―36

金融規制と大手米銀の蓄積戦略（2）――BIS規制と米銀の優位性―― …… 社37（2）33―42

世界金融危機と金融規制 …… 社47（1）53―72

研究ノート

本邦投資家と対米国債投資の特徴 …… 社23（2）101―113

岩　橋　法　雄　（いわはし　のりお）

論　　文

イギリス学校制度におけるパートナーシップの考察について

――国民教育における国家の地位究明のために―― …… 社17（3）55―64

〔ウ〕

武　　時　穎　（う　しぃぇん）

論　　文

略论对外汉语教学中的汉字教学 …… 人35（3）27―29

试论汉字与中国传统思维方式 …… 人35（4）183―186

WILSON, Gordon Grady　（ウィルソン　ゴードン　グレイディ）

論　　文

Effect of Zero Anaphora in Intercultural Communication（共） …… 社37（3）33―44

Recommendations for the Hannan University English Entrance Exam

――阪南大学英語入学試験改善への提案――（共） …… 人37（4）11―23

Design of the Vocabulary Element of an ESP Computer/Internet Class（共） …… 人38（2）19―31

The Maru/Batsu System:
An Approach to Increasing Instances of Verbal Language Output
in Japanese University Language Classes（共）…… 人41（2）7―15

研究ノート

Research Notes for the InterZone University Project …… 人36（2）51―55

Winston R. Welch （ウィンストン　R　ウェルチ）

論　　文

HANNAN UNIVERSITY INSTRUCTOR'S BELIEFS ABOUT ENGLISH
AND LANGUAGE LEARNING …… 人31（3）69―73

研究ノート

Hannan University Students' Beliefs about English and Language Learning …… 人31（2）55―60

植　田　　肇 （うえだ　はじめ）

論　　文

監査人の独立性 …… 社28（3）43―61

植　田　浩　史 （うえだ　ひろふみ）

論　　文

機械金属関連加工分野における基盤的技術産業集積
――大阪市の事例から―― …… 社45（3）77―90

植　田　政　孝 （うえだ　まさたか）

論　　文

最近の都市経営論の特徴と問題点 …… 社15（2・3）17―29

上　田　雅　通 （うえだ　まさゆき）

論　　文

会計の管理的側面
――リトルトン教授・ジンマーマン教授の所説について―― …… 3（1・2）41―66
会計理論の歴史的展望――リトルトン・ジンマーマンの所説について―― …… 8　1―27
企業報告の進化（1）――リトルトン・ジンマーマンの所説について―― …… 9（4）45―67
企業報告の進化（2・完）――リトルトン・ジンマーマンの所説について―― …… 9（5）109―134
フィネー・ミラーの低価主義論
――リトルトン・ジンマーマンの所説に寄せて―― …… 11（2）303―326
貨幣価値変動会計に関する一考察
――リトルトン・ジンマーマンの所説を中心として―― …… 11（3）1―54
『社会会計』への接近について――リトルトンとジンマーマンの所説の吟味―― …… 11（5）1―20
会計の歴史的遺産――A. C. リトルトンの見解に対する吟味―― …… 社15（4）1―10

研究ノート

会計の連続と変化（1）――リトルトン・ジンマーマンの所説について―― …… 6　107―125
会計の連続と変化（2・完）――リトルトン・ジンマーマンの所説について―― …… 7　79―101

資　　料

会計諸行為間の相互関係（1）――リトルトン・ジンマーマンの所説―― …… 8　29―53
会計諸行為間の相互関係（2・完）――リトルトン・ジンマーマンの所説―― …… 9（1）71―94

「原価配分」の検討――リトルトン・ジンマーマンの所説―― …… 9（6）85―119
リトルトン・ジンマーマンの外部伝達論（1） …… 9（6）121―147
リトルトン・ジンマーマンの外部伝達論（2・完） …… 10（1）25―43
リトルトン・ジンマーマンの会計士責任論 …… 10（6）69―102
会計の合理的正当化――リトルトン・ジンマーマンの所説―― …… 11（1）73―98
「社会会計」とは何か――リトルトン・ジンマーマンの所説―― …… 11（1）99―129
K. Bucknerによる「会計に対するリトルトンの貢献」（1） …… 14（3）41―51
K. Bucknerによる「会計に対するリトルトンの貢献」（2） …… 14（6）119―147
K. Bucknerによる「会計に対するリトルトンの貢献」（3） …… 社18（1）33―59
K. Bucknerによる「会計に対するリトルトンの貢献」（4） …… 社18（2）43―69
K. Bucknerによる「会計に対するリトルトンの貢献」（5・完） …… 社20（1）51―76

植　村　幸　生　（うえむら　ゆきお）

論　　文

プラスチックの材料試験技術の形成過程
――JIS規格整備過程を指標にして―― …… 社22（4）29―47
「人，自然，社会にやさしい技術」の登場 …… 社27（1）129―138
「産業科学技術政策」の登場
――90年代初期の科学技術政策の一側面―― …… 社29（2）1―13
90年代の科学技術政策の形成過程
――科学技術会議18号答申の審議過程を中心に―― …… 社29（4）81―93
90年代半ばにおける科学技術政策の混迷
――科学技術会議科学技術系人材部会・中間報告の意味するもの―― …… 社30（4）67―81
科学技術政策も地球規模の時代
――技術政策研究会の10年が示すもの―― …… 社33（3）195―206
奇妙な道，天美の下高野街道――その由来―― …… 人35（4）159―167

研究ノート

'90代初頭における科学技術政策の特徴 …… 社26（3）61―69

調 査 報 告

ダイク，ダムそして風車の旅（上）――西部オランダ地方を歩く――（共） …… 社27（3）71―85
ダイク，ダムそして風車の旅（下）――西部オランダ地方を歩く――（共） …… 社27（4）99―116

資　　料

関東大震災についての棚橋源太郎論文 …… 人32（3）1―12

シンポジウム

「研究・開発（R&D）の創造性にかかわる座談会」記録（上）（共） …… 社27（3）87―99
「研究・開発（R&D）の創造性にかかわる座談会」記録（下）（共） …… 社27（4）135―152
『芸術・技術・科学における創造性』研究討論会記録（上） …… 社28（4）211―232
『芸術・技術・科学における創造性』研究討論会記録（下） …… 社29（1）181―200

植　村　吉　輝　（うえむら　よしてる）

論　　文

The End of the *Leegin* Saga and the Beginning of
Development For the *Rule of Reason* in RPM Cases …… 社47（2）23―59

判例研究
差別対価の判断において原価割れの有無が検討された事例
——日本瓦斯差別対価差止請求事件—— …… 社41（2）57—65
研究ノート
書類送達規定の整備と独禁法6条 …… 社41（1）25—31
レイカー航空訴訟に関するメモ …… 社42（1）19—32
翻　訳
国際レベルでの競争当局間の協力（第1章前半）（ブルーノ・ザネッティン）…… 社42（2）129—152
国際レベルでの競争当局間の協力（第1章後半）（ブルーノ・ザネッティン）…… 社43（1）33—48
国際レベルでの競争当局間の協力（第2章前半）（ブルーノ・ザネッティン）…… 社43（2）153—171

魚住香子（うおずみ　きょうこ）
論　文
Women in Power:
A Study of *Antony and Cleopatra* and *Dido Queen of Carthage* …… 人36（2）31—49

後　恵子（うしろ　けいこ）
論　文
クラウディウスとグレイヴズの詩における絵画性 …… 人30（3）233—241

碓井敏正（うすい　としまさ）
論　文
正義論の問題状況 …… 人32（4）29—38

臼谷健一（うすたに　けんいち）
論　文
顧客志向マーケティングがもたらすもの
——アダストリアホールディングスとユナイテッドアローズの
有価証券報告書分析を通して——（共）…… 社50（2）39—65

梅垣邦胤（うめがき　くにたけ）
論　文
社会的価値と個別的価値 …… 14（5）79—109

梅川　勉（うめかわ　つとむ）
論　文
総合研究開発機構『農業自立戦略の研究』の批判的検討 …… 社18（3）1—14
WTO体制下の日本の食料・農業・農民問題と新基本法 …… 人35（4）25—37

梅村　仁（うめむら　ひとし）
査読論文
地方自治体における産業振興施策の展開と企業の活性化
——尼崎市における総合計画と企業立地促進施策を中心に——（共）…… 社45（1）15—40

研究ノート
中小製造業の新製品開発、人材育成、国際化
——株式会社ヤマシタワークス（尼崎）のケース・スタディ——（共）……社44（2）159—170

梅　本　哲　世　（うめもと　てつよ）
書　　評
渡　哲郎著『戦前期のわが国電力独占体』……社32（3）75—77

占　部　裕　典　（うらべ　ひろのり）
論　　文
トライアンギュラー・ケースにおける国際的利子課税……社33（4）9—32

〔エ〕

Eddy Van Drom　（エディ　バン　ドローム）
論　　文
The Coverage of the Nuclear Energy Issue
in Japanese Mainstream Newspapers……人43（2）23—32
The Role of Manga in the Diffusion of Technoscientific Information
into the Modern Japanese Society
——Part 1: Science and Technology in Japanese Manga——……人49（2）13—44
研究ノート
Réflexions sur l'émergence de la notion de causalité dans la langue française……人35（4）225—235
La Vulgarisation Scientifique Baudoin Jurdant:
Une Persprective Française……社36（2・3）95—113
Liste Des Principaux Connecteurs Exprimant Les Moyens
（Instrument et Manière）……人36（4）69—85
La Vulgarisation Scientifique（2）
——Perspectives systémique et psychanalytique chez
Hiroyuki Mitsuishi——……人37（4）89—105
Reforms in the Japanese University System & Changes
in the Contributions of Universities toward the Japanese Society……人44（1）35—44
The Shaping of Japan between 1868 and 1945:
——Effects of the Japanese drive to 'catch up' with the West——……社45（1）103—114
Wartime treatment of the 'comfort women' and today's
prostitution-or-slavery debate……社45（2）119—128
Assessment of the 2000 Tokyo *Women's International War Crimes*
Tribunal on Japan's Military Sexual Slavery……社46（2）155—163

江　畑　　武　（えばた　たけし）
論　　文
再び『魏略』と『魏志』の相違について——倭人太伯後裔説に関連して——……人24（1）1—10
箕子朝鮮開国伝承の展開——『漢書』・『魏略』・『魏志』を中心に——……人25（1・2・3）31—41
『翰苑』所引の『魏略』粛慎記事と魚豢の卒年……人28（4）1—8
七世紀前半の東アジア——皇極紀三年条の祥瑞記事に関連して——……人32（1）17—30

『魏志』倭人伝の第一段について …… 人32（2）1―10
唐文物の移入――回賜を中心に―― …… 人35（4）1―12
『三国志』の材料について――三国の国史について―― …… 人36（3）15―25
研究ノート
箕子朝鮮開国伝承の成立 …… 人18（4）5―13
再び『魏略』の成立年代について――何遠景氏の二五五年説について―― …… 人26（1）33―43
『三国志』の成立年次 …… 人36（2）23―33
資　料
試稿『漢書』地理志　訳註（八）――周地篇・楚地篇―― …… 人17（2・3）1―10
追　加
『魏志』巻三〇烏丸鮮卑・東夷伝の序文について …… 人28（1）51―53

〔オ〕

及　川　勝　美　（おいかわ　かつみ）

論　文
会計基準の国際的調和化活動の展開 …… 社36（2・3）51―60

王　　际　平　（おう　さいへい）

論　文
从清人七言绝句看委婉诗的艺术表现力――清诗管窥之一―― …… 人33（2）59―71

大　江　麻里子　（おおえ　まりこ）

論　文
クレオパトラの教育
――バーナード・ショーの『シーザーとクレオパトラ』―― …… 人41（1）31―38
翻　訳
『ソネットのダーク・レディ（*The Dark Lady of the Sonnets*）』
（バーナード・ショー） …… 人48（1）37―47

大　越　勝　秋　（おおごし　かつあき）

論　文
河内地方における入会山の分布と山郷 …… 11（4）1―22
宮座と婿養子 …… 人18（4）1―4
資　料
泉大津市宮座史料集（一） …… 4（1・2）211―254
泉大津市宮座史料集（二） …… 5（1・2）43―67
泉大津市宮座史料集（三） …… 6　21―46
泉大津市宮座史料集（四） …… 7　39―60
泉大津市宮座史料集（五） …… 8　51―75
泉大津市宮座史料集（六） …… 9（1）23―47
泉大津市宮座史料集（七） …… 9（2）1―22
泉大津市宮座史料集（八） …… 9（3）15―37
和泉市宮座史料集（1） …… 9（4）1―41
和泉市宮座史料集（2） …… 9（5）57―81

和泉市宮座史料集（3）……9（6）69―97
和泉市宮座史料集（4）……10（1）61―90
和泉市宮座史料集（5）……10（2）1―30
和泉市宮座史料集（6）……10（3）53―81
和泉市宮座史料集（7）……10（4）1―30
和泉市宮座史料集（8）……10（5）1―27
和泉市における宮座　①……10（6）1―27
和泉市における宮座　②……11（1）1―26
和泉市における宮座　③……11（3）1―38
岸和田市宮座史料目録……12（1）19―57
岸和田市における宮座　①……12（2）1―28
岸和田市における宮座　②……12（5）1―26
岸和田市における宮座　③……13（1）19―45
岸和田市における宮座　④……13（2）1―30
岸和田市における宮座　⑤……13（4）1―10
岸和田市における宮座　⑥……14（1）1―25
大阪府泉北郡忠岡町における宮座……人15（3・4）1―15
大阪府高石市における宮座……人16（1）1―6
大阪府泉南郡阪南町における宮座・寺座……人16（2）1―30
大阪府貝塚市水間寺の寺座と史料……人16（3・4）1―66
貝塚市宮座・寺座史料目録……人17（1）1―40
和泉地方における中世宮座史料……社・人17（4）1―13

大　島　　卓　（おおしま　たく）

論　　文

現代世界の自動車産業における大型再編成の要因分析……社35（1）21―30

太　田　一　樹　（おおた　かずき）

論　　文

伝統的系列システムの現状と課題
――「流通系列化」政策を中心に――……社35（1）95―110

大　田　一　廣　（おおた　かずひろ）

論　　文

J. ロー以降の〈貨幣論争〉と経済認識
――フランスにおける経済学の生成の一局面――……社21（3）181―196
貨幣の論理と啓蒙の精神
――『百科全書』における貨幣の概念によせて――……社25（1・2・3）231―242
Quesnay et la théorie monétaire au XⅧe siècle……社30（1）127―141
L'Ordre Monétaire et l'Economie Politique d'Institution……社32（4）93―99
貨幣的秩序の存立構造序説（上）……社35（4）15―28
貨幣的秩序の存立構造序説（下）……社36（1）1―11

大　谷　　勉（おおたに　つとむ）
論　　文
大阪におけるローカル・ユニオン
——日労大阪地方労働組合会議の歩み——……社19（2）1—15

大　塚　恭　子（おおつか　きょうこ）
論　　文
「打つ」動作に関する基礎的研究
——バレーボールにおけるフローターサーブの
キネシオロージ的研究——（共）……人20（4）15—20

大　槻　眞　一（おおつき　しんいち）
論　　文
内陸型工業県の歩みと課題……社28（4）1—9
滋賀県における科学技術の振興方策……社29（4）37—48
日本における磁器の成立過程——技術伝播の史的考察——……人32（1）67—78
「新規産業の創出」と中小企業政策……社33（3）97—112
規制緩和による「新規産業の創出」について
——日米の産学連携の比較と中小企業政策——……社34（1）111—129
グローバリゼーション時代の中小企業政策……社34（2）43—54
不況からの脱出と中小企業の活性化……社35（1）55—65
中小企業基本法の「改正」と地域経済……社35（4）45—54
シリコンバレー現象の波紋（Ⅰ）——オーストラリアに見る新産業の育成——……社36（1）35—42
シリコンバレー現象の波紋（Ⅱ）——台湾における新産業の育成——……社36（2・3）1—10
シリコンバレー現象の波紋（Ⅲ）——インドにおけるソフトウエア開発——……社36（4）1—8
研究ノート
ブラジル経済の現状と課題——地域からの国際交流　その1——……社30（2）57—64

大　西　　広（おおにし　ひろし）
論　　文
アジア危機の計量分析——原因・展望および教訓について——……社35（2）29—42

大　西　見也子（おおにし　みやこ）
論　　文
2009年度　学生生活アンケートにおける阪南大学新入生の
心理的特徴について（共）……人46（1）1—13

大　橋　岩　雄（おおはし　いわお）
論　　文
研究者の研究テーマ決定への参加とモチベーション・業績について
——インダストリアル・リサーチの実態調査から——……社21（3）101—127
インダストリアル・リサーチにおける情報伝達について
——その行動科学的考察——……社25（1・2・3）177—194
研究開発管理におけるリーダーシップ研究……社28（4）35—50

特別号関連記事
原光雄教授退任記念号によせて …… 人16（3・4）i
紀俊輔教授　哀辞 …… 社21（4）

大　村　邦　年　（おおむら　くにとし）
論　　文
ファストファッションにおける競争優位のメカニズム
——INDITEX社ZARAの事例を中心に—— …… 社47（2）97—113
新興アパレル企業にみるデジタルプロモーション
——マッシュスタイルラボの事例から—— …… 社48（1）23—36
アパレル企業の多角化戦略とその本質 …… 社50（1）17—29

岡　田　知　弘　（おかだ　ともひろ）
論　　文
大都市における地域経済政策の方向性
——都市形成論と地域内再投資力の視点から—— …… 社45（3）45—60

岡　田　弥　生　（おかだ　やよい）
論　　文
A Study of the Significance of the Ghosts in Henry James's
The Turn of the Screw …… 人24（4）25—30
A Study of the Predicament of Being in
William Faulkner's *Absalom Absalom !* …… 人25（4）63—73

岡　東　　務　（おかとう　つとむ）
研究ノート
財務制限条項の研究 …… 社44（1）123—149

岡　根　好　彦　（おかね　よしひこ）
査読論文
名誉毀損表現の差止めに関する再検討——日米の判決を手がかりとして—— …… 社50（2）1—19

岡　野　圭　壹　（おかの　けいいち）
論　　文
ハーディとロレンスの描く女性人物
——アラベラ・ドンとバーサ・クーツについて—— …… 人34（4）9—21

岡　本　武　之　（おかもと　たけゆき）
論　　文
第2のケインズ問題とその行方 …… 社30（2）17—25
赤字財政と繁栄への道 …… 社30（4）163—175
日本の不況長期化の原因とケインズ法則 …… 社31（3）39—51
ケインズ『一般理論』とホーリズム …… 社32（4）71—81
リカードの等価定理と貯蓄 …… 社33（4）205—215
ケインズ無視による日本の大不況 …… 社34（3）23—34

岡　本　登太郎　（おかもと　とおたろう）
論　　文
地方公社の動向と役割 …… 社28（2）1―14

岡　本　久　之　（おかもと　ひさゆき）
論　　文
保護貿易の経済効果
――フラム＝ヘルプマン・モデルによる分析――（共） …… 社34（4）43―51

小　川　和　憲　（おがわ　かずのり）
論　　文
不安定―低所得階層論（一）――貧困再生産のメカニズム―― …… 13（3）17―32
不安定―低所得階層論（二）――貧困再生産のメカニズム―― …… 13（4）21―38
相対的過剰人口の形成・累積について …… 14（1）81―110
戦後日本の出生力低下とその社会経済的要因について …… 14（5）49―78
現代日本資本主義と相対的過剰人口 …… 社15（1）43―53

奥　　康　平　（おく　こうへい）
査読論文
戦略的なグループ経営における持株会社本社制の有効性 …… 社45（2）1―22
事業の分社化と持株会社本社化の意義
――インフルエンスコスト削減に関する議論を手がかりにして―― …… 社46（2）55―74

奥　田　宏　司　（おくだ　こうじ）
論　　文
円高についての基本認識 …… 社31（4）43―53

奥　田　幸　助　（おくだ　こうすけ）
論　　文
人間関係的経営参加論の史的展開 …… 2（1・2）29―83

奥　田　真　也　（おくだ　しんや）
査読論文
残余利益モデルによる過剰分散制約の検証（共） …… 社47（1）1―10

小　倉　明　浩　（おぐら　あきひろ）
論　　文
世界経済への再統合化と経済安定――NAFTAとメキシコ金融危機―― …… 社31（4）69―80

治　部　浩　三　（おさべ　こうぞう）
論　　文
「打つ」動作に関する基礎的研究
――バレーボールにおけるフローターサーブの
キネシオロージ的研究――（共） …… 人20（4）15―20

乙　政　正　太　（おとまさ　しょうた）

論　　文

経営者の会計手続選択に関する実証研究 …… 社29（4）129―142
経営者の交代と会計ベースのパフォーマンス評価 …… 社30（2）27―40
わが国における経営者の相対業績評価 …… 社31（4）157―165
役員報酬の上限改定と企業パフォーマンス …… 社33（4）163―173
会計ベースの経営者報酬と利益調整行動
――会計的裁量行動と実体的裁量行動の観点から―― …… 社35（2）123―136
経営者報酬パッケージの構成要素とデザイン …… 社37（3）13―31
ストック・オプション制度と経営者インセンティブ
――理論的予測と経験的証拠―― …… 社37（4）77―92
経営者報酬と会計利益の連動性に関するトレンド分析 …… 社40（2）1―16

研究ノート

ストック・オプション制度と会計上の利益 …… 社36（4）79―86

〔カ〕

賀　川　真　理　（かがわ　まり）

査読論文

THE 2008 CALIFORNIA PRESIDENTIAL PRIMARY ELECTION:
Focus on the Democratic Party and the Latino Vote …… 社44（2）45―72
カリフォルニア州の高等教育における光と影
――非合法移民子弟の進学を支援するAB 540を中心として …… 社46（1）1―20

論　　文

真珠湾攻撃とヒロシマ――原爆投下をめぐる日米間の感情的しこり―― …… 社35（3）37―50
カリフォルニア州における住民提案（1）
――イニシアティヴの導入と法制度―― …… 社37（1）37―47
カリフォルニア州における住民提案（2）
――イニシアティヴの特色と最近の傾向―― …… 社37（2）43―53
アメリカの高等教育におけるアファーマティヴ・アクション論争
――カリフォルニア州とミシガン州の比較考察―― …… 社40（1）1―16
カリフォルニア州におけるラティーノの伸張と二言語教育政策 …… 社42（2）55―81
第二次世界大戦中に強制収容された日系人に対するもう一つの戦後補償
――日系ペルー人ヘクター・ワタナベさんの闘い―― …… 社47（2）77―96
ルーズヴェルト政権下における日系ラテンアメリカ人の強制収容をめぐる一考察
――なぜ日系ペルー人が「人質交換プログラム」に利用されたのか―― …… 社49（2）35―48

翻　　訳

2008年カリフォルニア州における大統領予備選挙をめぐる一考察
――民主党とラティーノの動向を中心として―― …… 社45（1）177―200

垣　口　克　彦　（かきぐち　かつひこ）

論　　文

労働争議行為の刑法的意義（一）――その序論的一考察―― …… 9（5）1―31
労働争議行為の刑法的意義（二・完）――その序論的一考察―― …… 10（1）1―30
可罰的違法性論の展開過程――伝統的な可罰的違法性論の確立―― …… 11（2）179―256

経済犯罪の問題性
——スイス刑法雑誌における論争を素材としての「経済犯罪研究」の
前提作業—— …… 13（6）59—96
公害犯罪処罰法の問題性 …… 社・人17（4）71—90
公害犯罪立法問題に関する一考察
——改正刑法草案における公害犯罪の新設について—— …… 社18（4）37—51
公労法違反の争議行為と刑事罰——その予備的考察—— …… 社19（2）33—46
法人処罰の問題性——法人処罰論の現状と課題—— …… 社22（3）1—23
「事故型公害」と公害犯罪処罰法
——二つの最高裁判決を契機として—— …… 社25（1・2・3）35—45
連鎖販売取引に対する刑事規制について …… 社27（1）67—78
現物まがい商法に対する刑事規制について …… 社28（2）71—83
商品先物取引をめぐる犯罪について
——先物取引被害再発防止における刑法の役割—— …… 社29（1）25—41
商品先物取引における客殺し商法と詐欺罪
——同和商品事件を素材としてのケーススタディ—— …… 社30（1）109—125
投資顧問業をめぐる犯罪について
——悪質投資顧問商法に対する刑事規制—— …… 社31（1）1—12
利益供与罪に関する一考察
——商法497条の罪質解明とその適用範囲の明確化のために—— …… 社33（4）217—228
利益供与罪再論
——商法罰則の強化・整備と警察の総会屋対策を中心として—— …… 社36（4）49—60

判例研究

使用窃盗と不法領得の意思 …… 12（4）1—16
国家的・社会的法益に向けられた詐欺的行為と詐欺罪の成否 …… 12（6）1—12
不正融資における借り手側の刑事責任
——最決平20・5・19刑集62・6・1623 …… 社45（2）97—106

研究ノート

不正融資と特別背任罪 …… 社44（2）117—131

資　料

クラウス・ティーデマン
「ドイツ連邦共和国における経済刑法と経済犯罪の状況」 …… 12（6）49—69
クラウス・ティーデマン「経済犯罪学的研究の目標と課題」 …… 14（5）241—252
クラウス・ティーデマン「立法者による経済犯罪の防止対策」 …… 社23（3）83—89

翻　訳

西ヨーロッパとの関係における
1980年ドイツ環境刑法（クラウス・ティーデマン） …… 社23（4）105—119

特別号関連記事

沢田允夫教授　哀辞 …… 人24（1）

角　田　修　一　（かくた　しゅういち）

論　文

『経済学批判要綱』における資本制生産の総体把握の方法 …… 人32（4）49—78

笠　原　民　子　（かさはら　たみこ）
論　　文
日本企業における経営現地化の諸課題 …… 社48（2）65―83

笠　原　靖　子　（かさはら　やすこ）
論　　文
John Ford: *The Broken Heart* 再考 …… 人28（2）81―90

柏　尾　昌　哉　（かしお　まさや）
論　　文
日本におけるマーケティングの展開と挫折 …… 社25（1・2・3）1―11
日本の伝来的商店街の衰退と変質 …… 社26（3）15―28
特別号関連記事
20周年記念誌発刊を迎えて …… 社・人20（4）

梶　山　国　宏　（かじやま　くにひろ）
論　　文
不完全競争、産業内貿易および非線形費用関数
――貿易政策の一般均衡分析―― …… 社30（2）41―48
保護貿易の経済効果――フラム＝ヘルプマン・モデルによる分析――（共） …… 社34（4）43―51
2009年度　学生生活アンケートにおける阪南大学新入生の
心理的特徴について（共） …… 人46（1）1―13
研究ノート
The Present Situation and Problems of the Program to
Train Entrepreneurs; Mainly in the Hannan University, Kigyou-jyuku（共） …… 社41（1）17―24

片　山　陽　仁　（かたやま　はるひと）
論　　文
歩数からみたゴルフの動作特性――利き手と日常動作との関連より――（共） …… 人30（3）197―202

勝　木　宏　昭　（かつき　ひろあき）
論　　文
有田焼とナノテクノロジー …… 社45（3）99―104

加　藤　邦　興　（かとう　くにおき）
論　　文
グラスゴー大学工学講座　1840―1873 …… 社22（4）1―12

加　藤　正　治　（かとう　まさはる）
特別号関連記事
哀辞 …… 人47（2）1

加　藤　康　子　（かとう　やすこ）
特別号関連記事
国領苑子さんの業績と遺志 …… 人30（3）17―18

加　藤　義　忠　（かとう　よしただ）

論　　文

運送の生産的性格 …… 社27（1）1―15

書　　評

馬場雅昭著『日本中小小売業の構造変化』（同文舘，1993年 4 月刊）…… 社30（2）79―83

山本義徳著『マーケティングの基礎的諸問題』（同文舘，1991年12月刊）…… 社30（3）95―101

金　尾　敏　寛　（かなお　としひろ）

査読論文

長期的需要不足下における企業行動と日本の雇用問題 …… 社44（1）1―18

論　　文

Keynes, Kalecki and the Japanese Economy …… 社40（2）17―29

バブル崩壊後の日本の不況の分析と対策をめぐって …… 社41（2）41―56

An Analytical Framework of Japanese Corporate Finance
for the High Growth Period and the Bubble Period:
A Macro-and Micro Approach with Eichnerian-Kaleckian Modelling …… 社45（3）273―297

翻　　訳

戦後の日本（下）（クレイグ・フリードマン）…… 社42（1）55―71

戦後の日本（上）（クレイグ・フリードマン）…… 人42（1）71―81

金　戸　　武　（かねと　たけし）

論　　文

会計に対する株式会社の影響 …… 社15（4）41―51

19世紀中頃のイギリス鉄道会計に関する一考察 …… 社21（1）1―31

Forth and Clyde Navigationの財務と会計 …… 社26（1）27―41

明治初期官営鉄道における複会計制度 …… 社28（3）75―87

関西鉄道会社の財務と会計 …… 社30（4）125―138

尼崎紡績会社の財務と会計 …… 社33（4）69―78

シンガポールにおける日系企業の会計――TEC SINGAPORE社―― …… 社35（4）67―77

イギリスにおける日系企業の会計――Ricoh UK Products社―― …… 社37（4）67―76

オーストラリア羊毛業の会計
――Younghusband社とDennys, Lascelles社の経営分析―― …… 社43（2）83―93

研究ノート

19世紀末の資産評価概念 …… 13（3）69―84

神　尾　登喜子　（かみお　ときこ）

論　　文

石清水八幡宮と神仏分離――近代京都における風景の一断面―― …… 人38（2）1―18

上　岡　義　雄　（かみおか　よしお）

論　　文

科学技術に「未来アセスメント」を
――未来の人々に責任を負う社会に向けて―― …… 社45（3）91―98

川　口　清　史　（かわぐち　きよふみ）
論　　文
Reconstructing Communities through NPO Activities:
A New Welfare Policy in Japan ……・社35（2）43―49

川　島　哲　郎　（かわしま　てつろう）
論　　文
成熟経済下の地域政策 ……社18（3）65―80
特別号関連記事
創立25周年記念論文集発刊のことば ……社25（1・2・3）
創立25周年記念論文集発刊のことば ……人25（1・2・3）

川　島　利　雄　（かわしま　としお）
論　　文
食生活の変化と食肉の流通構造 ……・社19（3）1―18

川　端　庸　子　（かわばた　やすこ）
論　　文
小売業における国際知識移転プロセス ……社41（2）29―39
グローバル小売業におけるIT活用の現状と課題
――リテール・リンクとAgentricsを中心に―― ……社42（2）39―54
東南アジアにおけるグローバル・マーケティングの進展プロセス
――デンカ社の有機系素材事業と電子材料事業を事例として―― ……社44（2）85―101
A Comparative Study on Japanese Management and
Tradition Indian Principles（共） ……社45（3）247―257
研究ノート
日本の中小小売業における経営戦略 ……・社43（2）133―152

川　満　直　樹　（かわみつ　なおき）
論　　文
パキスタン財閥の形成と発展
――ガンダーラ財閥とアトラス財閥を中心として―― ……・社38（1）17―34

姜　　寛　保　（かん　ぐわんぼ）
研究ノート
国際観光統計統一化のための比較分析 ……社40（2）99―112

神　崎　道太郎　（かんざき　みちたろう）
論　　文
日本語教育における読解指導について
――初級から中級への移行期を中心として―― ……・人32（4）223―236

神　沢　正　典　（かんざわ　まさのり）
論　　文
中長期輸出金融の展開とアメリカ輸出入銀行 ……社20（3）1―16

中長期輸出金融の新展開――フォーフェイティングを中心に―― …… 社21（1）33―57
日米金融摩擦に関する一考察 …… 社21（4）17―32
資本財取引とトレード・ファイナンスの変貌（上） …… 社23（1）15―32
資本財取引とトレード・ファイナンスの変貌（下） …… 社23（2）1―15
国際金融とエクイタイゼーション
――「債務の株式化」が提起する問題の広がり―― …… 社23（3）21―45
「戦略援助」と「黒字還流」――日本の援助をめぐる諸問題―― …… 社25（1・2・3）13―34
累積債務問題の焦点――金融危機から生存の危機へ―― …… 社26（1）57―72
国際資本移動と国際金融市場（上） …… 社27（3）11―42
国際資本移動と国際金融市場（下） …… 社27（4）1―19
直接投資と発展途上国 …… 社29（2）33―53
アジアにおける円とドル …… 社30（2）1―15
インドネシア通貨危機の政治経済学 …… 社34（3）93―107
グローバル・ファイナンスと資本の構造的権力 …… 社35（2）161―172
国際機関と資本移動自由化（上） …… 社35（4）1―14
特別号関連記事
天井一夫教授退任記念号の発刊によせて …… 社37（4）3

〔キ〕

岸　本　　實　（きしもと　みのる）

特別号関連記事
大越さんとわたし …… 人17（2・3）iii―v

喜　多　克　己　（きた　かつみ）

論　　文
アメリカ農業労働者の現状とデータ問題 …… 社20（2）1―15

喜　多　隆　子　（きた　たかこ）　（和田隆子に掲載）

北　畠　利　信　（きたばたけ　としのぶ）

調 査 報 告
『祖堂集』連詞鳥瞰 …… 人32（3）59―71

来　村　多加史　（きたむら　たかし）

研究ノート
開運松原六社参りの役割と展開 …… 人47（2）135―143

木　下　　滋　（きのした　しげる）

論　　文
1970年代以降大阪市域の産業構造の変化 …… 社20（4）15―33
フィラデルフィアの産業構造と都市構造 …… 社26（1）1―25
対米進出日本自動車工場の一事例 …… 社28（2）195―203
都市間競争の論理 …… 社32（1）1―16

調 査 報 告

大阪市企業調査の報告 …… 社22（3）81―93

翻　　訳

大阪の東京問題（リチャード・C・ヒル，クニコ・フジタ）…… 社30（2）65―77

プロダクト・サイクルと国際分業――アメリカ合衆国と日本の対比――
（リチャード・C・ヒル，クニコ・フジタ）…… 人30（4）45―54

特別号関連記事

弔辞 …… 人30（3）25

有尾善繁教授退任記念号の発刊によせて …… 人32（4）3

植村幸生教授退任記念号の発刊によせて …… 社33（3）3

木　原　正　雄　（きはら　まさお）

論　　文

わが国の原子力政策の特徴 …… 社19（3）69―77

特別号関連記事

堂面秋芳教授　哀辞 …… 社19（2）

梅森正行教授　哀辞 …… 社19（3）

金　　昌　植　（きむ　ちゃんしっく）

論　　文

観光地開発に於ける観光宿泊産業の発展方向に関する研究
――韓国済州島を中心に―― …… 人28（3）5―28

木　本　忠　昭　（きもと　ただあき）

論　　文

Die Technologie von Karl Karmarsch …… 社22（4）13―27

吉　良　　実　（きら　みのる）

論　　文

実質所得者課税の原則（1） …… 9（6）1―46

実質所得者課税の原則（2） …… 10（1）31―60

実質所得者課税の原則（3） …… 10（3）1―40

税法学の方法論序説 …… 11（2）63―132

実質把握課税主義（上） …… 社16（2）1―23

実質把握課税主義（下） …… 社17（1）1―16

租税平等の原則――利子所得課税に関連して―― …… 社18（1）15―32

課税要件事実の認定 …… 社20（2）73―85

実額課税と推計課税上の問題 …… 社20（4）35―47

実質課税主義について …… 社24（1）45―58

消費税と租税平等の原則 …… 社25（1・2・3）107―119

租税法における債権・債務の評価 …… 社27（3）1―9

消費税の転嫁と消費者保護 …… 社28（2）151―161

企業利益と課税所得との関係 …… 社28（3）63―73

税法上の研究開発費 …… 社28（4）51―59

判例研究
所得の帰属者の判定と法人格否認の法理 …… 9（3）1―14
比率法に基づく推計課税 …… 社22（1）53―62
研究ノート
租税法律主義と租税平等主義の相互関係 …… 1　62―77
特別号関連記事
布井孝良教授退任記念号によせて …… 社15（4）
川島哲郎前学長退任記念号の発刊によせて …… 社30（1）

〔ク〕

熊　谷　圭　知　（くまがい　けいち）
論　　文
タイム・パルス・イ・カム
――パプアニューギニア，ミアンミン族における西欧世界との接触と社会変容―― … 人23（4）1―20
祖先の失った富――パプアニューギニア，ミアンミン族の神話と
戦争・移動をめぐる一考察―― …… 人25（1・2・3）145―164

熊　野　實　夫　（くまの　じつお）
論　　文
公益事業規制とその基準
――行政におけるデュ・プロセス・オブ・ロウを求めて―― …… 社19（1）1―15
会社更生手続の法制および実務の企業財務論・会計理論的考察 …… 社20（1）1―16
財政公開の基礎 …… 社21（1）59―72
自治体のガヴァナンスと会計制度 …… 社33（4）33―44

鞍　岡　和　人　（くらおか　かずひと）
論　　文
現代フランス語における助動詞の統語構造：
変形生成文法理論によるアプローチ
――基底部における Aux（助動詞句）導出方法を中心に―― …… 人16（3・4）37―53

栗　原　　弘　（くりはら　ひろむ）
論　　文
藤原冬嗣家族について …… 人27（4）9―30

栗　原　　優　（くりはら　まさる）
論　　文
Blocking Mechanisms in Passive Voice（1） …… 人27（2）47―67
政府債務の長期的効果に関する理論的考察 …… 社27（3）43―58
Blocking Mechanisms in Passive Voice（2） …… 人27（3）47―66

黒　滝　正　昭　（くろたき　まさあき）
論　　文
Hilferding: 1921年――通貨・財政政策と「社会化」―― …… 社18（4）1―16

鍬 田 邦 夫 （くわた くにお）
資 料
'80年代の金融構造の動向について
——実物生産経済と金融構造の関連性の視点から—— …… 社29（3）127—137

〔ケ〕

稽 海 荣 （けい かいえい）
論 文
中日美传统文化的价值系统之比较 …… 人32（2）37—43
“有点儿”与形容词——兼与“一点儿”比较—— …… 人32（4）217—221

〔コ〕

胡 金 定 （こ きんてい）
論 文
郁達夫の小説 …… 人29（2）1—8
郁達夫詩試論 …… 人29（4）21—29
“比”構文における“更”と“还” …… 人33（4）55—61
郁達夫の日記研究（一） …… 人34（2）37—42
郁達夫の日記研究 …… 人34（4）119—125

顧 順 蓮 （こ じゅんれん）
論 文
表示动作主体的「に」在汉语中的对应 …… 人34（4）127—133

呉 震 （ご しん）
論 文
耿天臺論 …… 人30（2）9—39

小 磯 かをる （こいそ かをる）
論 文
COMPARISON of the ART cultures of Japan and U. S. A. …… 人28（2）67—80
調査報告
A Research on Reading and Hearing Skills …… 人29（4）43—49

高 烈 夫 （こう れつお）
論 文
外国語教育の中の「比較研究」 …… 人29（1）37—48
日本語の「連体修飾語」について——日本語と中国語・英語などの比較研究—— …… 人31（4）25—34
動態動詞「了」について——中国語と日本語・英語の比較研究—— …… 人32（2）21—30
日本語の「語順」について——日本語と中国語・英語の比較研究—— …… 人33（3）33—42
日本語の「連用修飾語」について
——日本語と中国語・英語などの比較研究—— …… 人34（3）121—132
日本語の「句読法」について——日本語と中国語・英語の比較研究—— …… 人36（2）15—29

GOH Kim Chuan （ゴウ　キム　チェン）

論　　文

Lake Water Management: A Comparative Study of the Biwa and Kasumigaura Lakes in Japan with Laguna de Bay in the Philippines and its Implications on other Lakes in Southeast Asia …… 社35（4）79—94

神　田　敏　英 （こうだ　としひで）

書　　評

価値形態論の論理
——尼寺義弘著『ヘーゲル推理論とマルクス価値形態論』の検討—— …… 人28（2）129—137

河　野　勝　彦 （こうの　かつひこ）

論　　文

安楽死と自殺 …… 人32（4）39—47

国　領　苑　子 （こくりょう　そのこ）

論　　文

Un essai d'analyse sur Michel Butor（1）
——A propos de *6810000 litres d'eau par seconde*—— …… 人15（3・4）1—12
現代音楽論 …… 人17（2・3）1—11
現代美術論 …… 人18（2）9—19
クロード・シモンの『盲いたるオリオン』をめぐって …… 人19（3）1—13
ナタリー・サロートの『見知らぬ男の肖像』をめぐって …… 人20（2）1—13
ロブ＝グリエの『嫉妬』をめぐって …… 人22（4）15—22
ロラン・バルトの軌跡 …… 人23（3）19—28
フーコーの思想と「わたしたち」…… 人25（1・2・3）69—77
井上ひさしとヌーヴォ・ロマン
——『吉里吉里人』をめぐって—— …… 人26（1）1—20
フランス語で書くアルジェリアの作家
——ラシッド・ブージェドラ—— …… 人27（1）67—75
デリダの文学言語観 …… 人28（4）41—47

資　　料

現代学生の読書——『新潮文庫の100冊』への反応をめぐって——（共）…… 人16（1）63—75
フランスにおける女性学の発達と女性資料センターの設立状況をめぐって …… 人21（3）65—75

特別号関連記事

津島陽子先生を偲んで …… 社18（4）8

児　島　俊　弘 （こじま　としひろ）

論　　文

統計利用と情報表現の問題
——農業統計調査が当面している調査方法上の困難について—— …… 社20（2）17—29

小　寺　正　洋 （こでら　まさひろ）

論　　文

A Preliminary Study on Count-to-Mass Shift of English Nouns and Bounding …… 社45（2）43—54

A Cross-linguistic Study of Mass-Count Distinctions …… 人46（2）43―52
Teaching Connected Speech and High School English Education in Japan …… 人47（2）173―192
What Causes Difficulties in Listening Comprehension
for Japanese Learners of English …… 人48（2）51―69
英語学習辞典における名詞の語義と可算・不可算表記の関係について …… 人49（2）45―64
Specific Indefinite Noun Phrases and Objective Reality:
‘Noise’ in Physical, Type and Temporal Spaces …… 人50（2）39―63

後　藤　　洋　（ごとう　ひろし）

論　　文

1860年代初期のドイツ労働運動と協同組合の思想 …… 社18（4）17―36

小　間　富　蔵　（こま　とみぞう）

論　　文

公企業（国家資本）における生産過程と流通過程（一）
――寺尾晃洋教授の所説の検討を中心にして―― …… 3（1・2）117―147
国家的規制と国家独占資本主義
――本源的蓄積期における財政投融資との関連で―― …… 4（1・2）121―146
公企業の「現代的」研究方法とその理論について …… 6　1―21
国家資本に関する若干の問題――その資本概念を中心にして―― …… 10（2）1―44
国家資本の資本的性格について …… 10（3）1―20
国家資本の理論と国家的所有（上） …… 10（6）1―25
国家資本の理論と国家的所有（下） …… 11（3）69―87

研究ノート

国家独占資本主義と国家独占（国家資本）にかんする一考察（1） …… 12（6）85―112
国家独占資本主義と国家独占（国家資本）にかんする一考察（2） …… 13（6）97―116

小　松　弘　明　（こまつ　ひろあき）

論　　文

埋没費用と参入障壁 …… 社28（2）85―99
自由参入の再考 …… 社28（4）199―210
マルクスの基本定理――体制を超えた搾取―― …… 社34（3）35―48

小　松　善　雄　（こまつ　よしお）

書　　評

G. W. F. ヘーゲル，尼寺義弘訳『自然法および国家学に関する講義
――1817/18　冬学期講義，ハイデルベルク
1818/19　冬学期序説（付録），ベルリン――』 …… 社38（2）37―47

米　浪　信　男　（こめなみ　のぶお）

論　　文

イベントと地域経済の活性化 …… 社30（1）61―79

小森田　精　子　（こもりた　せいこ）
論　　文
理系学生のための一般教育――その実践報告―― …… 社33（3）49―60

小　山　　薫　（こやま　かおる）
論　　文
Miltonと古典神話――没入から覚醒へ―― …… 人21（1）29―41

小　山　大　介　（こやま　だいすけ）
論　　文
日本企業の海外進出と撤退についての一考察 …… 社39（1）29―44

〔サ〕

蔡　　明　哲　（さい　めいてつ）
論　　文
地域の科学技術振興における公設試験研究機関の役割 …… 社32（1）57―68
中国における技術導入と産業技術の進歩 …… 社34（1）185―196
中国における技術導入に関する研究について …… 社34（3）129―137
中国における再生可能エネルギー事情と課題（共） …… 社50（1）1―15

齊　藤　　正　（さいとう　ただし）
論　　文
日本版ビッグバン構想と中小企業金融の将来 …… 社34（1）11―24

斎　藤　徳　男　（さいとう　のりお）
特別号関連記事
原先生の停年に想う …… 人16（3・4）iii―xi

斉　藤　　豊　（さいとう　ゆたか）
論　　文
インドのソフトウェア産業における人事戦略と国際的頭脳循環（共） …… 社49（1）23―35

酒　井　明　子　（さかい　あきこ）
論　　文
NGOによる途上国の人づくり支援について
――（財）太平洋人材交流センター（PREX）の取組み―― …… 社45（3）133―145

坂　梨　正　知　（さかなし　まさとも）
論　　文
メツラー算式に関する考察 …… 3（1・2）235―261
貨幣の仮定と平価切下げの有効性――小宮モデルに沿って―― …… 9（5）13―54
マッハルプ「外国為替理論」の研究（Ⅰ）――図表による分析―― …… 10（4）1―31
「ポリシー・ミックス」について …… 10（5）1―31
マッハルプ「外国為替理論」の研究（Ⅱ）――図表による分析―― …… 11（1）1―19

マッハルプ「外国為替理論」の研究（Ⅲ）――図表による分析―― …… 11（1）21―34
マッハルプ「外国為替理論」の研究（Ⅳ）――図表による分析―― …… 11（2）327―349
マッハルプ「外国為替理論」の研究（Ⅴ）――図表による分析―― …… 11（3）55―68
マクロモデルにおける経済成長と総合収支
――小宮（1969）モデルのAppendixを中心に―― …… 11（6）1―53
「アブソープション・アプローチ」再考（Ⅰ）
――マッハルプのアレグザンダー批判に沿って―― …… 12（1）1―15
研究ノート
購買力平価と交易条件
――「マッハルプ『外国為替理論』の研究」の補論として―― …… 11（2）351―360
貿易差額弾力性に関するノート
――「アブソープション・アプローチ」再考への数学的補足―― …… 12（2）39―54
資　料
国際的受払の特殊性（シュナイダー） …… 12（3）75―84
国際収支（シュナイダー） …… 12（4）31―45
国際収支と外国為替市場（シュナイダー） …… 12（4）47―61
国際収支調整過程（シュナイダー） …… 12（5）27―38
交替的な国際通貨制度（シュナイダー） …… 12（5）39―60
現代の国際通貨制度（シュナイダー） …… 12（6）71―83
合衆国の国際収支問題（シュナイダー） …… 13（1）105―117
現行制度の欠陥とその改革案（シュナイダー） …… 13（2）57―77

坂　寄　俊　雄　（さかより　としお）

論　文
高齢化と婦人 …… 社19（4）13―28

﨑　濱　秀　行　（さきはま　ひでゆき）

論　文
2009年度　学生生活アンケートにおける阪南大学新入生の
心理的特徴について（共） …… 人46（1）1―13
文章産出スキルの違いが字数制限文を繰り返し書くことによる
効果に及ぼす影響 …… 人47（2）165―172
論作文産出におけるメタ認知的知識の側面に関する検討 …… 人48（2）83―91
中学生は，日本人教師による英語科ティームティーチングをどう捉えているか？ …… 人49（1）19―23
大学生の就職活動における自己PR文産出に必要な事項に関する検討 …… 人50（2）81―88
研究ノート
教職課程履修学生の児童観・生徒観に関する検討
――教員養成を主たる目的としない大学の場合―― …… 人46（1）15―21
資　料
教育実習事前指導における課題の探索的検討 …… 人46（2）53―58

櫻　井　公　人　（さくらい　きみひと）

論　文
I. ウォラスティンの世界システム論視角
――社会科学の方法としての検討―― …… 社25（1・2・3）91―106

世界経済の構造変化と日本型資本主義 …… 社28（3）153―161
競争力政策からクリントノミクスへ
――日米関係へのインプリケーション―― …… 社28（4）185―197
日本型資本主義の反省――世界経済の構造変化との関連で―― …… 社29（1）109―122
現代アメリカの貿易政策――冷戦後における日米関係と国際政治経済学―― …… 社29（2）93―107
NAFTA以前とNAFTA以後――アメリカ貿易政策転換への一考察―― …… 社29（3）53―67
クリントン政権下の経済外交――経済安全保障と1/3国際主義の論理―― …… 社30（1）225―237
P. クルグマンの戦略的貿易政策批判 …… 社30（3）27―42
地域経済統合と冷戦後の世界経済 …… 社31（4）113―121
研究ノート
日米経済の構図――佐藤定幸編『日米経済摩擦の構図』の検討を中心に―― …… 社23（4）53―60
世界経済の新しい分極化について――東西欧州関係の新展開を中心に―― …… 社24（2）55―62
BIS規制の国際政治経済学
――澤邊紀生著『国際金融規制と会計制度』の検討を中心に―― …… 社35（2）223―231
書　評
松村文武著『債務国アメリカの構造』 …… 社24（3）55―59
向壽一著『国家破産――累積債務とマネー循環』を読む
（講談社現代新書，234ページ，1990年7月刊） …… 社27（2）97―103

櫻　井　智　美　（さくらい　さとみ）
論　文
儒学提挙司の起源と変遷――兼論宋金の学校管理―― …… 人37（4）41―52

櫻　井　哲　男　（さくらい　てつお）
研究ノート
西洋人が聞いた日本の音――音楽における異文化理解の視点から―― …… 人35（4）187―198
儀礼の音 …… 人47（2）145―150

桜　田　照　雄　（さくらだ　てるお）
論　文
リスク・マネジメントのディスクロージャー
――シティコープ1992年版アニュアル・レポートにみるその実例―― …… 社30（3）71―86
アメリカ銀行会計における償却・引当理論――日米比較の見地から―― …… 社45（3）331―345
スキー場経営の新たなトレンドにそなえて …… 社50（2）101―121

笹　川　儀三郎　（ささかわ　ぎさぶろう）
書　評
現代大工業と管理問題
――安井恒則著『現代大工業の労働と管理』を読んで―― …… 社22（3）95―115

佐　竹　隆　幸　（さたけ　たかゆき）
論　文
イノベーションと中小企業の存立――基盤強化に向けた信用力創造―― …… 社45（3）61―76

佐　藤　秀　樹　（さとう　ひでき）

論　　文

初期Hemingwayとイマジズム …… 人15（2）55―68

佐　藤　康　彦　（さとう　やすひこ）

論　　文

シオニズムの二つの小説――「ダニエル・デロンダ」と「古く新しい国」―― …… 社29（4）49―62

真　田　桂　子　（さなだ　けいこ）

論　　文

ロワにおける異邦人のフィギュール …… 人32（4）205―215

À travers des nuits dépaysées:

De quoi t'ennuies-tu, Éveline? et *Ely! Ely! Ely!* de Gabrielle Roy …… 人36（3）75―86

モントリオールのユダヤ系とケベッコワ

――歴史的経緯と仏語表現ユダヤ系作家N. カタンらの作品にそいながら―― …… 人41（1）19―30

ケベックにおける新世代文学とトランスミグランス

――「文化的寛容性」の議論と仏語憲章施行30年後の状況を背景に―― …… 人44（2）61―71

フランスのアラブ系二世文学に見るアイデンティティの「隔たり」と克服

――アズズ・ベガッグの自伝的小説にそいながら―― …… 人47（2）17―25

ケベックの「移動文学」の浸透と波及

――『フランス移動文学作家事典1981―2011』の刊行をめぐって―― …… 人49（2）81―93

研究ノート

記憶がひらく回路――エミール・オリヴィエとハイチ―― …… 人37（4）83―87

多元社会ケベックと国民文学論の陥穽――ラリュ論争から見えてくるもの―― …… 人38（2）33―39

ナンシー・ヒューストンの『草原讃歌』

――自動翻訳文学の波紋と母語神話の崩壊―― …… 人39（1）11―17

二つの「幸福」なる文学にみる多元社会ケベックの変貌

――「二つの孤独」からトランスミグランスへ―― …… 人43（2）33―42

翻　　訳

ケベック詩　抄訳ジャック・ブロー『はかない瞬間』 …… 人42（2）49―60

佐　野　博　美　（さの　ひろみ）

論　　文

『荒地』と教会 …… 12（4）1―16

沢　田　進　一　（さわだ　しんいち）

論　　文

青果物卸売市場における野菜集荷の動向と地域・地場流通の課題 …… 社19（3）19―35

沢　田　允　夫　（さわだ　のぶお）

論　　文

物理学と実体概念 …… 3（1・2）179―205

感性的世界、物理学の世界と実在の世界の相互関係（一） …… 7　1―17

感性的世界、物理学の世界と実在の世界の相互関係（二） …… 8　33―49

物理学と実在（一） …… 9（6）47―67

包括的人間学・序説 …… 人20（4）1―14
資　料
イデオロギーと科学的知識（ジュリアン・S. ハックスリー） …… 11（5）1―47

〔シ〕

Sherrill Grace （シェリル　グレース）

論　文
Incorporating ‘Butterfly’ in Plays by David Henry Hwang and Robert Lepage …… 人36（3）11―25

塩　路　有　子 （しおじ　ゆうこ）

論　文
コミュニティと観光
――英国カントリーサイドにおける観光案内所をめぐる動き―― …… 人47（2）55―68

地　代　憲　弘 （じだい　のりひろ）

論　文
組織測定指標と組織類型の基礎的研究
――組織革新診断システムの研究開発―― …… 社30（4）33―42

島　　浩　二 （しま　こうじ）

論　文
十九世紀末イギリスにおける住宅政策の展開
――「土地問題」とのかかわりにおいて―― …… 社16（2）25―38
十九世紀後半イギリス都市におけるリースホウルド制について
――1889年委員会報告の検討を中心として―― …… 社16（3・4）49―64
住宅問題と鉄道
――ヴィクトリア期ロンドンの「郊外鉄道」に関する一試論―― …… 社18（4）53―63
The English Landed Aristocracy in the Late 19th Century …… 社19（3）79―85
19世紀末イギリスにおける大土地所有制と所領経営の特徴 …… 社23（4）31―52
十九世紀イギリスにおける住宅組合の発展
――スター＝バウケット型住宅組合に焦点をあてて―― …… 社25（1・2・3）195―208
イギリス住宅組合運動における対立の諸相
――19世紀後半における『住宅組合・土地会社雑誌』の論調の分析を
中心として―― …… 人28（3）29―39
住宅組合と所得税――いわゆる「1895年協定」の評価のための一試論―― …… 社33（3）113―124
戦間期イギリスにおける住宅組合と「建築業者預託金制度」 …… 社34（1）161―174
「割増融資」に対する保証政策の展開
――戦間期イギリス住宅政策への一視角―― …… 社35（2）189―204
研究ノート
両大戦間期イギリスの持家居住と公営住宅 …… 社21（4）89―99
イギリス住宅組合の歴史構造
――1895年版『住宅組合に関する統計』の分析を中心として―― …… 社29（3）87―100
資　料
1939年住宅組合法 …… 社34（3）151―160

書　　評

村岡健次著『ヴィクトリア時代の政治と社会』……社18（1）99―102

島　津　展　子　（しまず　のぶこ）

論　　文

Stratification and Convergence of Meaning in T. S. Eliot's *The Family Reunion* …… 人16（1）21―35
Romantic Irony in T. S. Eliot's *Murder in the Cathedral* ……人18（3）15―24

島　田　三　郎　（しまだ　さぶろう）

論　　文

「打つ」動作に関する基礎的研究
――バレーボールにおけるフローターサーブの
キネシオロージ的研究――（共）……人20（4）15―20
青木功プロのゴルフスイングの筋電図からみた動作特徴
――いわゆる「ベタ足打法」について（その1）――（共）……人20（4）21―26

清　水　苗穂子　（しみず　なほこ）

論　　文

貧困と観光
――国連機関のアプローチとプロプアーツーリズムに関する考察――……人47（2）69―78

下　地　真　樹　（しもじ　まさき）

研究ノート

正義論のための世界モデル：試論……人42（1）35―45

Jan D. Metheny　（ジャン　D　メッセーニ）

論　　文

Common Barriers to Speeking English Effectively ……人32（2）11―20
Consciousness-Raising Activities: "For and Since" and "Too and Either" ……人32（4）237―247
Intonation and Reductions in English: Why Learners Have Difficulty
with Spoken English ……人33（2）43―57

Joe Jacobs　（ジョウ　ヤコブ）

研究ノート

Classroom Personality ……人33（3）59―62

新　熊　邦　男　（しんくま　くにお）

論　　文

日本造船業の発達と問題――第二次世界大戦まで――……社15（4）91―104
消費者物価指数の一考察……社20（3）17―27
わが国の現在の失業者の計測についての一考察……社21（3）197―210
人口，労働，産業による東京都と大阪府及び特別区部と大阪市の比較分析……社28（2）101―118
大阪市と東京特別区部の比較分析
――主として1985年～2005年の人口，就業者，従業者にもとづいて――……社46（2）89―112

新　宅　　彰（しんたく　あきら）

論　　文

アメリカ大恐慌とその教訓――日本経済の現状再点検―― …… 社34（4）13―25
調整インフレ論・量的緩和論とその問題点
――クルーグマン提案と金融政策運営―― …… 社35（3）11―24
インターネット・バンキングと資金決済
――電子マネーの将来像と問題点―― …… 社37（2）1―17

新　谷　　勝（しんたに　まさる）

論　　文

株式会社法と民法四三条（一） …… 4（1・2）67―98

神　野　　尚（じんの　ひさし）

論　　文

エリスンとコスモスの思想――“*Invisible Ma*n”をめぐって―― …… 13（5）11―36
エリスンと創造的否定（1）
――“*Invisible Man*”に於ける主人公「僕」の生き方をめぐって―― …… 14（4）39―144
エリスンと創造的否定（2）
――“*Invisible Man*”に於ける主人公「僕」の生き方をめぐって―― …… 14（5）165―205
King Lear に於けるHumourについて――その喜劇的要素―― …… 人20（3）15―20
人間の真の生き方とは？――モラリスト：クルーソーの体験から―― …… 人20（4）27―32
Essays of Elia と *Last Essays of Elia* に於けるHumourについて …… 人21（3）39―49
Beauty and Truth――Based on *A Streetcar Named Desire*―― …… 人22（2）75―78
『ルーツ』の風景――第2部―― …… 人34（4）23―33

研究ノート

Ralph Ellison: *Invisible Man* ‘A Study on the Hero’s Way’ of Life …… 人19（2）93―94

〔ス〕

水　津　雄　三（すいつ　ゆうぞう）

論　　文

「新しい産業」の発展と独占資本の動向――ベンチャー・ビジネス論批判―― …… 社19（4）29―65
中小企業問題の新局面と労働組合運動をめぐる諸問題
――中小企業労働組合運動の発展方向の研究―― …… 社22（1）1―19
ベンチャービジネス・ブームの実体
――花形ベンチャー企業倒産ブームの原因をさぐる―― …… 社22（4）153―166
商店街の分断と競争にかんする試論 …… 社26（3）29―44
転機に立つ乱開発型「地域活性化」政策――リゾート開発を例として―― …… 社28（4）81―95
転機に立つ乱開発型「地域活性化」政策（2）
――「町（街）づくりビジネス」と大型複合ショッピングセンター―― …… 社29（1）1―23
産業空洞化とアメリカ経済の変貌 …… 社30（4）83―100
アメリカンドリームの変遷――ホワイトカラーの没落と中小企業―― …… 人32（4）127―138
急増する女性事業家とその概要 …… 社33（3）125―140
女性事業家の役割と政策 …… 社33（4）175―190
女性事業家問題をめぐる特質と背景 …… 社34（1）143―160

21世紀の先進国経済と中小零細企業
——ILOの中小零細企業促進に関する諸決議と特徴—— ……・社35（1）67—79
研究ノート
サービス産業と小零細自営業 ……社20（1）77—112
中小零細企業の企業経営をめぐる新しい問題（上）
——「営業費」問題の発生について—— ……社20（2）123—148
中小零細企業の企業経営をめぐる新しい問題（下）
——営業費問題と収益性の新動向—— ……・社20（3）61—79
「ベンチャービジネス」と地域経済
——地方自治体のベンチャービジネス育成策と
「テクノポリス」計画批判—— ……‥社20（4）121—143
ベトナムにおけるドイモイ政策とオープンドア政策 ……‥社31（2）37—48
資　料
市町村レベルでみた伝統産業・地場産業 ……社26（4）69—107

末　政　芳　信　（すえまさ　よしのぶ）
論　文
ソニーの連結財務諸表の作成・開示における40年間の概要と特徴について ……‥社37（4）9—32

杉　尾　敏　明　（すぎお　としあき）
論　文
同和教育論の今日的争点——東上・西両氏の所論批判—— ……・14（4）1—38
児童文学「ピノキオ」と障害者差別（共）……・人16（2）13—63
部落問題の現状と展望——統合施策の基本視点—— ……人18（4）1—51
教育改革の基本視点——現代公教育の課題と展望—— ……‥人20（2）15—51
“BURAKU” Discrimination in JAPAN
——Present Conditions and Outlook——（Part Ⅰ）……‥人22（1）9—35
“BURAKU” Discrimination in JAPAN
——Present Conditions and Outlook——（Part Ⅱ）……人22（2）39—74
「ちびくろサンボ」問題と人種差別——作品評価とかかわって——（共）……人25（4）31—47
「ちびくろサンボ」問題と人種差別
——教育・表現の自由とかかわって——（共）……人26（1）17—29
「表現の自由」論考——「ちびくろサンボ」論を中心に—— ……‥社28（1）53—65
小錦問題・ロス暴動と人種差別撤廃 ……・人28（2）13—32
The Eradication of Racial Discrimination and Freedom of Expression & Education:
A Criticism of “Goodbye Sombo” ……・人32（1）1—32
The Discrimination and Freedom of Education:
Concerning with “Little Black Sambo” Problem ……‥人32（4）113—125
「同和啓発」批判——人権啓発再構築の前提—— ……‥人33（1）7—17
研究ノート
人権差別撤廃と表現・教育の自由——『さよならサンボ』批判—— ……‥社29（1）129—149
子どもの生活と教育——親と子の願い・要求—— ……‥人29（1）87—100
高齢化社会と老人性痴呆症防止問題——ボケないで健やかに生きる—— ……‥人31（3）87—97

資　　料

アメリカにおける世界平和・核兵器廃絶への祈念と行進
——日本山妙法寺木津博充師からの聞き書きを中心に（その 1）—— …… 社 22（1）63—90
日本における世界平和・核兵器廃絶への祈念と行進
——日本山妙法寺木津博充師からの聞き書きを中心に（その 2）—— …… 社 22（2）51—71
世界平和・核兵器廃絶への祈念と行進
——日本山妙法寺木津博充師からの聞き書きを中心に（その 3）—— …… 社 23（4）87—103
世界平和・核兵器廃絶への祈念と行進
——日本山妙法寺木津博充師からの聞き書きを中心に（その 4）—— …… 社 24（1）71—89

杉　野　ゆ　り　（すぎの　ゆり）

論　　文

プーシキン『モーツァルトとサリエーリ』
——「毒」の入った「贈り物」について—— …… 人 31（3）61—68
К вопросу о среде и воспитании героинь
в произведениях Пушкина …… 人 34（2）51—70

杉　村　和　子　（すぎむら　かずこ）

特別号関連記事

国領苑子さん、本当に残念です …… 人 30（3）19—20

杉　本　昭　七　（すぎもと　しょうしち）

論　　文

資本主義の発展段階と「統合資本主義」…… 社 34（1）89—94
現代資本主義分析における統合資本主義視角と帝国主義論的視角
——渡辺治教授の拙論への批判に対して—— …… 社 34（2）55—59
国際貿易理論の歴史的規定性について …… 社 37（4）93—103

須　崎　　実　（すざき　みのる）

論　　文

我が国に於ける統治行為論について …… 4（1・2）99—119
イギリス法に於ける Acts of State について（一）…… 7　19—37
最高裁判所の憲法裁判権について …… 9（3）1—10
統治行為論について …… 9（5）1—11
憲法解釈の方法について …… 10（3）41—51
基本的人権の保障 …… 11（2）133—177
日本国憲法第九条と統治行為 …… 12（1）1—17
議院の議事手続と統治行為 …… 13（1）1—18
イギリスにおける法の支配と Acts of State …… 社 16（1）1—14
Acts of State と統治行為 …… 社 16（2）39—49
Acts of State の法的性質 …… 社 17（2）49—60
憲法の変遷 …… 社・人 17（4）103—112
財産権と生存権 …… 社 19（1）17—23
議院内閣制 …… 社 20（1）17—26
日本国憲法の定める財政作用について …… 社 20（4）93—102

地方自治について …… 社21（2）25―33
知る権利 …… 社22（1）43―51
憲法と国際法 …… 社23（1）45―53
基本的人権の国際法的保障 …… 社25（1・2・3）221―230
日本国憲法における元首について …… 社25（4）29―38
政治権力と市民社会 …… 社27（4）21―25
相対主義と民主主義 …… 人32（4）103―111
宗教の自由 …… 社33（4）229―234
人身の自由 …… 社34（3）49―56
所謂抽象的違憲審査権と民主主義 …… 人37（3）27―31

鈴　木　　稔　（すずき　みのる）

特別号関連記事

経済学部創設10年に当って …… 社・人17（4）Ⅰ
梅森教授の思い出 …… 社19（3）Ⅰ―Ⅳ

鈴　木　康　夫　（すずき　やすお）

論　　文

付加価値税と不完全競争下の市場均衡及び産業組織政策 …… 社26（2）13―20
積極的財政政策と財政赤字の蓄積 …… 社26（4）41―46
A Welfare-economic Characterization of the Golden Rule
with Heterogenous Consumers …… 社27（2）67―71

鈴　木　洋太郎　（すずき　ようたろう）

論　　文

日本電機産業のアジア立地についての一考察 …… 社32（4）45―55

鈴　木　良　美　（すずき　よしみ）

論　　文

A Streetcar Named Desire: Two Southern Belles, Blanche and Stella …… 人44（2）49―60

Steven Silsbee　（スティーブン　シルスビー）

論　　文

Design of the Vocabulary Element of an ESP Computer/Internet Class（共）…… 人38（2）19―31
The Maru/Batsu System: An Approach to Increasing Instances of
Verbal Language Output in Japanese University Language Classes（共）…… 人41（2）7―15

隅　田　悦　子　（すみだ　えつこ）

論　　文

阪南大学学習支援室の活動と今後の展望（共）…… 人49（1）65―71

角　谷　由美子　（すみたに　ゆみこ）

査読論文

The Contagious Disease: From *Jude the Obscure* to *Sons and Lovers* …… 人48（2）11―18

寿　山　泰　二　（すやま　やすじ）
論　　文
エンプロイアビリティ基礎養成プログラムの開発 …… 人46（2）13―27

駿　河　輝　和　（するが　てるかず）
査読論文
地域データによる晩婚化・少子化の分析（共） …… 社46（2）19―39

〔セ〕

関　　恒　義　（せき　つねよし）
論　　文
国際公共制と科学技術 …… 社33（3）25―37

関　　智　宏　（せき　ともひろ）
査読論文
住工混在問題と産業集積
――大都市自治体における先駆的取組の事例分析を中心に――（共） …… 社44（1）19―35
連携を通じた中小企業の自律化――アドック神戸10年間の歩みから―― …… 社44（2）25―43
地方自治体における産業振興施策の展開と企業の活性化
――尼崎市における総合計画と企業立地促進施策を中心に――（共） …… 社45（1）15―40
中小企業連携の成果と課題
――新連携支援施策にかんするアンケート調査を中心として―― …… 社45（1）41―68
論　　文
中小企業連携と母体組織
――アドック神戸と兵庫県中小企業家同友会を事例として―― …… 社43（1）1―19
中小企業の「自律化」のプロセス
――株式会社ツインテックのケース・スタディ―― …… 社45（3）259―271
産業集積における中小製造企業の存立と展望――大阪をケースとして―― …… 社46（2）139―153
研究ノート
What are the SME Policies and Measures in Japan?:
The Outline of SME Promotion Policies in Japan …… 社44（1）173―190
Technical Assistance in Japan: With a Focus on Concrete Case Examples …… 社44（1）191―205
中小製造業の新製品開発、人材育成、国際化
――株式会社ヤマシタワークス（尼崎）のケース・スタディ――（共） …… 社44（2）159―170
地域中小企業支援機関としての商工会，その現状と展望
――日高町商工会をケースとして――（共） …… 社45（1）131―145
新規事業創造による中小企業の発展
――株式会社大橋製作所のケース・スタディ―― …… 社45（2）107―118
Associations of Small Business Entrepreneurs as “Voluntary” Organizations
for SME Managers and Their Campaign
for the Documentation of Management Principles …… 社46（2）193―225
タイ進出日系中小企業の実態―現状・魅力・課題― …… 社47（2）143―153

調 査 報 告

事業承継とインターンシップ
——生活衛生関係営業事業者と養成施設修学生に対する
アンケート調査——……・社45（1）147—175

蘇州経済発展と中小企業
——蘇州における日系企業，ローカル企業，外資系企業の
インタビュー調査の記録——……社50（1）61—71

瀬戸崎　康　子　（せとざき　やすこ）

論　　文

Persuasion——Many Happily Fortuitous Circumstancesをめぐって——……人25（4）75—82
Macbeth——Macbeth's Evil and the Paradox of Fulfillmentについて——……人27（4）61—78

〔ソ〕

早　田　武四郎　（そうだ　たけしろう）

論　　文

大学英語教育における‘NHKラジオ英会話聴取プロジェクト’の試み……人30（3）255—261
大学英語教育におけるグループ・ワークの提案……人31（1）7—13
大学英語教育におけるリーディング・アラウド・プロジェクトの試み……人31（2）39—43
大学英語教育における英語散文暗唱の学力増進性に関する一考察……人32（1）59—65
教職科目「英語科教育法」講義活性化に向けた
学会探訪・運営参加プロジェクトの効果に関する一考察……人32（2）31—36
大学英語教育における‘NHKラジオ英会話’聴取課題の効果……人33（1）19—23
大学英語教育における英語のイメージを高めることによる学力増進法の研究……人34（1）41—51

翻　　訳

親近性の高い教材を使って動機づけする英語教授法
（バーニス・メルビン，デービッド・スタウト）……人30（2）47—58

〔タ〕

醍　醐　　聰　（だいご　さとし）

論　　文

日本の企業会計と確定決算原則……・社28（3）1—19

平　　實　（たいら　みのる）

特別号関連記事

不撓不屈の探究者・津島陽子さんを偲びて……社18（4）5—7

高　崎　京　子　（たかさき　きょうこ）

論　　文

ソフトテニスのバックハンドボレーにおける下肢筋群の筋電図的研究（共）……人31（4）1—12

高　田　正　淳　（たかだ　まさあつ）

論　　文

日本の監査制度の発展 …… 社 28（3）31―42

髙　橋　一　馬　（たかはし　かずま）

論　　文

手形の偽造について――手形偽造者の責任についての一考察―― …… 社 19（2）47―54

「国際為替手形および国際約束手形に関する条約草案」における保証人 …… 社 21（3）145―154

文字と数字とによる手形金額の重複記載について …… 社 24（3）11―18

取締役の監視義務 …… 社 33（4）235―242

特別号関連記事

故 松尾力雄教授追悼号の発行によせて …… 人 37（3）3

高　橋　　慧　（たかはし　さとし）

論　　文

リーダーシップに関する一考察――バーナード理論を中心として―― …… 3（1・2）67―84

人間関係論をめぐる一考察 …… 6　23―38

広告について――グーテンベルグ理論を中心として―― …… 9（5）55―73

経営経済学と国民経済学 …… 11（5）21―36

高　橋　美代子　（たかはし　みよこ）（棚橋美代子に掲載）

髙　橋　庸一郎　（たかはし　よういちろう）

論　　文

中国文献に見える麝香について――その香と薬の効用―― …… 人 23（3）1―16

睡虎地秦墓竹簡釈文註解（一） …… 人 23（4）1―14

中国古文献に見える沈香について――その香と薬効―― …… 人 24（1）27―38

（続）中国古文献に見える沈香について（上）――その木と名称―― …… 人 24（2）1―8

（続）中国古文献に見える沈香について（下）――その木と名称―― …… 人 24（3）1―18

睡虎地秦墓竹簡釈文註解（二） …… 人 24（4）1―12

『聖徳太子伝暦』説話の変遷 …… 人 25（1・2・3）15―29

睡虎地秦墓竹簡釈文註解（三） …… 人 25（4）1―15

『史記』と古代帝王 …… 人 26（1）21―31

夏后氏禹の系譜とその変遷 …… 人 26（2）1―13

「夏本紀」と九州（上） …… 人 26（3）1―13

「夏本紀」と九州（下） …… 人 26（4）9―26

「殷本紀」の特質 …… 人 27（1）1―16

睡虎地秦簡《語書》釈文注解（上） …… 人 27（2）1―7

古代日本の「匂い」 …… 人 27（3）15―24

睡虎地秦簡《語書》釈文注解（中） …… 人 27（4）1―7

睡虎地秦簡《語書》釈文注解（下Ⅰ） …… 人 28（1）21―28

睡虎地秦簡《語書》釈文注解（下Ⅱ） …… 人 28（2）1―7

豳文化の周への継承について …… 人 28（3）1―14

「秦本紀」文公以前について …… 人 28（4）9―16

睡虎地秦簡《語書》釈文注解（下Ⅲ） …… 人 29（1）1―7

睡虎地秦簡《語書》釈文注解（下Ⅳ）……人29（2）1―8
和漢文化に於ける静と動（一）……人29（3）1―7
睡虎地秦簡《語書》釈文注解（下Ⅴ）……人29（4）1―7
睡虎地秦簡《語書》釈文注解（下Ⅵ）……人30（1）1―7
睡虎地秦簡《語書》釈文注解（下Ⅶ）（完）……人30（2）1―7
『詩経』詩と邑・都・王……人30（3）21―28
新疆ウイグル自治区経済素描……社31（2）17―23
中国北方少数民族伝承文学概説（一）――ウイグル木卡姆（上）――……人32（3）15―21
ウイグル族古代史詩『烏古斯可汗伝説』について……人32（4）197―204
中国北方少数民族伝承文学概説（二）――ウイグル木卡姆（中）――……人33（1）1―6
中国北方少数民族伝承文学概説（三）――ウイグル木卡姆（下）――……人33（2）23―32
「族塩」について……人34（2）25―31
中国北方少数民族伝承文学概説（四）
――チベット族英雄叙事詩カサール王伝（一）――……人34（3）79―86
漢民族と神話……人34（4）81―88
中国北方少数民族伝承文学概説（五）
――チベット族英雄叙事詩カサール王伝（二）――……人35（1）31―37
漢民族と志怪……人35（2）1―8
神話整理の未完成によって生じる漢民族の価値観……人35（3）17―25
金文の銘文から「詩経」へ，縦横家の弁説から「楚辞」へ……人35（4）117―129
『楚辞』から「賦」へ（上）……人36（1）25―32
聖徳太子の所謂「未来記」について……人36（2）1―11
初期魯迅思想の拠って立つ所……人36（3）127―133
中国北方少数民族伝承文学概説（六）
――キルギス族英雄叙事詩「マナス」（上）――……人36（4）1―8
中国北方少数民族伝承文学概説（七）
――キルギス族英雄叙事詩「マナス」（下）――……人37（1・2）29―38
「賦」に内包されている衰退への要因……人37（3）33―42
孔子の思想について（上）……人37（4）11―17
『檀君神話』成立時期の周辺……人40（2）1―13
中国人一个人是条龙，三个人变成虫　日本人三个人变成龙，一个人是虫……人41（2）1―6
樂府詩の特徴と樂府の廃止……人42（1）17―33
漢賦の古代中国絵画との相互影響作用について……人42（2）1―23
漢賦の中国書法の発展に対する影響について……人43（1）1―19
漢賦と吟詠との相互発展関係について……人43（2）1―22
漢賦と漢字……人44（1）1―31
漢賦に記された物名と其の漢字及び字典……人44（2）1―17
「日本人論」と「中国人論」……社45（3）13―32
シルクロード学概論（Ⅰ）――草原の民の文化とシルクロード――……人47（1）1―8
シルクロード学概論（Ⅱ）……人48（2）39―49

研究ノート

聖徳太子信仰成立の歴史的基盤と環境……人45（1）1―13

資　　料

「三重貞亮著『舊事紀訓解』」に見える聖徳太子伝記……人43（1）21―59

翻　　訳

ウイグル族のトーテム――狼に対する崇拝（熱拉依・達吾提）……人31（1）27―34
周代の均斉思想と救済制度（上）（趙　世超）……人31（2）61―70
周代の均斉思想と救済制度（下）（趙　世超）……人31（3）99―107
孔子の「天命観」について（舒　大剛）……人31（4）55―62
考古学的資料からみた吐蕃と中央アジア及び西アジアとの古代の交通（上）
――あわせてチベット西部において仏教が吐蕃に伝来した過程での
地位を論ず――（霍　巍）……人32（1）97―103
考古学的資料からみた吐蕃と中央アジア及び西アジアとの古代の交通（下）
――あわせてチベット西部において仏教が吐蕃に伝来した過程での
地位を論ず――（霍　巍）……人32（2）45―56
ウイグル古典文学と東西文化の関係について
――ウイグル族古典文学簡史（上）――（买买提明・玉素甫）……人33（3）63―69
ウイグル古典文学と東西文化の関係について
――ウイグル族古典文学簡史（中）――（买买提明・玉素甫）……人33（4）63―68
ウイグル古典文学と東西文化の関係について
――ウイグル族古典文学簡史（下）――（买买提明・玉素甫）……人34（1）71―84

注　　釈

楊炯『王子安集原序』註釈……人30（4）1―8

そ　の　他

汉赋与汉字的产生……人44（2）93―95

高　林　則　明　（たかばやし　のりあき）

論　　文

ミゲル・アンヘル・アストゥリアスと『トウモロコシの人々』の
小説世界（Ⅰ）……人16（3・4）55―71
ミゲル・アンヘル・アストゥリアスと『トウモロコシの人々』の
小説世界（Ⅱ）……人17（1）15―50
ミゲル・アンヘル・アストゥリアスと『トウモロコシの人々』の
小説世界（Ⅲ）……人18（2）21―44

田　上　博　司　（たがみ　ひろし）

論　　文

双方向遠隔授業におけるポスター効果軽減の研究
――2チャンネル映像システムの遠隔授業への導入について――……人47（1）19―27

瀧　川　　禅　（たきがわ　ゆずる）

論　　文

Effect of Zero Anaphora in Intercultural Communication（共）……社37（3）33―44

田　口　幸　一　（たぐち　こういち）

論　　文

分割地所有と農業の資本主義化 …… 4（1・2）175―194
農民的分割地所有論における福冨説とその検討（上）
――「封建的土地所有の解体」過程から生ずる「農民的分割地所有範疇」に
焦点をおいて―― …… 9（1）1―21
農民的分割地所有論における福冨説とその検討（中）
――「封建的土地所有の解体」過程から生ずる「農民的分割地所有範疇」に
焦点をおいて―― …… 9（2）23―43
農民的分割地所有論における福冨説とその検討（下）
――「封建的土地所有の解体」過程から生ずる「農民的分割地所有範疇」に
焦点をおいて―― …… 9（5）33―56
いわゆる「個人的所有」について（Ⅰ） …… 10（3）21―43
いわゆる「個人的所有」について（Ⅱ） …… 10（6）27―52
個人的所有の諸問題 …… 11（6）55―72
個人的所有とエンゲルスの解釈について …… 社16（1）43―59
「食糧安全保障論」の一考察 …… 社18（1）1―13
「農業＝先進国型産業論」批判
――マルクス主義農業理論の内部批判と関連して――（共） …… 社18（3）81―103
社会主義と共同占有――「個人的所有の再建」論争によせて―― …… 社18（4）65―83
日本農業の再生とマルクス・エンゲルスの農民論
――マルクス主義農民論序説―― …… 社19（3）87―111
食糧問題と農業――農業貿易自由化批判―― …… 社24（2）39―53
コメ輸入の自由化問題について …… 社25（1・2・3）269―277
マルクスと未来社会 …… 社30（4）101―110
労働の解放と社会主義 …… 人32（4）139―149
人間と労働 …… 人37（3）43―53

田　口　信　夫　（たぐち　のぶお）

論　　文

貿易不均衡の原因をめぐる最近の論争によせて …… 社31（4）29―41

田　窪　直　規　（たくぼ　なおき）

論　　文

Conditions to Establish the Concept of Reference Service …… 人28（2）43―56

研究ノート

社会学の分類――トップダウン指向とボトムアップ指向―― …… 社29（3）101―126
学問（科学）分野の分類 …… 人29（1）101―120
博物学の分類 …… 人30（2）35―45

竹　内　啓　一　（たけうち　けいいち）

論　　文

イタリアにおける外国人労働者問題 …… 社30（1）1―13

武　知　京　三　（たけち　きょうぞう）

論　　文

都市交通史の研究――和歌山の市内電車について――……社16（3・4）29―42

武　中　照　夫　（たけなか　てるお）

論　　文

伝統的監査と分析的監査との交渉……社20（1）41―49

情報化時代における内部会計統制の再検討――経営者サイドから――……社24（4）57―64

独立監査人の責任と懐疑主義……社29（3）69―74

田　坂　敏　雄　（たさか　としお）

論　　文

チャクリー改革と内帑局……人35（4）67―88

橘　　博　（たちばな　ひろし）

論　　文

わが国の工業経営における研究開発の主要傾向とその特徴……社28（4）149―165

資　　料

現代の用水資源，水辺環境の諸問題（その1）……社25（4）69―82

シンポジウム

「研究・開発（R&D）の創造性にかかわる座談会」記録（上）（共）……社27（3）87―99

「研究・開発（R&D）の創造性にかかわる座談会」記録（下）（共）……社27（4）135―152

辰　巳　浅　嗣　（たつみ　あさつぐ）

論　　文

比較近代化論における官僚制研究の視角……9（5）75―107

ヨーロッパ統合過程におけるEDC構想挫折の意味（1）

――ECSCとの比較論的一考察――……11（2）257―302

ヨーロッパ統合過程におけるEDC構想挫折の意味（2・完）

――ECSCとの比較論的一考察――……13（1）13―56

「ヨーロッパ政治協力」（EPC）におけるEC委員会の役割と限界（1）……社20（4）49―63

「ヨーロッパ政治協力」（EPC）におけるEC委員会の役割と限界（2）……社21（2）35―56

「ヨーロッパ政治協力」（EPC）におけるEC委員会の役割と限界（3・完）……社21（3）155―166

単一欧州議定書と欧州政治協力……社24（1）21―44

アイルランドと単一欧州議定書……社25（1・2・3）161―175

研究ノート

ヨーロッパ統合過程におけるEDC構想挫折の意味

――超国家性の再検討による――……10（5）91―114

資　　料

「ヨーロッパ政治協力」（EPC）に関するEC委員会職員とのインタヴュー（資料）……社20（4）65―73

書　　評

デヴィッド・クーミーズ著　欧州共同体における政治と官僚制

――EEC委員会のポートレート――……7　75―89

特別号関連記事

山崎俊雄教授退任記念号によせて……社22（4）i―ii

大槻眞一学長退任記念号の刊行を祝して …… 社45（3）5
阪南論集創刊50巻記念論文集発刊に寄せて …… 社50（2）
阪南論集創刊50巻記念論文集発刊に寄せて …… 人50（2）

辰　本　頼　弘　（たつもと　よしひろ）
論　　文
ソフトテニスのバックハンドボレーにおける下肢筋群の筋電図的研究（共）…… 人31（4）1―12

立　見　淳　哉　（たてみ　じゅんや）
査読論文
住工混在問題と産業集積
――大都市自治体における先駆的取組の事例分析を中心に――（共）…… 社44（1）19―35

立　山　善　康　（たてやま　よしやす）
論　　文
ジョン・デューイにおける哲学観の再構築と，再構築としての哲学観 …… 人24（1）27―35

田　中　紀　子　（たなか　のりこ）
論　　文
悲劇の世を越えて
――『カスターブリッジの町長』におけるエリザベス・ジェーンの重要性―― …… 人24（4）31―45

棚　橋　美代子　（たなはし　みよこ）（高橋美代子）
論　　文
児童文学「ピノキオ」と障害者差別（共）…… 人16（2）13―63
「ちびくろサンボ」問題と人種差別
――作品評価とかかわって――（共）…… 人25（4）31―47
「ちびくろサンボ」問題と人種差別
――教育・表現の自由とかかわって――（共）…… 人26（1）17―29

田　邊　光　政　（たなべ　みつまさ）
論　　文
無能力者の裏書と手形の善意取得 …… 3（1・2）85―116
手形交付契約欠缺の抗弁に関する一考察 …… 4（1・2）29―65
統一手形法と英米手形法における善意保護 …… 5（1・2）1―20
ドイツにおける振替取引――現金を用いない合理的支払取引―― …… 11（2）15―61

谷　川　多佳子　（たにがわ　たかこ）
特別号関連記事
フェミニズム，マグレブ，チュニジア… ――国領さんを偲んで …… 人30（3）21―22

谷　口　廣　之　（たにぐち　ひろゆき）
論　　文
大師伝承の基層と構造――昔話・伝説・霊験―― …… 人23（3）17―27
説き話しの様式と構造――救済と証言―― …… 人24（1）11―25

補陀落渡海伝承の位相――海彼への憧憬―― …… 人25（1・2・3）1―14
面白の花の都や――観光文学論への視座 …… 人32（1）1―16
観光論――その行為と対象―― …… 人34（2）1―17
名所論――観光論の視座から―― …… 人34（3）1―15
軍記物語と史跡 …… 人35（2）1―14
青葉の笛――史跡と遺品―― …… 人35（4）13―25
天保山――都市景観と花見―― …… 人36（4）11―23
花見の都市――江戸・大坂の風土 …… 人38（1）13―30
研究ノート
日本語教育における文章指導について …… 人32（1）31―39
野崎参りの風景――近世大坂の近郊社寺参詣の一事例―― …… 人47（2）151―163

谷　田　庄　三　（たにだ　しょうぞう）
特別号関連記事
二塚正也教授退任記念号の発刊によせて …… 社29（4）
国領苑子教授追悼号の発刊によせて …… 人30（3）9
大橋岩雄教授退任記念号の発刊によせて …… 社30（4）1

田　端　信　広　（たばた　のぶひろ）
論　　文
ヘーゲルのイェーナ『論理学』（1804/05）における「無限性」概念 …… 人17（2・3）89―99

玉　田　晃　一　（たまだ　こういち）
論　　文
ミルトンの文学観再考 …… 人24（3）35―46

田　村　公　一　（たむら　こういち）
論　　文
ヨーロッパにおける流通寡占の形成とトレード・マーケティングの台頭 …… 社33（2）51―64
研究ノート
マーケティング・コミュニケーションと店舗差別化
――流通企業のコミュニケーション戦略―― …… 社31（2）49―60
ロジスティクス・システムと供給連鎖（Supply Chain）概念
――流通企業のロジスティクス戦略―― …… 社31（3）119―131
マーチャンダイジングとロジスティクス
――QR，ECR，カテゴリー・マネジメントの台頭―― …… 社33（1）67―78

田　谷　博　吉　（たや　ひろきち）
論　　文
日本幣制の近代化過程 …… 社15（4）53―61
藩札――江戸時代の紙幣―― …… 社・人17（4）19―21
近世日本の紙幣 …… 社25（1・2・3）121―134
特別号関連記事
西川清治博士　追悼の辞 …… 社15（2・3）

〔チ〕

千　本　暁　子　（ちもと　あきこ）
論　　文
ホワイトカラーの人材育成と学校教育への依存 …… 社29（3）15―31
日本における女性保護規定の成立――1911年工場法成立前史―― …… 人30（3）163―177
20世紀初頭における女性の有業率とM字型就労 …… 社32（2）1―15
明治期紡績業における通勤女工から寄宿女工への転換 …… 社34（2）13―26
20世紀初頭における紡績業の寄宿女工と社宅制度の導入 …… 社34（3）57―67
日本における工場法成立史――熟練形成の視点から―― …… 社43（2）1―17

千　森　幹　子　（ちもり　みきこ）
論　　文
Gulliver's Travels における Yahoo 描写について …… 人20（2）89―104

翟　　宜　疆　（ちゃい　ぎきょう）
論　　文
试论“情境练习” …… 人34（2）33―36
试议短期汉语教学中的文化要素 …… 人34（3）115―120

中　條　良　美　（ちゅうじょう　よしみ）
査読論文
残余利益モデルによる過剰分散制約の検証（共） …… 社47（1）1―10
論　　文
Rising Intercorporate Shareholding …… 社43（2）95―105

趙　　莉　萍　（ちょう　りぴん）
論　　文
中国家族呼称の語構成とその背景――宗族の社会構造を中心に―― …… 人27（3）35―45

陳　　端　端　（ちん　たんたん）
そ　の　他
資本論の方法と中国の改革開放（共） …… 社45（1）201―210

陳　　力　（ちん　りき）
論　　文
漢長安城の建設プランの変遷とその思想的背景 …… 人31（3）1―8
漢代の璽書と制書 …… 人33（2）15―22
漢唐時代の都市計画における「中軸線」について …… 人34（1）1―8
東周秦漢時代の都市理論について …… 人35（1）11―18
前漢王朝建立時における劉邦集団の戦闘経過について（上）
――劉邦集団内部の政治的派閥の形成を中心に―― …… 人47（2）79―93
研究ノート
略谈秦汉时期皇帝驾崩前后发行的“遗诏”和“玺书” …… 人36（1）41―47
漢の長安城周辺の集落 …… 人38（1）9―21

前漢首都圏空間の形成
——咸陽原地区における漢代集落の分布と水資源の関係に
主眼をおいて—— …… 人48（2）111—121
漢長安城西南考——漢長安都城圏研究における可視化を試みて—— …… 人50（1）27—40
調査報告
キリスト教徒X女史のライフヒストリー …… 人46（1）23—31
翻訳
十六国官僚制度研究（周　偉洲） …… 人37（1・2）39—55

〔ツ〕

辻　悟一（つじ　ごいち）

論文
1970年代中葉以降の英国の地域政策
——ディマンドサイドからサプライサイドへの転換を中心に—— …… 社30（1）15—31
脱工業都市への挑戦——英国・バーミンガム市の事例—— …… 社32（4）29—44

辻　裕子（つじ　ひろこ）

論文
ミルトンの『四絃琴』と『失楽園』 …… 人36（3）61—73

辻　義教（つじ　よしみち）

論文
物上請求権一考（1） …… 社22（1）21—25
物上請求権一考（2） …… 社22（2）1—7
物上請求権一考（3） …… 社22（3）47—53
物上請求権一考（4・完） …… 社23（1）33—43
動産物権の公示方法，変動，対抗要件，公信性と占有の関係
——民法第192条の研究—— …… 社23（2）17—40
間違いを間違うと結果は正しい!?
——ドイツ民法典BGBの物上請求権，占有訴権構成上の一つの視点
および日本民法学の理解—— …… 社23（3）55—62
占有意思animusについての小論——付　形而上的基礎づけ—— …… 社23（4）1—14
動かしうる物を動かざる物（不動産）とする理由について
——民法第86条第1項の沿革と井上毅—— …… 社24（1）13—20
占有意思論客観説への若干の疑問 …… 社24（4）27—40
藪の中の2億円 …… 社25（1・2・3）149—159
代理占有論——「代理所有」との対照において—— …… 社25（4）19—28
代理占有の消滅（民法第204条）——代理占有論再論—— …… 社26（2）21—28
ヒト科ヒト，脳死と殯のアウトライン——民法第1条ノ3の内と外—— …… 社26（3）1—13
占有の現実性契機と占有改定——民法第192条の研究再論—— …… 社26（4）47—56
間接占有BGB§868と占有補助者占有BGB§855の間
——民法第181条の研究—— …… 社27（2）29—52
債権の準占有——民法478条と205条，467条—— …… 社27（4）55—72
債権の準占有の二つの契機 …… 社28（2）175—193

メタ規範論叙説――占有，不当利得，そして準占有をめぐって―― …… 社28（4）167―184
類型論批判――ケメラー紹介説（磯村，川村説）へ，メタ規範論より―― …… 社29（2）55―73
表見代理のメタ規範論構造――鏡の中，像はあるが像はない―― …… 社30（1）143―170
表見代理の実相――メタ規範論から民法110条事例を素材に―― …… 社30（3）1―25
表見代理論の周辺にある若干の問題
――権利外観論，表見代理不法行為論，代理権濫用論等とメタ規範論―― …… 社31（1）41―59
占有は権利か事実か？
――メタ規範理解による「占有（権）の体系的構造」再論―― …… 社31（3）1―11
「占有は権利か事実か？」についての学説状況 …… 社31（4）123―135
占有改定と動産の即時取得の間のメタ規範論上の意味 …… 社32（1）31―42
占有客観説のメタ規範論解釈――ベッカー説を素材にして―― …… 社32（3）39―52
所有権の法規範論的特性――占有論のlabyrinthusの意味論―― …… 社33（1）17―27
物権変動論――鏡に映ったリンゴの売買―― …… 社33（3）141―157
不動産登記の意味論――メタ規範構造による位置付け―― …… 社33（4）79―90
応用的メタ規範関係――物権変動の背信的悪意者と虚偽表示―― …… 社34（2）27―41
不特定概念とメタ規範要件――「正当ノ事由」と「正当ノ理由」の間―― …… 社34（4）27―41
背信的悪意者の基準――そのメタ規範論理解―― …… 社35（2）173―188
物権変動論，占有論とパターン認識
――法規範世界と2値認識，パターン認識―― …… 人36（3）87―102
物権変動論，占有論とパターン認識（補遺） …… 社36（4）45―47
法律要件＝要件事実認識と2値認識 …… 社37（2）19―31
法と言語――言語認識とメタ構造 …… 社37（4）105―119
占有の謎＝所有権の謎――占有の今一つの意味論 …… 社38（1）1―16
登記の記号論的意味論 …… 社38（2）15―26
不当利得の「法と言語論」 …… 社39（1）1―17
「二つの占有論」の「法と言語論」 …… 社39（2）25―45
「占有は事実である」とは？ …… 社40（1）35―46
名前考――所有権の「法と言語論」 …… 社40（2）49―66
歴史的所有権論――近代的所有権の創成と神田孝平―― …… 社41（1）1―16
占有の権原論――nemo sibi ipse causam possessionis mutare potest―― …… 社41（2）15―27
民法185＝187条の占有の新権原＝承継と相続 …… 社42（1）1―18
占有は相続できない＝「占有」は相続できる …… 社42（2）21―38

資　　料

年表1989年――備忘記録―― …… 社26（1）131―156

特別号関連記事

谷田庄三教授退任記念号の発刊によせて …… 社34（1）3

津　島　陽　子　（つしま　ようこ）

論　　文

プルードン賃金論の展開 …… 12（3）85―131
現代自主管理思想批判
――『自主管理と社会主義』誌10周年記念特集号にみられる
最近の論調について―― …… 社15（2・3）133―157
マルクスのプルードン批判について …… 社15（4）63―73

翻　　訳
『ピエール・ジョセフ・プルードンその学説及び生涯』(1890年)
（カール・ディール）……社17(1) 35―70

辻　本　歌　織　（つじもと　かおり）
論　　文
2009年度　学生生活アンケートにおける阪南大学新入生の
心理的特徴について(共)……人46(1) 1―13

辻　本　庸　子　（つじもと　ようこ）
論　　文
Ahab試論―呪術者としての顔……人23(4) 21―30

津　田　幸　雄　（つだ　ゆきお）
論　　文
E. A. Poe:“William Wilson”について……12(4) 17―29
S. クレインの「題材」の意味――『マギー』をとおして――……13(3) 47―59

筒　井　茂　義　（つつい　しげよし）
論　　文
並列処理による進化計算の高速化について……社45(3) 147―164

堤　　稔　子　（つつみ　としこ）
論　　文
「救いの恵み」を求めて――マーガレット・ローレンスの宗教観――……人36(3) 39―49

堤　　正　史　（つつみ　まさふみ）
論　　文
Das Problem des Anderen
――Der Weg vom „Ich-Du-Verhaltnis“
zum „Ich-selbst Du-selbst Verhältnis“――……人18(4) 53―64
Erziehung und Dialog……人22(2) 79―88
ヤスパースにおける「実存」と「悪」……人24(1) 15―25

堤　　實　（つつみ　みのる）
論　　文
大学における体育の意義……11(5) 37―44
「打つ」動作に関する基礎的研究――硬式テニスのサービスについて――(共)……人20(1) 11―24
「打つ」動作に関する基礎的研究
――バレーボールにおけるフローターサーブの
キネシオロージ的研究――(共)……人20(4) 15―20
青木功プロのゴルフスイングの筋電図からみた動作特徴
――いわゆる「ベタ足打法」について(その1)――(共)……人20(4) 21―26
打撃動作に関する基礎的研究――実打と素振り――(共)……人25(1・2・3) 53―60
心拍数と歩数からみた正課体育実技(養護コース)に関する一考察(共)……人25(4) 1―10

心拍数からみた正課体育実技（養護コース）に関する一考察
——車いす使用の学生について——（共）……人26（4）17—25
利き手・利き目と体力・運動能力との関係（共）……人28（1）1—9
大学バスケットボールゲーム中における運動強度に関する一考察……人28（1）23—27
心拍数からみた中高年者の運動強度に関する基礎的研究（共）……人28（3）61—69
利き手に関する基礎的研究——利き手と握力について——（共）……人29（3）15—23
歩数からみたゴルフの動作特性——利き手と日常動作との関連より——（共）……人30（3）197—202
利き手に関する基礎的研究——利き手と利き目の関連性——（共）……人32（3）1—14
安静時心拍数からみた身体活動に関する一考察——徐脈と頻脈——（共）……人34（3）39—53
利き手の動作特性に関する基礎的研究（共）……人36（1）15—24

鶴　坂　貴　恵　（つるさか　たかえ）
論　　文
地域商業再生に対する行政の役割……社35（1）45—54

鶴　嶋　　鉄　（つるしま　てつ）
論　　文
エンバク冠さび菌夏胞子の自己発芽抑制物質とその誘導体による
植物菌類病防除への試行……人23（2）1—8

〔テ〕

鄭　　久　信　（てい　ひさのぶ）
論　　文
紋切型と共同体——『ブヴァールとペキュシェ』論（1）……人31（2）45—54
紋切型と共同体——『ブヴァールとペキュシェ』論（2）……人31（3）13—24

鄭　　萍　（てい　ぴん）
論　　文
漢語「大変」について……人28（3）15—24

手　塚　義　雄　（てづか　よしお）
論　　文
Waugh and Catholicism……人29（3）61—68
Evelyn Waugh's Attitude in Politics……人30（3）263—270
Waugh and Orwell……人31（3）53—59
Greene & Waugh: The Study of Catholicism……人32（3）49—58
ウォー論——人間の本質は悪——……人36（4）31—39

寺　尾　晃　洋　（てらお　こうよう）
研究ノート
地域振興と第三セクター……社27（1）139—152

〔ト〕

土　居　英　二　（どい　えいじ）

論　　文

都道府県レベルの民間企業資本ストックデータの推計
——静岡県を例に——……社35（2）51—62

土　居　康　男　（どい　やすお）

論　　文

アメリカのレップ制度とその効果的活用法……社31（1）71—80
米国インダストリアル・マーケティングチャネルにおける
ディストリビューターの重要性……社32（2）27—36
企業の海外進出に伴うフィージビリティー・スタディ（F/S）の重要性……社32（3）29—38
企業の海外進出に伴うフィージビリティ・スタディ（F/S）の実施例……社32（4）149—159
米国インダストリアル・マーケティング・チャネルの歴史（その一）
——電機業界におけるマニュファクチャラーズ・レップと
ディストリビューターを中心に——……社33（1）43—54
米国インダストリアル・マーケティング・チャネルの歴史（その二）
——電機業界におけるマニュファクチャラーズ・レップと
ディストリビューターを中心に——……社33（2）11—22
米国インダストリアル・マーケティング・チャネルの現状と新たな課題
——エレクトロニクス業界を中心に——……社33（3）165—181
米国インダストリアル・マーケティング・チャネルの現状と新たな課題
——エレクトリカル業界を中心に——……社33（4）91—106
企業の海外進出に伴うフィージビリティー・スタディ
（F/S）の実施例（Ⅱ）……社36（2・3）11—23

東　井　正　美　（とうい　まさみ）

論　　文

競争による市場価値の成立——「不明瞭な箇所」との関連において——……社18（3）15—29
日本経済の再生産構造と農業の位置……社27（1）17—29
地代論での生産価格……人35（4）39—50

道　家　達　将　（どうけ　たつまさ）

特別号関連記事

山崎俊雄先生の経歴とご業績……社22（4）iii—vi

堂　面　秋　芳　（どうめん　あきよし）

特別号関連記事

田谷博吉教授退任記念号によせて……社16（3・4）
速水敏教授退任記念号によせて……社16（3・4）

徳　山　　廣　（とくやま　ひろし）

論　　文

「打つ」動作に関する基礎的研究——硬式テニスのサービスについて——（共）……人20（1）11—24

「打つ」動作に関する基礎的研究
——バレーボールにおけるフローターサーブの
キネシオロージ的研究——（共）……人20（4）15—20
青木功プロのゴルフスイングの筋電図からみた動作特徴
——いわゆる「ベタ足打法」について（その1）——（共）……人20（4）21—26

藤　倉　恵　子　（とくら　けいこ）

論　　文

ペローの「赤ずきんちゃん」の反／非・「教訓」的読解……人30（3）53—71

友　田　絵　理　（ともだ　えり）

論　　文

The Effectiveness of the “Reproduction” Interpreting Training Method
in University English Teaching……人49（1）47—63

豊　田　　尚　（とよだ　ひさし）

論　　文

農業センサスにおける農家の経営組織分類の展開……社20（2）31—46

虎　田　雋　雄　（とらた　とらお）

論　　文

“商業”とは何か？——“商業学”の対象領域について——……社15（2・3）101—108
貨幣と商業……社・人17（4）27—37

鳥　畑　与　一　（とりはた　よいち）

論　　文

BIS自己資本比率規制と銀行資本の運動……社34（1）59—72

〔ナ〕

中　井　永　子　（なかい　ひさこ）

論　　文

後期T. S. Eliotにおけるバロック詩人（1）……4（1・2）25—65
後期T. S. Eliotにおけるバロック詩人（2）……5（1・2）101—135
Exodus from Self: M. Moore’s Animal Poems……14（6）59—89
The “Tightly Wattled” Sounds:
A Prosodical Survey on Marianne Moore’s “An Octopus”……人15（2）23—40
Images Photographed by Observations:
A Study on M. Moore’s Imagery……人15（2）41—53
Todayness in John Ashbery’s Ingenious Indirectness……社・人17（4）113—126
An “Escape from Repetition”:
A Study on Wallace Stevens’s “The Bouquet”……人21（2）45—56
A Fugue of Hyperbole and Litotes:
A Study on John Ashbery’s “Fragment”……人25（1・2・3）99—114
『イーリアス』:『イーリオンの歌』——その叙事詩空間を探る——……人32（1）33—48

翻　　訳

「大地のすすり泣き」(ジュール・ラフォルグ) …… 9 (6) 169―205
現代米詩論Ⅰ「高貴なる騎手と言葉の響き」(ウォーレス・スティーブンズ) …… 13 (3) 85―112
現代米詩論Ⅱ「特異表現と技巧」(マリアン・ムーア) …… 13 (4) 85―104
現代米詩論Ⅲ「新しいリズム」(ウィリアム・カルロス・ウィリアムズ)
「わが詩への序」(e e カミングズ)
「総体的目的と理論」(ハート・クレイン)
「クレイン氏から編集者 (ハリエット・モンロー) 殿へ」
(ハート・クレイン) …… 13 (5) 89―108
現代米詩論Ⅳ「詩人と都市」(W. H. オーデン) …… 13 (6) 117―139

仲　井　秀　昭　(なかい　ひであき)

論　　文

《ルーゴン＝マッカール》における《饗宴》
――『居酒屋』と『ナナ』を中心として―― …… 人 30 (3) 43―52

中　雄　　勇　(なかお　いさむ)

論　　文

運動学習における一考察――視覚的機能の影響について―― …… 11 (4) 171―181
運動学習における一考察 (続) ――視覚的機能の影響について―― …… 人 19 (1) 1―8
運動技術の習熟過程における一考察――視覚的機能の影響について―― …… 人 20 (1) 25―33
「打つ」動作に関する基礎的研究
――バレーボールにおけるフローターサーブの
キネシオロージ的研究―― (共) …… 人 20 (4) 15―20
青木功プロのゴルフスイングの筋電図からみた動作特徴
――いわゆる「ベタ足打法」について (その 1) ―― (共) …… 人 20 (4) 21―26
長距離走におけるペース配分についての一考察
――ラップ・タイムよりみた場合―― (共) …… 人 21 (3) 31―38
打撃動作に関する基礎的研究――実打と素振り―― (共) …… 人 25 (1・2・3) 53―60
心拍数と歩数からみた正課体育実技 (養護コース) に関する一考察 (共) …… 人 25 (4) 1―10
心拍数からみた正課体育実技 (養護コース) に関する一考察
――車いす使用の学生について―― (共) …… 人 26 (4) 17―25
利き手・利き目と体力・運動能力との関係 (共) …… 人 28 (1) 1―9
心拍数からみた中高年者の運動強度に関する基礎的研究 (共) …… 人 28 (3) 61―69
利き手に関する基礎的研究――利き手と握力について―― (共) …… 人 29 (3) 15―23
歩数からみたゴルフの動作特性――利き手と日常動作との関連より―― (共) …… 人 30 (3) 197―202
ソフトテニスのバックハンドボレ―における下肢筋群の筋電図的研究 (共) …… 人 31 (4) 1―12
利き手に関する基礎的研究――利き手と利き目の関連性―― (共) …… 人 32 (3) 1―14
安静時心拍数からみた身体活動に関する一考察――徐脈と頻脈―― (共) …… 人 34 (3) 39―53
利き手の動作特性に関する基礎的研究 (共) …… 人 36 (1) 15―24
山道歩行中の心拍数変動からみた運動強度について …… 人 39 (2) 1―8
アーチェリー競技のリリース前後における身体動揺と得点との関係について (共) …… 人 40 (1) 13―20

中　尾　　務　（なかお　つとむ）

論　　文

徳田秋声・明治四〇年前後――自然派への移行―― …… 人19（2）1―11
秋声『黴』論――笹村の固執するもの―― …… 人19（4）17―29
秋声「好奇心」について――〈お冬もの〉小見―― …… 人20（2）1―7

仲　上　　哲　（なかがみ　てつ）

査読論文

セブン＆アイとイオン～小売業界二強の形成とビジネスモデル～ …… 社45（1）1―14
消費スタイルの変化とコンビニエンスストアの「＋α戦略」 …… 社45（2）23―41
現代日本の小売商業における業態の同質化 …… 社46（2）1―17
専門量販店の成長――その背景と経営にかんする考察―― …… 社47（1）11―28
デフレ不況期におけるプライベートブランド商品の特徴 …… 社49（2）1―18
消費縮小状況において小売商業が主導する流通機能の変化 …… 社50（2）21―38

論　　文

商圏縮小時代における小売商業の戦略 …… 社46（1）77―94

研究ノート

現代日本における小売商業研究の対象と課題 …… 社46（1）95―101
現代小売商業資本の存在様式と役割 …… 社47（1）107―112

中　川　ス　ミ　（なかがわ　すみ）

資　　料

『資本論』フランス語版第6篇「労賃」
　第19章「労働力の価値または価格の労賃への転化」（カール・マルクス） …… 14（3）79―95

中　川　涼　司　（なかがわ　りょうじ）

論　　文

M. E. ポーターの競争戦略論の展開とその意味 …… 社29（3）33―51
M. E. ポーターの「国の競争優位」論を巡る論争の意味 …… 社30（3）57―70
日系電子・電気機械メーカーのマレーシア・インドネシア・中国進出と
「関連・支援産業」
　――M. E. ポーターの「国の競争優位」論を超えて―― …… 社31（3）53―70
日系電子機器・部品メーカーの蘇州進出と「関連・支援産業」 …… 社31（4）101―111
日系電子機器・部品メーカーの北京進出と「関連・支援産業」
　――松下電工，松下電器産業のケース―― …… 社32（3）53―64
中国のWTO加盟と電気通信事業の市場開放問題 …… 社33（2）1―10
中国コンピュータ産業の業界構造と企業戦略
　――「微笑曲線」と聯想集団のマーケティング戦略―― …… 社33（3）159―164
中国ITA加盟と中国電気通信体制の変動 …… 社33（4）107―115
日中情報産業政策比較から見た中国情報産業の課題 …… 社34（3）109―115

研究ノート

中国のWTO加盟とサービス貿易分野 …… 社34（1）197―209

翻　　訳

电子电器日本企业投资马来西亚、印度尼西亚和中国形态以及“相关后援产业”理论
　――对M・E・波特的“国家的竞争优势”理论之超越―― …… 社32（3）65―74

中　桐　大　有　（なかぎり　たいゆう）
特別号関連記事
沢田允夫君の思い出 …… 人24（1）1―7

中久保　邦　夫　（なかくぼ　くにお）
論　　文
1860年代イギリス・ドイツ初期協同組合運動の一断面
――《*Le Travail*》をとおして―― …… 社19（1）47―62

中　澤　まゆみ　（なかざわ　まゆみ）
論　　文
言語と応答責任 …… 人34（1）53―61
言語とフロイト主義 …… 人34（2）43―49
対話における沈黙と笑い …… 人35（3）31―37

長　澤　憲　正　（ながさわ　のりまさ）
論　　文
農業統計における農業および農家の定義について …… 社20（2）47―58
特別号関連記事
餞士蝟集 …… 社20（2）

中　島　克　巳　（なかしま　かつみ）
論　　文
わが国の税制の課題――世界の税制改革の動きをめぐって―― …… 社28（2）31―56

中　島　篤之助　（なかじま　とくのすけ）
論　　文
先端技術・高度技術と核エネルギー技術 …… 社33（3）39―48

中　曽　久　雄　（なかそ　ひさお）
論　　文
実体的デュー・プロセスの新たな展開と権限アプローチ …… 社46（1）45―60

永　田　節　子　（ながた　せつこ）
論　　文
W. B. Yeats の Imagination
――“At the Hawk's Well” にみる ‘sleep’ と ‘asleep’ の対立―― …… 人18（1）21―28

永　田　拓　治　（ながた　たくじ）
論　　文
日中関係と歴史認識問題 …… 社48（2）31―45
日中関係と日台関係――世論調査と歴史教科書とをてがかりに―― …… 社50（2）81―99

書　　評

滕軍等編著『中日文化交流史―考察与研究―』
（北京大学出版社，2011年，386ページ）を読んで
――今後の日中交流の手がかりを探る―― …… 社49（2）89―95

永　田　　均　（ながた　ひとし）

論　　文

高度情報化社会と法――商業帳簿等とコンピューター（一）―― …… 社21（2）77―94
法人格の同一性と手形責任
――商号及び目的変更・代表取締役選任等の株主総会決議前及び
変更未登記の場合の手形振出と会社責任について―― …… 社27（4）91―98
留学生の漢字教育と専門読解 …… 社29（1）123―128
商法改正と商業帳簿 …… 社29（4）157―162
雇用動向の変化と企業秘密 …… 社30（4）191―196

判例研究

仮名株主の権利行使
――仮名を用いて名義書換えを受けた株式の取得者は会社にたいして
株主であることを対抗できないとした事例―― …… 社24（2）79―85

永　谷　秀　雄　（ながたに　ひでお）

論　　文

『虹』における Aspiration について …… 3（1・2）207―224
D. H. Lawrence の *The Fox* について …… 5（1・2）35―57
Sons and Lovers における human relations …… 9（3）11―29
18世紀におけるロンドンの市民生活（1） …… 14（5）111―127
18世紀イギリスの出版界の状況 …… 人16（3・4）23―29
18世紀イギリスにおける読者層の成立について …… 人17（2・3）13―22
著作家における patronage の諸相――18世紀英国の出版界―― …… 人18（2）1―8
On the Relations between Authors,
Booksellers and Readers in 18th Century Britain …… 人19（2）1―4
英国における予約出版――1617年から1765年まで―― …… 人21（2）1―18
学術振興協会の破綻――英国18世紀における Authorship の一側面―― …… 人22（2）1―14
The Doves Press における Partnership の破綻 …… 人27（1）93―109
イギリスにおける私家版運動の興隆とその歴史的意義 …… 人28（3）51―60
工芸家 W. モリスと建築 …… 人32（4）89―94
ウィリアム・モリスと古建築保護協会 …… 人34（4）135―147
最晩年の環境保護運動家ウィリアム・モリス …… 人36（3）135―143

研究ノート

Dubliners における unity――Paralysis を中心にして―― …… 11（1）63―71

翻　　訳

ケルムスコット出版局小史（シドニー・C. コッカレル） …… 人23（2）49―61

中　道　信　廣　（なかみち　のぶひろ）

論　　文

日本の公会計――財務報告制度に関する研究―― …… 社28（3）89―101

仲　村　　修　（なかむら　おさむ）

資　　料

日韓児童文学交流史年表 …… 人30（4）27―43

中　村　公　彌　（なかむら　きんや）

研究ノート

有価証券の譲渡益課税についての税制改革（共） …… 社24（3）43―50

中　村　静　治　（なかむら　せいじ）

論　　文

80年代の技術開発の模索とコンドラチェフ波動理論 …… 社17（3）25―53

レーニンの鉄道論と自動車工業論

――現代自動車工業論序説の一齣―― …… 社・人17（4）91―101

中　村　　宏　（なかむら　ひろし）

論　　文

レイマン（R. A. Rayman）資金理論の一研究 …… 9（2）33―55

APB意見書第19号の資金計算書の考察 …… 11（5）45―61

コール（W. M. Cole）の資金計算書の理論 …… 13（2）1―21

AICPAによる資金計算書の変革と啓蒙 …… 13（4）1―19

フィニー（H. A. Finney）の資金計算書の理論 …… 14（2）1―19

エスケレ（Paul-Joseph Esquerré）の資金計算書の理論 …… 14（6）39―57

資金計算書と減価償却――とくに純利益修正法について―― …… 社15（4）11―22

資金計算書上の“資金”概念の歴史的考察――1925年の論争を中心に―― …… 社18（2）1―12

わが国の証券取引法における資金情報開示の序説 …… 社29（1）63―79

わが国の証券取引法における資金繰表の回顧 …… 社33（4）117―130

アメリカ資金計算書史における“統一会計”の意義 …… 社37（1）13―26

グリーン（Thomas L. Greene）の資金計算書論の再考 …… 社37（4）33―42

1898年のニューヨーク州のCPA試験と資金計算書

――グリーンリガーとエスケレ―― …… 社38（2）1―13

調 査 報 告

APB意見書第19号の企業外部情報への影響に関する実態調査 …… 社37（3）61―75

資　　料

Jack J. ケンプナー氏，資金運用表の実証的研究（1）

――年次報告書にふくめられた資金運用表の実態調査―― …… 9（4）101―124

Jack J. ケンプナー氏，資金運用表の実証的研究（2）

――公認会計士事務所における資金運用表の実態調査―― …… 9（6）149―168

Jack J. ケンプナー氏，資金運用表の実証的研究（3）

――銀行家による資金運用表の利用実態―― …… 10（2）95―114

Jack J. ケンプナー氏，資金運用表の実証的研究（4・完）

――証券アナリストによる資金運用表の利用実態―― …… 10（4）41―61

ウォーレン氏のAPB意見書第19号に関する実態調査 …… 12（1）103―116

中　村　雅　秀　（なかむら　まさひで）
論　　文
日本における米系多国籍企業の位置
——商務省統計と通産省統計の検討を通して——……社15（2・3）159—183
Post-War Trade Development of Japan……社21（4）33—44
多国籍企業とアメリカの対途上国税制……社24（1）1—12

中　村　泰　行　（なかむら　やすゆき）
論　　文
「移行」の文学——アラゴンの作品を中心にして（Ⅰ）——……11（3）153—180
アラゴンの方法について——『レ・コミュニスト』の場合——……11（4）117—154
〈哲学研究〉とバルザックのリアリズム
——“L'Auberge rouge”を中心として——……11（5）93—122
「移行」の文学——アラゴンの作品を中心にして（Ⅱ）——……12（1）31—64

中　村　吉　紀　（なかむら　よしき）
論　　文
滋賀県の産業振興と産学官連携の歩み……社45（3）105—118

中　山　恵利子　（なかやま　えりこ）
論　　文
程度副詞の分類の試み——その程度・量・基準により——……人31（3）75—86
程度副詞はことがら成分か……人31（4）39—53
アジアの在日留学生における日本観光の動向
——観光学科所属留学生の余暇に関する調査を中心に——……人35（3）1—16
日本語教材は「イメージ」を教えられるのか
——カタカナ語教育を考える　その1——……人46（2）29—41
日本語教師は「イメージ」を教えられるのか
——カタカナ語教育を考える　その2——……人47（2）95—111

中　山　信　夫　（なかやま　のぶお）
論　　文
大学受験生の不安の構造——CASよりみた不安を中心に——……人21（2）19—29
大学における学業の評価に関する事例的考察
——教育心理学の単位認定をめぐって——……人29（1）1—14
資　　料
大学受験生の実態と意識——受験浪人の意識調査を中心に——……社・人17（4）143—157
大学受験生の現実認識——浪人中の予備校生を中心に——……人18（3）41—56

永　山　利　和　（ながやま　としかず）
論　　文
中小企業政策の基礎と日本の中小企業政策……社45（3）17—30

〔ニ〕

西　　淳　（にし　あつし）

研究ノート

森嶋通夫の『動学的経済理論』と社会経済学 …… 社37（2）55―70
柴田敬と高田保馬の転化論論争 …… 社39（1）45―60
横山保の経済学と人間観 …… 社40（2）83―97
アジアの近代化とその精神
――青山秀夫における東亜近代化論とエートスの問題―― …… 社42（2）109―128
高田保馬の転化論
――拙稿（2003）「柴田敬と高田保馬の転化論論争」への補論―― …… 社43（2）107―113
「組織倫理」と「市場倫理」――青山秀夫と近代的人間観―― …… 社44（2）143―157
一般均衡理論と動学理論――高田保馬から青山秀夫へ―― …… 社45（2）129―148
競争と勢力―高田保馬から青山秀夫へ― …… 社46（2）165―184
一般均衡理論とマルクス―柴田敬の経済学― …… 社47（2）155―176
高田保馬の勢力説と経済学 …… 社48（2）147―165
高田＝久留間論争再考――拡大再生産表式における蓄積率と部門比率―― …… 社49（2）71―87
生存基本Subsistence-Fundと資本Capitalについてのノート
――西（2013），（2014）への補論―― …… 社50（1）51―60
生存基本分析と垂直的統合
――柴田敬の経済学とL. パシネッティの経済学―― …… 社50（2）177―192

西　　洋　（にし　ひろし）

論　　文

累積的因果連関における総需要，労働生産性および所得分配 …… 社45（2）55―71
制度階層性と調整の時間的相違を伴ったマクロ経済モデル …… 社46（2）75―88

尼　寺　義　弘　（にじ　よしひろ）

査読論文

Hegels „List der Vernunft“ …… 社46（2）41―54

論　　文

価値表現の分極性 …… 4（1・2）147―174
価値表現の両極の「逆の連関」について（上）――宇野理論の一検討―― …… 6　1―19
価値表現の両極の「逆の連関」について（下）――宇野理論の一検討―― …… 8　1―32
貨幣の必然性（Ⅰ）――宇野理論の一検討―― …… 9（6）1―26
貨幣の必然性（Ⅱ）――宇野理論の一検討―― …… 10（1）1―24
貨幣の必然性（Ⅲ）――宇野理論の一検討―― …… 10（2）45―80
貨幣の必然性（Ⅳ）――宇野理論の一検討―― …… 10（5）33―61
貨幣の必然性（Ⅴ）――宇野理論の一検討―― …… 11（3）89―112
価値形態論の根本問題（1）――価値の実体規定との関係―― …… 12（3）1―14
価値形態論の根本問題（2）――価値の実体規定との関係―― …… 13（6）1―17
価値表現の「回り道」の論理について（1）――単純な価値形態の分析―― …… 14（5）29―47
初版『資本論』「価値形態」の研究（1） …… 社15（2・3）109―118
初版『資本論』「価値形態」の研究（2） …… 社16（1）61―73
初版『資本論』「価値形態」の研究（3） …… 社17（2）1―12

Zum Widerspruch in der Objektiven Realität
——Unter Besonderer Berücksichtigung des
Austauschprozesses der Ware—— ……社19（1）25—36
Hegels Theorie vom Uriteil und Marx' Theorie von der Wertform ……社19（2）55—79
ヘーゲルの推理論（一）……人26（3）15—20
ヘーゲル推理論とマルクス価値形態論……社26（4）1—12
ヘーゲルの推理論（二）……人26（4）1—8
Die Kategorien Anschauung und Begriff im „*System der Sittlichkeit*"
bei Hegel in bezug auf die politische Ökonomie ……人27（1）143—146
Hegels Theorie vom Schluß
——eine wichtige wissenschaftliche Quelle für Marx' Theorie
von der Werform—— ……人27（2）1—10
ヘーゲルの推理論（三）……人27（3）1—14
Der Formgehalt oder Forminhalt des Wertausdrucks
in der Politischen Ökonomie von Karl Marx
——die Hegelschen Logik als Quelle des Marxschen Wertbegriffs ……社31（2）1—4
ヘーゲル本質論とマルクス価値形態論……人32（4）173—178
G. W. F. ヘーゲル『イェーナ精神哲学』における「知力」の展開 ……社33（3）183—194
ヘーゲルの政治経済学の研究……社36（4）71—78
ヘーゲルの「理性の狡知」論——労働手段の究明によせて—— ……社45（3）347—356
Kann die Philosophie helfen, die Krisen der Gegenwart zu überwinden? ……人50（2）121—127

研究ノート

ヘーゲル『法の哲学』の「欲求の体系」の経済分析……社34（3）139—150
ヘーゲルの「理性の狡智」と目的活動……人34（4）175—188
G. W. F. ヘーゲルの「普遍的な資産」の概念について ……社42（1）45—53

資　料

『フォイエルバッハ』に関する資料……社24（4）65—67

翻　訳

マルクスの“筆跡”の研究
——君の悪筆に再びお目にかかれて非常に嬉しかった——
（ハインリッヒ・ゲムコー）……社21（4）119—126
マルクスと私——犯人の筆跡——（クルト・ミュラー）……社22（1）91—94
マルクスの“筆跡”と犯罪学（クルト・ミュラー）……社22（2）73—78
マルクス・エンゲルス研究と犯罪学——クルト・ミュラーの対話より——
（クルト・ミュラー）……社22（4）177—186
シェリングと自然科学と医学（ゲオルク・ビーダーマン）……人29（1）121—129
東ドイツ社会主義の挫折と今日の状況（ロルフ・ヘッカー）……社30（3）87—94
ギムナジウムの生徒としての哲学者
——ベルリン国立図書館に所蔵されるヘーゲルの青年時代の『日記帳』——
（Eef Overgaauw）……人39（2）23—28
「G. W. F. ヘーゲルの遺稿」序説（Eva Ziesche）……人40（2）23—29
理性の狡知（Walter Jaeschke）……社47（2）177—190
マルクスとヘーゲルの弁証法
——絶対的にあらゆる哲学の最後の言葉——（アンドレアス・アルント）……社48（1）55—65

そ の 他

資本論の方法と中国の改革開放（共）……社45（1）201―210

西 浦 義 道 （にしうら よしみち）

研究ノート

ソ連のジャーナリズムについての一考察
――プラウダ，イズベスチヤ，経済新聞，夕刊モスクワを中心に――……人22（1）63―75

西 岡 俊 哲 （にしおか としさと）

論 文

ソ連流通における個人営業と“コーペラチフ”……社26（1）43―55
小売価格改革と消費財流通――ソ連における消費財市場の現状について――……社27（1）113―127
ロシアにおける対外経済関係の現状……社29（3）1―14
消費者運動と1970年代以降の生協運動の再検討……人30（3）147―161
わが国商業構造の長期的変化分析のための予備的考察……社45（3）315―329

研究ノート

「新人類」の状況証拠……人23（4）47―60
ソ連邦「協同組合法」改正について……社26（3）71―85

西 川 清 治 （にしかわ きよはる）

論 文

A Fatal Aporia between “Productive Labour” and “National Income”?……11（5）63―80
Adam Smith's Opinion on Expences of Commonwealth, particularly
in Consideration of the Office of “Watchman” and “Cheap Government”.……12（2）1―37
“Fiscal theory of Adam Smith”
――In Commemoration of the Bycentenary of “the Wealth of Nations”
（邦語によるその要旨と若干の補足）――……13（1）1―12
Supplementary Remarks on Wealth in A. Smith and National Income In K. Marx……13（2）23―38
Basic Method to reseach Contemporary Public Finance in Our Country……13（3）1―15
Direct Democracy or Democratic Centralization?……13（5）1―10
A short History of Methodology of Economics（1）……14（1）1―27
Development of Human Society and Cities……14（3）1―40
A Short History of Methodology of Economics（2）……14（5）1―28
Modern and Contemporary Problems of Urbanization……14（6）1―38

研究ノート

総合研究としての「社会福祉論」のための基礎概念……11（5）81―92
Return to Adam Smith, particularly in Consideration of Public Finance……11（6）125―134

資 料

A few Impressions on the International Congress of Scientists of the Human
Environment, Held at the Kyoto International Conference Hall
from 17th to 25th November 1975……11（6）115―123

西 島 吉 典 （にしじま よしのり）

論 文

「打つ」動作に関する基礎的研究――硬式テニスのサービスについて――（共）……人20（1）11―24

「打つ」動作に関する基礎的研究
——バレーボールにおけるフローターサーブの
キネシオロージ的研究——（共）……・人20（4）15—20
青木功プロのゴルフスイングの筋電図からみた動作特徴
——いわゆる「ベタ足打法」について（その1）——（共）……人20（4）21—26
歩数からみたゴルフの動作特性——利き手と日常動作との関連より——（共）……人30（3）197—202
ソフトテニスのバックハンドボレーにおける下肢筋群の筋電図的研究（共）……人31（4）1—12
アーチェリー競技のリリース前後における身体動揺と得点との
関係について（共）……人40（1）13—20

西　田　　勝　（にしだ　まさる）

論　　文

運動技術に関する一考察——体育における運動技術のとらえ方——……13（3）61—68

西　村　多嘉子　（にしむら　たかこ）

研究ノート

マーケティングと消費者——価格問題を中心として——……社21（4）77—87

西　村　頼　男　（にしむら　よりお）

研究ノート

トマス・ウルフの「虎の申し子」——作者の黒人観の変遷——……人34（4）149—155
アメリカ先住民とオリヴァ・ラファージ……人36（3）41—49
リンダ・ホーガンの『卑しい魂』——インディアン女性と共生——……人38（2）1—10
ダーシィ・マクニクルの『包囲されて』——混血インディアンの自己探求——……人39（1）15—25
オヒエサ（チャールズ・A・イーストマン），あるインディアン医師
——その略伝と著作活動——……人39（2）11—20
J. J. マシューズの『夕映え』——インディアン男性の成長物語——……人40（1）1—12
イエロー・バード（ジョン・ロリン・リッジ）
——チェロキー・インディアン作家誕生の背景と作品——……人40（2）1—12
ウィネマッカ『パイユート族の中で生きる—虐待と主張』
——ある先住民女性の生涯……・人41（2）1—9

翻　　訳

ブラック・ホーク自伝（一）（ブラック・ホーク）……人32（1）41—52
ブラック・ホーク自伝（二）（ブラック・ホーク）……人32（3）13—22

西　本　真　弓　（にしもと　まゆみ）

査読論文

地域データによる晩婚化・少子化の分析（共）……社46（2）19—39

西　脇　典　彦　（にしわき　のりひこ）

論　　文

The Importance of Being Earnest——「アーネスト」であること——……人26（3）29—35
Wilde の comedy に現れる「転落した女達」
——Mrs. Erlynne と Mrs. Arbuthnot——……・人29（2）9—15

二　塚　正　也　（にづか　まさや）

論　　文

ニッチ・マーケティングにおける市場調査・市場細分化調査について …… 社22（4）49―69
販売管理論再構築に関する一提言（完）
――マーケティング管理論批判より営業管理論構築へ―― …… 社25（1・2・3）47―78
R&D＝営業連綴活動に関する試論（その2）
――所謂，Linkage between R&D and Marketingの日本的理解―― …… 社27（1）49―65
R&D＝営業連綴活動に関する試論（その3）
――所謂，Linkage between R&D and Marketingの日本的理解―― …… 社27（2）1―28
R&D＝営業連綴活動に関する試論（その4）
――所謂，Linkage between R&D and Marketingの日本的理解―― …… 社27（4）27―53
「バブル」と“bubble” …… 社28（3）103―123
西欧におけるR&D活動と文化との関連年表（Ⅰ） …… 社28（4）117―148
R&D＝営業連綴活動に関する試論（その5）
――研究開発用語概念とその歴史及び連綴活動概念とその事例研究―― …… 社29（1）43―62
R&D＝営業連綴活動に関する試論（その6）
――R&D管理用語概念ならびに研究所用語概念とその史的考察―― …… 社29（2）15―31
「日本観光繊維産業」私論
――スコットランド型（Scottish type）「観光繊維産業」よりの示唆―― …… 社29（4）109―128

研究ノート

用語概念としてのmarketingの起源とその背景
――諸家の諸説概要紹介による―― …… 社23（1）55―69
販売管理論再構築に関する一提言（そのⅠ）
――マーケティング管理論との関連性において―― …… 社24（3）19―42
R&D＝営業連綴活動に関する試論（その1）
――所謂，Linkage between R&D and Marketingの日本的理解―― …… 社26（2）29―57

調 査 報 告

ダイク，ダムそして風車の旅（上）――西部オランダ地方を歩く――（共） …… 社27（3）71―85
ダイク，ダムそして風車の旅（下）――西部オランダ地方を歩く――（共） …… 社27（4）99―116

シンポジウム

「研究・開発（R&D）の創造性にかかわる座談会」記録（上）（共） …… 社27（3）87―99
「研究・開発（R&D）の創造性にかかわる座談会」記録（下）（共） …… 社27（4）135―152

〔ネ〕

根　岸　　紳　（ねぎし　しん）

論　　文

製造業2部門計量モデル――素材型と加工型―― …… 社21（3）51―75

根　本　則　明　（ねもと　のりあき）

論　　文

生活価値の実現行動の進化とそれに対応する企業の価値創造活動のための
生活工学の検討
――ガーデニングをめぐる主婦の行動調査を題材として―― …… 社35（1）31―43

〔ノ〕

野一色　　勲（のいしき　いさお）

論　　文

国際課税における知的財産権の使用地主義
——知的財産権の“使用”とは—— ……社33（4）243—257

そ の 他

気の研究——阪南大学共通演習からの報告—— ……人40（1）21—42

野 崎 哲 哉（のざき　てつや）

論　　文

今日の日本経済と金融再編——「日本版ビッグバン」の一考察—— ……社34（1）73—88

野 澤 正 徳（のざわ　まさのり）

論　　文

21世紀デジタルエコノミーの夜明け
——電子決済，電子商取引とサプライチェーン・マネジメント：
1999年7月—— ……社35（2）137—148

ユビキタス・ネットワーク社会——個人の自立と協働への道—— ……社39（2）47—62

無線ICタグとユビキタス・ネットワーク社会の展望 ……社40（2）31—47

能 登 征 夫（のと　ゆきお）

論　　文

13・14世紀のGreat Chartマナーにおける直営地耕作について ……社27（1）79—96

Ebonyマナーの穀物生産について（1286 ～ 1324年） ……人30（1）15—29

Monks Eleigh（Suff.）における14世紀の賦役労働と雇用労働 ……社37（3）45—60

Hadleighマナー（Suff.）における14世紀の穀物生産～収益性の分析～ ……社44（1）75—94

Middleton（Essex）における14世紀初頭の慣習保有農民（Custumarii）
——Extenta Manerii de Middeltoneの分析—— ……社47（2）115—142

Bocking（Essex）における14世紀初頭の慣習保有農民（Custumarii）
——Extenta Manerii de Bokkyng'の分析—— ……社48（2）85—121

野 間 正 二（のま　しょうじ）

論　　文

詐欺師・仮面・懐疑——H. Melville, *The Confidence-Man*研究—— ……14（1）111—125

野 村 雅 庸（のむら　まさのぶ）

論　　文

脱成人病食品、スベリヒユ ……人19（2）5—12

バイオテクノロジーの進展と危惧 ……人20（2）73—87

研究ノート

楊梅（ヤマモモ） ……人33（1）25—40

野　村　康　秀　（のむら　やすひで）
論　　文
「世界標準」ブームが問いかけるもの――日本の標準行政の教訓の検討―― …… 社33（3）61―75

〔ハ〕

Hershey Wier　（ハーシー　ワイヤ）
論　　文
Multicultural Education in the U. S. and Japan:
Needs, Challenges, and Recommendations …… 社45（2）73―79

PARSONS, Martin　（パーソンズ　マーティン）
査読論文
日本の小学校にCLIL学習法を導入するにあたって …… 人48（2）1―10
論　　文
Vowel Phonemes in Japanese and American English:
Similarities and Differences（共）…… 人41（2）17―27
Toward a Student's Curriculum:
Learner Perceptions of Studying EFL at University（共）…… 人44（1）21―33
Towards Understanding the Issues Concerning the Adoption of CLIL
Approaches to English Language Teaching and Learning
in Japanese Universities（共）…… 人49（2）65―80
An Introduction to Language Education in the Basque Autonomous Community
in Spain, including Content and Language Integrated Learning Approaches
to English …… 人50（2）99―120

伯　井　泰　彦　（はくい　やすひこ）
論　　文
東アジアにおける貨幣権力・ノミナリズム・通貨管理
――銭と鈔をめぐって―― …… 社31（4）55―67

硲　　正　夫　（はざま　まさお）
論　　文
価値尺度について …… 社16（3・4）43―48
特別号関連記事
西川清治教授の思い出 …… 社15（2・3）1―2

橋　本　　勲　（はしもと　いさお）
論　　文
Comparison of Experiments by Statistical Information Theory …… 人25（1・2・3）61―67
個人預金残高構造方程式について――1980年代のデータにもとづく――（共）…… 社25（4）1―6
株価データのパソコン解析における数理統計的考察 …… 社26（4）29―40
ポートフォリオ選択モデルのパソコンによる検証 …… 社28（1）1―19
多変量時系列変動要因モデルによる収益予測について …… 社29（1）93―108
単純な景気循環モデルのカオス性の考察について …… 社30（1）95―108

2段階最小自乗推定量のブートストラップ法 …… 社30（4）149―162
ゴールドフェルト・クオント検定による予備検定推定量の
　ブートストラップ分布 …… 社31（3）27―37
核関数による平滑化を用いた不均一分散の回帰モデルの推定 …… 社33（1）1―16
外生性を考慮した連立方程式モデルの推定について …… 社33（4）259―269
外生性検定におけるハウスマン検定量のブートストラップ分布 …… 社34（3）69―82

橋　本　英　司　（はしもと　えいじ）

論　　文

TOEICと大学英語教育――現状と今後の課題―― …… 人40（1）1―11
Native Speaker Criteria in CPH Research: Why Does It Matter ? …… 人48（1）11―25

橋　本　圭　司　（はしもと　けいじ）

論　　文

資本・熟練の補完性仮説について
　――わが国製造業における産業部門別データによる検証（1970―1985）―― …… 社23（3）47―54
On the Estimation of Engel Elasticities by the Lorenz Curve …… 社25（1・2・3）135―147
Earnings, Education and Experience: Japanese Manufacturing Case …… 社26（2）1―12
所得階層別教育関係費の所得弾力性 …… 社28（1）21―35
新規大卒労働市場のモデル分析――初任給と大卒労働需給―― …… 社32（4）101―115
教育の経済学の現状と課題について …… 社33（4）271―279
Kaldor法則と日本経済――近年の経済成長をめぐる予備的考察―― …… 社34（3）83―92
教育と経済成長：都道府県別データによる検証 …… 社37（3）1―12

橋　本　卓　爾　（はしもと　たくじ）

論　　文

都市問題と農業――都市と農村の融合に関する一試論―― …… 社18（3）31―47
日本の農地動態の特異性とその基本要因
　――農地の大量かつ絶え間無い減少の解明―― …… 人35（4）51―65

橋　本　寛　之　（はしもと　ひろゆき）

論　　文

子規と虚子――道灌山事件をめぐって―― …… 人16（3・4）67―85
高浜虚子『俳諧師』論 …… 人19（4）1―15
新海非風論 …… 人25（1・2・3）43―58
織田作之助『夫婦善哉』論 …… 人28（1）1―20
開高健『日本三文オペラ』――もう一つの物語―― …… 人30（3）1―20
宮本輝『泥の河』論――隠された記号―― …… 社35（2）1―17

橋　本　博　之　（はしもと　ひろゆき）

論　　文

国際通貨制度と国際収支調整 …… 9（1）1―15
国際経済の不安定性 …… 11（6）73―96
サプライ・サイド・エコノミックスについて …… 社・人17（4）23―26

長谷川　　清　（はせがわ　きよし）

論　　文

英語教育変革の視点 …… 人 27（1）15―27

長谷川　恵　洋　（はせがわ　しげひろ）

論　　文

Endocentric and Exocentric Structures …… 13（1）83―104
About Adam Smith's Dissertation on Language …… 人 15（2）1―8
English Rhythm …… 人 16（2）1―11
英語中舌母音の諸相（その 1） …… 人 22（1）1―7
英語中舌母音の諸相（その 2） …… 人 22（2）27―37
英語中舌母音の諸相（その 3） …… 人 22（3）1―13
ドイツの英語教科書に見られる
　コミューニカティブ・アプローチの実践（その 1） …… 人 28（4）1―17
阪神大震災と戦後民主主義（その 1） …… 人 31（1）1―5
ドイツの英語教科書に見られる
　コミューニカティブ・アプローチの実践（その 3） …… 人 31（3）1―12
〔ə〕and Contracted Forms:
　A Description of 〔ə〕in the Entire English Vowel System and
　about the Role of 〔ə〕for Making Contracted Forms Stable …… 人 34（4）61―67
英語第二公用語論をめぐって …… 人 36（3）115―125

研究ノート

"Sanskrit and the Establishment of Comparative Grammar" …… 12（6）113―126
学校英語か実用英語か（その 1） …… 人 22（3）55―63
学校英語か実用英語か（その 2） …… 人 22（4）49―61
学校英語か実用英語か（その 3） …… 人 23（1）69―80
学校英語か実用英語か（その 4） …… 人 27（3）67―82
ドイツの英語教科書に見られる
　コミューニカティブ・アプローチの実践（その 2） …… 人 29（3）69―89
ドイツの英語教科書に見られる
　コミューニカティブ・アプローチの実践（その 4） …… 人 33（3）43―57
国際語としての英語と我が国の英語教育のあり方
　――その現状と問題点―― …… 人 35（4）213―223
Binary Structure of English Preterit Subjunctive …… 人 41（1）39―47
英語の音素と音節とリズムについて
　――英語のヒアリングは何処に注意すれば良いのか …… 人 45（1）19―29

葉　谷　明　子　（はたに　あきこ）

論　　文

John Webster 研究小史（1）――同時代から 18 世紀まで―― …… 人 29（3）25―31
John Webster 研究小史（2）――19 世紀から現代まで―― …… 人 29（4）11―20

服　部　史　朗　（はっとり　しろう）

論　　文

情報システムの企画・開発とシステム監査 …… 社 27（4）73―89

情報システム開発におけるシステム分析の事例……社28（2）225―254
情報システム部門の役割の変化と要員の育成について……社29（2）123―134
システム監査の基本的考え方と進め方……社29（4）143―155
情報システム部門に求められる質的変化とその未来像……社30（4）177―189
情報システムの信頼性・安全性と職業倫理……社31（2）25―35
エンドユーザコンピューティングの進展と職業倫理……社31（4）167―178
中小企業の経営戦略と情報戦略……社32（1）69―80
情報システムの再構築と企業の経営戦略……社32（4）189―200
エンドユーザコンピューティングの進展と組織の経営戦略……社33（1）55―65
企業情報システム再構築の陥穽……社35（4）95―105

服　部　　正　（はっとり　ただし）

特別号関連記事

堂面秋芳と私――その36年――……社19（2）Ⅰ―Ⅷ

服　部　文　男　（はっとり　ふみお）

特別号関連記事

『経済学・哲学手稿』事始――津島陽子さんの思い出――……社18（4）1―4

服　部　泰　彦　（はっとり　やすひこ）

論　　文

日本型コーポレート・ガバナンスと株式持合い……社34（1）41―58

羽　石　寛　寿　（はねいし　かんじゅ）

論　　文

組織風土・個人属性・組織過程の診断研究
――組織における人的側面の診断方法について――……社30（4）43―55

馬　場　崇　豪　（ばば　たかひで）

論　　文

短距離疾走における下肢動作の回復期について……人39（1）1―9
アーチェリー競技のリリース前後における身体動揺と得点との
関係について（共）……人40（1）13―20
本学（阪南大学）アメリカンフットボール選手の疾走動作……人47（2）193―199

馬　場　雅　昭　（ばば　まさあき）

論　　文

生鮮食料品小売業について……社22（3）55―68
中小零細小売経営体の変化……社28（1）67―95
日本における中小零細小売業の存在様式……社28（2）205―223
交通労働の労働対象とその生産物（Ⅰ）……社31（1）61―70
交通労働の労働対象とその生産物（Ⅱ）……社31（2）5―15
交通労働の労働対象とその生産物（Ⅲ）……社31（3）71―86
交通労働の労働対象とその生産物（Ⅳ）……社32（1）43―56
交通労働の労働対象とその生産物（Ⅴ・完）……社32（2）37―50

交通生産の根拠――交通生産説論争によせて―― …… 社33（1）29―41
交通生産説論争における二つの潮流 …… 社33（2）23―40
貨幣費用について――純粋流通費用の研究―― …… 人33（4）11―20
貨幣費用論争――純粋流通費用の研究―― …… 社33（4）131―148
日本における小売商店数の減少について（Ⅰ） …… 社35（4）29―44
日本における小売商店数の減少について（Ⅱ） …… 社36（1）43―62
小売業の盛衰と国家の流通政策（Ⅰ） …… 社39（1）19―28
小売業の盛衰と国家の流通政策（Ⅱ） …… 社39（2）1―24
生産的労働についての一考察 …… 社46（1）61―76
生産的労働論争批判（Ⅰ） …… 社46（2）113―137
生産的労働論争批判（Ⅱ） …… 社47（1）73―94

研究ノート

小売商店数の減少と小売業の構造変化 …… 社26（1）101―130
小売業を取りまく環境変化――食料品小売業を中心として―― …… 社27（2）73―91
資本の流通時間と売買費用 …… 社34（2）61―74
日本における小売商店数の減少・補論 …… 社38（1）35―54
日本における中小小売業の変化（Ⅱ） …… 社40（1）47―57
中小零細小売商業の性格規定（Ⅱ） …… 社42（1）33―44
零細小売業の衰退 …… 社44（1）107―122

資　　料

商品購入先別1世帯当たり1か月間の支出額 …… 社38（2）27―30

林　　克　樹　（はやし　かつき）

論　　文

H・シュミッツにおける「様相時間（Modalzeit）」の概念 …… 人28（4）101―107

林　野　滋　樹　（はやしの　しげき）

論　　文

英文法における五文型について …… 12（3）15―34
言語活動と文法形式の相互作用
――その一例としての，英文における‘Non-volitional Subject’について―― …… 人16（3・4）31―36
英文法教育の方法 …… 人24（1）85―101
英語教育における〈正しい労働観〉の重要性 …… 人25（1・2・3）79―97
AET問題への一考察 …… 人26（1）1―15
AET体制への批判的考察 …… 人26（4）27―40
AET制度と思想支配 …… 人27（2）69―84
日本人英語教師とAETとのTeam Teachingについて …… 人27（4）31―50
日本人英語教師とAETとのTeam Teachingについて――その二―― …… 人28（1）79―92
日本人英語教師とAETとのTeam Teachingについて――その三―― …… 人28（2）91―115
ゲーテと自由 …… 人28（3）71―97
TVAの研究 …… 人28（4）81―100
英文法教育の方法――日本文との対比における英文の特徴―― …… 人30（3）203―231

研究ノート

「和英辞典」のひとつのあり方について …… 人20（1）77―90

英語科における平和教育 …… 人20（3）95―108
英語科における平和教育（その二） …… 人20（4）111―140
英語科における平和教育（その三） …… 人21（1）51―72
英語科における平和教育（その四） …… 人21（3）95―108
英語科における平和教育（その五） …… 人21（4）111―140
英語科における平和教育（その六） …… 人22（1）45―62
英語科における平和教育（その七） …… 人22（3）41―54
英語科における平和教育（その八） …… 人22（4）63―80
英語科における平和教育（その九） …… 人23（2）33―47
英語科における平和教育（その十） …… 人23（4）31―46
TVA――戦争と平和にかかわって―― …… 人29（2）29―44
TVA（その二）――戦争と平和にかかわって―― …… 人29（3）107―124

羽　山　通　子　（はやま　みちこ）

論　　文

フォスケットの分類論 …… 2（1・2）111―122

資　　料

W. C. B. セイヤーズ著「図書分類法入門」…… 1　40―61

書　　評

仙田正雄教授古稀記念図書館資料論集
――横井時重、加藤宗厚両教授の論文について―― …… 3（1・2）225―234

速　水　　敏　（はやみ　さとし）

研究ノート

マーシャルの第一編 …… 11（6）135―140

特別号関連記事

阪南大学と私の「経済学」…… 社・人17（4）Ⅲ―Ⅳ

伴　　和　夫　（ばん　かずお）

論　　文

‘I Have a Dream’の「5大語法」の探求譜
――大学英語教育のドラマ化をめざして―― …… 人27（1）29―46

〔ヒ〕

樋　口　　武　（ひぐち　たけし）

論　　文

通貨圏理論の発展とEMU（欧州通貨同盟） …… 社15（2・3）119―131
個人預金残高構造方程式について――1980年代のデータにもとづく――（共） …… 社25（4）1―6
「金融オプション」について …… 社31（4）81―100
オプション・プライシング理論について …… 社32（4）57―70
金融先物について――フォワードとフューチャー―― …… 社35（2）205―221

特別号関連記事

鈴木稔教授退任記念号によせて …… 社20（2）
安部栄造教授退任記念号によせて …… 社21（3）

山名伸作教授退任記念号の発刊によせて …… 社32（4）3

肥　田　友　宏　（ひだ　ともひろ）

論　　文

怒りの悲劇 …… 人37（3）9―12

日　夏　　隆　（ひなつ　たかし）

論　　文

Lorca: *Poet in New York* …… 人33（3）13―31

平　尾　武　久　（ひらお　たけひさ）

書　　評

長谷川治清・渡辺峻・安井恒則編
『ニューテクノロジーと企業労働』（大月書店，1991年，294ページ）…… 社29（1）165―179

平　野　喜一郎　（ひらの　きいちろう）

論　　文

映画の弁証法 …… 人32（4）13―28

平　原　豊　弘　（ひらはら　とよひろ）

資　　料

大学生の体力からみた健康問題 …… 社・人17（4）159―181

平　山　　弘　（ひらやま　ひろし）

査読論文

ファッションの持つ意味についての一考察
――マーケティング研究対象として取り上げるために―― …… 社44（2）1―23

論　　文

ザ・リッツ・カールトンにおける経験価値マーケティング …… 社40（1）17―34
欧州ラグジュアリー・ブランドのマーケティング戦略
――ルイ・ヴィトンを中心に―― …… 社41（2）1―13
経験価値アプローチとブランド価値の本質 …… 社42（2）1―19
コーパスを利用したビジネス用語へのアプローチ（共）…… 社44（1）51―61
グローバルニッチ戦略の適用可能性～白鳳堂の事例から考える～ …… 社45（1）69―89
香水の持つブランド価値についての一考察
――本体のブランドを超える価値とは何か―― …… 社47（2）61―75
非常事態に関わる用語の研究 …… 社49（1）55―66
顧客志向マーケティングがもたらすもの
――アダストリアホールディングスとユナイテッドアローズの
有価証券報告書分析を通して――（共）…… 社50（2）39―65
非常事態によるブランド価値基盤の転換に関わる研究 …… 社50（2）123―138

研究ノート

The Present Situation and Problems of the Program to Train Entrepreneurs;
Mainly in the Hannan University, Kigyou-jyuku（共）…… 社41（1）17―24
ブランド価値の創造――リーガロイヤルホテルの事例を中心に―― …… 社43（2）115―132

廣　野　由美子　（ひろの　ゆみこ）

論　　文

Jane Eyre における主観性と法則性 …… 人 27（3）25―33
Wuthering Heights の構造 …… 人 28（4）117―127
19 世紀イギリスの小説技法理論 …… 人 29（1）61―79

研究ノート

Wuthering Heights 年代記 …… 人 28（1）93―104

〔フ〕

深　井　耀　子　（ふかい　ようこ）

論　　文

婦人関連資料センターの資料構成 …… 人 17（2・3）57―74
カナダにおけるインディアンへの公立図書館サービス …… 人 19（4）1―15

研究ノート

エスニック・コミュニティへの公共図書館サービス
――カナダのガイドラインの解説と紹介―― …… 人 20（4）141―154
カナダ・オンタリオ州・1966 年公立図書館法について …… 人 21（3）109―127
公立図書館における多言語資料サービス
――トロント市立図書館・1957 年～ 1987 年―― …… 人 23（1）121―134
カナダ国立図書館・多言語資料サービス部の発足と展開 …… 人 24（3）47―63
ユダヤ人公共図書館（モントリオール）の蔵書構成 …… 人 26（1）31―47

調 査 報 告

スウェーデンにおける移民・難民への公立図書館サービス
――「平等・選択の自由・協同」の外国人・少数民族政策のもとに―― …… 人 26（4）41―51

資　　料

現代学生の読書――Library Survey としての読書調査―― …… 人 15（1）7―20
現代学生の読書――『新潮文庫の 100 冊』への反応をめぐって――（共） …… 人 16（1）63―75
カナダ図書館協会の公立図書館基準 …… 人 21（1）43―50
北欧における外国人移住労働者への公立図書館サービス
――オスロ市立ダイキマン図書館を訪問して―― …… 人 21（4）91―109
カナダにおける公立図書館統計
――カナダ連邦政府統計・1979 ～ 1981 の紹介を中心に―― …… 人 22（2）89―104
カナダ図書館協会（英語系）の多文化サービス・ガイドラインについて …… 人 26（2）19―26

特別号関連記事

津島さんと私 …… 社 18（4）9
未刊の阪南叢書『革命の文学・文学の革命』に寄せて …… 人 30（3）26―27

深　沢　和　子　（ふかさわ　かずこ）

論　　文

イギリスにおける 1908 年老齢年金法の成立と労働運動（その一） …… 社・人 17（4）39―50
イギリスにおける公共住宅供給政策の生成
――1890 年労働者階級住宅法の成立まで―― …… 社 18（4）85―100
19 世紀末イギリスにおける住宅問題をめぐる労働者の見解について …… 社 19（2）81―91
イギリスにおける 1908 年老齢年金法の成立と労働運動（その二） …… 社 20（4）1―13

友愛組合と1908年無拠出老齢年金法 …… 社24（4）1―9
The Background of British Working-class Acceptance of
State Old Age Pensions …… 社25（1・2・3）279―296
労働力の女性化とソーシャル・ポリシーの変容に関する研究（その1）…… 社29（2）109―121
19世紀末におけるC. O. S. と国家扶助（State-aided）老齢年金問題：
C. O. S. の国家扶助＝「国民総救民化」批判の論拠 …… 人30（3）133―145
歴史の中の主婦労働
――イギリスにおける母親手当要求のジェンダー分析（1）―― …… 人32（4）151―160

研究ノート

T. U. C. の住宅政策――1909年住宅・都市計画法まで―― …… 社21（1）127―140
両大戦間期におけるT. U. C. の住宅政策 …… 社22（4）167―176

資　料

イギリス大西部鉄道の共済制度――規約とその特質―― …… 社22（2）33―49
イギリス大中部鉄道会社の老齢退職手当の創設をめぐって …… 社23（1）81―92
女性とホームレス：顕在化しにくい問題 …… 社27（4）127―134

福　井　信　行　（ふくい　のぶゆき）

論　文

マーク・トゥエインとアメリカのほら話――習作期トゥエイン研究―― …… 13（5）37―57

福　尾　洋　一　（ふくお　よういち）

論　文

凸拡張関数の連続性 …… 社21（3）25―38

福　重　八　恵　（ふくしげ　やえ）

論　文

産学協同大学発ベンチャーにより開発された教育支援システムの
医療分野への適用の試み …… 社44（1）63―73

福　島　利　夫　（ふくしま　としお）

論　文

日本型パートタイム労働の特質 …… 社35（2）63―75

福　冨　正　実　（ふくとみ　まさみ）

論　文

林直道氏＝不破哲三氏の理論とわたしの立場
――アジア的生産様式は原始共同体の別名であると
認められるか？―― …… 社15（2・3）53―100
「農業＝先進国型産業論」批判
――マルクス主義農業理論の内部批判と関連して――（共）…… 社18（3）81―103
《むらの再生》と社会主義――甦るエンゲルス―― …… 社18（4）101―134
宇野弘蔵氏の取得様式論抜きの経済学原理論と《社会主義》学説
――現代社会主義論争の展開と宇野経済学の自己破綻について（1）―― …… 社19（3）113―137
取得様式論抜きの宇野学派的《マルクス批判》と《エンゲルス批判》の妄想
――現代社会主義論争の展開と宇野経済学の自己破綻について（2）―― …… 社19（4）67―104

随　　想

日本語版『共産党宣言』とわたしの学問――マルクス没後100年を記念して―― …… 人18（4）65―75

研究ノート

マルクス地代論の形成および展開とリービヒ評価
――マルクスの「近代的農業」論と「社会の生産力」概念（1）―― …… 社16（1）75―88
中世社会史研究と歴史方法論
――A. Я. グレヴィチの中世民衆文化史研究と関連して―― …… 人21（1）73―86

資　　料

原始共同体的体制から封建制度への東スラヴ人たちの直接的移行の
諸原因の問題によせて（Ⅰ）（И. В. ソージン） …… 6　47―65
原始共同体的体制から封建制度への東スラヴ人たちの直接的移行の
諸原因の問題によせて（Ⅱ）（И. В. ソージン） …… 7　61―74
前階級的社会の階級社会への転化の問題にかんするシンポジウム
（А. И. パヴロフスカヤ） …… 8　55―76
古代東洋における初期階級社会の成立（B. M. マッソン） …… 9（1）41―69
「奴隷制」概念と「封建制」概念について（Ю. В. カチァノフスキー） …… 9（2）57―83
ソビエト民族学によって解明された家族と婚姻の初期の諸形態
（А. И. ペルシッツ） …… 9（3）31―47
氏族種族制的体制から初期封建体制への過渡的発展段階としての前封建時代
（初期中世西ヨーロッパ史の資料にもとづいて）（А. И. ネウスィヒン） …… 9（4）69―99
マルクス主義とマウラーのマルク論（А. И. ダニーロフ） …… 10（6）103―121
共産主義者同盟――1847―1852年――（Д. リヤザノフ） …… 13（2）79―108
「小荘園領主」概念の提起におけるネウスィヒンとダニーロフ …… 13（6）141―183
A. Я. グレヴィチの「中世文化の諸カテゴリー」論〔Ⅰ〕 …… 人20（1）59―75
A. Я. グレヴィチの「中世文化の諸カテゴリー論」〔Ⅱ〕 …… 人20（2）105―115
A. Я. グレヴィチの「中世文化の諸カテゴリー論」〔Ⅲ〕 …… 人20（3）43―62
中世文化と時間概念
――A. Я. グレヴィチの著書『中世文化の諸カテゴリー』における
「中世人の時間意識」論の紹介〔Ⅰ〕―― …… 社20（4）103―120
A. Я. グレヴィチの「中世文化の諸カテゴリー」論〔Ⅳ〕 …… 人20（4）33―53
中世文化と時間概念（Ⅱ）
――A. Я. グレヴィチの著書『中世文化の諸カテゴリー』における
「中世人の時間意識」論の紹介〔Ⅱ〕―― …… 社21（1）95―107
中世文化と時間概念
――A. Я. グレヴィチの著書『中世文化の諸カテゴリー』における
「中世人の時間意識」論の紹介〔Ⅲ〕―― …… 社21（2）95―112
中世ラテン語文学と民衆文化〔Ⅰ〕
――A. Я. グレヴィチの著書『中世民衆文化の諸問題』より―― …… 人21（3）77―94
中世ラテン語文学と民衆文化〔Ⅱ〕
――A. Я. グレヴィチの著書『中世民衆文化の諸問題』より―― …… 人21（4）73―90
中世ラテン語文学と民衆文化〔Ⅲ〕
――A. Я. グレヴィチの著書『中世民衆文化の諸問題』より―― …… 人22（1）77―97

福　山　　昭　（ふくやま　あきら）

論　　文

元禄期淀川低地の水利事情 …… 社16（3・4）1―10

藤　井　勝　也　（ふじい　かつや）

論　　文

地方行政の効率化と協力方式
――とくに「阪神広域市」構想を中心として―― …… 社15（2・3）31―52
公共財の提供と宅地開発指導要綱――受益者負担の理論の検討を通して―― …… 社19（2）93―104
経費決定要因の研究――概念的・理論的側面を中心にして―― …… 社21（3）129―143

研究ノート

有価証券の譲渡益課税についての税制改革（共） …… 社24（3）43―50

藤　井　幸之助　（ふじい　こうのすけ）

翻　　訳

中国朝鮮族当代文学概観（趙　成日） …… 人29（3）125―140

目　　録

日本語母語話者のための朝鮮語学習用教材・関連図書目録 …… 人29（1）131―150

藤　井　政　則　（ふじい　まさのり）

論　　文

着地分析――体操競技に於ける跳馬運動を中心として―― …… 13（2）47―56
身体文化について（1）――Walter Siegerを中心として―― …… 人17（1）1―13
Körperübungenにみるスターリン言語観の影響（上） …… 人19（4）17―29
Körperübungenにみるスターリン言語観の影響（下） …… 人22（4）33―48
スポーツと経済（上）――「スポーツの経済学」の対象と方法―― …… 人28（1）11―22
旧DDRスポーツの崩壊の意味を探る …… 人32（3）39―48
ドイツにおける「スポーツ経済学」講座の諸問題 …… 人32（4）161―171
旧東ドイツのスポーツとシュタージ …… 人33（4）43―54
「イズムとしてのフェアプレイ」序論 …… 人34（4）109―118

研究ノート

Eine Unterströmung in der japanischen Sporttheorie …… 人49（1）93―103

資　　料

ドイツトゥルネン活動におけるヤーン像の変遷（1）（W. シュレーダー） …… 14（1）127―151
ドイツトゥルネン活動におけるヤーン像の変遷（2）（W. シュレーダー） …… 14（3）53―77
ドイツトゥルネン活動におけるヤーン像の変遷（3）（W. シュレーダー） …… 人15（1）21―36
ドイツトゥルネン活動におけるヤーン像の変遷（4）（W. シュレーダー） …… 人18（3）25―39

翻　　訳

カール・マルクスと労働者階級の身体文化（1）（G. エルシュレーゲル） …… 人20（4）55―61
カール・マルクスと労働者階級の身体文化（2）（G. エルシュレーゲル） …… 人21（2）57―63
ヘルムート・プレスナーの人間学とスポーツ哲学（フォルカー・シュールマン） …… 人48（2）123―135
人権の尺度としての尊厳――位相論の提起――
（フォルカー・シュールマン）（共） …… 人50（2）137―156

藤　野　寛　之　（ふじの　ひろゆき）

査読論文

イギリス議会における「美術と製造業に関する特別委員会」（1835―1836年）
――証言と勧告，および「大博覧会」への効果―― …… 人46（2）1―12

論　　文

アメリカにおける児童図書の情報提供：その変遷と社会的背景 …… 人47（1）9―17
ブリティッシュ・ライブラリー創設の背景
――20世紀におけるイギリス国立図書館の変遷と機能の再検討―― …… 人48（1）1―10
イギリス児童ファンタジー文学の黄金時代――その作家・作品と時代背景―― …… 人49（2）1―12
オックスフォード大学図書館の再建者：
トーマス・ボドリーとトーマス・ジェームズ
――イギリス図書館思想の研究―― …… 人50（2）1―10

船　勢　　肇　（ふなせ　はじめ）

査読論文

蠟山政道における自発的秩序と大学自治論
――大学行政・大学教育の原理を求めて―― …… 人49（1）1―18

論　　文

幼児教育者・倉橋惣三と児童虐待防止法
――その相対的位置について―― …… 人50（1）19―26

〔へ〕

逸　見　　啓　（へんみ　あきら）

書　　評

笹川儀三郎・石田和夫編『現代企業のホワイトカラー労働』
（上・下）1984年大月書店 …… 社20（3）91―98

特別号関連記事

永谷秀雄教授退任記念号の発行によせて …… 人34（4）3
鶴谷　賢教授退任記念号の発行によせて …… 社35（1）3
故 木下　滋教授追悼号の発行によせて …… 社35（2）3

〔ホ〕

細　井　克　彦　（ほそい　かつひこ）

論　　文

現代高等教育論の検討――大学改革の課題把握に関連して―― …… 社25（4）1―24
大学審議会と大学改革――大学改革の現段階認識と関わって―― …… 社26（4）17―28
現代社会の構造変化と大学 …… 社28（2）255―270
カリキュラム改革にみる大学一般教育観について …… 社28（3）167―175
大学改革政策の特質 …… 社30（2）49―56

研究ノート

大学審議会法の成立過程における法的問題 …… 社23（4）73―86

翻　　訳

アメリカの大学における一般教育の挑戦（Richard I. Miller） …… 人29（4）59―70

細　川　裕　史　（ほそかわ　ひろふみ）
論　　文
ドイツ語圏における政治的カトリック系新聞の誕生と発展 …… 人50（2）11―20

Bonar, Martin Burnet　（ボナー　マーティン　バーネット）
論　　文
The Meaning of Culture …… 人33（2）1―14
Motivation and Language Learning Achievement:
A Questionnaire …… 人34（1）9―18
How Deep Is My Grammar …… 人36（1）1―14
Second Language Acquisition and General Intelligence …… 人41（1）1―17
Extreme Vocabulary Teaching: The Plan That Failed …… 人48（2）19―37

堀　池　保　昭　（ほりいけ　やすあき）
論　　文
コーパスを利用したビジネス用語へのアプローチ（共） …… 社44（1）51―61

堀　江　珠　喜　（ほりえ　たまき）
論　　文
オスカー・ワイルドの『スフィンクス』――翻訳と詩の構成―― …… 人16（3・4）73―87
オスカー・ワイルドとロンドン …… 人18（1）29―43
オスカー・ワイルドとロンドン（Ⅱ） …… 人19（1）9―17

堀　川　紀　年　（ほりかわ　きねん）
特別号関連記事
森井淳吉教授退任記念号の発行によせて …… 人35（4）3
故 渡辺　昇教授追悼号の発行によせて …… 人36（3）3

洪　　詩　鴻　（ほん　しほん）
論　　文
台湾「アジア太平洋地域運営センター（APROC）」計画と産業空洞化
――投資・貿易統計の検証を中心に―― …… 社32（4）161―171
香港返還後の中国両岸三地の連動性について …… 社33（2）41―49
そ　の　他
資本論の方法と中国の改革開放（共） …… 社45（1）201―210

〔マ〕

前　田　　弘　（まえだ　ひろし）
論　　文
連携型観光の創出とその機能
――転換期におけるリゾートづくりの動向を中心に―― …… 人33（2）33―42
オーストラリア人の「日本観」
――ホストファミリーへのアンケート調査に基づいて――（共） …… 社35（4）55―65

調 査 報 告

エコミュージアムの実践と意味――フランスの事例に基づいて―― …… 人 34 (1) 63―69

前　野　冨士生　（まえの　ふじお）

論　　文

寡占企業と過剰能力 …… 6　39―63
不完全競争におけるエントリーの脅威
　――R. F. Harrod and G. Pyatt を中心に―― …… 9 (6) 27―50
エントリーと最適価格政策 …… 11 (6) 97―114
参入阻止価格についての一考察 …… 12 (1) 17―30
最適価格，生産物，在庫と不確実性 …… 14 (2) 21―44
不完全競争と不確実性 …… 社 15 (1) 1―5
企業成長と効用関数 …… 社 16 (1) 35―42
企業の規模と成長について …… 社 17 (1) 17―26
寡占価格論――反応係数について―― …… 社 20 (2) 107―121
比較静学に関する一研究――均衡値の変動―― …… 社 21 (3) 167―180
囚人のジレンマ解と慣習 …… 社 28 (2) 119―130
繰り返しゲームにおけるサブゲーム完全トリガー戦略均衡と
　割引パラメーターの決定 …… 社 31 (4) 147―155
2 人協力ゲームの解について …… 社 32 (4) 83―92
時間にわたる交渉について …… 社 33 (4) 281―292

研究ノート

企業行動と過剰能力 …… 9 (1) 17―39
経済循環と均衡成長――Smithies モデルによせて―― …… 10 (6) 53―67
進化ゲームと社会制度に関するノート …… 社 46 (2) 185―192

特別号関連記事

悼辞 …… 社 28 (2)
野村雅庸教授退任記念号によせて …… 人 28 (4)

前　山　　隆　（まえやま　たかし）

論　　文

“Pretos Velhos (Old Blacks) are Our Salvation”:
　Afro-Brazilian Religions and The Japanese in Brazil …… 人 35 (4) 99―115
同伴移民，妻移民，子供移民――ブラジル日系女性移住体験を中心に―― …… 人 36 (3) 1―14
人間，この選択操作するもの
　――社会人類学におけるネットワーク・アプローチ (1950, 60 年代) …… 人 37 (3) 1―17

牧　野　広　義　（まきの　ひろよし）

査 読 論 文

ヘーゲル論理学における主体の概念 …… 人 44 (2) 1―13

論　　文

環境倫理学と民主主義――加藤尚武氏の環境倫理学の検討―― …… 人 32 (4) 79―88
人間的価値と人権思想 …… 人 33 (3) 1―12
消極的自由と積極的自由について …… 人 34 (4) 89―97
自由・平等とケイパビリティ――アマルティア・センの倫理思想―― …… 人 42 (1) 1―15

ヘーゲル論理学講義1831年における「主体」と「自由」……社45（3）357―368
ヘーゲルにおける論理学・形而上学・方法論……人47（2）5―16
Subjekt, Widerspruch und Freiheit in Hegels Logik……人49（1）39―46
ヘーゲル論理学における必然性と自由……人50（1）1―18
ヘーゲルにおける意志の自由と社会的自由……人50（2）65―79
研究ノート
ヘーゲル法哲学講義録1819/20年について……人38（1）1―8
翻　訳
人権と「グローバルな法」（Georg Lohmann）……社40（2）113―118
ヘーゲルの自由概念（ヴァルター・イェシュケ）……人41（2）29―40
ヘーゲルにおける「人倫」と「憲法体制」
（エリザベート・ヴァイサー＝ローマン）……人43（1）29―37
講義録の中に見るヘーゲル論理学（アンネッテ・ゼル）……社48（1）67―76
生きた論理学
――ヘーゲル論理学における生命概念の意義――（アンネッテ・ゼル）……人48（1）27―36
人権の尺度としての尊厳――位相論の提起――
（フォルカー・シュールマン）（共）……人50（2）137―156

増　田　　優（ますだ　まさる）
論　文
技術革新と21世紀への挑戦――明治以来の歴史を超えて――……社29（4）11―36

町　田　　茂（まちだ　しげる）
論　文
物質と量子力学……人32（4）7―11

松　井　清　充（まつい　きよみつ）
論　文
中小企業の未来と大学……社45（3）119―132

松　尾　力　雄（まつお　りきを）
論　文
W. S. Maughamの二つの要素……4（1・2）1―23
詩人D. H. Lawrenceの研究（Ⅰ）……5（1・2）59―100
詩人D. H. Lawrenceの研究（Ⅱ）……6　65―105
The Three More Elements to the Picaresque Novel……7　1―32
A Study on William Blake――Insane or not ?――……10（2）81―94
A Study on William Blake――The Essence of the Songs of Innocence――……10（5）63―89
A Study on William Blake――The Essence of the Songs of Experience――……11（3）113―151
A Study on William Blake
――The Essence of the Marriage of Heaven and Hell――……11（4）1―55
A Study on William Blake――The Essence of the Mental Traveller――……12（6）1―20
18世紀におけるロンドンの市民生活（序）……人15（2）9―21
ローレンス・スターン研究……人15（3・4）13―24
ローレンス・スターン研究〔序〕――自由について――……人19（3）15―21

ローレンス・スターン研究――スターンの『死観』―― …… 人19（4）31―40
ローレンス・スターン研究――18世紀の文学的環境（Ⅰ）―― …… 人20（1）35―45
ローレンス・スターン研究――ウォールター・シャンディーの世界―― …… 人21（1）1―17
ローレンス・スターン研究――トウビー・シャンディーの世界―― …… 人21（4）1―17
ローレンス・スターン研究
――トリストラム・シャンディーとローレンス・スターンの同一性―― …… 人22（4）1―14
ローレンス・スターン研究――18世紀の文学的環境（Ⅱ）―― …… 人23（1）21―46
ローレンス・スターン研究――18世紀の文学的環境（Ⅲ）―― …… 人24（2）1―29
ローレンス・スターン研究――『脱線』の意味について―― …… 人24（3）1―34
ロバート・フロスト研究 …… 人25（1・2・3）37―52
古代ギリシァ悲劇について――プラトンとアリストテレス―― …… 人26（2）1―7
アリストテレスと観阿弥の『演劇論』について――『詩論』と『風姿花傳』―― …… 人26（4）1―6
アリストテレスとワーズワース――『詩観』について―― …… 人27（1）59―66
アリストテレスの『詩論』研究
――シェイクスピアの四大悲劇に見られる‘hamartia’について―― …… 人27（4）1―18
アリストテレス研究――音楽に於ける『模倣行為』について―― …… 人28（3）41―50
アリストテレスの『詩論』研究――笑いについて―― …… 人28（4）19―39
アリストテレスの『詩論』研究――『ハムレット』について―― …… 人30（3）179―195
アリストテレスの『詩論』研究――『狂言』について―― …… 人31（2）1―14
アリストテレスの『詩論』研究――狂言に於ける「審美的空間」について―― …… 人32（1）49―58
アリストテレスの『詩論』研究
――狂言に於ける「発見，認知」と「事態の急変」―― …… 人32（4）95―102
アリストテレスの「詩論」研究
――プラトンとアリストテレスの「演劇論」について―― …… 人34（3）55―66
アリストテレスの『詩論』研究――悲劇のプロット論―― …… 人34（4）49―60

資　　料

M. Dorothy George, *London Life in the Eighteenth Century*
（First published 1925）. pp. 457, Peregrine Books, 1966. …… 9（5）165―173

翻　　訳

『ウォールデンでの発見』（ローランド・ウエルズ・ロビンズ） …… 人17（1）51―93
『セルの書』（ウィリアム・ブレイク） …… 人17（1）95―103
『ティアリエル』（ウィリアム・ブレイク） …… 人18（1）45―63
『天国と地獄の結婚』（ウィリアム・ブレイク） …… 人19（1）19―44
『心の旅人』（ウィリアム・ブレイク） …… 人20（3）63―69

松　岡　俊　三　（まつおか　しゅんぞう）

論　　文

アイドル・コストの一考察 …… 14（2）75―102
アイドル・コストの期間原価性 …… 社15（4）75―89
対応概念の再考 …… 社18（2）13―31
製品ライフ・サイクルと価格政策 …… 社20（3）29―47
経営原価の発生と責任会計 …… 社21（4）45―61
組織の発生原価と管理可能性 …… 社23（1）1―14
直接原価計算における原価配賦問題 …… 社24（2）19―38
企業戦略と研究開発管理の若干の考察 …… 社28（4）97―115

研究開発活動の会計的管理 …… 社29（4）95―107
変革を求められる企業の研究開発管理 …… 社33（4）149―161
豪州における日本企業の会計実状 …… 社36（2・3）37―49
研究開発の戦略的マネジメント …… 社37（4）53―65
研究ノート
システム監査――会計的側面からの一考察―― …… 社26（1）73―85

松　岡　　弘　（まつおか　ひろし）

論　　文

肥満児とやせ児の心身医学的研究（第1報）――小学生について――（共） …… 人20（1）1―10

松　掛　　暢　（まつかけ　とおる）

論　　文

中国による自国衛星の破壊と宇宙条約 …… 社43（2）59―82

研究ノート

宇宙基本法と日本の宇宙開発利用――宇宙条約の視点とともに―― …… 社45（1）115―129
宇宙空間の境界画定問題における最近の動向 …… 社50（2）161―176

松　口　春　美　（まつぐち　はるみ）

論　　文

Kerygma Jesu und die Religiöse Situation in Japan（1）
――Ein Versuch nach Möglichkeit der Begegnung des
Grundkerygmas Jesu mit dem Zen-Buddhismus―― …… 5（1・2）137―150
Kerygma Jesu und die Religiöse Situation in Japan（2）
――Ein Versuch nach Möglichkeit der Begegnung des
Grundkerygmas Jesu mit dem Zen-Buddhismus―― …… 6　127―146
N. ベルジャーエフと「新しい宗教意識」
――ベルジャーエフのクレド―― …… 社17（3）65―74

松　田　　清　（まつだ　きよし）

論　　文

ライヒスバンクの信用構造について――金融資本成立期を中心に―― …… 社15（1）25―41
「資本不足」と資本輸出（上）――1908年Bankenqueteの一論点―― …… 社16（3・4）65―76
マルクスの「貨幣取扱資本」論について
――信用論と「貨幣取扱資本」範疇―― …… 社18（3）105―127
宇野派の「貨幣取扱資本」否認説について …… 社18（4）135―158
マルクスの「価値尺度」論について
――宇野弘蔵氏のマルクス批判を手掛りに―― …… 社20（3）49―60
通説的価値尺度論の問題点について
――久留間鮫造・三宅義夫両氏の所説の検討―― …… 社20（4）75―91
「貨幣は必ず金でなければならない」か？
――マルクス「価値尺度」論の一解釈によせて―― …… 社21（4）63―75
「紙幣減価」論の問題点について …… 社22（4）71―85
ふたたび通説的価値尺度論の問題点について
――三宅義夫教授への反論―― …… 社23（2）75―100

「紙幣減価」論の問題点・再論
——久留間健氏の「紙幣減価」論によせて—— …… 社25（1・2・3）243—254
メンガー・ルネッサンス？——または，貨幣本質論復活の兆について—— …… 社28（4）61—79
特別号関連記事
柏尾昌哉教授退任記念号によせて …… 社27（1）
林野滋樹教授退任記念号によせて …… 人27（1）
熊野實夫教授退任記念号の発刊によせて …… 社28（3）
故稲田菊太郎教授追悼号の発刊によせて …… 人28（3）
橘博教授退任記念号の発刊によせて …… 社28（4）
小野一一郎教授退任記念号の発刊によせて …… 社31（4）1

松　宮　秀　治　（まつみや　しゅうじ）
論　　文
見る指をもって触る——「性の政治学」「性の経済学」批判—— …… 社28（4）11—33
『米欧回覧実記』研究史におけるひとつの問題点
——なぜ「プロイセン問題」がひとつのテーマとなったか—— …… 社29（4）63—79

松　本　伊瑳子　（まつもと　いさこ）
論　　文
翻訳するということ——あるいは、Amour Autre，愛の体験—— …… 人30（3）29—41

松　本　健　二　（まつもと　けんじ）
論　　文
セサル・バリェホに関する批評の考証 …… 人31（2）31—38
ホセ・マリーア・エグレンの詩に見られるヨーロッパ象徴主義との異質性 …… 人31（3）35—45

松　本　俊　哉　（まつもと　としや）
論　　文
米国オープンスカイ政策と国際提携間競争 …… 社40（2）67—81

松　本　典　昭　（まつもと　のりあき）
論　　文
サント・ステファノ騎士団の創立 …… 人34（4）69—79
サント・ステファノ騎士団の船舶 …… 人35（1）19—29
サント・ステファノ騎士団とレパント海戦 …… 人35（2）21—32
研究ノート
ポルトフェッライオの建都 …… 人35（3）39—54
サント・ステファノ騎士団のルッカ人騎士 …… 人36（4）47—53
パラッツォ・ヴェッキオの歴史 …… 人37（4）63—73
翻　　訳
メディチ家の彫玉コレクション（マリアリータ・カザローザ・グァダーニ） …… 人44（2）73—91
コジモ１世とフランチェスコ１世時代のメディチ・コレクション
（アンナ・マリア・マッシネッリ） …… 人45（1）31—40

丸　瀬　康　裕　（まるせ　やすひろ）
論　　文
BAUDELAIREにおける散文詩の問題
——散文詩 *L'Invitation au Voyage* を通して—— ……14（5）207—239

〔ミ〕

水　野　　学　（みずの　まなぶ）
論　　文
ユーザーイノベーションの可能性 ……社45（3）235—245
製品開発に果たすユーザーイノベーションの役割
——顧客の声とリード・ユーザー—— ……社47（1）95—106
ユーザー／オープン・イノベーション論
——外部資源としてのリード・ユーザー—— ……社49（1）67—80

溝　井　髙　志　（みぞい　たかし）
論　　文
ゼーレン・キェルケゴールにおける精神の概念と絶望の諸相 ……13（5）59—87
ゼーレン・キェルケゴールにおける愛の概念 ……14（5）129—163
ヴェルターにみる若きゲーテの悲劇のモティーフ ……人19（2）13—44
若きゲーテにおけるフリーデリケ体験の意義について ……人23（1）1—20
Über die Möglichkeit der Erlösung des Enthusiasten in „Faust“ ……人25（1・2・3）1—36
西洋の思想史におけるゲーテの位置づけ（その二）（ルドルフ・シュタイナー）……人26（2）27—42
ファウスト救済の秘儀について（カール・ヴォルフ）……人26（3）37—48
ゲーテの自然観——ゲーテの自然科学研究の意義について——（その1）……人34（3）67—77
ゲーテの自然観——ゲーテの自然科学研究の意義について——（その2）……人35（1）1—9
翻　　訳
西洋の思想史におけるゲーテの位置づけ（その一）（ルドルフ・シュタイナー）……人25（4）83—94
西洋の思想史におけるゲーテの位置づけ（その三）（ルドルフ・シュタイナー）……人28（2）117—128
特別号関連記事
経済学部開設25周年記念号の発行に寄せて ……社・人34（3）5

御　園　謙　吉　（みその　けんきち）
研究ノート
「法人企業景気予測調査」と短観 ……社44（1）151—164

湊　　由妃子　（みなと　ゆきこ）
論　　文
Sherwood Andersonにおける Retold された作品のもつ可能性について
——“Death in the Woods”をめぐって—— ……人31（4）13—23

南　　清　彦　（みなみ　きよひこ）
論　　文
都市農業と都市農政の歴史的推移と背景 ……社19（3）37—53
日本人の宗教観とその歴史的推移——唯物史観にたって—— ……人35（4）13—24

南　　良　成　（みなみ　よしなり）
論　　文
現代カナダ演劇の諸問題 …… 人36（3）51―60

美　馬　佑　造　（みま　ゆうぞう）
論　　文
近世後期農村の米穀需給構造――河州三好氏采地横小路村の場合―― …… 社16（3・4）11―27

三　村　寛　一　（みむら　かんいち）
論　　文
長距離走におけるペース配分についての一考察
――ラップ・タイムよりみた場合――（共） …… 人21（3）31―38

三　村　達　也　（みむら　たつや）
論　　文
ソフトテニスのバックハンドボレ―における下肢筋群の筋電図的研究（共） …… 人31（4）1―12

宮　田　道　雄　（みやた　みちお）
論　　文
情報ネットワーク社会と消費者行動――co-marketingの胎動―― …… 社31（3）105―117

宮　本　　敞　（みやもと　あきら）
論　　文
林野滋樹氏に学ぶ『労働』の意義について …… 人27（1）47―57

宮　本　憲　一　（みやもと　けんいち）
論　　文
The Case of Methyl Mercury Poisoning Among Indians
in Northwestern Ontario, Canada …… 社15（2・3）3―15

明　神　信　夫　（みょうじん　のぶお）
論　　文
アメリカの1940年代後半における減価償却実践をめぐって
――特に自由私企業体制の危機感との関連―― …… 11（1）35―62
SEC取替原価情報算定へのアプローチ …… 社15（4）23―39

三　好　清　記　（みよし　せいき）
研究ノート
Studies on Criminal Investigation …… 1　1―9

ミルトン・チェン　（みるとん　ちぇん）
論　　文
Some Distributive Causes of Price Differential between U.S. and JAPAN（共） …… 社25（4）7―18

Has the Japanese Distribution Changed Its Service Oriented System?:
The Second Version of “Some Distributive Causes of
Price Differential between U.S. and Japan”（共）……社34（3）117―128
E-Commerce: Recent Developments and Comparative Study of
Implementation in US and Japan（共）……社36（2・3）61―77

三　輪　禎　夫　（みわ　さだお）

論　　文

経営経済学の実践的価値について……3（1・2）1―26

〔ム〕

向　　壽　一　（むかい　じゅいち）

書　　評

徳永正二郎・井上徳男・神沢正典・井上伊知郎著
『現代の貿易取引と金融――貿易金融イノベーションの時代――』……社24（3）51―54

村　杉　　健　（むらすぎ　けん）

論　　文

意味探求の経営――実証的研究――……社30（4）57―65

村　田　誠　一　（むらた　せいいち）

論　　文

Das Irrationale in der Kunst……13（2）39―46

村　田　充　八　（むらた　みちや）

論　　文

近代技術論と領域主催――E. スフールマンの技術論再考――……人23（3）1―18
宗教加入の諸段階――宗教加入の時間的経過に関する論点をめぐって――……人24（1）75―83
科学と人間――科学の前提と中立性――……人25（4）11―30
コミューンと宗教――コミューンのマイノリティ性をめぐって――……人26（3）1―15
コミューンの理想と現実――集団及び成員の視点から――……人27（1）111―130
キリスト教における戦争と平和（Ⅱ）――抵抗権と戦争――……人30（4）1―25
シンガポール複合民族社会と文化――規範とエスニシティの視点から――……人32（4）179―196
キリスト教の社会倫理（Ⅰ）――キリスト教と社会倫理学――……人34（2）1―11
キリスト教の社会倫理（Ⅱ）――多元的倫理とキリスト教の道徳――……人34（3）87―98
キリスト教の社会倫理（Ⅲ）――キリスト教と道徳律法――……人35（1）39―49
キリスト教の社会倫理（Ⅳ）――キリスト教の倫理と神の意志――……人35（2）9―20
カルヴィニストの幸福と不幸（Ⅰ）
――改革派信仰と「拡散宗教」性に関連して――……人44（1）1―14
カルヴィニストの幸福と不幸（Ⅱ）
――改革派信仰と「拡散宗教」性に関連して――……人44（2）33―48

研究ノート

人間と暴力――問題の所在――……人29（2）17―28
キリスト教における戦争と平和（Ⅰ）……人29（3）91―106

グランドラピッズと教会――米国キリスト教社会の一面―― …… 人34(4)157―173
日本社会の宗教性
――「生命主義的救済観」とカルヴィニズムの視点から―― …… 人35(4)199―211

〔モ〕

毛　利　良　一　（もうり　りょういち）

書　評

神沢正典著『世界経済と開発金融』 …… 社31(1)81―89

森　　健　一　（もり　けんいち）

論　文

Natures and Problems of QC Circle Movement (共) …… 社24(3)1―10

研究ノート

A Model for Analyzing and Developing Manufacturing Strategy (共) …… 社26(2)59―67

森　　健嗣朗　（もり　けんじろう）

論　文

After Endless Defeatism――Hemingway's Transfiguration―― …… 人20(3)21―42
H. E. Bates and Nature――His Technique of Producing Atmosphere―― …… 人21(3)51―64
ヘミングウエイの『The Short Happy Life of Francis Macomber』に関する
一解釈 …… 人23(1)55―67
The Aspect of Initiation――Hemingway's Nick Adams Stories―― …… 人23(3)29―44
短編小説の時間 …… 人28(1)49―66
『書くことによって…』――ヘミングウェイの「誰がために鐘は鳴る」―― …… 人28(2)57―65
喪失の超克としての存在性――ヘミングウェイの『日はまた昇る』考―― …… 人28(3)113―131

森　　俊　治　（もり　しゅんじ）

論　文

日本型経営の問題点と再生 …… 社30(4)11―19
近視眼的経営批判 …… 社35(1)9―20

森　　博　美　（もり　ひろみ）

論　文

社会経済分析における縦断的データの意義について …… 社35(2)77―87

森　井　淳　吉　（もりい　じゅんきち）

論　文

山村の経済変貌と1980年代の課題――高知県の事例を中心に―― …… 社19(4)105―133
新植民地主義下のフィリピン経済発展と外資導入促進
――政治過程との関連を中心に―― …… 社20(2)87―106
タイの米政策と世界のコメ市場 …… 社22(2)9―31
世界市場における穀物価格の動向
――1960年代，70年代，および80年代の諸特徴―― …… 社22(4)123―151
タイのコメ輸出と流通過程の諸問題 …… 社24(4)11―25

1960―1990年におけるタイの経済変化 …… 社28（2）163―174
大規模稲作農業開発と農民層の動向
――マレーシア・ケダー州Muda地区の1960～1985年―― …… 社37（4）121―130

研究ノート

農民層分解の現実と「農用地利用増進事業」
――羽曳野市駒ケ谷ブドウ産地と高知県大方町ハウス野菜産地の
農家実態調査にもとづいて―― …… 社18（1）89―97
1960年代、70年代における山村の変貌と80年代の当面する課題 …… 社18（3）129―142
日本の海外直接投資と東南アジア経済
――1970年代における日本の資本輸出急増―― …… 社19（3）139―155
フィリピンの経済発展と外資導入促進
――1970年代から80年代はじめの時期―― …… 社20（4）145―165
山村地域における経済発展と農林業の動向――高知県十和村の場合―― …… 社21（2）113―133
資本主義的経済発展のもとでのタイ農業の構造変化
――1960年頃からの20年間について―― …… 社21（4）101―117
1985～86年におけるシンガポール経済の急後退をいかにみるか …… 社22（3）69―79
世界市場における穀物価格の動向と穀物貿易
――D. Gale Johnson氏の見解について―― …… 社23（1）71―79
韓国の米価政策――「高度経済成長」の1970年代の実態―― …… 社23（2）115―126
マレーシアにおけるゴム・プランテーション労働者
――とくに婦人労働者の状態―― …… 社23（4）61―72
東南アジア農業経済についての研究課題――覚え書きとしての問題提起―― …… 社24（1）59―70
「緑の革命」によるマレーシア稲作農村の経済変化 …… 社24（2）63―78
日本資本のアジア地域への進出過程――海外直接投資の動向を中心に―― …… 社25（4）57―68
タイにおける輸出農業と国民食糧の確保 …… 社26（1）87―100
タイ米の流通と米価決定をめぐる問題――国内市場を中心に―― …… 社26（2）69―80
マレーシアの稲作問題
――広大な稲作地帯Kedah州Muda地区のかかえる問題を中心に―― …… 社26（4）57―68
「緑の革命」の実施過程と農村経済の変化
――マレーシア・ケダー州Muda地区の場合―― …… 社27（3）59―70
東南アジアの経済動向と日本資本主義 …… 社28（1）97―104
タイにおける精米輸出の動向と輸出業者 …… 社29（3）75―86
大規模稲作地帯の農村集落と農民諸階層
――マレーシア・ケダー州Muda地区―― …… 人30（2）1―16

資　　料

東南アジア地域の農業・食糧生産と日本経済との関連 …… 社21（1）73―93

特別号関連記事

あの笑顔をもう一度 …… 人30（3）23―24

調 査 報 告

西ヨーロッパの農家・農村調査の概要報告（Ⅱ） …… 社23（3）63―81
西ヨーロッパの農業経営と農村（Ⅲ） …… 社26（3）87―100
タイ経済実態調査の中間報告
――1991年の社会経済問題と住民生活の概観―― …… 社27（4）117―126
フィリピン・セブ島における人々の生活実態 …… 社29（1）151―163
タイの米作と農家経済の現状 …… 人29（2）45―59

大規模稲作農業地帯の経済実態――マレー半島北部ケダー州ムダ地区―― …… 人29（4）31―42
イギリス、北ヨークシャーの農場経営の変化
――ディッシュ・フォースDishforth村とその周辺の農場の場合―― …… 人30（1）31―49
Changes in Farm Management in England:
A Case Study of Farmers in Dishforth Village in North Yorkshire …… 人33（1）41―51
Changes in Farm Management in England（Ⅱ）:
A Case Study of Farmers in Dishforth Village in North Yorkshire …… 人33（2）73―77

森　重　昌　之　（もりしげ　まさゆき）

論　　文

観光資源の分類の意義と資源化プロセスのマネジメントの重要性 …… 人47（2）113―124
地域プラットフォームの活動の持続に向けた条件
――淡路おみなの会の活動を事例に―― …… 人48（2）71―82
「かかわり合う地域社会」に対する市民意識とその課題
――北海道登別市を事例に―― …… 人49（1）25―37
定義から見た観光まちづくり研究の現状と課題 …… 人50（2）21―37

森　田　憲　導　（もりた　のりみち）

論　　文

幼児の身体発達と運動（1） …… 14（6）177―203
幼児の身体発達と運動（2） …… 人16（1）1―20
肥満児とやせ児の心身医学的研究（第1報）――小学生について――（共） …… 人20（1）1―10
身体発達の時代変化 …… 人21（4）35―57

研究ノート

身体発達の基本的事項〈Ⅰ〉――身体発達に関する用語の概説―― …… 人19（2）77―91
身体発達の基本的事項〈Ⅱ〉――発達段階―― …… 人19（3）47―63
身体発達の基本的事項〈Ⅲ〉――身体発達の一般的原理―― …… 人19（4）69―86
身体発達の基本的事項〈Ⅳ〉――身体発達を規定する要因，1：遺伝的要因―― … 人20（2）131―156
身体発達の基本的事項〈Ⅳ〉
――身体発達を規定する要因，2：出生前環境要因―― …… 人20（3）71―94
身体発達の基本的事項〈Ⅳ〉
――身体発達を規定する要因，3：出生後環境要因―― …… 人20（4）81―109
身体発育――形態発育の経過（1）―― …… 人22（4）81―113
身体発育――形態発育の経過（2）―― …… 人23（1）81―120

資　　料

障害児 …… 13（5）109―157

森　田　安　洋　（もりた　やすひろ）

論　　文

他者経験と自我の構造
――フッサール『デカルト的省察』第五省察への一視座―― …… 人24（1）49―57

森　本　芳　生　（もりもと　よしお）
論　　文
小林一茶にみる「我が子」意識と民俗的感性
——子どもの誕生・成長・病い・死にそそぐ〈まなざし〉—— …… 人31（2）1—14
研究ノート
大衆教育社会における人間の問題——空虚化された主体，社会化，再形成—— …… 人34（2）71—82
問題としての現代栄養学
——その政治，そして反牛乳運動からパラダイムチェンジへ—— …… 社41（1）33—47

森　本　好　則　（もりもと　よしのり）
論　　文
要素需要曲線は何故必ず右下がりとなるのか？ …… 社21（3）1—24

〔ヤ〕

八木橋　慶　一　（やぎはし　けいいち）
査読論文
イギリスにおける「ネイバーフッド・ガバナンス」構築に向けた動き
——住民参画の意義と課題—— …… 社44（1）37—49
研究ノート
イギリスにおける地域再生政策
——ブレア労働党政権下での取り組みからの一考察—— …… 社43（1）21—31

矢　倉　研二郎　（やぐら　けんじろう）
査読論文
Community-based Charity-type Safety Nets against Health Shock:
The Case of *Sangkeaha* in Rural Cambodia …… 社48（2）1—30
論　　文
Community-based Fundraising for User-fee Exemption for Poor People:
The Pagoda-based Health Equity Fund in Cambodia …… 社49（1）37—54

安　井　恒　則　（やすい　つねのり）
論　　文
コンビナートにおける技術・管理・労働（1）
——戦後鉄鋼独占体の一貫製鉄所を例として—— …… 12（5）1—26
コンビナートにおける技術・管理・労働（2）
——戦後鉄鋼独占体の一貫製鉄所を例として—— …… 14（1）29—79
コンビナートにおける技術・管理・労働（3）
——戦後鉄鋼独占体の一貫製鉄所を例として—— …… 社15（1）7—24
コンビナートにおける技術・管理・労働（4）
——戦後鉄鋼独占体の一貫製鉄所を例として—— …… 社16（1）15—33
コンビナートにおける技術・管理・労働（5）
——戦後鉄鋼独占体の一貫製鉄所を例として—— …… 社17（2）13—48

現代大工業における競争と企業内分業
——巨大鉄鋼企業における販売部門の拡大と生産部門との
関係を例として——……社19（2）105—129
小集団活動にみる労働と管理……社22（4）109—121
イギリス企業の小集団活動と労使関係（1）……社26（3）45—59
イギリス企業の小集団活動と労使関係（2）……社29（1）81—92
英国企業の包括的改革と日本的経営……社31（3）87—104
GMサターン社の労使パートナーシップ経営……社45（3）183—201

安　福　恵美子　（やすふく　えみこ）

論　　文

ツーリズムからみた文化の呈示
——世界文化遺産「フエ遺跡」の「普遍的価値」をめぐって——……人33（4）21—29
ヘリテッジ・ツーリズムとオーセンティシティ
——文化遺産の解釈をめぐって——……人34（1）29—39
オーストラリア人の「日本観」
——ホストファミリーへのアンケート調査に基づいて——（共）……社35（4）55—65
ツーリズムからみた世界遺産「屋久島」の自然……人36（4）9—20

研究ノート

ツーリズムにおけるインタープリテーションの役割……人37（4）75—81

矢　田　俊　文　（やだ　としふみ）

論　　文

国土構造と広域経済圏——機会均等論の視点から——……社30（1）33—60

山　内　孝　幸　（やまうち　たかゆき）

論　　文

系列化チャネルにおける支配関係からパートナー関係への変容……社43（2）37—57
メーカー系列販売会社の有効性の検討……社44（1）95—106
メーカー系列販売会社によるSCM構築に向けて……社45（3）221—233
SCMにおけるゲートキーパーとしての販売会社……社46（1）21—43
営業研究に関する一考察……社47（1）29—52
サービス産業の文化的環境の克服——USJの事例から——……社49（1）1—21

研究ノート

メーカーと系列販売会社の関係性の変容
～キヤノンとキヤノンマーケティングジャパンの事例から～……社45（2）149—165

山　川　偉　也　（やまかわ　ひでや）

論　　文

イデアと数——Aristoteles, De anima, 404 b 16-27——……4（1・2）195—210
生成の場——Platon,《Timaeus》篇の一解釈——……5（1・2）1—33
現代における人間の問題……7　33—77
ロゴスとテクネー（Ⅰ）
——古代ギリシア哲学におけるロゴス概念解明のための予備的考察——……9（2）1—32
自己自身であるということ——デカルト的省察をめぐって——……9（4）1—43

ロゴスとテクネー（Ⅱ）
——古代ギリシァ哲学におけるロゴス概念解明のための予備的考察—— …… 9（6）51—83
On the Notion of “Participation” in Plato’s Theory of Ideas …… 11（4）101—116
The Double Truth in Parmenides and Nagarjuna …… 人37（3）13—26
資　料
永遠について［Ⅲ 7（45），1—6］（プロチノス） …… 9（5）135—164
H. ファイグルの《心—身同一説》についての対話形式による若干の論評 …… 10（1）45—74
ソクラテスの死（C. ギル） …… 10（4）33—40
書　評
ヤーコプ・フォン・ユクスキュル，ゲオルク・クリサート著／
日高敏隆，野田保之訳『生物から見た世界』
（思索社，pp. XX Ⅱ + 307，昭和48年6月30日発行） …… 9（3）85—93

山　崎　秋　夫　（やまざき　あきお）

論　文
フィロンのピスティス（Πιστις）概念について（1） …… 人19（2）45—55
フィロンのピスティス（Πιστις）概念について（2） …… 人19（3）35—46
フィロンのパイデイア概念について——「杖」解釈を中心として—— …… 人22（3）29—40
フィロンの良心概念について …… 人28（3）25—41
翻　訳
アレクサンドリアのフィロン『巨人について』（フィロン） …… 人24（3）19—32
アレクサンドリアのフィロン『神の不変性について』（一）（フィロン） …… 人25（4）17—29
アレクサンドリアのフィロン『神の不変性について』（二）（フィロン） …… 人26（1）45—58
アレクサンドリアのフィロン『神の不変性について』（三）（フィロン） …… 人26（3）21—30
アレクサンドリアのフィロン律法の大要『十戒について』（一）（フィロン） …… 人27（2）9—24
アレクサンドリアのフィロン律法の大要『十戒について』（二）（フィロン） …… 人27（3）25—42
アレクサンドリアのフィロン『観想的生活について』（フィロン） …… 人28（1）29—50

山　崎　俊　雄　（やまざき　としお）

論　文
産業記念物の科学技術史的課題——近畿地区を例として—— …… 人16（3・4）1—8
特別号関連記事
中村静治教授退任記念号によせて …… 社19（4）

山　崎　祐　子　（やまざき　ゆうこ）

論　文
Moral Disagreement and an Unsuccessful Relationship in
Henry James’s *The American* …… 人37（4）53—61

山　田　勝　裕　（やまだ　かつひろ）

論　文
サイクル・アプローチの実践に関する考察 …… 社21（3）77—99

山　田　隆　夫　（やまだ　たかお）

翻　　訳

Herbert Spencerの四つの社会進化理論（R. G. ペラン）……社17（2）61―77
マックス・ウェーバー　マルクスの亡霊との闘争（I. M. ツァイトリン）……社17（3）75―84
ウェーバー・テーゼ　プロテスタンチズムと資本主義
（I. M. ツァイトリン）……社・人17（4）127―142
マックス・ウェーバー　世界の宗教（I. M. ツァイトリン）……社18（1）73―88
ヴィルフレド・パレード（Ⅰ）（I. M. ツァイトリン）……人18（1）65―73
マックス・ウェーバー　政治社会学と政治的価値（I. M. ツァイトリン）……社18（2）71―74
ヴィルフレド・パレード（Ⅱ）（I. M. ツァイトリン）……人18（2）53―65
ヴィルフレド・パレード（Ⅲ）（I. M. ツァイトリン）……人18（3）57―69
ガエターノ・モスカ（Ⅰ）（I. M. ツァイトリン）……人19（2）65―75
『社会学原理』（ハーバート・スペンサー）……人19（4）57―68

山　名　伸　作　（やまな　しんさく）

論　　文

Analytical Marxismの空間経済論……社28（1）37―52
地域的分業と地域問題……社30（1）81―93
経済地理学と経済理論……社32（4）173―187

特別号関連記事

吉良　実前学長退任記念号の発刊によせて……社33（4）3
経済学部開設25周年に寄せて……社・人34（3）3

山　野　加代枝　（やまの　かよえ）

論　　文

取締役の監視義務――ダスキン肉まん事件を契機として――……社42（2）83―98
取締役の対第三者責任と内部統制システム……社44（2）103―115

山　本　栄　一　（やまもと　えいいち）

論　　文

高齢化社会における福祉行政と地域行財政……社28（2）15―29

山　本　謙　治　（やまもと　けんじ）

論　　文

法隆寺金堂釈迦三尊像両脇侍光背の比較検討（再考）……人35（4）131―143
玉虫厨子透彫り金具虺龍文系文様の造形分析
――コンピュータ利用による文様分析の一例として――……人36（2）1―14
宝冠装飾空間の文様分析（1）
――法隆寺金堂釈迦三尊像脇侍・四天王像・夢殿救世観音像宝冠の
造形比較――……人37（1・2）1―13
玉虫厨子須弥座腰部隅柱の透彫り金具文様について
――上原和説における文様分析と様式史的位置づけへの批判――……人37（4）25―39

研究ノート

法隆寺献納宝物頭光背装飾空間の文様分析（1）――中心部と圏帯部――……人36（4）55―67

装飾文様研究史（1）
——明治期以来の文様集成および伊東忠太の文様史研究—— ……人40（2）15—22
南京・丹陽南朝陵墓有角石獣調査報告（1）……人42（1）47—70
西安碑林博物館と館蔵碑誌装飾文様について……人42（2）25—36
南京・丹陽南朝陵墓有角石獣調査報告（2）……人43（1）1—27
西安碑林博物館碑石彫飾文様の空間分割とモティーフ系統
——西安碑林博物館館蔵碑誌装飾文様調査報告1—— ……人43（2）43—53
法隆寺の透彫り金具文様
——モティーフ融合およびモティーフ喪失文様考察のための
作例資料（1）—— ……人44（1）45—59

山　本　純　子　（やまもと　じゅんこ）

論　　文

Timon of Athens:
a Stepping-Stone from Shakespearean Tragedies to Romances ……人15（3・4）47—59
The Story of Posthumus and Imogen in *Cymbeline* ……人17（2・3）113—124

山　本　泰　三　（やまもと　たいぞう）

論　　文

阪南大学学習支援室の活動と今後の展望（共）……人49（1）65—71

山　本　　直　（やまもと　なお）

研究ノート

EUの対加盟国制裁権限
——欧州議会および欧州政党の対応を中心にして—— ……社39（2）63—78

山　本　義　徳　（やまもと　よしのり）

論　　文

プロダクト・ライフサイクルをめぐる諸問題……社20（2）59—71
Some Distributive Causes of Price Differential between U.S. and JAPAN（共）……社25（4）7—18
戦後アメリカマーケティングの若干問題……社34（2）1—11
Has the Japanese Distribution Changed Its Service Oriented System?:
The Second Version of “Some Distributive Causes of Price Differential
between U.S. and Japan”（共）……社34（3）117—128
E-Commerce: Recent Developments and Comparative Study of
Implementation in US and Japan（共）……社36（2・3）61—77

研究ノート

個人自由旅行対パッケージツアー
——観光のマーケティング・ツェルマットスキー旅行のケース—— ……社42（2）99—108

書　　評

森教授の所説をめぐる問題点について
——森俊治著『研究開発管理論第5版』1981年有信堂高文社—— ……社20（3）81—90

〔ユ〕

由　井　　浩　（ゆい　ひろし）

論　　文

Natures and Problems of QC Circle Movement（共）……社24（3）1―10

TQCにおける方針管理の発展と課題……社25（1・2・3）209―220

TQC導入・推進の論理……社30（4）21―31

研究ノート

A Model for Analyzing and Developing Manufacturing Strategy（共）……社26（2）59―67

〔ヨ〕

Yoko Wilson　（ヨーコ　ウィルソン）

論　　文

Recommendations for the Hannan University English Entrance Exam

――阪南大学英語入学試験改善への提案――（共）……人37（4）11―23

吉　井　清　文　（よしい　きよふみ）

書　　評

石田和夫・安井恒則・加藤正治編『企業労働の日英比較』……社35（4）107―118

吉　井　参　也　（よしい　しんや）

論　　文

特許権の保護範囲を定める基準としての均等論の1993年の現状と国際的動向……社29（4）1―9

吉　岡　志津世　（よしおか　しづよ）

論　　文

カーソン・マッカラーズ――愛の幻想――……人17（2・3）75―88

James Baldwinの文学修業時代：1943―1953……人29（1）81―86

吉　岡　みのり　（よしおか　みのり）

論　　文

Commodore Perry's Effective Tactics Found

in Japanese and American Sources……人36（4）21―29

吉　門　昌　宏　（よしかど　まさひろ）

論　　文

近代ドイツにおける「労働社会」の進展と教育学

――ワイマル共和国期の新たな人間観・労働観について――……社43（2）19―35

研究ノート

ドイツ語圏における「統治性研究」について

――戦後ドイツ教育史への一視角として――……社48（1）37―54

吉　兼　秀　夫　（よしかね　ひでお）

論　　文

観光資産保護としての環境保護制度の作用・反作用 …… 社36（4）61―69

調査報告

伝統的温泉観光地の実態――兵庫県城崎温泉来訪客調査から―― …… 社36（1）63―78

歴史的環境保存観光地の実態――奈良県明日香村来訪客調査から―― …… 社37（1）49―63

特別号関連記事

哀辞 …… 人47（2）49

吉　川　　茂　（よしかわ　しげる）

論　　文

集団における対人関係とAmbiguity Tolerance …… 人24（4）1―12

利き手・利き目と体力・運動能力との関係（共） …… 人28（1）1―9

乱数生成における心理学的要因（1） …… 人28（4）49―56

利き手に関する基礎的研究――利き手と握力について――（共） …… 人29（3）15―23

利き手に関する基礎的研究――利き手と利き目の関連性――（共） …… 人32（3）1―14

ある女性患者の憑依妄想にみられる精神力動についての事例的考察 …… 人34（1）19―28

女子大学生の摂食態度に関する心理学的研究（1） …… 人34（3）99―114

利き手の動作特性に関する基礎的研究（共） …… 人36（1）15―24

大学生の観光動機と観光懸念に関する心理学的考察 …… 人47（2）125―133

研究ノート

大学生の依存と相談の心理 …… 人50（2）129―135

資　　料

表情と言語的メッセージとの不一致に対する反応について …… 人25（4）95―103

留学生・異文化に対する日本人大学生のイメージ …… 人31（4）63―77

超常現象を信じることについての基礎的研究 …… 人32（3）73―80

旅行者新奇性に関する心理学的考察 …… 人38（2）41―49

吉　城　唯　史　（よしき　ただし）

論　　文

非財務業績評価指標とその経済的帰結
――先行研究が示す経験的証拠から―― …… 社48（2）47―63

研究ノート

国際統合報告のフレームワークとその開示内容 …… 社49（1）81―89

吉　田　敬　一　（よしだ　けいいち）

論　　文

グローバル時代の地域振興と中小企業 …… 社45（3）31―44

吉　田　謙　二　（よしだ　けんじ）

論　　文

Japanese Society: The Realization of Emptiness …… 人24（1）1―13

吉　田　　忠　（よしだ　ただし）
論　　文
大学生協経営論――その現状と問題―― …… 社27（1）31―48

吉　村　耕　治　（よしむら　こうじ）
論　　文
日本のことわざに多く見られる数詞3を用いる日本人の意識構造と
数詞3の神秘性について
――日本語の表現方法の一考察―― …… 13（4）39―53
3つあるものの内の重点の置かれ方と各性質について
――言語文化的視点から日本の民俗を中心にして―― …… 14（6）91―118

吉　村　　励　（よしむら　つとむ）
論　　文
マルクスの労働組合論 …… 社18（3）49―63

米　田　　貢　（よねだ　みつぐ）
論　　文
木津信用組合の経営破綻とその処理について …… 社34（1）25―40

〔ラ〕

Ramachandran NATARAJAN　（ラマチャンドラン　ナタラジャン）
論　　文
A Comparative Study on Japanese Management and
Tradition Indian Principles（共） …… 社45（3）247―257

Larry Walker　（ラリー　ウォーカー）
論　　文
Vowel Phonemes in Japanese and American English:
Similarities and Differences（共） …… 人41（2）17―27
Towards Understanding the Issues Concerning the Adoption of CLIL Approaches
to English Language Teaching and Learning in Japanese Universities（共） …… 人49（2）65―80

〔リ〕

李　　潔　（り　じ）
論　　文
An International Comparison of TFP Using I-O Tables in China,
Japan and the United States（共） …… 社35（2）15―28

李　　仕　健　（り　しけん）
論　　文
毛泽东诗词英译中的典故处理 …… 人36（1）33―39
中国古诗语音修辞手段英译的再现艺术初探 …… 人36（4）41―45

李　　長　青　（り　ちゃんぐぃん）
特別寄稿
現代の企業制度の国際比較（共）……社38（2）49―54

李　　柏　令　（り　はくれい）
論　　文
略论汉语词语的双音化缩简……人31（2）25―29
略论对外汉语教材的外文释义者的汉语修养――以《中级汉语教程》为例――……人31（3）47―51
说理性比喻与法律语体……人31（4）35―37

劉　　貞　得　（りゅう　ていとく）
論　　文
東邦人族의源流考察……人28（3）1―4

林　　宏　作　（りん　ほんつぉ）
論　　文
阮籍の詠懐詩に現われた神仙思想……14（4）39―78
研究ノート
四庫全書総目提要箋注（Ⅰ）……人15（2）1―22
嵇康及其「幽憤詩」……人16（2）31―53

〔レ〕

Rebecca Kalmans　（レベッカ　カルマン）
論　　文
An International Comparison of TFP Using I-O Tables in China,
Japan and the United States（共）……社35（2）15―28

〔ワ〕

若　菜　建　志　（わかな　けんじ）
論　　文
辞書による分析の比較――文型表示について――……人26（2）9―17
Valency and Case Ⅰ――Syntactic Valency and Semantic Case――……人27（2）11―35
Valency and Case Ⅱ――On Semantic Valency in English――……人27（3）13―24
実用的視点からの辞書評価　その1……人28（1）29―38
実用的視点からの辞書評価　その2……人28（2）33―41

脇　　夕希子　（わき　ゆきこ）
研究ノート
米国におけるダイバーシティ・マネジメントの取り組みによる効果
――雇用者のリテンションを中心に――……社45（1）91―101

和 久 宗 利 （わく むねとし）

論 文

アーチェリー競技のリリース前後における身体動揺と得点との
関係について（共）…… 人40（1）13―20

和 佐 敦 子 （わさ あつこ）

論 文

Baroja y su “tierra” vasca …… 人20（1）47―57
Baroja y “LA VIDA FANTASTICA” …… 人22（1）37―43
Baroja y “LA LUCHA POR LA VIDA” …… 人23（1）47―54

和 田 一 雄 （わだ かずお）

論 文

宛米帳よりみた地主生活の崩壊とその周辺 …… 社19（3）55―67

和 田 幸 子 （わだ さちこ）

論 文

グローバリゼーションと東南アジア諸国の「中間階層」…… 人35（4）89―97

和 田 隆 子 （わだ たかこ）（喜多隆子）

論 文

若きフォイエルバッハにおける『反ヘーゲルの批判』…… 社18（2）33―42
若きフォイエルバッハにおける『ライプニツの哲学』
～ „Leibniz'sche Philosophie“ beim Jungen Feuerbach ～ …… 社19（1）37―46
ハイデガーのヒューマニズム …… 社21（2）57―75
ハイデガーのケーレ・再考 …… 人24（1）37―48

和 田 渡 （わだ わたる）

論 文

Das problem des reflexiven Blicks in Husserls Phänomenologie
des inneren Zeitbewußtseins …… 人24（1）59―74
経験のフィギュール …… 人24（4）13―21
Le problème du sujet en devenir dans la phénoménologie husserlienne …… 人26（4）7―16
流動的生のダイナミクスと現象学的反省 …… 人29（4）9―17
経験の生成と変様――発生的現象学的観点からの記述の試み（2）―― …… 人32（2）1―13
自己の探究（1）…… 人35（1）1―10
自己の探究（2）…… 人35（3）1―11
自己の探究（3）…… 人36（1）1―11
自己の探究（4）…… 人36（2）13―21
自己の探究――自己の死に関する試論―― …… 人36（3）27―39
自己の探究（5）…… 人36（4）1―10
自己の探究（6）…… 人37（1・2）1―13
自己の探究（7）…… 人37（4）1―9
意識流の現象学
――意識流の反省と根源的な時間構成的意識流の反省の不可能性の問題―― …… 人38（1）1―12

自己の探求――自己の時間に関する試論　長田弘を手がかりとして―― …… 人39（1）1―13
『ベルナウ時間草稿（1917/18）』の解読
――意識流と自我作用の出来事としての現在への反省とその問題点―― …… 人39（2）1―9
ガブリエル・マルセルと存在の神秘 …… 社45（3）1―11
ケアの哲学――看護者とセルフケアの問題―― …… 人47（2）27―36
阪南大学学習支援室の活動と今後の展望（共） …… 人49（1）65―71

渡　辺　　馨　（わたなべ　かおる）

特別号関連記事

大越勝秋教授退任記念号によせて …… 人17（2・3）i
虎田凧雄教授退任記念号によせて …… 社17（3）
経済学部10周年記念号に寄せて …… 社・人17（4）Ⅱ
硲　正夫教授の定年退職に当って …… 社18（3）
津島陽子助教授追悼号に序して …… 社18（4）

渡　辺　和　子　（わたなべ　かずこ）

論　　文

女が女を愛し書く
――ロマンティック・フレンドシップとローカルカラー小説 …… 人30（3）73―86

渡　辺　邦　博　（わたなべ　くにひろ）

論　　文

18世紀スコットランドの雑誌とアダム・スミス …… 社28（2）271―280

渡　辺　　昇　（わたなべ　のぼる）

論　　文

Death in *Paradise Lost*――In the Light of *De Doctrina Christiana*―― …… 11（4）57―100
Paradise Lost に現われたMilton の予定論 …… 11（5）123―147
Milton's Idea of Freedom and His Bible-Centered Point of View（1） …… 11（5）149―191
Milton's Idea of Freedom and His Bible-Centered Point of View（2） …… 12（1）65―102
Paradise Lost における美の変貌 …… 12（6）21―47
E. Pauline Johnson 論――あるカナダ・インディアン詩人の場合―― …… 13（1）57―81
ジョイ・コガワ『オバサン』――日系カナダ人の「声」―― …… 人27（1）131―141
エミリー・カーにおけるカナダ先住民への視点 …… 人30（3）117―131
短歌と北米――文化交流の一視点―― …… 人32（4）1―15
エミリー・カーにおける自己形成の過程
――カナダ人としてのスタンスから―― …… 人33（4）31―42
エミリー・カーにおける自己形成の過程
――西部人としてのスタンスから―― …… 人34（4）99―108

渡　辺　漠　子　（わたなべ　ひろこ）

論　　文

クローニンと『帽子屋の城』 …… 人29（3）33―40
クローニンと『天国の鍵』 …… 人30（3）243―253
愛とエゴイズム――クローニンの『三つの愛』をめぐって―― …… 人31（3）25―34

渡　　哲　郎　（わたり　てつろう）

論　　文

昭和恐慌と日本電力（株）……社23（2）41―56
1930年代における日本電力（株）の経営拡大――小売業務拡大方針の成功――……社23（3）1―19
大正期における河内の中小工業――動力問題を中心に――……社25（4）39―55
第一次電力国家管理期における旧卸売電力企業の不振……人28（2）1―12
水力発電の本格化と東京における電力競争……人30（3）87―98
東京電灯の電力独占体への成長……社30（4）111―123
河南鉄道から大鉄Ⅱへ……社33（4）191―204
1930年代の大阪鉄道Ⅱ――大阪電気軌道との関係を中心に――……人36（3）103―113

書　　評

東京電力株式会社編
『関東の電気事業と東京電力電気事業の創始から東京電力50年への軌跡』……社38（2）31―36
関西電力株式会社『関西電力五十年史』……社39（1）61―66

特別号関連記事

国領先生を偲んで……人30（3）28

王　　科　唯　（わん　けーうぇい）

特別寄稿

現代の企業制度の国際比較（共）……社38（2）49―54

特別号関連記事索引

第15巻第2・3号　社会科学編（編集委員代表　鈴木　稔）
西川清治博士　追悼の辞……田谷博吉
西川清治教授の思い出……裕　正夫
西川清治博士略歴・著作目録
西川清治博士追悼号　編集後記

第15巻第4号　社会科学編（編集委員代表　大橋岩雄）
布井孝良教授退任記念号によせて……吉良　実
布井孝良教授略歴・著作目録

第16巻第3・4号　社会科学編（編集委員代表　杉尾敏明）
田谷博吉教授退任記念号によせて……堂面秋芳
速水敏教授退任記念号によせて……堂面秋芳
田谷博吉教授略歴・著作目録
速水敏教授略歴・著作目録

第16巻第3・4号　人文・自然科学編（編集委員代表　杉尾敏明）
原光雄教授退任記念号によせて……大橋岩雄
原先生の停年に想う……斎藤徳男
原光雄教授略歴・著作目録

第17巻第2・3号　人文・自然科学編（編集委員代表　杉尾敏明）
大越勝秋教授退任記念号によせて……渡辺　馨
大越さんとわたし……岸本　實
大越勝秋教授略歴・著作目録

第17巻第3号　社会科学編（編集委員代表　杉尾敏明）
虎田虓雄教授退任記念号によせて……渡辺　馨
虎田虓雄教授年譜・著作目録

第17巻第4号　社会科学編（編集委員代表　杉尾敏明）
経済学部創設10年に当って……鈴木　稔
経済学部10周年記念号に寄せて……渡辺　馨
阪南大学と私の「経済学」……速水　敏

第17巻第4号　人文・自然科学編（編集委員代表　杉尾敏明）
経済学部創設10年に当って……鈴木　稔
経済学部10周年記念号に寄せて……渡辺　馨
阪南大学と私の「経済学」……速水　敏

第18巻第3号　社会科学編（編集委員代表　須崎　実）
俗　正夫教授の定年退職に当って……渡辺　馨
俗　正夫教授年譜　略歴・著作目録

第18巻第4号　社会科学編（編集委員代表　須崎　実）
津島陽子助教授追悼号に序して……渡辺　馨
『経済学・哲学手稿』事始――津島陽子さんの思い出――……服部文男
不撓不屈の探究者・津島陽子さんを偲びて……平　實
津島陽子先生を偲んで……国領苑子
津島さんと私……深井耀子
津島陽子助教授年譜　略歴・学会活動・著作目録

第19巻第2号　社会科学編（編集委員代表　須崎　実）
堂面秋芳教授　哀辞……木原正雄
堂面秋芳と私――その36年――……服部　正
故堂面秋芳教授略歴・研究業績

第19巻第3号　社会科学編（編集委員代表　須崎　実）
梅森正行教授　哀辞……木原正雄
梅森教授の思い出……鈴木　稔
故梅森正行教授年譜　略歴・著作目録

第19巻第4号　社会科学編（編集委員代表　須崎　実）
中村静治教授退任記念号によせて……山崎俊雄
中村静治教授略歴・研究業績

第20巻第2号　社会科学編（編集委員代表　森井淳吉）
鈴木稔教授退任記念号によせて……樋口　武
餞士蝟集……長澤憲正
鈴木稔教授略歴・研究業績

第20巻第4号　社会科学編（編集委員代表　森井淳吉）
20周年記念誌発刊を迎えて……柏尾昌哉

第20巻第4号　人文・自然科学編（編集委員代表　森井淳吉）
20周年記念誌発刊を迎えて……柏尾昌哉

第21巻第3号　社会科学編（編集委員代表　森井淳吉）
安部栄造教授退任記念号によせて……樋口　武
安部栄造教授年譜・著作目録

第21巻第4号　社会科学編（編集委員代表　森井淳吉）
紀俊輔教授　哀辞……大橋岩雄
故紀俊輔教授略歴・業績目録

第22巻第4号　社会科学編（編集委員代表　有尾善繁）
山崎俊雄教授退任記念号によせて……辰巳浅嗣
山崎俊雄先生の経歴とご業績……道家達将
山崎俊雄教授略歴・研究業績

第24巻第1号　人文・自然科学編（編集委員代表　沼田昭夫）
沢田允夫教授　哀辞……垣口克彦
沢田允夫君の思い出……中桐大有
沢田允夫教授略歴・業績目録

第25巻第1・2・3号　社会科学編（編集委員代表　沼田昭夫）
創立25周年記念論文集発刊のことば……川島哲郎

第25巻第1・2・3号　人文・自然科学編（編集委員代表　沼田昭夫）
創立25周年記念論文集発刊のことば……川島哲郎

第27巻第1号　社会科学編（特別編集委員　沼田昭夫）
柏尾昌哉教授退任記念号によせて……松田　清
柏尾昌哉教授略歴・研究業績

第27巻第1号　人文・自然科学編（特別編集委員　渡辺　昇）
林野滋樹教授退任記念号によせて……松田　清
林野滋樹教授略歴・研究業績

第28巻第2号　社会科学編（特別編集委員　垣口克彦，新熊邦男）
悼辞……前野冨士生
故藤井勝也教授略歴・研究業績

第28巻第3号　社会科学編（特別編集委員　天井一夫）
熊野實夫教授退任記念号の発刊によせて……松田　清
熊野實夫教授略歴・研究業績

第28巻第3号　人文・自然科学編（特別編集委員　逸見　啓，能登征夫）
故稲田菊太郎教授追悼号の発刊によせて……松田　清
故稲田菊太郎教授略歴・研究業績

第28巻第4号　社会科学編（特別編集委員　植村幸生，二塚正也）
橘博教授退任記念号の発刊によせて……松田　清
橘博教授略歴・研究業績

第28巻第4号　人文・自然科学編（特別編集委員　池村　勉）
野村雅庸教授退任記念号によせて……前野冨士生
野村雅庸教授略歴・研究業績

第29巻第4号　社会科学編（特別編集委員　植村幸生）
二塚正也教授退任記念号の発刊によせて……谷田庄三
二塚正也教授略歴・研究業績

第30巻第1号　社会科学編（特別編集委員　山名伸作，石井雄二，青木郁夫）
川島哲郎前学長退任記念号の発刊によせて……吉良　実
川島哲郎前学長略歴・研究業績

第30巻第3号　人文・自然科学編（特別編集委員　深井耀子，大田一廣）
遺筆（1994年2月23日付，加藤康子氏宛書簡）
国際シンポジウム「女性とフランス革命」をめぐって――国領苑子氏に聞く――
国領苑子教授追悼号の発刊によせて……谷田庄三
国領苑子教授略歴・研究業績
国領苑子さんを偲んで
国領苑子さんの業績と遺志……加藤康子
国領苑子さん、本当に残念です……杉村和子
フェミニズム，マグレブ，チュニジア――国領さんを偲んで……谷川多佳子
あの笑顔をもう一度……森井淳吉
弔辞……木下　滋
未刊の阪南叢書『革命の文学・文学の革命』に寄せて……深井耀子
国領先生を偲んで……渡　哲郎

第30巻第4号　社会科学編（特別編集委員　安井恒則，加藤正治）
大橋岩雄教授退任記念号の発刊によせて……谷田庄三
大橋岩雄教授略歴・研究業績

第31巻第4号　社会科学編（特別編集委員　神沢正典，櫻井公人）
小野一一郎教授退任記念号の発刊によせて……松田　清
小野一一郎教授略歴・研究業績

第32巻第4号　社会科学編（特別編集委員　大田一廣，石井雄二）
山名伸作教授退任記念号の発刊によせて……樋口　武
山名伸作教授略歴・研究業績

第32巻第4号　人文・自然科学編（特別編集委員　尼寺義弘，藤井政則）
有尾善繁教授退任記念号の発刊によせて……木下　滋
有尾善繁教授略歴・研究業績

第33巻第3号　社会科学編（特別編集委員　大槻眞一，安井恒則，水津雄三）
植村幸生教授退任記念号の発刊によせて……木下　滋
植村幸生教授　略歴・研究業績

第33巻第4号　社会科学編（特別編集委員　垣口克彦，中村　宏）
吉良　実前学長退任記念号の発刊によせて……山名伸作
吉良　実前学長略歴・研究業績

第34巻第1号　社会科学編（特別編集委員　岩橋昭廣，松田　清）
谷田庄三教授退任記念号の発刊によせて……辻　義教
谷田庄三教授　略歴・研究業績

第34巻第3号　社会科学編（特別編集委員　青木郁夫）
経済学部開設25周年に寄せて……山名伸作
経済学部開設25周年記念号の発行に寄せて……溝井髙志

第34巻第3号　人文・自然科学編（特別編集委員　石井光子）
経済学部開設25周年に寄せて……山名伸作
経済学部開設25周年記念号の発行に寄せて……溝井髙志

第34巻第4号　人文・自然科学編（特別編集委員　長谷川恵洋，藤井政則）
永谷秀雄教授退任記念号の発行によせて……逸見　啓
永谷秀雄教授　略歴・研究業績

第35巻第1号　社会科学編（特別編集委員　馬場雅昭，安井恒則）
鶴谷　賢教授退任記念号の発行によせて……逸見　啓
鶴谷　賢教授　略歴・研究業績

第35巻第2号　社会科学編（特別編集委員　野澤正徳，渡　哲郎）
故 木下　滋教授追悼号の発行によせて……逸見　啓
故 木下　滋教授　略歴・研究業績

第35巻第4号　人文・自然科学編（特別編集委員　田口幸一，石原照敏）
森井淳吉教授退任記念号の発行によせて……堀川紀年
森井淳吉教授　略歴・研究業績

第36巻第3号　人文・自然科学編（特別編集委員　森田憲導，西村頼男，真田桂子）
故 渡辺　昇教授追悼号の発行によせて……堀川紀年
故 渡辺　昇教授　略歴・研究業績

第37巻第3号　人文・自然科学編（特別編集委員　田口幸一，長谷川恵洋）
故 松尾力雄教授追悼号の発行によせて……髙橋一馬
故 松尾力雄教授　略歴・研究業績

第37巻第4号　社会科学編（特別編集委員　松岡俊三，金戸　武，乙政正太）
天井一夫教授退任記念号の発刊によせて……神沢正典
天井一夫教授　略歴・研究業績

第45巻第3号　社会科学編（特別編集委員　辰巳浅嗣，安井恒則，加藤正治，筒井茂義，牧野広義，
伊田昌弘，川端庸子，関　智宏）
大槻眞一学長退任記念号の刊行を祝して……辰巳浅嗣
大槻眞一学長　略歴・研究業績

第47巻第2号　人文・自然科学編（編集委員代表　溝井高志）
哀辞……加藤正治
市川隆男教授の略歴と主要業績
哀辞……吉兼秀夫
前田弘教授の略歴と主要業績

第50巻第2号　社会科学編（編集委員代表　村田充八）
阪南論集創刊50巻記念論文集発刊に寄せて……辰巳浅嗣

第50巻第2号　人文・自然科学編（編集委員代表　村田充八）
阪南論集創刊50巻記念論文集発刊に寄せて……辰巳浅嗣

編集委員

榎　戸　敬　介（代表）　　真　田　桂　子
王　　凌　　寿　山　泰　二
Wilson Gordon Grady

阪南論集
総目次・著者名索引　第1巻～第50巻

2016年3月25日 印刷
2016年3月31日 発行

編集代表　榎　戸　敬　介
発　　行　阪南大学学会
〒580-8502　大阪府松原市天美東5丁目4番33号
電話　072－332－1224
FAX　072－337－4391

印　　刷　友野印刷株式会社
〒700-0035　岡山市北区高柳西町1-23
電話　086－255－1101㈹

THE HANNAN RONSHU

March 2016

CUMULATIVE CONTENTS AND AUTHOR INDEX

Vol. 1～Vol. 50
(1969～2015)

THE SOCIETY OF HANNAN UNIVERSITY